SONY

4-661-459-**01**(1)

はじめにお読みください	27
コンピュータの基本操作	79
カスタマー登録する／インターネットに接続する	91
本機の使いかたがわからないときに	159
困ったときは	173
接続／拡張するときは	217
その他	249

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

パーソナルコンピューター

PCV-LX95Gシリーズ, LX85シリーズ, LX55Gシリーズ, LX55シリーズ

© 2002 Sony Corporation

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

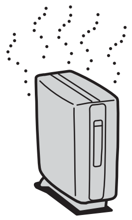
8ページからの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



1. 電源を切る
2. 電源コードや接続ケーブルを抜く
3. VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

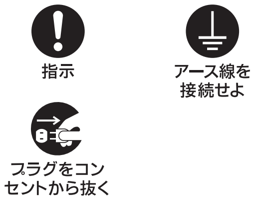
⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号



アース線の接続について

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合のDVD-RWドライブ（PCV-LX95Gシリーズのみ）またはCD-RW／DVD-ROM一体型ドライブが搭載されています。

著作権について

あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
また、著作者の許可なく、取り込んだ映像・画像・音声に変更・切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうことは禁じられています。
コピーガード信号の入った映像は録画することができません。

本機の内蔵モデムについて

本機の内蔵モデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他国のモードを使用すると電気通信事業法（技術標準）に違反する行為となります。
工場出荷時の設定は「日本モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

緩衝材に段ボールを使用

本書で使われている画面のイラストについて

本書で使われている画面のイラストは実際のものと異なる場合があります。

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。
- CD-ROMや音楽CDからのコピーの作成およびその利用は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの作成およびその利用にあたっては、オリジナルCDの使用許諾条件および著作権法を遵守してください。

著作権保護の信号が記録されているソフトウェアおよび放送は録画できません。

「取扱説明書(本書)」について

本書では、以下のことについて説明しています。

- 本機を使う前に必要な準備
- 電源の入れかた/切りかた
- コンピュータの基本的な使いかた
- インターネットへの接続のしかた
- 困ったときの対処のしかた
- 周辺機器の接続や本機の拡張のしかた
- 使用上のご注意

「本機をお使いになる前のご注意」(18ページ)を必ずお読みください。

コンピュータを初めてお使いになる方はもちろん、よくご存知の方も、必ず本書からお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

画面で見る電子マニュアル「サイバーサポート」について

VAIOマニュアル「サイバーサポート(CyberSupport for VAIO)」(以降、「サイバーサポート」と略します。)は、VAIOの使いかたや楽しみかたをディスプレイ画面上で説明する電子マニュアルです。本書に載っていない情報も、「サイバーサポート」で調べることができます。
使いかたについて詳しくは、「「サイバーサポート」の使いかた」(162ページ)をご覧ください。

電子マニュアルとは

本機の使いかたやソフトウェアの操作説明などをディスプレイ画面上で読めるようにしたマニュアルのことです。

「サイバーサポート」では、以下の情報を見ることができます。

できる Windows:Windowsの基本的な使いかたの説明を見ることができます。

インターネット:インターネットに接続してホームページを見るための手順や、電子メールをやりとりするための説明を見ることができます。

VAIOの使いかた:コンピュータの設定のしかたなど、本機の基本的な使いかたの説明を見ることができます。

VAIOの楽しみかた:DVDビデオの再生方法や、動画編集のしかたをはじめ、ソニー製のソフトウェアを使った本機の楽しみかたや、付属のソフトウェアの紹介などの説明を見ることができます。

困ったときは:本機を操作していて困ったときの対処方法や、トラブルが発生したときの対処方法の説明を見ることができます。

サービス/サポート:サービス/サポートを受けるための説明を見ることができます。

目次

安全のために 2
「取扱説明書（本書）」について 5
警告・注意 8
本機をお使いになる前のご注意 18

はじめにお読みください

こんなことができます 28
操作の流れ 30
付属品を確かめる 32
各部のなまえ 35
設置する 41
接続する／準備する 47
1 ディスプレイを接続する 48
2 キーボードとマウスを接続する 49
3 電話回線に接続する 51
4 リモコン用受光ユニットを接続する（PCV-LX95Gシリーズ，LX55Gシリーズのみ） 55
5 リモコンを準備する（PCV-LX95Gシリーズ，LX55Gシリーズのみ） 56
6 アンテナを接続する（PCV-LX95Gシリーズ，LX55Gシリーズのみ） 57
7 ビデオデッキまたはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV！（CSチューナー）またはBSデジタルチューナーを接続する（PCV-LX95Gシリーズ，LX55Gシリーズのみ） 60
8 電源コードを接続する 62
電源を入れる 63
Windowsを準備する 64
複数ユーザーで使用する 68
「ヘルプとサポートセンター」について 69
テレビを見る準備をする（PCV-LX95Gシリーズ，LX55Gシリーズのみ） 70
電源を切る 76

コンピュータの基本操作

デスクトップ画面の各部のなまえとはたらき 80
マウスの操作 82
ウィンドウやファイルの操作 84
文字の入力の前に 89

カスタマー登録する／インターネットに接続する

カスタマー登録する 92
インターネットを始める 102
インターネットに接続するまでの流れ 107
1 プロバイダと契約する 109
2 チェックシートを作成する 120
3 接続のための設定をする 125
4 電子メールソフトウェアの設定をする 136
5 インターネットに接続する 141
ホームページを見る 145
電子メールをやりとりする 153

本機の使いかたがわからないときに

どのマニュアルを読む？ 160
「サイバーサポート」の使いかた 162

困ったときは

わからないことやトラブルを解決する 174
主なトラブルとその解決方法 176

接続／拡張するときは

i.LINK対応機器をつなぐ 218
AV機器をつなぐ（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ） 224
プリンタをつなぐ 228
USB機器をつなぐ 230
ネットワーク（LAN）につなぐ 231
PCカードを使う 232
拡張ボードを増設する 237
メモリを増設する 244

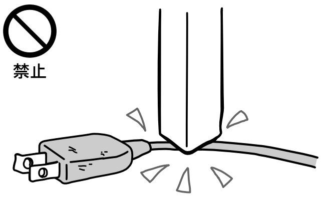
その他

動画系ソフトウェアの操作の流れ 250
リカバリディスクで本機を再セットアップする 252
パーティションサイズを変更する 263
使用上のご注意 267
お手入れ 272
保証書とアフターサービス 274
主な仕様 275
付属ソフトウェアについて 277
索引 283

⚠警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

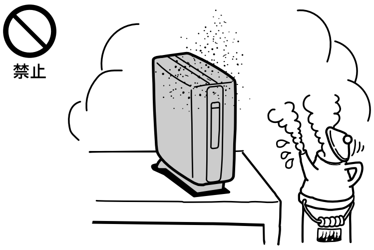
電源コードを傷つけない



電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

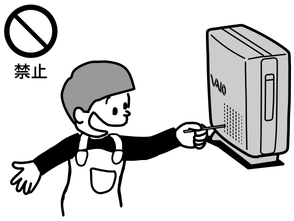
- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
万一、電源コードが傷んだら、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない



上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

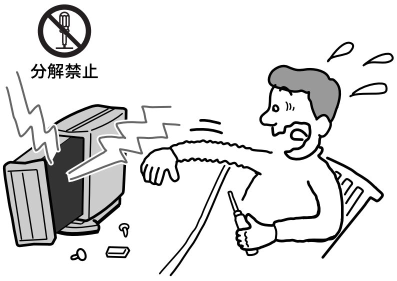
内部に水や異物を入れない



水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理をご依頼ください。

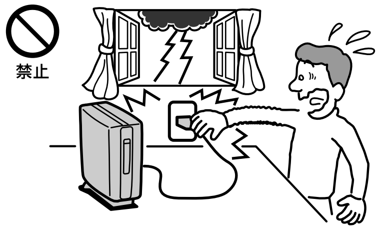
むやみに内部を開けない

- 内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の点検、修理はVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店にご依頼ください。
- 各種の拡張ボード(基板)を取り付けたりメモリを増設する場合など、コンピュータの内部を開ける必要があるときは、本機の電源コードを抜き、取扱説明書の周辺機器の拡張のページで指定された方法に従い、部品や基板などの角で手や指にけがをしないように注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となることがあります。



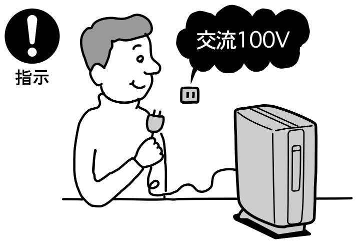
雷が鳴り出したらテレホンコードや電源プラグに触らない

感電の原因になります。



本機は日本国内専用です

- 交流100Vでお使いください。
- 海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電、故障の原因となることがあります。



内蔵モデムを一般回線以外の電話回線に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

禁止

NETWORK（ネットワーク）コネクタに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない

本機のNETWORK（ネットワーク）コネクタに下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

禁止

通電中のディスプレイ画面に長時間触れない

通電中のディスプレイ画面に長時間皮膚が触れていると低温やけどの原因となることがあります。
通電中のディスプレイ画面には長時間触れないでください。

禁止

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、
健康を害するおそれがあります。

ディスプレイを長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

キーボードを使いすぎない

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コードや接続コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

アース線を接続する

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合は、販売店にご相談ください。

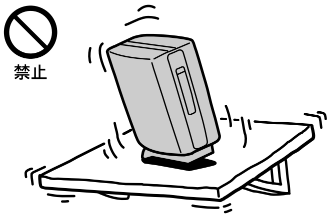
通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 本機を設置するときは、付属の縦置きスタンドを使用する。
- カーテンなど通気孔に吸い込まれるものの近くに設置しない。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。
また、設置・取り付け場所の強度も十分にお確かめください。



運搬時は慎重に

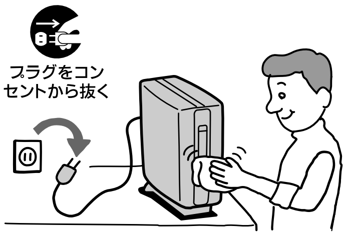
コンピュータを運搬するときは、底面全体を保持し、安定した姿勢で運んでください。後面パネルのリリースバーを持って運搬しないでください。また、前面および後面パネル部分に手をかけて持たないでください。運搬中にバランスを崩すと落下によりけがの原因となることがあります。また、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。付属のディスプレイを運搬するときは、両手で画面の側部を持つか、スタンド首の左右を持って運んでください。スタンドベースの前部および後部は持たないでください。

製品の上に乗らない、重い物を乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は電源を切ってプラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

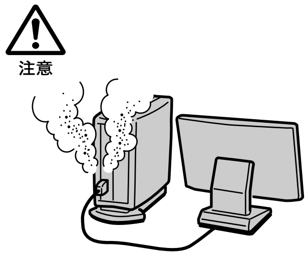


移動させるときは電源コードや接続コードを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

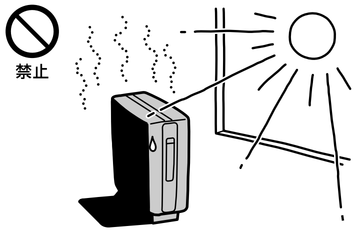
コネクタはきちんと接続する

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
- アース線のあるコネクタには必ずアースを接続してください。



直射日光の当たる場所や熱器具近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。



製品の設置や移動時に机の上でずらさない

コンピュータとディスプレイを設置したり、移動させるときに机の上でずらさないでください。机が傷つく原因となります。

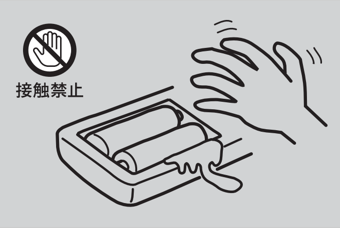
電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警告

アルカリ電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない
アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。



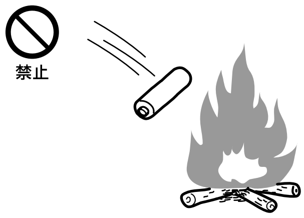
必ず次の処理をする
- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で十分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

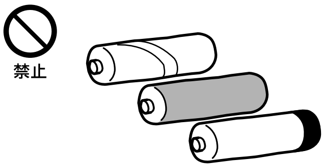
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



⚠注意

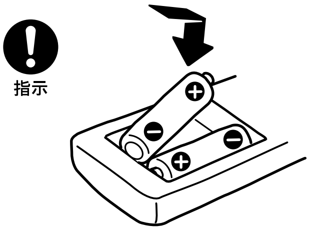
市販のアルカリまたはマンガン電池（単三型）以外の電池をリモコンに使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



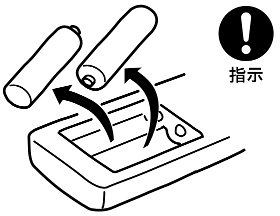
＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



本機をお使いになる前のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

DVD-RW（PCV-LX95Gシリーズのみ）、CD-RW／DVD-ROM一体型ドライブの地域番号（リージョンコード）書き換えについて

お買い上げ時、本機のドライブの地域番号（リージョンコード）は「2」（日本）に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

DVDを再生するときのご注意

- 本機では、ソフトウェアを用いてDVDを再生しています。このため、ディスクによっては操作および機能に制限があったり、CPU、メモリなどのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり、コマ落ちしたりすることがあります。また、ディスクによっては、再生そのものに不具合があるものも確認されています。
- 本機でDVDを再生するときは、「DVgate」など、映像を扱う他のソフトウェアをすべて終了させてください。
- DVDビデオや動画系ファイルを再生しているときに、画面の解像度や色数を変更しないでください。動画が正しく再生できなかったり、システムが不安定になることがあります。

  また、DVDビデオを再生するときには、スクリーンセーバーの設定を解除することをおすすめします。スクリーンセーバーを設定すると、DVDビデオの再生中にスクリーンセーバーが起動し、正しく再生できなくなります。スクリーンセーバーによっては、画面の解像度や色数を変更したりするものも確認されています。

「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアが起動できないときは

エクスプローラで動画ファイルのサムネールを表示していると、「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアを起動できないことがあります。この場合は、動画ファイルのサムネールを表示しているエクスプローラを終了してから、「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアを起動してください。

画面の解像度などの設定を変更するときのご注意

画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートをお買い上げ時の設定から変更した状態で「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアや「Giga Pocket」ソフトウェア(PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ)を起動すると、正常に表示されない場合や、「動画表示ハードウェアが他のアプリケーションで使用中です。動画を表示している他のアプリケーションを終了させてから、再度やり直してください。動画を表示している他のアプリケーションがない場合は、リフレッシュレートが高いなど画面の設定が不適切な可能性があります。」というメッセージが表示され、「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアや「Giga Pocket」ソフトウェア(PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ)が起動しないことがあります。他のソフトウェアを起動していないのにこのメッセージが表示される場合は、画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートをお買い上げ時の設定に戻してから「Media Bar DVDプレーヤー」ソフトウェアや「Giga Pocket」ソフトウェア(PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ)を起動してください。設定について詳しくは、VAIOマニュアル「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックし、[設定を変更する]→[ディスプレイの設定を変更する]→[ディスプレイ(画面)の設定を変える]をクリックして表示される各項目の情報をご覧ください。

MPEG1形式で記録されているCDやDVDを再生するときのご注意(PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ)

MPEG1形式で記録されているCDやDVDを本機で再生するときは、付属の「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアで[設定]ボタンをクリックし、[映像・音声出力]タブで[本体]を選んでください。[ソニーMPEG2エンコーダーボード]を選んで本機に接続したテレビに表示することはできません。

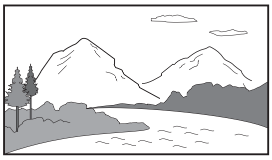
テレビでDVDビデオをご覧になるときのご注意
（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）

本機で再生するDVDビデオをテレビでご覧になるときは、接続するテレビに応じて、アスペクト比の設定、またはDVDビデオのワイド画像を再生するときの画面設定を行ってください。

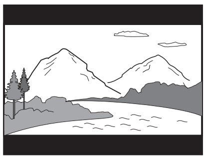
16：9：ワイドテレビまたはワイドモードがあるテレビでご覧になるとき

4：3レターボックス：通常のテレビでワイド画像を横長に表示して画面の上下には帯を入れるとき

16：9



4：3レターボックス



本機に付属の「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアで画面設定を行うときは、以下の手順に従って操作してください。

1 デスクトップ画面左下の

をクリックし、［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Media Bar］、［DVD Player］の順にクリックする。

「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアが起動します。

2

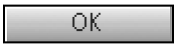
をクリックする。

「DVD設定」画面が表示されます。

3 ［再生］タブをクリックする。

「再生」画面が表示されます。

4 「画像比」の をクリックして、表示されるリストから、接続するテレビに応じて「16：9」または「4：3（レターボックス）」を選ぶ。

5 

をクリックする。

本機のビデオ出力は、ID-1方式に対応しています。ID-1方式に対応したテレビでオートワイドの設定をすると自動的に対応した画面モードになります。詳しくは、接続するテレビの取扱説明書をご覧ください。

本機へアナログ入力するときのご注意（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）

「Giga Pocket」ソフトウェアを使って、本機のアナログ入力コネクタから静止画や動画を取り込むとき、静止画や動画にノイズが出たり、一時途切れたり、取り込みに失敗することがあります。これらの現象は、以下のように映像の同期信号が乱れた場合に起こります。

- 取り込む静止画や動画が乱れたとき、または本機に何も入力されていないとき
- 本機後面のVIDEO 1 INPUTコネクタにつないだケーブルをつなぎかえたとき
- テレビ番組を入力中にテレビ局の放送信号が何らかの原因で乱れたとき
- 入力中のテレビ番組の電波が弱いとき、ノイズが入ったとき、または放送が行われてないとき
- ビデオデッキから映像入力中に、ビデオデッキのチャンネルや入力を切り換えたとき
- ビデオデッキや、ビデオカメラレコーダーから映像入力中に、ビデオテープのつなぎ撮りをした部分を再生したとき
- ビデオカメラレコーダーで録画中に振動やゆれを加えて撮ったテープを再生したとき
- 本機へ映像入力中に再生側のビデオデッキやビデオカメラレコーダーに振動やゆれが加わったとき

「Giga Pocket」ソフトウェアの「Giga ビデオレコーダー」が起動できないときは（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）

エクスプローラで動画ファイルのサムネールを表示していると、「Giga Pocket」ソフトウェアの「Gigaビデオレコーダー」が起動できないことがあります。この場合は、動画ファイルのサムネールを表示しているエクスプローラを終了してから、「Gigaビデオレコーダー」を起動してください。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアを使うときのご注意（PCV-LX95Gシリーズのみ）

「DVgate」や「Giga Pocket」ソフトウェアで作成したMPEGファイルをDVD-RW／DVD-R／CD-RW／CD-RにDVDビデオフォーマットで書き込みを行うソフトウェアです。
作成したDVD-RW／DVD-Rのディスクは、DVDビデオディスクを再生できるVAIOやDVDプレーヤーの一部で再生することができます*。作成したCD-RW／CD-Rのディスクは、「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアのVersion3.1以降を使って再生することができます。
「DVDit! for VAIO」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「DVDit! for VAIO」ソフトウェアのヘルプや電子マニュアルをご覧ください。

* 再生できるVAIOおよびDVDプレーヤーについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアを起動するには

デスクトップ画面左下の

をクリックして、[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[DVDit! for VAIO]、[DVDit! for VAIO]の順にクリックしてください。

ご注意

- 「DVDit! for VAIO」ソフトウェア使用中は、ユーザー切り替え（ファーストユーザースイッチ）をしないでください。データの書き込みに失敗することがあります。
  ユーザー切り替えは「DVDit! for VAIO」ソフトウェアを終了してから行ってください。
- 「ビルド」メニューの「DVDディスクの作成」を選ぶと表示される「DVDディスクの作成」画面で、「オプション」の「ディスクのテストと作成」を選んでDVDディスクの作成を実行すると、ディスクのテストが終わった後に、「書き込みを行いますので、イジェクトされたディスクを再度挿入してください。[OK]をクリックして継続してください。」というメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックしてもこのメッセージは表示されますので、メッセージが表示されなくなるまで何度か[OK]ボタンをクリックしてください。
- 「DVDit! for VAIO」ソフトウェアは、制限ユーザーでは使うことができません。管理者権限のあるユーザーでお使いください。

プロジェクト設定を行うときのご注意

「ファイル」メニューの「プロジェクト設定」を選ぶと表示される「Project Settings」画面で、「プロジェクト」タブの「ディスク名」は、必ずアルファベットでタイトルを入力してください。日本語のタイトルで入力すると、文字が正しく表示されません。

著作権について

このソフトウェアで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者には無断で使用できません。
権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されています。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアのお問い合わせ先

三信電気株式会社　DVDit!　サポートセンター
電話番号：(03)5232-5065
受付時間：10時～12時、13時～17時、月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）
電子メール：DVD-IT@sanshin.co.jp
ホームページ：http://jp.dvdit.com/dvdit/

Simple DVD Maker をお使いになるときのご注意（PCV-LX95Gシリーズのみ）

• AVI（DV）ファイルから作られる一続きの映像のデータ量が DVD 上で 4G バイトを超える場合、DVDを作成中に「エラー（-31000）」と表示され、処理が中止されることがあります。これを回避するために、一続きの映像の変換後の長さが、4Gバイト以下になるようにしてください。DVD 上の1つの映像のサイズが4Gバイト以下になるためには、ビットレートの違いにより、時間の上限は以下のようになります。下記の時間内であればディスクが一杯になるまで複数の映像を入れることができます。

10Mbps:約57分
8Mbps:約73分
6Mbps:約98分
4Mbps：約150分

「エラー（-31000）」と表示された場合、いったん「Simple DVD Maker」ソフトウェアを終了してください。
連番で一続きの映像になっている場合は、AVI（DV）ファイル名変更などの操作を行って、複数の映像に分割して、もう1度やり直してください。また、ひとつのAVI（DV）ファイルの場合は「DVgate Assemble」ソフトウェアを使って複数のファイルに分割して、もう1度やり直してください。

• 処理をキャンセルしたり、エラーがでて処理を中断した時に、「Simple DVD Maker」ソフトウェアを終了することなく、DVDを作るために再び［Make Disc］ボタンを押すと、「ディスクの作業領域に、消去できないフォルダがありました。」という画面が表示されることがあります。この場合は、いったん「Simple DVD Maker」ソフトウェアを終了して再度操作を行ってください。

• 10 MbpsでAVI（DV）ファイルを変換すると、見積ったサイズでは入ることになっている場合でも、実際に DVD を作ろうとすると容量が超過することがあります。AVI（DV）ファイルを10 Mbpsで変換する場合は、合計サイズが4470MB以下になるようにしてください。

省電力機能について

本機には、2つの省電力機能が用意されています。各機能ごとに特長がありますので、使用状況に合わせて使い分けてください。

モード	本機の電源ランプ	ディスプレイの電源ランプ
1 通常モード	緑色に点灯	緑色に点灯
2 スタンバイモード	オレンジ色に点灯	オレンジ色に点灯
3 休止状態	消灯	消灯

1 **通常モード**

通常の動作モードですが、ディスプレイの電源を切り、消費電力を節約することができます。

2 **スタンバイモード**

現在作業中の状態を保持したまま、CPUの電源を切ります。長時間、本機を使用しないときなど消費電力を節約するときに便利です。最低限必要なデバイス以外の電源を切るため、より消費電力を節約することができます。

スタンバイモードに入るには

次の操作で、一時的にシステム全体の動作を停止することができます（スタンバイモード）。このとき、本機前面の⏻（電源）ランプはオレンジ色に点灯します。席をはずすなどして、しばらく作業を中断するときに便利です。

- キーボードの☾（スタンバイ）キーを押す。
- 本機前面の⏻（電源）ボタンを押す。
- 付属のリモコンのテレビ／VAIO切り換えスイッチを「VAIO」に設定し、電源／スタンバイボタンを押す。（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）
- 「Giga Pocket」ソフトウェアの「予約マネージャー」アイコンを右クリックして表示されるメニューから［Windowsのスタンバイ］を選ぶ。（「予約マネージャー」でシャットダウンモードが「スタンバイ」に設定されている場合、お買い上げ時の設定）（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）
- 「スタート」メニューから［終了オプション］を選んで表示される「コンピュータの電源を切る」画面で［スタンバイ］をクリックする。

スタンバイモードから通常の動作モードに戻すには

次の操作でスタンバイモードから通常の動作モードに戻すことができます。

- キーボードのスペースキーを押すか、本機前面の⏻（電源）ボタンを押す。
- 付属のリモコンのテレビ／VAIO切り換えスイッチを「VAIO」に設定し、電源／スタンバイボタンを押す。（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）

ご注意

スタンバイモードは本機の電源が切れた状態ではなく、本機の電源の消費を抑えている状態です。スタンバイモードのときに、電源コードをコンセントから抜かないでください。作業を中断する前の状態に戻れなくなります。また、本機の故障の原因となることがあります。

3 **休止状態**

このモードに入ると、本機の主電源が切れ、内部の主電源部のファンは停止します。

現在作業中の状態をハードディスクに保存して、本機の電源を切ります。2〜3日、本機を使わないようなときに便利です。

休止状態に入るには

休止状態に入るには、デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックし、［終了オプション］をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面でShift（シフト）キーを押しながら［休止状態］をクリックします。

PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズをお使いの方は、「Giga Pocket」ソフトウェアの「予約マネージャー」アイコンを右クリックして表示されるメニューから［Windowsのスタンバイ］を選びます。（「予約マネージャー」でシャットダウンモードが「休止状態」に設定されている場合）

休止状態に入った場合は、リモコンを使って本機を通常の動作モードに戻すことはできません。

休止状態に入ると、本機前面の電源ランプとディスプレイの電源ランプは消灯します。

「電源を切る」（76ページ）の「「休止状態」の利用をおすすめします」もご覧ください。

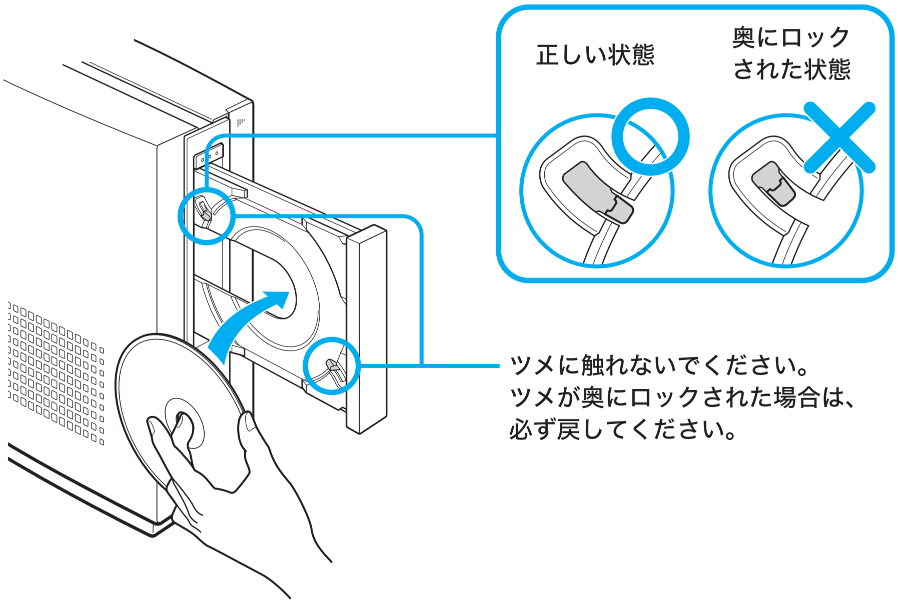
休止状態から通常の動作モードに戻すには

キーボードの☾（電源／スタンバイ）キーを押すか、本機前面の⏻（電源）ボタンを押します。

詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の［VAIOの使いかた］をクリックし、［設定を変更する］、［省電力機能の設定を変更する］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

ディスクドライブをご使用になる際のご注意（PCV-LX95Gシリーズのみ）

ディスクドライブのツメには触れないでください。ツメを奥に押し込んでしまうと、ロックして、ディスクが本体の中で落下したり、ディスクが損傷します。万一、ツメが奥でロックした場合は、必ずツメを元の状態に戻してください。



ツメが奥にロックした状態のままでご使用になって、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となります。また、ディスクが破損した場合は、弊社では補償いたしません。

ご注意

PCV-LX95Gシリーズは、8cm CDには対応しておりません。「サイバーサポート」の[VAIOの使いかた]→[基本的な使いかた]→[ディスクを使う]→[ディスクを入れる／取り出す]をクリックして表示される「8cmディスクを入れるときは」の情報は、PCV-LX95Gシリーズにはあてはまりません。

AVマウスを使用してスカイパーフェクTV!（CSチューナー）またはBSデジタルチューナーの映像を本機で録画する際のご注意（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）

AVマウスを使用してスカイパーフェクTV!（CSチューナー）またはBSデジタルチューナーの映像を本機で予約録画する際は、[画面のプロパティ]の[スクリーンセーバー]タブにある「パスワードの保護」または「再開時にようこそ画面に戻る」のチェックボックスにチェックをいれないでください。
また、3D表示を行うスクリーンセーバーはご使用にならないでください。ご使用になると正常に予約録画が実行されません。

スクリーンセーバーについて詳しくは、「サイバーサポート」の「VAOの使いかた」→「設定を変更する」→「ディスプレイの設定を変更する」→「スクリーンセーバーや電源の設定を変える」をクリックして表示される情報をご覧ください。

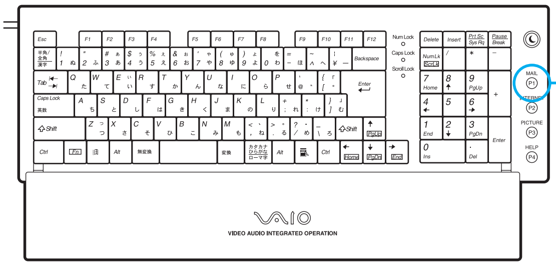
「取扱説明書(本書)」および「電子マニュアル(サイバーサポート)」は、「Office XP搭載モデル」/「非搭載モデル」共通となっております。

保証書に記載されている型名のうち、末尾が“/BP”となっているモデルがOffice XP搭載モデルとなります。

Office XP非搭載モデルをご使用の場合のご注意

PPK(プログラマブルパワーキー)について

本機の初期設定では、キーボードのPPK(プログラマブルパワーキー)のⓅ1キーを押しても、電子メールソフトウェアが起動しません。PPK(プログラマブルパワーキー)の設定については、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]→[基本的な使いかた]→[好みのソフトウェアを自動的に起動する(PPKの使いかた)]→[ワンタッチで起動するソフトウェアを変更する]をクリックして表示される情報をご覧ください。



はじめにお読みください

この章では、本機を使う際に最初に行う準備について説明します。準備が整うと、本機のいろいろな機能が使えるようになります。

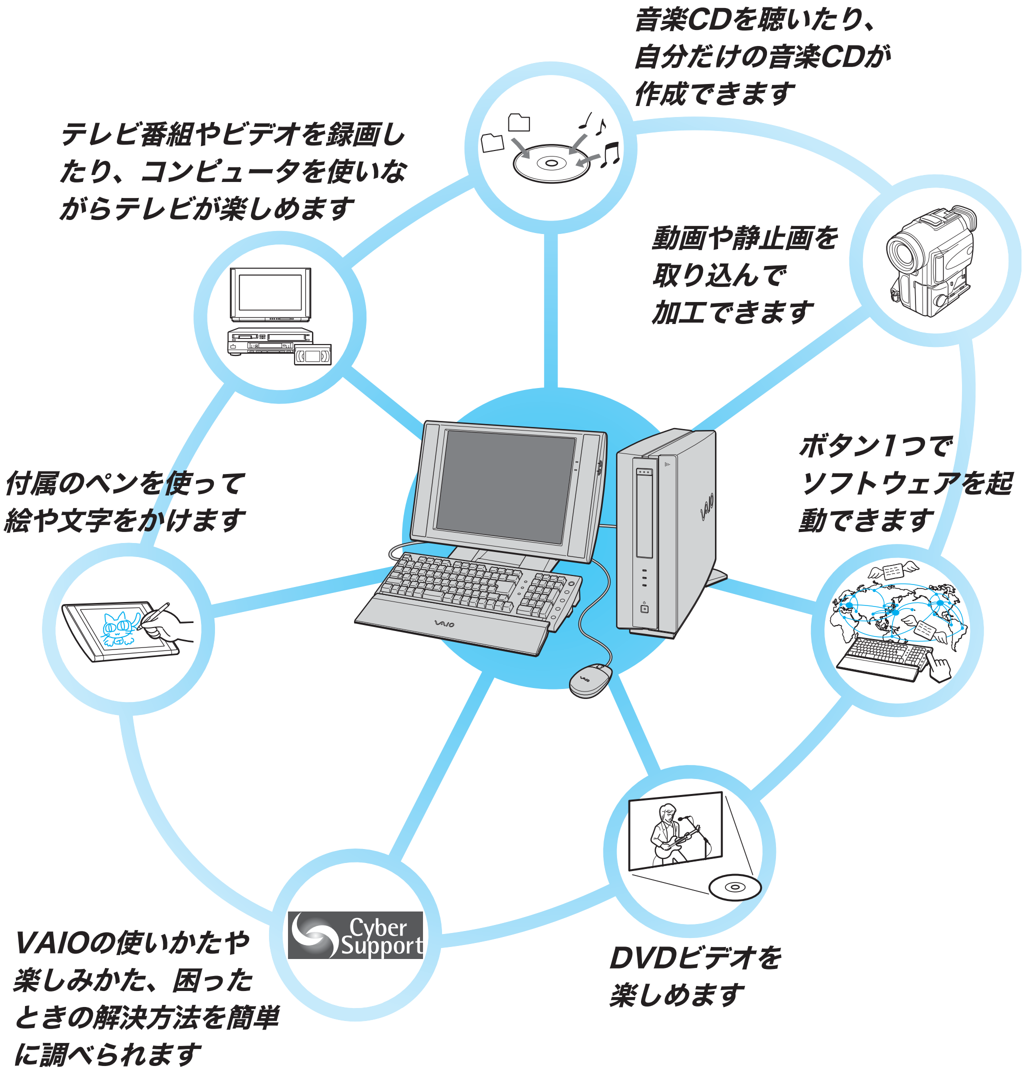
こんなことができます

本機は、場所をとらない省スペース型のデザインと、コミュニケーションを重視し、さらにその使いやすさを追求して設計された、ソニーならではのコンピュータです。

ここでは、本機を使ってできることの例をあげてあります。

なお、これらの機能をお使いいただくには、最初に、本書に沿ってひと通りの接続や準備を完了しておく必要があります。30ページからの説明に従って、本機の接続と準備を行ってください。

また、それぞれの操作について詳しくは、「サイバーサポート」または各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。



各ソフトウェアのお問い合わせ先については、「付属ソフトウェアについて」(277ページ)をご覧ください。

ペンやタブレットを使って文字や絵をかきたい（PCV-LX95Gシリーズ, LX85シリーズのみ）

ソフトウェア	説明
マイフレーズ	入力エリア内に書き込まれた手書き文字を認識して他のプログラムにテキストとして入力するソフトウェアです。
PictureToy	デジタル写真を加工するためのお絵描きソフトウェアです。デジタル写真に手書きで絵を描いたり文字やいろいろなスタンプを貼り付けることができます。

静止画を取り込んで活用したい

ソフトウェア	説明
DigitalPrint	デジタル写真の取り込みからプリント、焼き増し、そしてフォトアルバムの作成やCD、MDラベルの印刷などが手軽に行えます。
PictureGear	動画から画像を合成したり、HTMLアルバム・スライドショーなど画像データを使って、いろいろなものを作ることができます。

動画を取り込んで編集したい

ソフトウェア	説明
MovieShaker	映像ファイルを組み合わせてオリジナルの作品が作れるソフトウェアです。好きなシーンを集めて「シェイク」すると自動的に楽しい作品ができあがります。
DVgate	デジタルビデオカメラなどで撮影した映像をVAIOに取り込み、必要な部分を切り取って編集することができます。

音楽CDを聴いたり作成したい

ソフトウェア	説明
SonicStage for VAIO	音楽CDの再生/録音や、インターネット上の音楽配信サービスの利用、オリジナルCDの作成、対応ポータブルプレーヤーへの書き出しまで、音楽を統合環境で快適に楽しめます。
RecordNow DX (PCV-LX95Gシリーズのみ)	手軽にオリジナルCDやDVDの作成ができます。

DVDを楽しむ

ソフトウェア	説明
Media Bar DVDプレーヤー	スマートな操作で高画質、高音質なDVD再生を実現するDVDプレーヤーです。
Simple DVD Maker (PCV-LX95Gシリーズのみ)	ドラッグアンドドロップの手軽な操作で動画をDVDや「Media Bar DVDプレーヤー」ソフトウェアで再生できるCDに出力できます。

テレビ番組を見たり、録画したい（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）

ソフトウェア	説明
Giga Pocket	VAIOでテレビを楽しむためのソフトウェア群です。テレビを見る、予約録画する、録画した番組（ビデオカプセル）を整理することなどができます。

ボタン１つでソフトウェアを起動したい

ソフトウェア	説明
VAIO Action Setup	本機のキーボードのPPK(プログラマブルパワーキー)の働きを設定するためのソフトウェアです。タイマーの設定をすることもできます。

VAIOの使いかたや困ったときの解決方法を簡単に調べたい

ソフトウェア	説明
CyberSupport for VAIO	本機についての情報を知りたいときや、本機を使っていて困ったことや疑問があったときに使用するソフトウェアです。

操作の流れ

本機をお使いになる前に必要な準備や操作の大まかな流れを以下に示します。

1 付属品を確かめる(32ページ)

箱を開け、この説明書を読みながら本機の付属品がすべてそろっているか確かめます。

2 各部のなまえ(35ページ)

本機の各部のなまえを紹介します。

3 設置する(41ページ)

本機を設置する場所を決めます。

4 接続する/準備する(47ページ)

ディスプレイやテレホンコードなどを接続します。

電話回線にISDN回線をお使いになる場合は NTT(局番なしの116番)にご相談ください。

5 電源を入れる(63ページ)

本機の電源を入れます。

6 Windowsを準備する(64ページ)

Windowsを使うために、名前などを登録します。

7 テレビを見る準備をする(PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ)(70ページ)

テレビを見るために、「Giga Pocket」ソフトウェアの設定をします。

8 電源を切る(76ページ)

本機の電源を切ります。

必要に応じて下記もご覧ください。

- ❑ **コンピュータの基本操作（79ページ）**

  コンピュータを初めてお使いになる方は、このページをお読みになり、マウスやキーボードの使いかたを練習してください。

- ❑ **カスタマー登録する／インターネットに接続する（91ページ）**

  登録カスタマー専用のいろいろなサービスを受けられるように、本機をカスタマー登録してください。インターネットを始めたい方は、このページをお読みになり、インターネット接続のための準備を行います。ホームページを見たり、電子メールをやりとりしたりする方法も練習してください。

- ❑ **本機の使いかたがわからないときに（159ページ）**

  本機の使いかたがわからなくなったときに、読むマニュアルやヘルプの使いかたを説明しています。

- ❑ **困ったときは（173ページ）**

  本機を操作していてトラブルが発生したときにご覧ください。

- ❑ **接続／拡張するときは（217ページ）**

  本機と周辺機器を接続したり、本機を拡張するときにご覧ください。

- ❑ **その他（249ページ）**

  本機をお使いになる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明しています。

付属品を確かめる

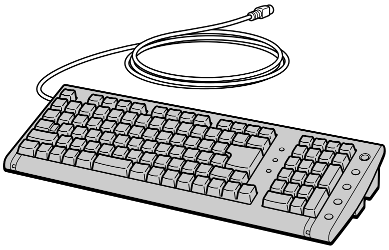
本機を初めて使うにあたって、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。
❑マークにチェックしながら確認すると便利です。

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンク修理窓口または販売店にご連絡ください。

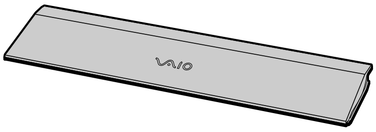
本書で使用するものについては、本書がついています。

❑ **コンピュータ本体**(1) 本書

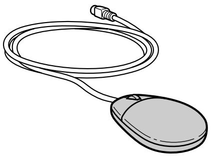
❑ **キーボード**(1) 本書



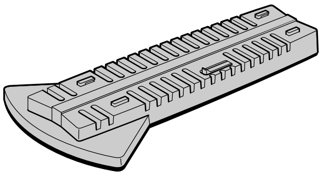
❑ **パームレスト**(1) 本書



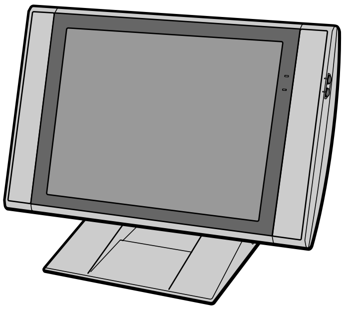
❑ **マウス**(1) 本書



❑ **縦置きスタンド**(1) 本書

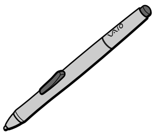


❑ **液晶ディスプレイ**(1) 本書

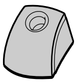


❑ **ペン一式**(PCV-LX95G**シリーズ**, LX85**シリーズのみ**)

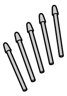
ペン(1)



ペンスタンド(1)

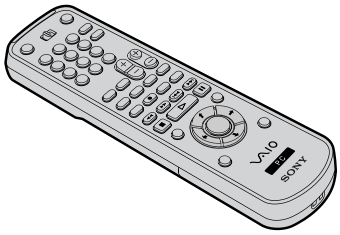


替え芯(5)

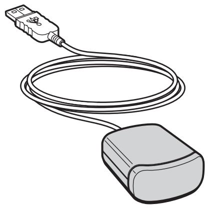


芯抜き(1)

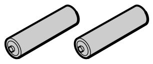
- ❑ **リモコン** 本書
  （PCV-LX95G**シリーズ**,LX55G**シリーズのみ**、1）



- ❑ **リモコン用受光ユニット** 本書
  （PCV-LX95G**シリーズ**,LX55G**シリーズのみ**、1）

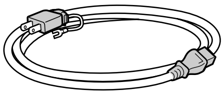


- ❑ **単３乾電池** 本書
  （PCV-LX95G**シリーズ**,LX55G**シリーズのみ**、2）

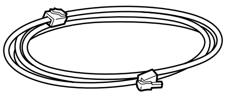


ケーブル

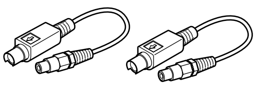
- ❑ **電源コード**（1） 本書



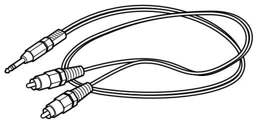
- ❑ **テレホンコード**（1） 本書



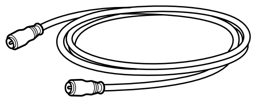
- ❑ **ビデオ接続用変換コネクタ** 本書
  （PCV-LX95G**シリーズ**,LX55G**シリーズのみ**、2）



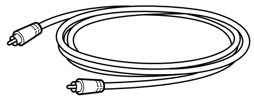
- ❑ **オーディオ接続ケーブル** 本書
  （PCV-LX95G**シリーズ**,LX55G**シリーズのみ**、1）



- ❑ **アンテナ接続ケーブル** 本書
  （PCV-LX95G**シリーズ**,LX55G**シリーズのみ**、1）



- ❑ **ビデオ接続ケーブル** 本書
  （PCV-LX95G**シリーズ**,LX55G**シリーズのみ**、1）



説明書およびディスク

❏ **取扱説明書（本書、1）**

❏ **「Giga Pocket」取扱説明書（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ、1）**

❏ **「Microsoft（マイクロソフト）® Windows（ウィンドウズ）® XP（エックスピー） Home（ホーム） Edition（エディション）」ファーストステップガイド（1）**

❏ **リカバリディスクパッケージ（1）**

ご注意

「Microsoft® Windows® XP Home Edition」ファーストステップガイドおよびリカバリディスクは再発行できませんので、大切に保管してください。

❏ **Microsoft（マイクロソフト）® Office（オフィス） XP（エックスピー） Personal（パーソナル）プレインストールパッケージ（型名の末尾が“BP”の機種のみ同梱、1）**

ちょっと一言

- 本機の使いかたについて詳しくは、キーボードのP4キーを押して、「サイバーサポート」をご覧ください。使いかたについて詳しくは、「「サイバーサポート」の使いかた」（162ページ）をご覧ください。
- 各ソフトウェアの操作について詳しくは、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。ソフトウェアの中には、電子マニュアルが付属しているものがあります。電子マニュアルを見るには、デスクトップ画面左下の

をクリックし、[すべてのプログラム]にポインタを合わせ[VAIOソフトウェアはこちら]、[VAIOソフトウェアマニュアル]の順にクリックして、見たいソフトウェアの電子マニュアルを選んでください。

電子マニュアルとは

本機の使いかたやソフトウェアの操作説明などをディスプレイ画面上で読めるようにしたマニュアルのことです。

その他

❏ **VAIOサービス・サポートのご案内（1）**

❏ **VAIOカルテ（1）**

❏ **ソフトウェア使用許諾契約書（1）**

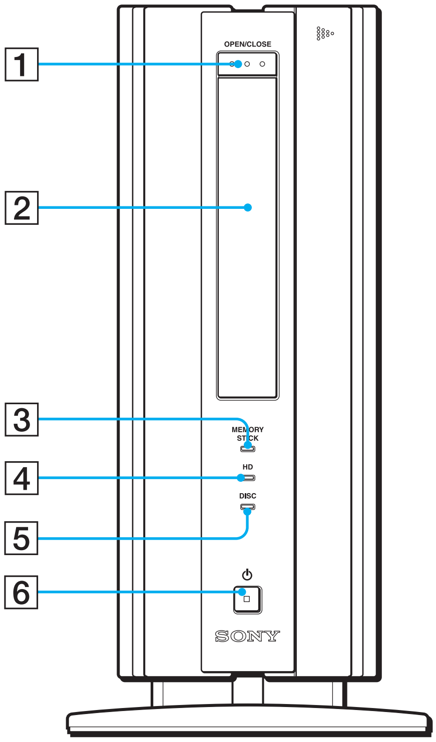
❏ **VAIOカスタマー登録、保証書お申込書（1）**

❏ **その他パンフレット類**

各部のなまえ

ここでは本機の各部のなまえを紹介します。各部のなまえとはたらきについて詳しくは（　　）内のページおよび「サイバーサポート」画面上部の［VAIOの使いかた］をクリックして、［各部の説明］をクリックして表示される情報をご覧ください。
「サイバーサポート」の見かたについて詳しくは、「「サイバーサポート」の使いかた」（162ページ）をご覧ください。

本機前面



1 OPEN／CLOSE**ボタン**

2 DVD-RW**ドライブ**
（PCV-LX95G**シリーズ）**
CD-RW／DVD-ROM**一体型ドライブ**
（PCV-LX85**シリーズ**, LX55G**シリーズ**,
LX55**シリーズ）**

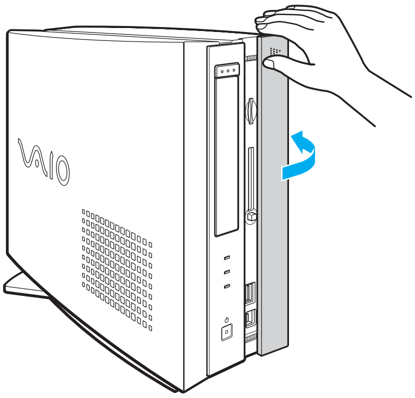
3 MEMORY STICK **（メモリースティック）アクセスランプ**

4 HD**（ハードディスク）アクセスランプ**

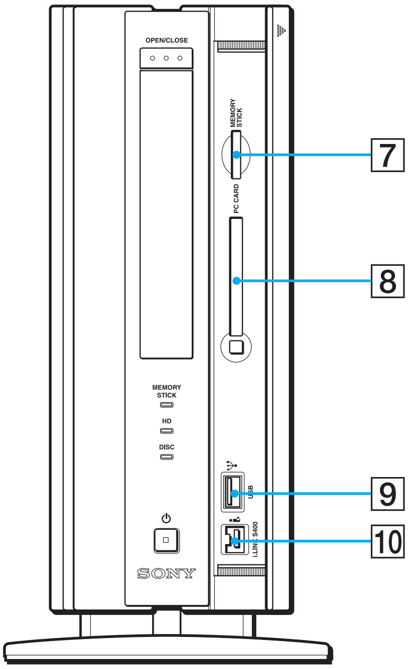
5 DISC**（ディスク）アクセスランプ**

6 ⏻**（電源）ボタンと電源ランプ**
（63**ページ）**

本機前面（ふたを開けた状態）



ふたの開けかた



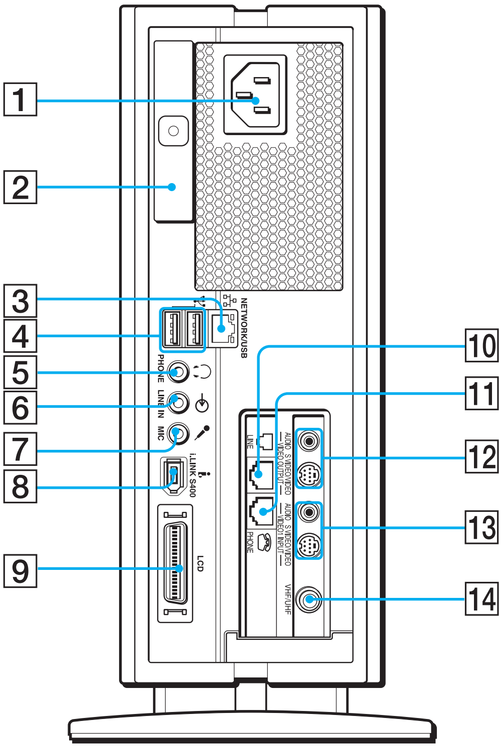
7 MEMORY STICK （メモリースティック）スロット

8 PC CARD（PCカード）スロット（232ページ）

9 USB（Universal Serial Bus）コネクタ（230ページ）

10 i.LINK S400 コネクタ（4ピン）（218ページ）

本機後面



1 AC**電源入力プラグ**

2 **リリースレバー**(241**ページ**)、(244**ページ**)

3 NETWORK**(ネットワーク)コネクタ**(231**ページ**)

4 USB(Universal Serial Bus)**コネクタ**(230**ページ**)

5 PHONE**(ヘッドホン)コネクタ**

6 LINE IN**(ライン入力)コネクタ**

7 MIC**(マイクロホン)コネクタ**

8 i.LINK S400 **コネクタ**(6**ピン**)(218**ページ**)

9 LCD**(液晶ディスプレイ)コネクタ**

10 LINE**(電話回線)ジャック**

11 PHONE**(電話機)ジャック**

12 VIDEO OUTPUT**(映像出力)コネクタ**(PCV-LX95G**シリーズ**, LX55G**シリーズのみ**)(226**ページ**)

S VIDEO ／ VIDEO

(S 映像／映像出力)コネクタ

AUDIO(音声出力)コネクタ

13 VIDEO1 INPUT**(映像入力)コネクタ**(PCV-LX95G**シリーズ**, LX55G**シリーズのみ**)(224**ページ**)

S VIDEO ／ VIDEO

(S 映像／映像入力)コネクタ

AUDIO(音声入力)コネクタ

14 VHF/UHF**(アンテナ)コネクタ**(PCV-LX95G**シリーズ**, LX55G**シリーズのみ**)

液晶ディスプレイ

広視野角液晶ペンタブレットディスプレイ

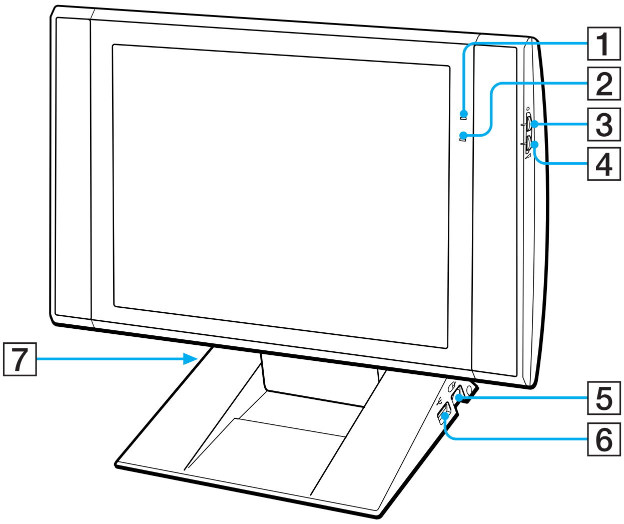
（PCV-LX95Gシリーズ, LX85シリーズ）

広視野角液晶ディスプレイ

（PCV-LX55Gシリーズ）

液晶ディスプレイ

（PCV-LX55シリーズ）



1 （電源）ランプ（63ページ）

2 （インフォメーション）ランプ

3 （明るさ調節）ダイヤル（63ページ）

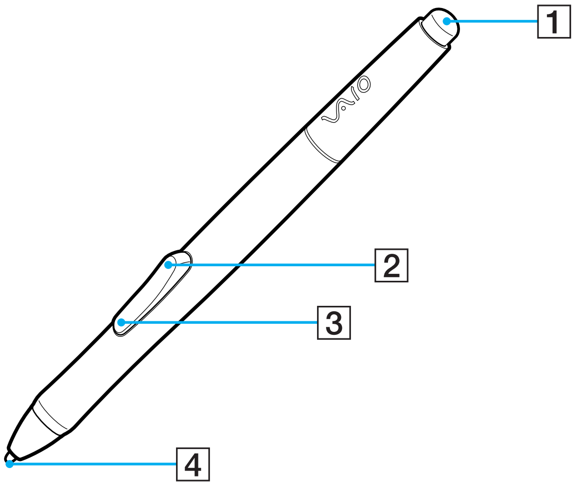
4 （音量調節）ダイヤル（63ページ）

5 （マウス）コネクタ（49ページ）

6 USB（Universal Serial Bus）コネクタ（230ページ）

7 （キーボード）コネクタ（49ページ）

ペン（PCV-LX95Gシリーズ, LX85シリーズのみ）

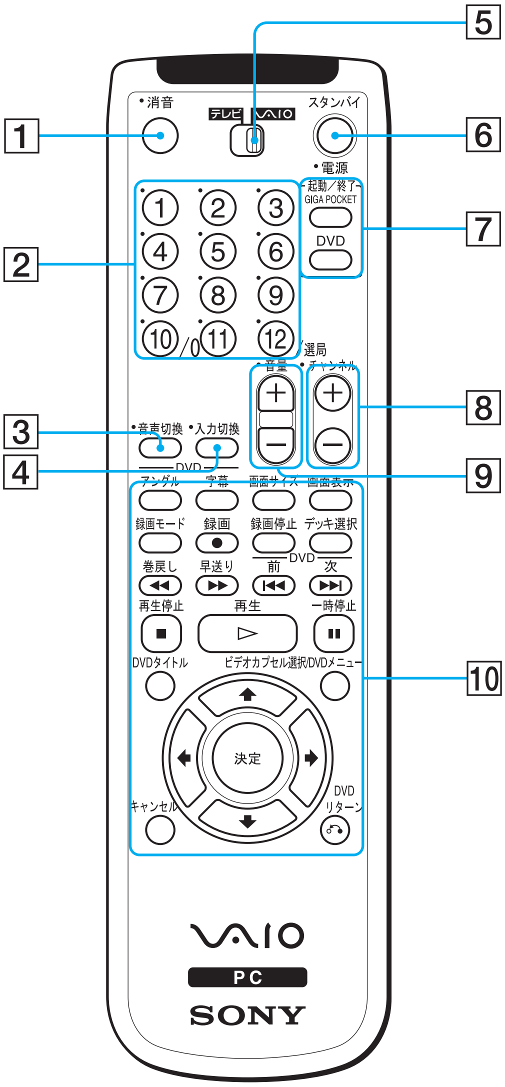


1 テールスイッチ
2 セカンドサイドスイッチ
3 サイドスイッチ
4 ペン先

ペン先をかえるには

長い間ペンを使っているとペン先がすりきれたり、汚れたりして、デスクトップ画面のポインタの反応が遅くなったり、文字や絵がかきづらくなることがあります。
このときは、ペン先についている芯を付属の芯抜きで取り、付属の新しい芯に取りかえてください。

リモコン(PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ)



1 **消音ボタン**

2 **チャンネル数字ボタン**

3 **音声切換ボタン**

4 **入力切換ボタン**

5 **テレビ／VAIO切換スイッチ**

6 **電源／スタンバイボタン**

7 **「Giga Pocket」ソフトウェア／「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェア起動／終了ボタン**

8 **チャンネルボタン**

9 **音量ボタン**

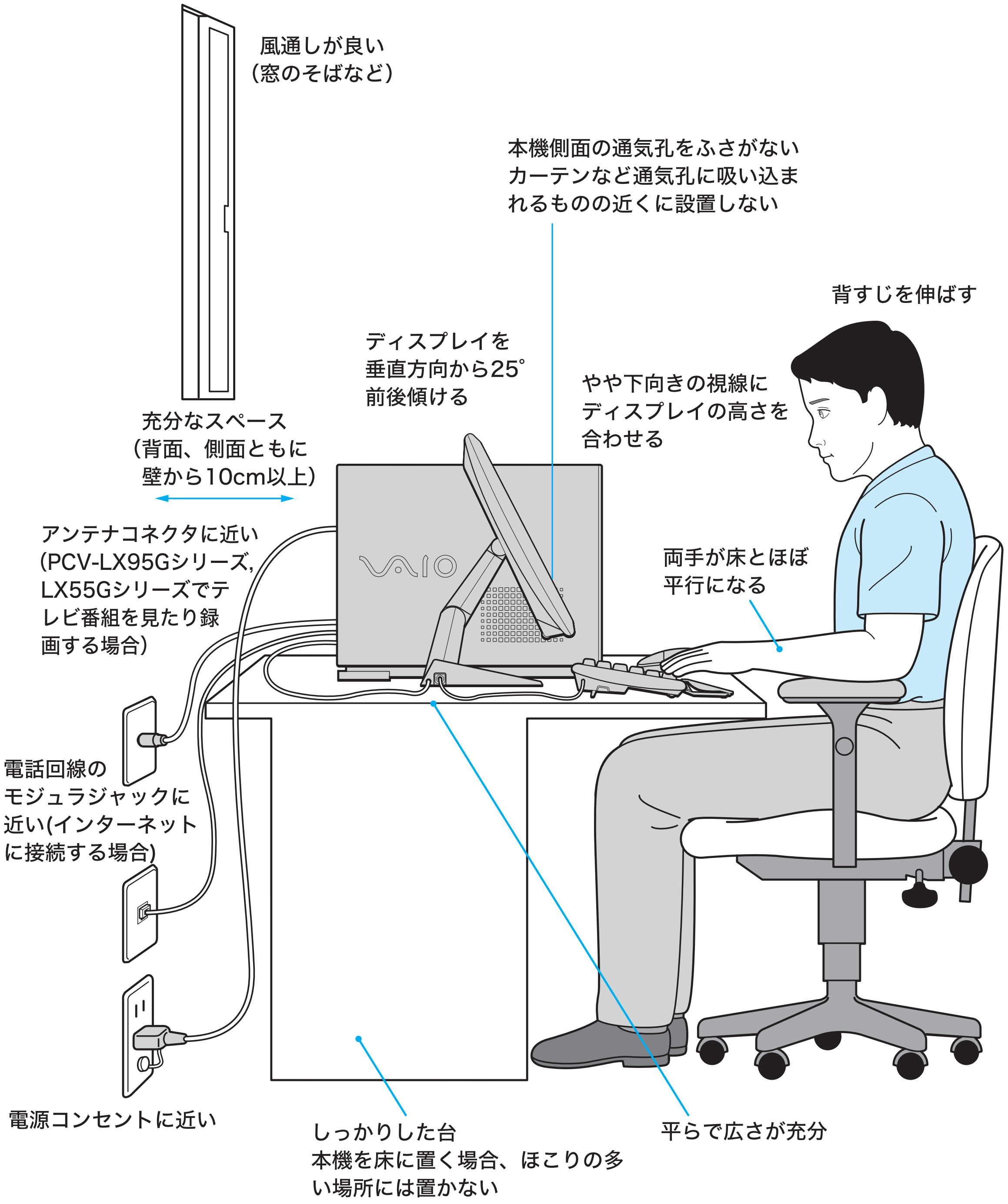
10 **「Giga Pocket」ソフトウェア／「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェア操作ボタン**

ちょっと一言

- 5ボタン、チャンネル＋ーボタンに突起が付いています。
- リモコンの使いかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[各部の説明]→[各部の説明:リモコン]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

設置する

下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。

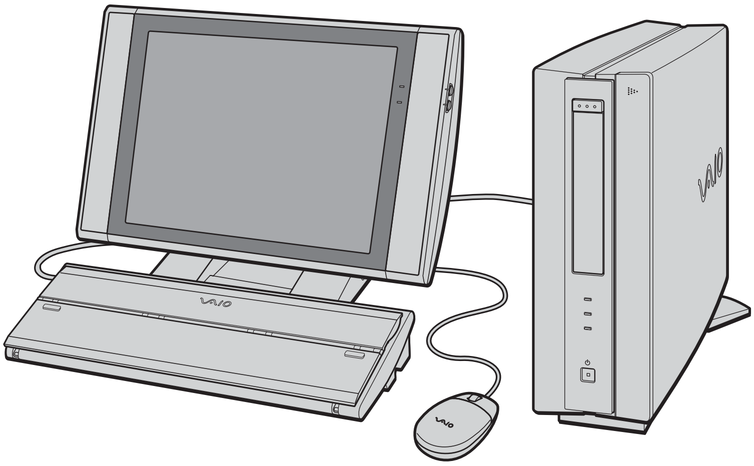


ご注意

- 必ず壁から 10cm 以上離して設置してください。
- ほこりの多い場所では、床に置かないでください。通気孔からほこりを吸い込んで故障の原因となることがあります。

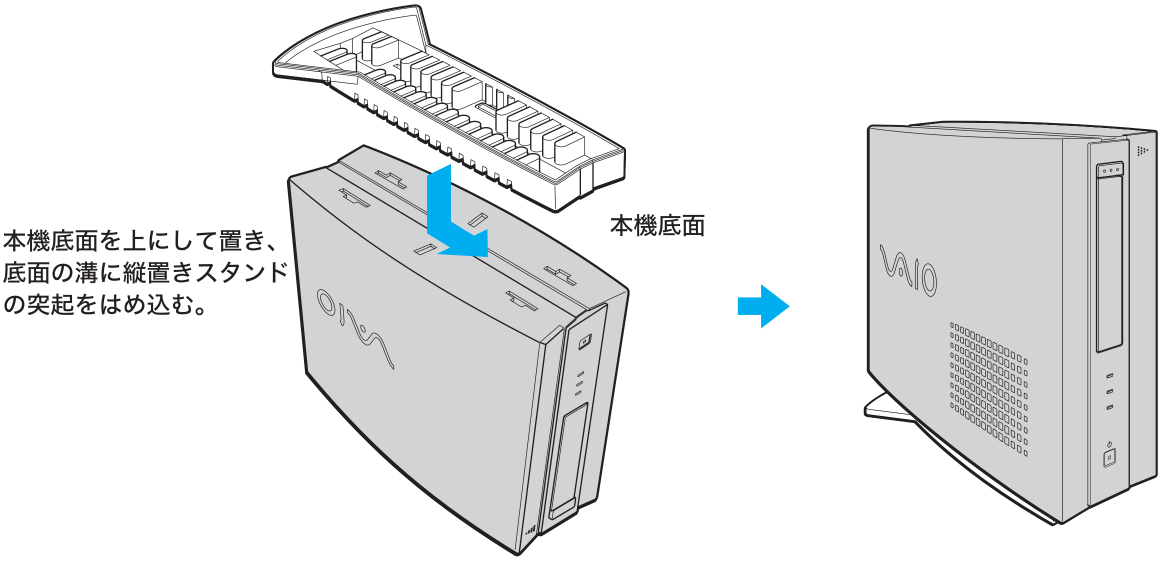
設置のしかた

付属の縦置きスタンドを使って縦置きにして設置します。



本機に縦置きスタンドを取り付けるには

付属の縦置きスタンドを本機の底面に取り付けてください。

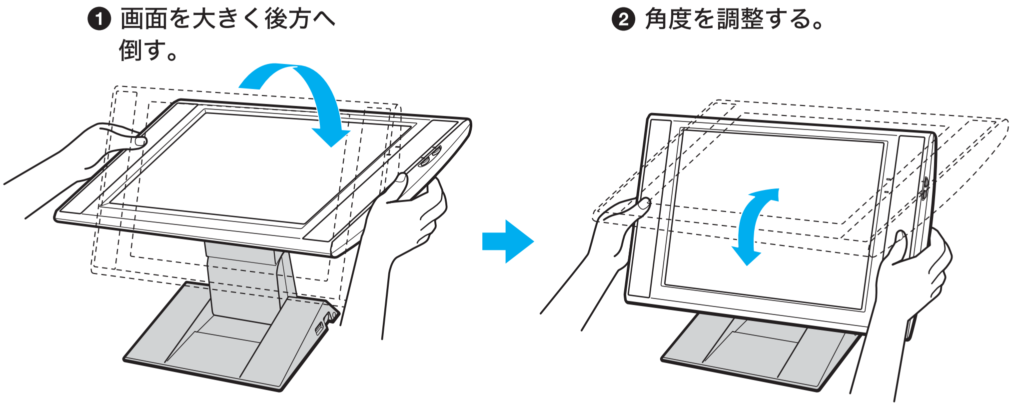


ご注意

本機を設置するときは、必ず縦置きスタンドをご使用ください。縦置きスタンドを使わないと、空気取り入れ口がふさがれて本機内部に熱がこもり、故障の原因となります。

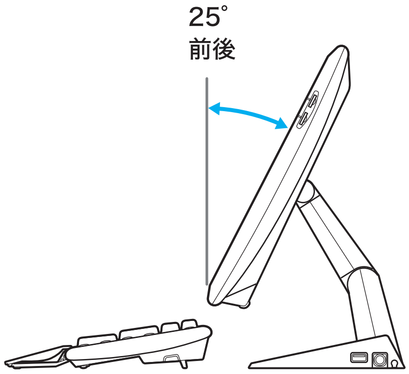
ディスプレイの高さと角度を調整するには

付属の液晶ディスプレイの画面の高さと角度を調整するときは、両手を画面の側部に添えます。画面を大きく後方へ倒してから手前に起こして高さを調整し、そのあと、画面の角度を調整します。



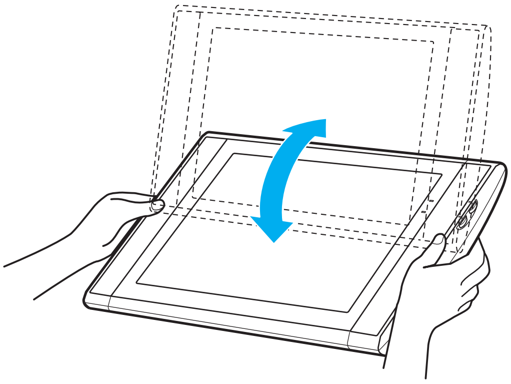
ちょっと一言

付属の液晶ディスプレイは、人間工学的に見やすい角度に調整できるよう設計されています。
ディスプレイは、画面がキーボードに触れない程度の高さに設置し、垂直から25 ° 前後傾けた目にやさしい角度（エルゴノミクスアングル）に調整してお使いになることをおすすめします。



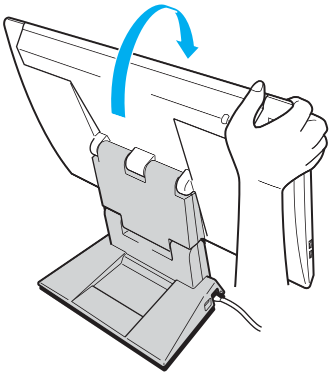
ペンタブレットを使うには（PCV-LX95Gシリーズ，LX85シリーズのみ）

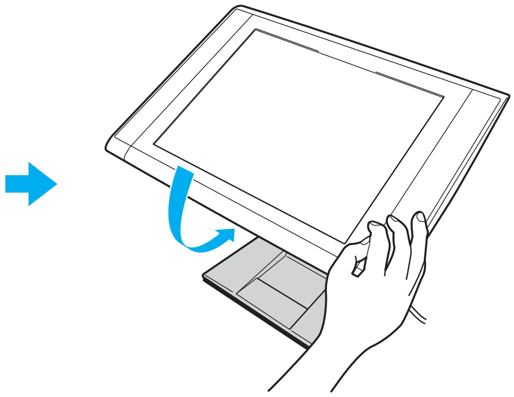
液晶ディスプレイをペンタブレットとして使うときは、両手を液晶ディスプレイの側部に添えて、ディスプレイの下端（前側）が接地する位置まで移動します。そのあと、画面の角度を調整します。



両手を液晶ディスプレイの側部に添えて、ディスプレイの下端（前側）が接地するまで移動し、ディスプレイを見やすい角度に調整する。

液晶ディスプレイとして使うときは





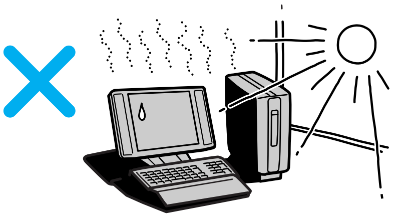
❶ ディスプレイの下部を一番上まで持ち上げる。

❷ ディスプレイ画面を手前に向けて、見やすい角度に調整する。

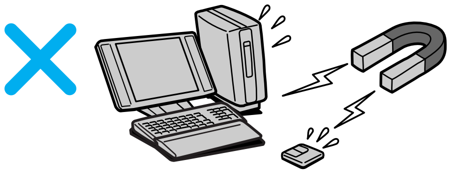
設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

❑ **直射日光が当たる場所**

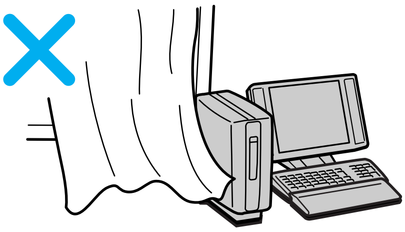


❑ **磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く**



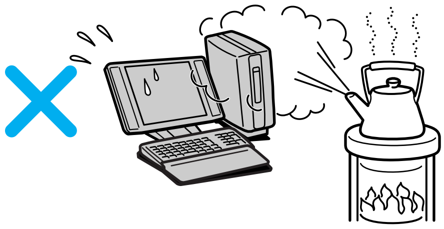
❑ **暖房器具の近くなど、温度が高い場所**

❑ **カーテンの近く**



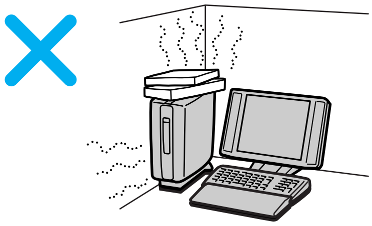
❑ **ほこりが多い場所**

❑ **湿気が多い場所**



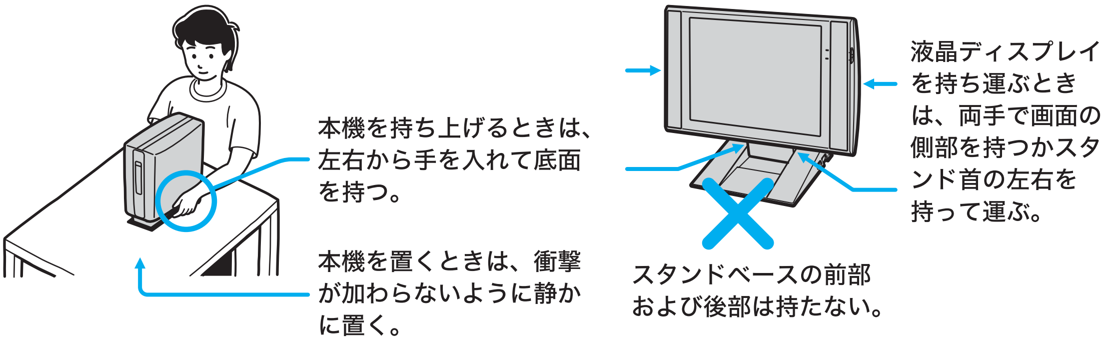
❑ **風通しが悪い場所**

❑ **通気孔からの換気が充分できない場所**



設置時のご注意

次のことをお守りください。



このほかにも、設置の際の安全上の注意事項が8ページから記載されています。そちらもあわせてご覧ください。

接続する／準備する

ディスプレイ、キーボード、マウス、テレホンコード、電源コードを以下の手順に従って接続します。
PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズをお使いの場合は、リモコン用受光ユニット、アンテナ、ビデオデッキを接続し、リモコンを使えるように準備します。

ちょっと一言

特に記載のない場合、イラストはPCV-LX85シリーズのものです。

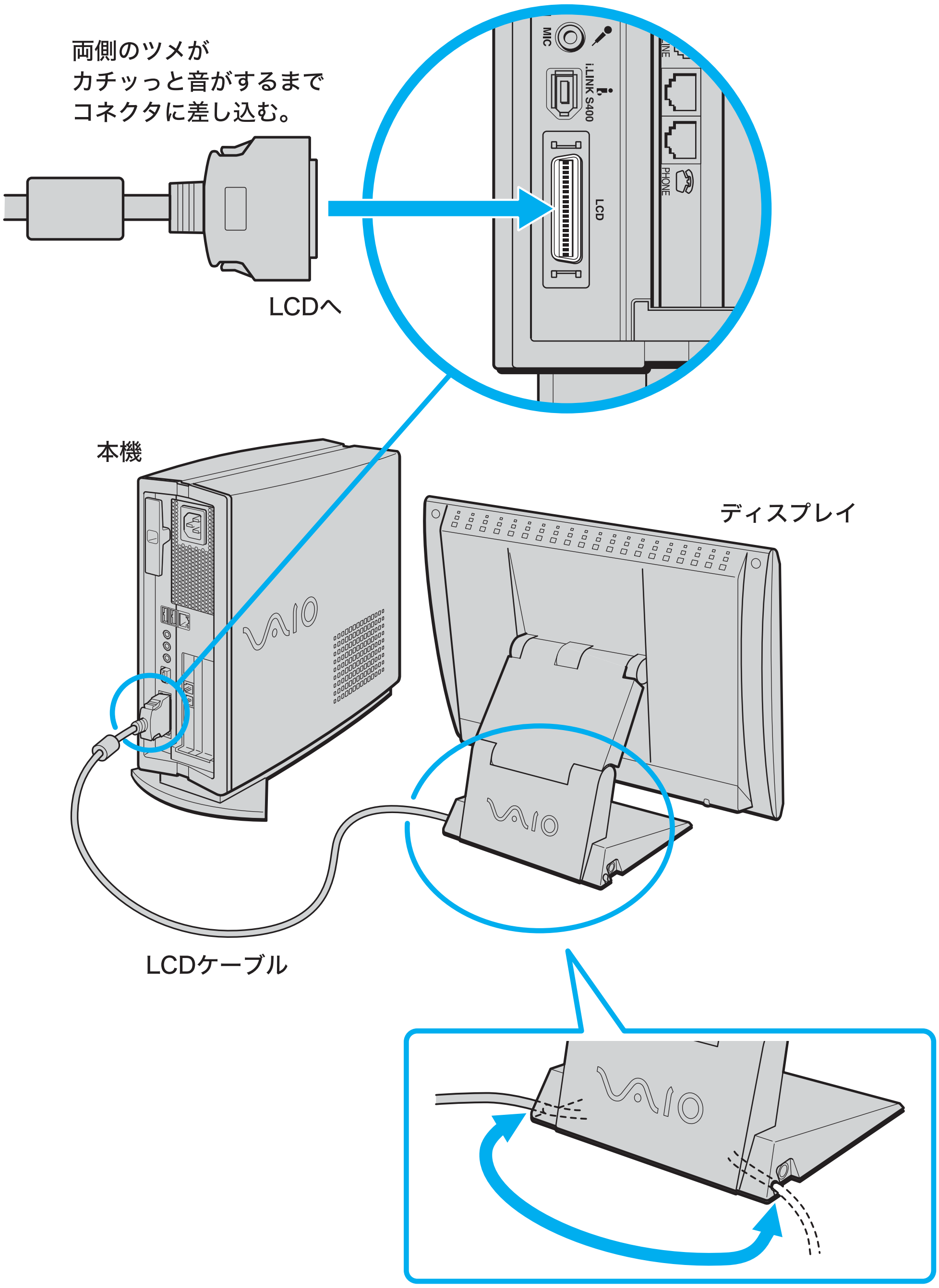
接続する前に

本機は、お買い求めになった機種により、接続のしかたが異なります。
お買い求めになった機種名を確認し、その機種に合った接続手順を下記の表で確認をしてから、接続を行ってください。

手順	機種名
1 ディスプレイを接続する 2 キーボードとマウスを接続する 3 電話回線に接続する	全機種
4 リモコン用受光ユニットを接続する 5 リモコンを準備する 6 アンテナを接続する 7 ビデオデッキまたはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV！（CSチューナー）またはBSデジタルチューナーを接続する	PCV-LX95Gシリーズ, PCV-LX55Gシリーズをお使いの場合のみ 手順4～7の接続をするとテレビを見たり、番組を録画したりすることができます。
8 電源コードを接続する	全機種

1　付属の液晶ディスプレイを接続する。

ディスプレイのLCDケーブルを本機後面のLCDコネクタに差し込みます。



ちょっと一言

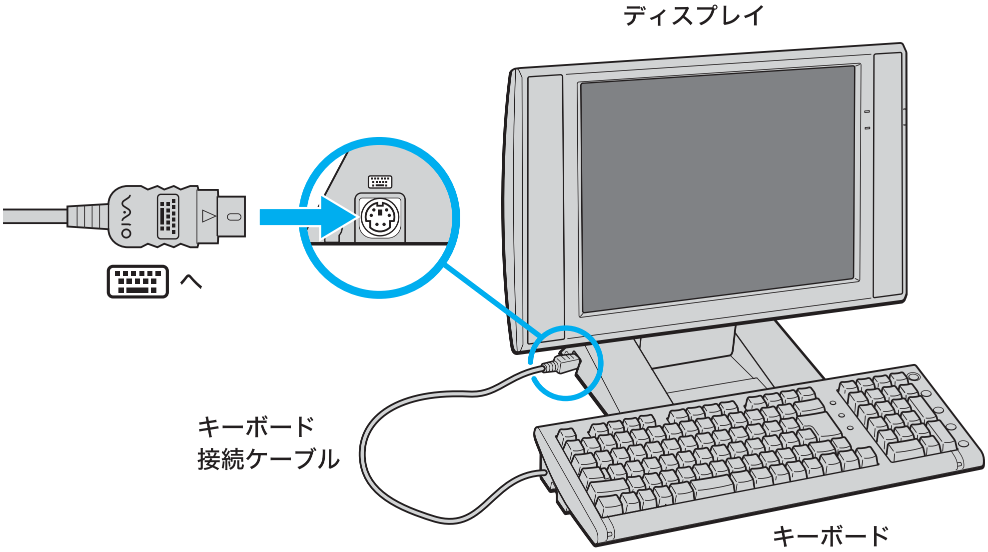
ディスプレイの足の部分には、LCDケーブルを出す2つの穴があります。設置する場所に最も適した穴からケーブルを出してください。

ご注意

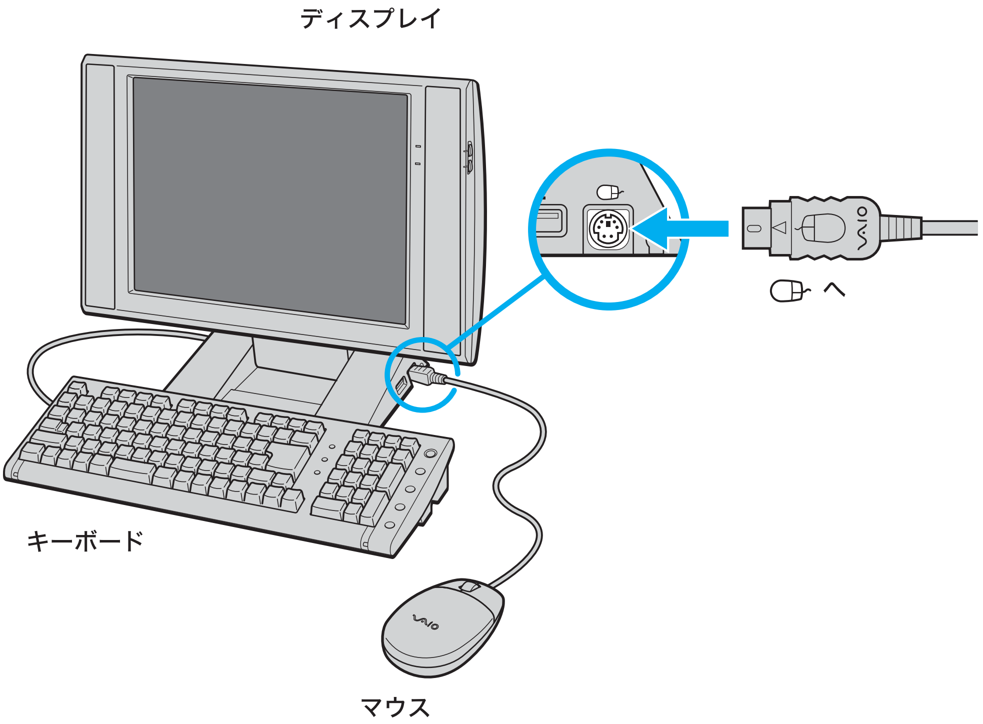
ディスプレイのLCDケーブルがLCDコネクタにしっかり差し込まれていることを確認してください。中途半端に差し込まれていると、画面が赤みがかって表示されることがあります。

2 キーボードとマウスを接続する。

1. **キーボード接続ケーブルをディスプレイ左側面の（キーボード）コネクタへ差し込む。**

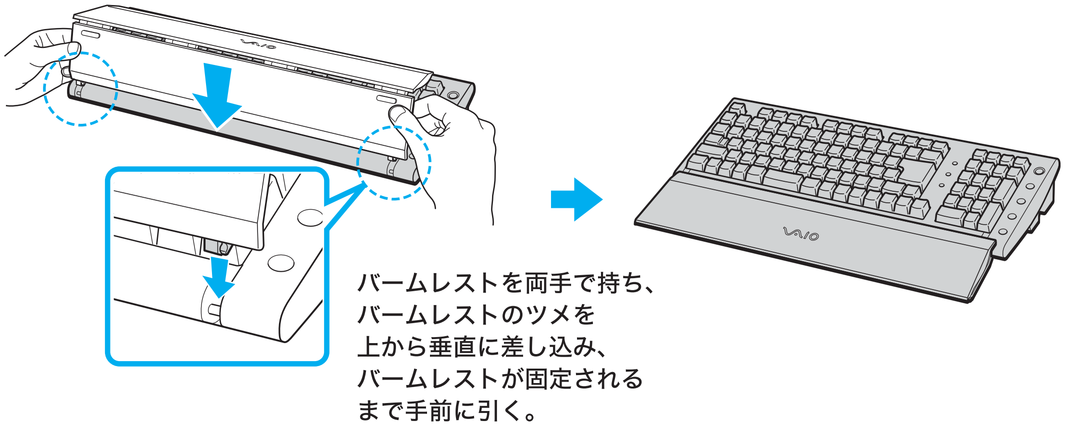


2. **付属のマウスのケーブルをディスプレイ右側面の（マウス）コネクタへ差し込む。**

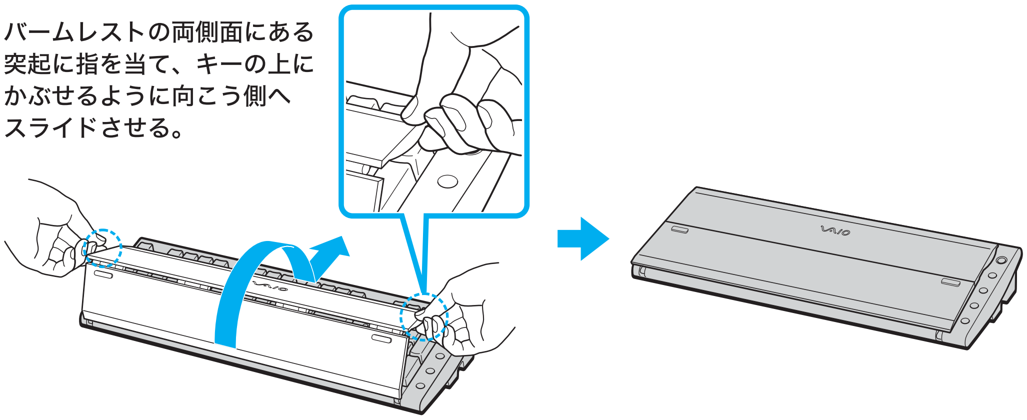


キーボードにパームレストを取り付けるには

キーボードを使うとき、手首に負担がかかりにくくなります。



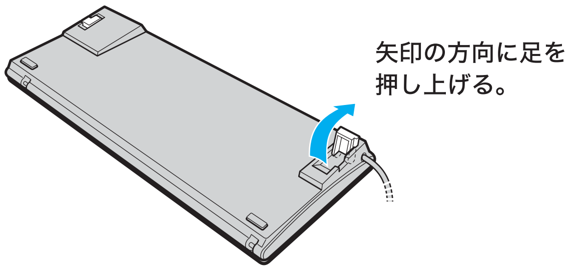
パームレストはキーボードを使わないときにキーボードのふたとしても使うことができます。



キーボードの足を立てるには

キーボードの足を立てると、キーボードを使うときキーを打ちやすくなります。

キーボード底面



3 電話回線に接続する。

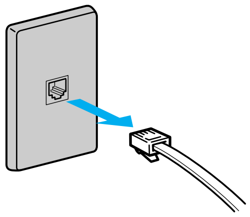
インターネットに接続するなどデータ通信をするときは、付属のテレホンコードを使って本機を電話回線につなぎます。

インターネットへの接続について詳しくは、「インターネットを始める」(102ページ)をご覧ください。

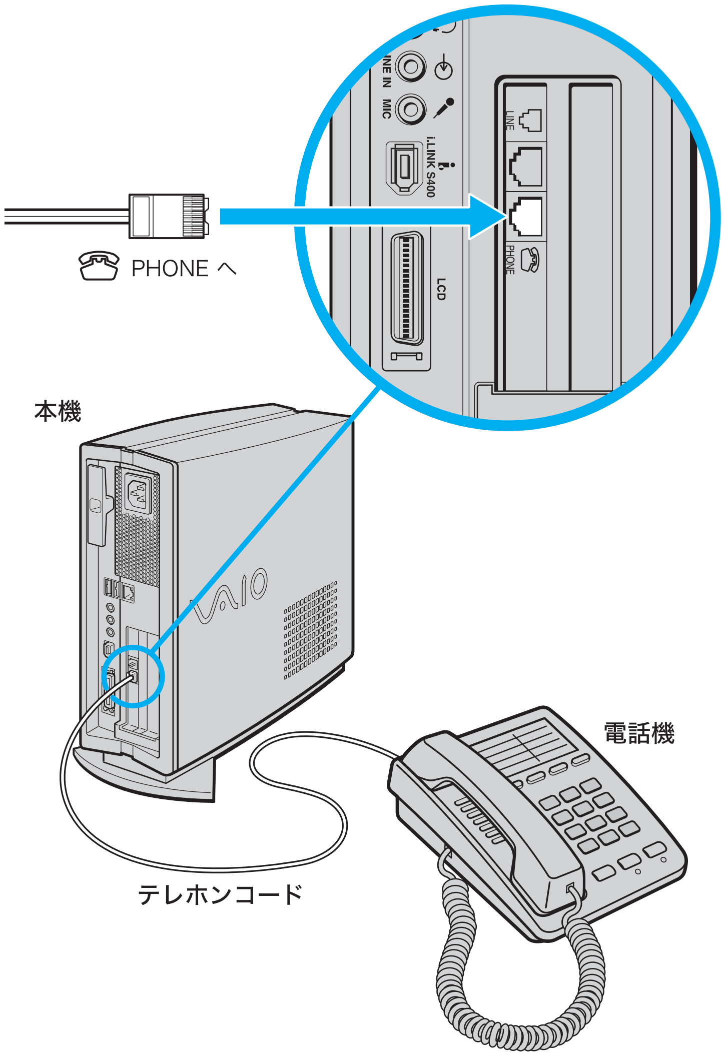
ちょっと一言

下記は、ひとつの電話回線のモジュラジャックに、本機とお使いの電話機の両方をつなぐときの手順です。電話回線のモジュラジャックに本機のみつなぐときは、❶❷を行う必要はありません。

1 お使いの電話機のテレホンコードを電話回線のモジュラジャックからはずす。



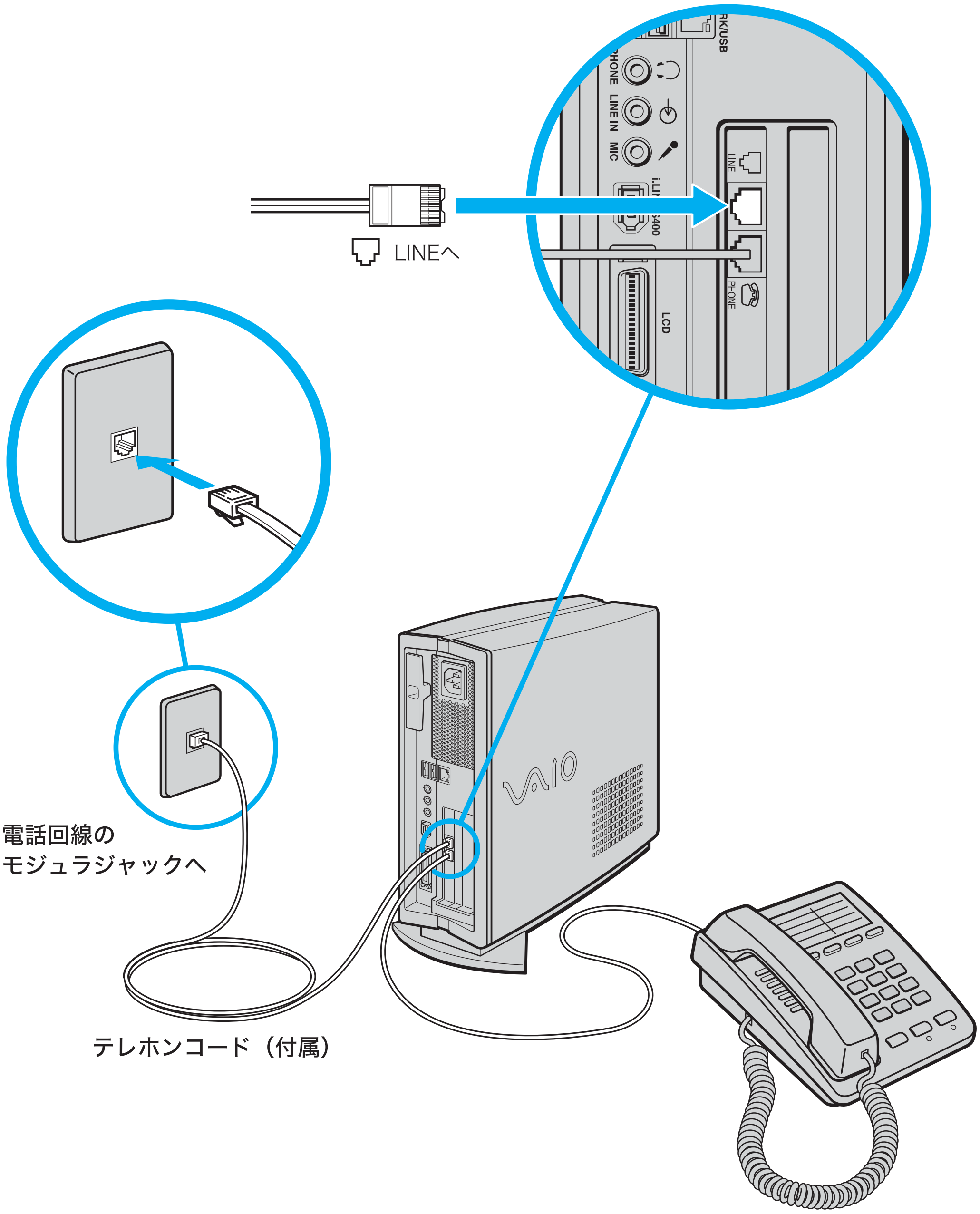
2 1ではずしたテレホンコードを本機のPHONE(電話機)ジャックにカチッと音がするまで差し込む。



ご注意

テレホンコードは本機後面のNETWORK(ネットワーク)コネクタに接続しないでください。

3 付属のテレホンコードの一方を本機のLINE(電話回線)ジャックへ、もう一方を電話回線のモジュラジャックへ差し込む。

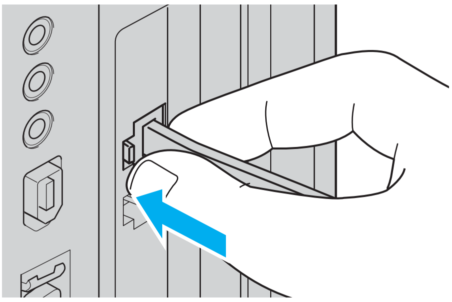


ちょっと一言

電話回線のコンセントの形状が付属のテレホンコードに合わないときは交換工事や取り付け工事が必要な場合があります。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[VAIOインフォメーション]→[知っ得情報]→[電話回線のコンセントの種類]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

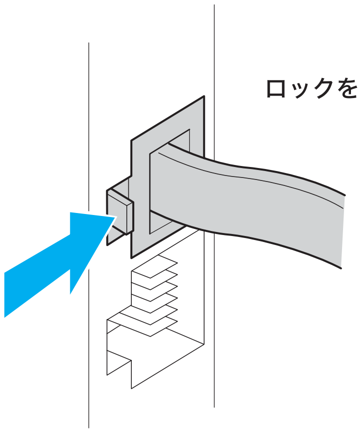
本機からテレホンコードを取りはずすには

1. **PHONE（電話機）ジャックまたはLINE（電話回線）ジャックにつながっているテレホンコードのモジュラアダプタ部分をいったん本機の奥に押し込む。**



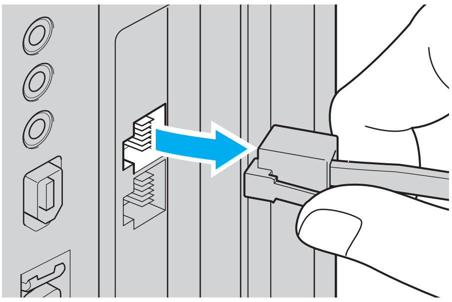
奥へ押し込む

2. **モジュラアダプタのロックを押し、テレホンコード部分といっしょにつかむ。**



3. **ロックを押しながら、斜め右方向に引き抜く。**

斜め右方向へ
引き抜く

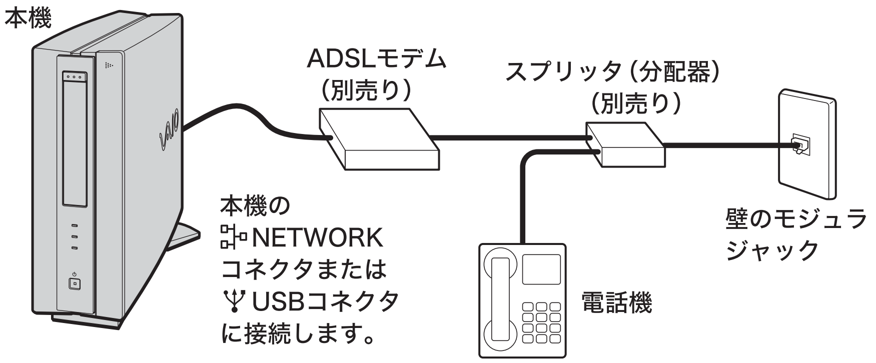


ADSLにつなぐときは

ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットへ高速に常時接続できるサービスのことです。このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者と契約し、申し込むことが必要です。

接続についての設定は、「ADSLでインターネットに接続するには」(133ページ)をご覧ください。

ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。



ご注意

ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、ご契約するADSL接続業者にお問い合わせください。

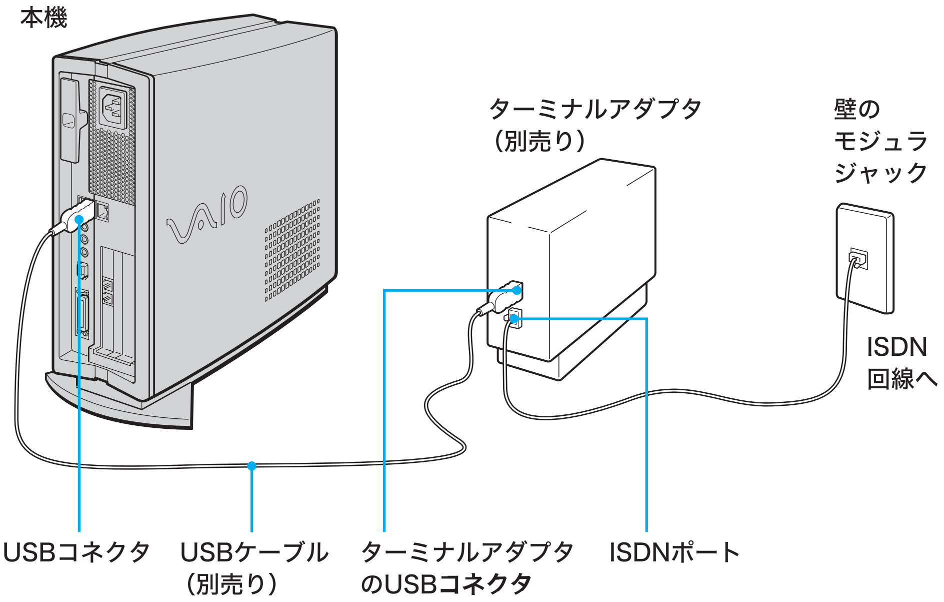
ISDN回線につなぐときは

「ISDN回線」とはNTTのデジタル通信網を使った電話回線で、通信速度も速く、1回線で従来の2回線が使えます。ISDN回線を使って本機を使用するためには、本機の他に「ターミナルアダプタ」というコンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をつなぐためのISDN回線用の機器が必要です。

インターネットに接続するときは、次の図のように本機のUSBコネクタとターミナルアダプタのUSBコネクタをつないでください。接続について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

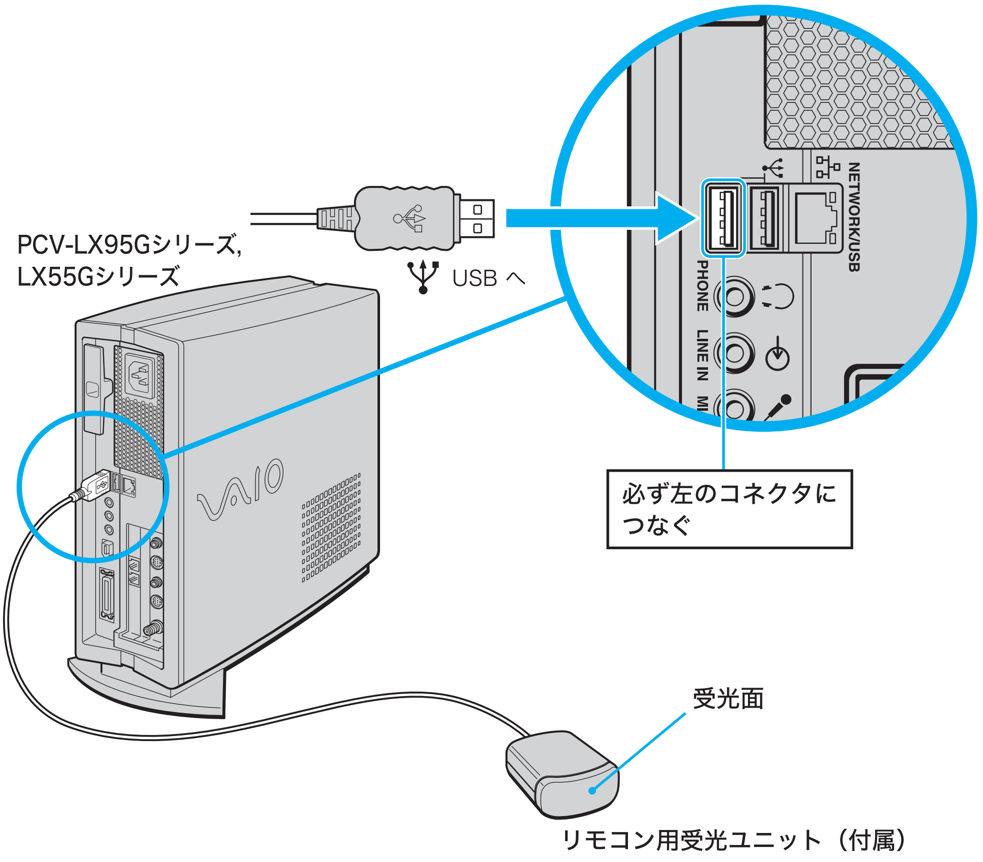
本機前面または液晶ディスプレイのUSBコネクタにつなぐこともできます。



PCV-LX85**シリーズ**, LX55**シリーズをお使いの方は手順**8**の「電源コードを接続する」に進んでください。**

4 リモコン用受光ユニットを接続する。（PCV-LX95G**シリーズ**, LX55G**シリーズのみ**）

付属のリモコン用受光ユニットをPCV-LX95Gシリーズ, LX55GシリーズのUSBコネクタに接続します。



ご注意

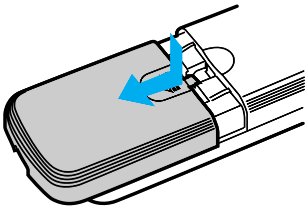
- リモコン用受光ユニットは、本機および付属のリモコン専用です。他の機器ではお使いになれません。
- **リモコン用受光ユニットは必ずリリースレバー下のUSBコネクタの、左のコネクタにつないでください。**この他のUSBコネクタにつないだ場合、付属のリモコンの電源／スタンバイボタンを押して、本機をスタンバイモード（一時的に本機のシステム全体の動作を停止するモード）から通常の動作モードに戻すことができなくなります。
- リモコン用受光ユニットを設置するときは、以下の点にご注意ください。
  - 受光面をリモコンの信号が受けやすい方向に向けてください。
  - 受光ユニットの受光面とリモコンの発光部の間に障害物がない場所に設置してください。

ちょっと一言

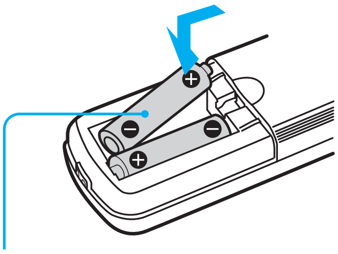
- リモコン用受光ユニットをつなぐと、付属のリモコンを使って、付属の「Giga Pocket」ソフトウェアを操作できるようになります。
- リモコン用受光ユニットを本機の上など安定しない場所に設置するときは、付属のマジックテープを貼ると受光ユニットの滑り落ちを防ぐことができます。マジックテープを受光ユニットの底面と受光ユニットを設置する場所に貼ります。

5 リモコンを準備する。（PCV-LX95G シリーズ, LX55G シリーズのみ）

1. リモコンを裏返す。
2. リモコン裏面の乾電池入れのふたを開ける。



3. ＋と－の方向を確かめて、付属の単3乾電池を2本入れる。



ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
- ＋と－の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
- 乾電池が液もれしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

4. 乾電池入れのふたを閉める。

ちょっと一言

電池の交換時期は約6か月です。リモコン操作できる距離が短くなったら、2本とも新しい乾電池に交換してください。

6 アンテナを接続する。(PCV-LX95Gシリーズ，LX55Gシリーズのみ)

PCV-LX95Gシリーズ，LX55Gシリーズに付属の「Giga Pocket」ソフトウェアを使ってテレビを見たり、テレビ番組を録画するときは、付属のアンテナ接続ケーブルを使って壁のアンテナコネクタにつなぎます。また、すでにビデオデッキやテレビをお持ちの場合はそれらを本機につなぐことで、ビデオデッキからの映像を見たり、録画したり、テレビで「Giga Pocket」ソフトウェアで再生する映像を見ることができます。テレビを見たり、テレビ番組を録画／再生する方法については、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの楽しみかた]をクリックして、[VAIOを楽しむ]→[VAIOではじまる、快適テレビ生活]の順にクリックして表示される情報または、別冊の「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書およびヘルプをご覧ください。

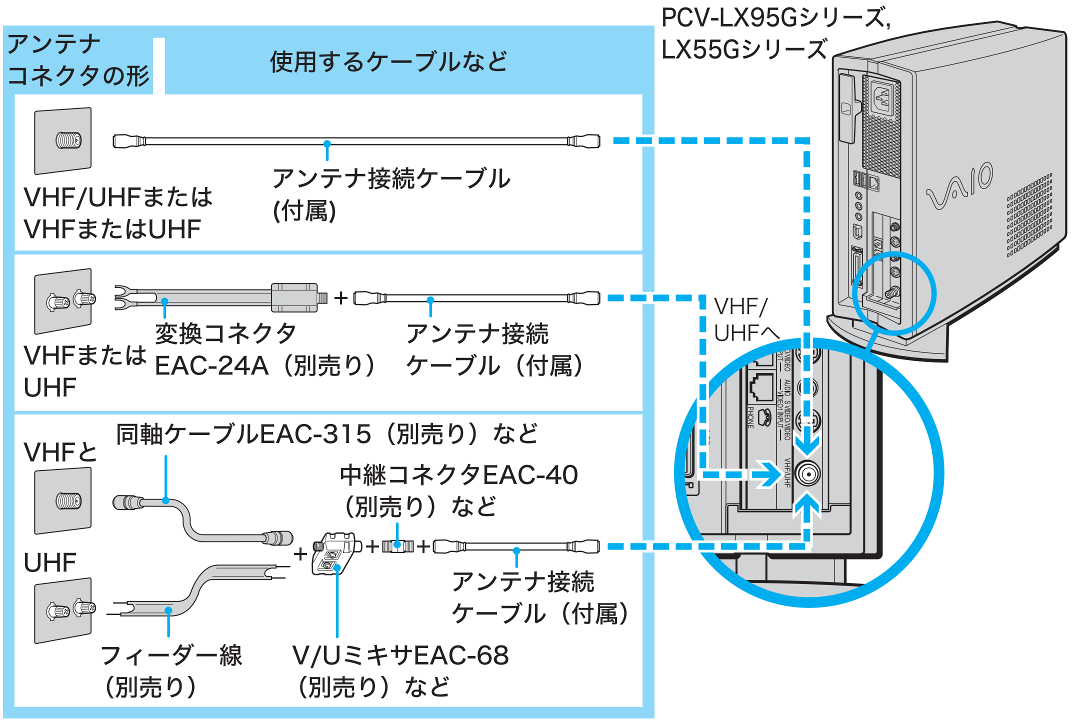
接続のしかたは、以下の場合で異なりますので、ご自分の使用環境に合わせて接続してください。

- 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合
- すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合

以下のようにアンテナを接続します。

アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、接続してください。なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店にご相談ください。

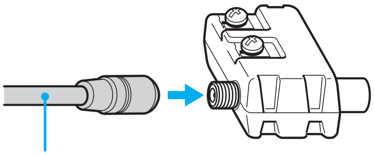


ご注意

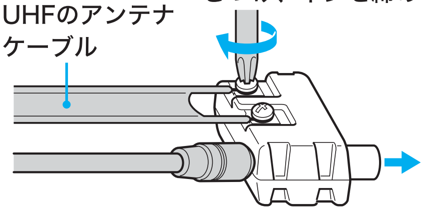
- フィーダー線は同軸ケーブルにくらべ雑音電波などの影響を受けやすく、信号が劣化します。できるだけ同軸ケーブルをご使用ください。
- フィーダー線をご使用になる場合は本機からできるだけ離してください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、長くなりすぎないようにご注意ください。

V/Uミキサをつなぐには

(1)VHFのアンテナケーブルをV/Uミキサにつなぐ。



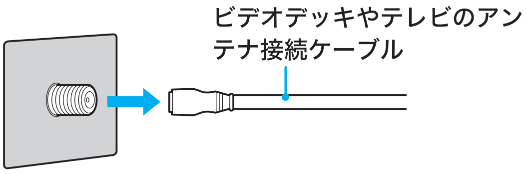
(2)UHFのアンテナケーブルをV/Uミキサにつなぐ。



すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

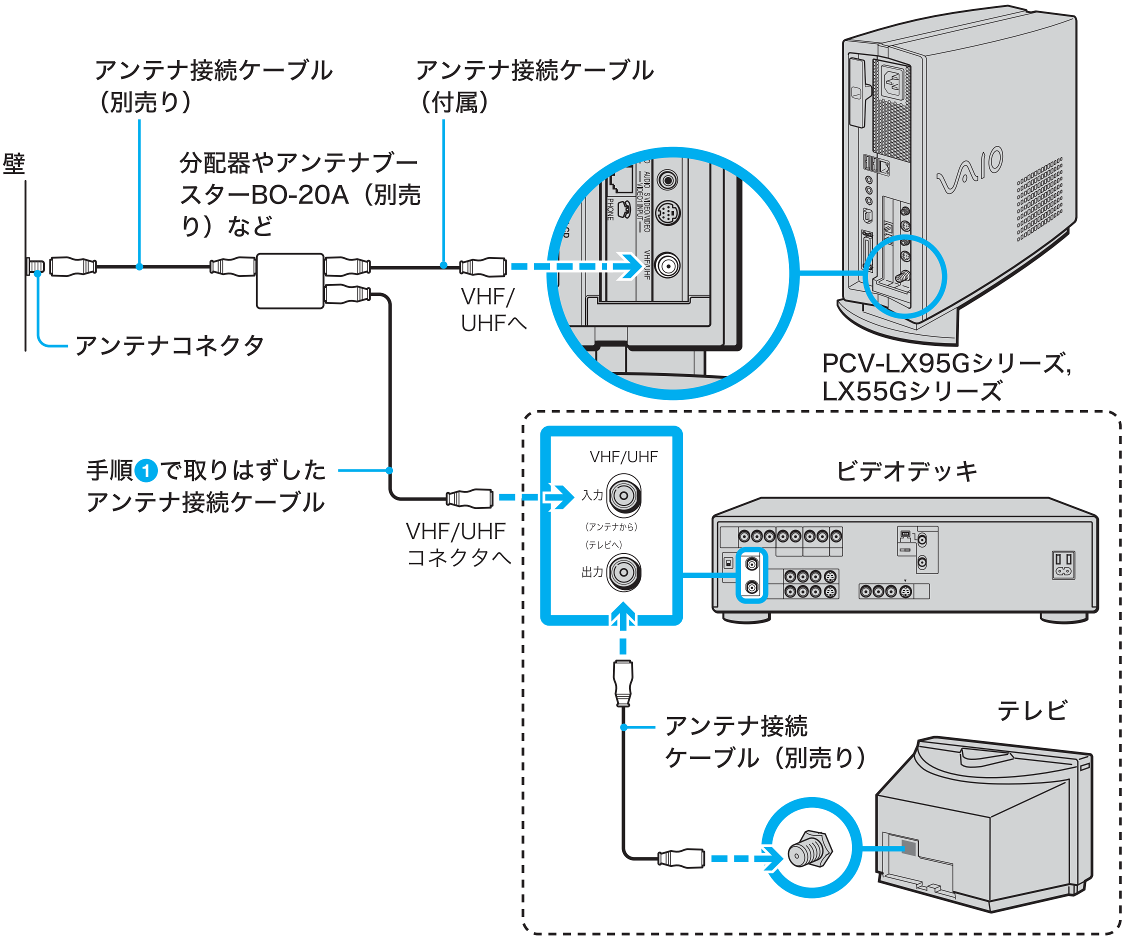
以下のようにアンテナを接続します。

1 壁のアンテナコネクタに接続されているビデオデッキやテレビのアンテナ接続ケーブルを取りはずす。



2 アンテナを接続する。

別売りの分配器やアンテナブースターBO-20Aなどを使ってアンテナを接続します。壁のアンテナコネクタと分配器やアンテナブースターのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。「本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合」の例から、最も近いものを選び接続してください。



点線内の接続について詳しくは、ビデオデッキまたはテレビの取扱説明書をご覧ください。

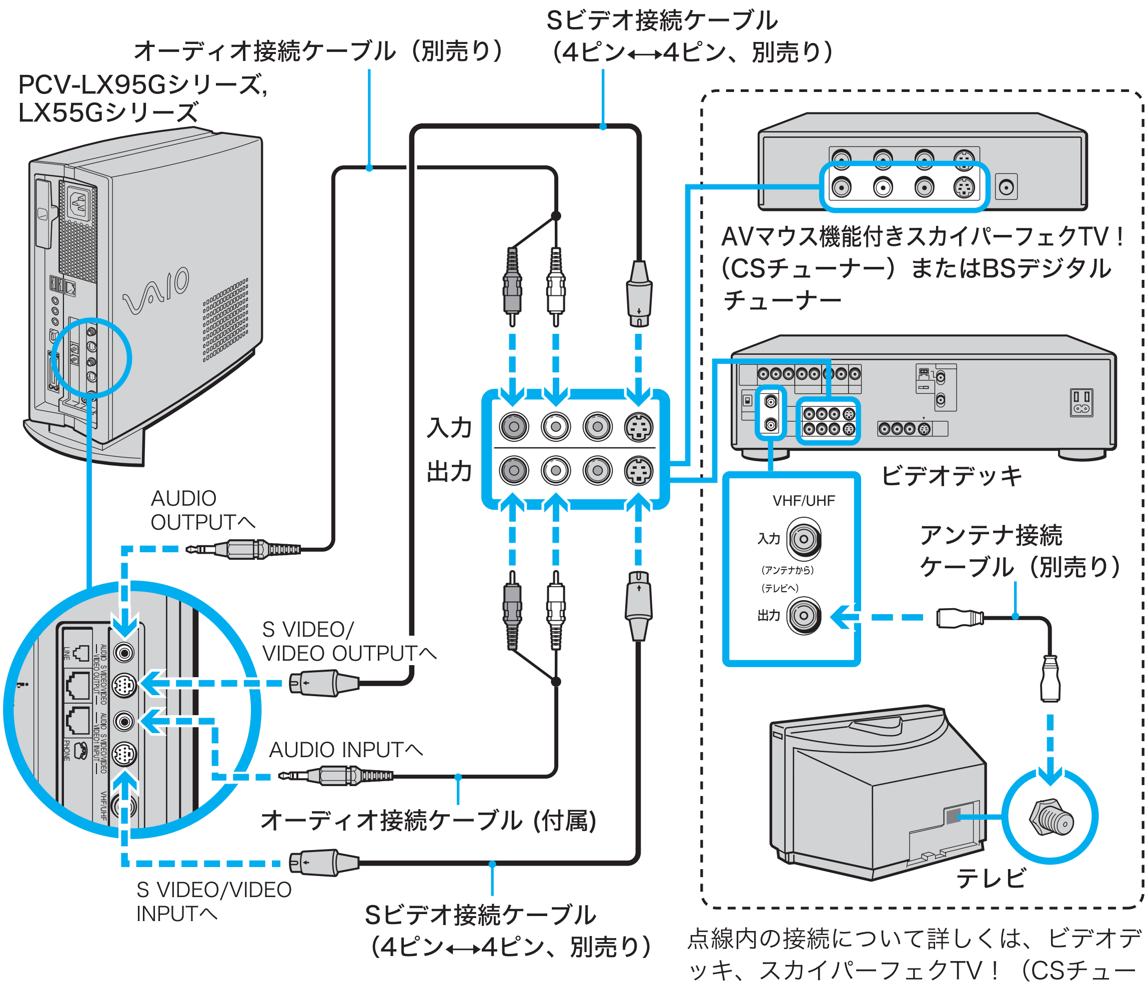
ちょっと一言

ビデオデッキをつなぐなど、アンテナを分配すると電源が弱くなり、ディスプレイの画面がチラチラしたり、斜めじまが入ることがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをアンテナと本機の間につないでください。

7 ビデオデッキまたはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV！（CSチューナー）またはBSデジタルチューナーを接続する。（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）

PCV-LX95Gシリーズ, LX55GシリーズとビデオデッキまたはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV！（CSチューナー）またはBSデジタルチューナーの映像／音声の入出力コネクタどうしをつなぐと、以下のことができるようになります。

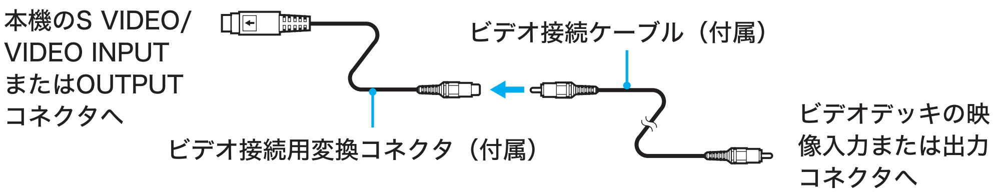
- ビデオデッキで再生する映像、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV！（CSチューナー）またはBSデジタルチューナーを本機につないだディスプレイで見る。
- ビデオデッキで再生する映像、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV！（CSチューナー）またはBSデジタルチューナーを本機に録画する。
- 本機に付属の「Giga Pocket」ソフトウェアで再生する映像を、ビデオデッキに録画したり、テレビで見る。



点線内の接続について詳しくは、ビデオデッキ、スカイパーフェクTV！（CSチューナー）／BSデジタルチューナーまたはテレビの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

S映像入力／出力コネクタのないビデオデッキをつなぐときは、Sビデオ接続ケーブルのかわりにビデオ接続用変換コネクタ（付属）とビデオ接続ケーブル（付属）をつないで使うことができます。

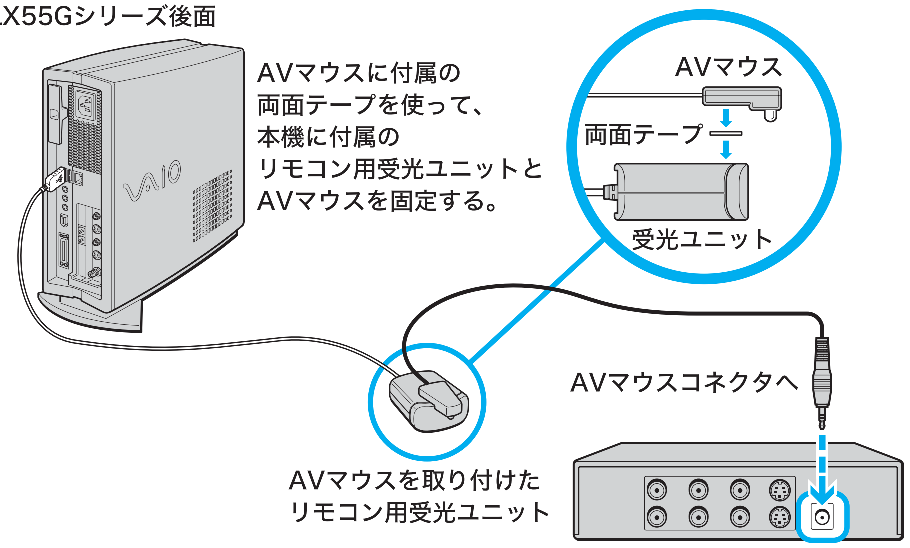


AVマウス機能付きスカイパーフェクTV！（CSチューナー）／BSデジタルチューナーをつなぐときは

本機のリモコン用受光ユニットに、AVマウス機能のあるスカイパーフェクTV！（CSチューナー）またはBSデジタルチューナーに付属のAVマウスを取り付け、スカイパーフェクTV！（CSチューナー）またはBSデジタルチューナーの予約録画機能を使って本機に付属の「Giga Pocket」ソフトウェアに番組の予約録画を行うことができます。

AVマウスは以下のように接続します。詳しくは、「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプ、およびスカイパーフェクTV！（CSチューナー）またはBSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

PCV-LX95Gシリーズ,
LX55Gシリーズ後面



ご注意

- 本機の電源を切ると「Giga Pocket」ソフトウェアは実行されません。「Giga Pocket」ソフトウェアを使って予約録画を行う場合は、本機をスタンバイ状態にしてください。詳しくは「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- お使いのビデオ機器によってはリモコンコードが競合して「Giga Pocket」ソフトウェアでの予約録画は実行できない場合があります。リモコンコードの設定方法について詳しくは「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 著作権保護の信号が記録されているソフトウェアおよび放送は録画できません。

AVマウスを使用してスカイパーフェクTV!（CSチューナー）またはBSデジタルチューナーの映像を本機で録画する際のご注意（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）

AVマウスを使用してスカイパーフェクTV!（CSチューナー）またはBSデジタルチューナーの映像を本機で予約録画する際は、［画面のプロパティ］の［スクリーンセーバー］タブにある「パスワードの保護」または「再開時にようこそ画面に戻る」のチェックボックスにチェックをいれないでください。

また、3D表示を行うスクリーンセーバーはご使用にならないでください。ご使用になると正常に予約録画が実行されません。

スクリーンセーバーについて詳しくは、「サイバーサポート」の「VAOの使いかた」→「設定を変更する」→「ディスプレイの設定を変更する」→「スクリーンセーバーや電源の設定を変える」をクリックして表示される情報をご覧ください。

8 電源コードを接続する。

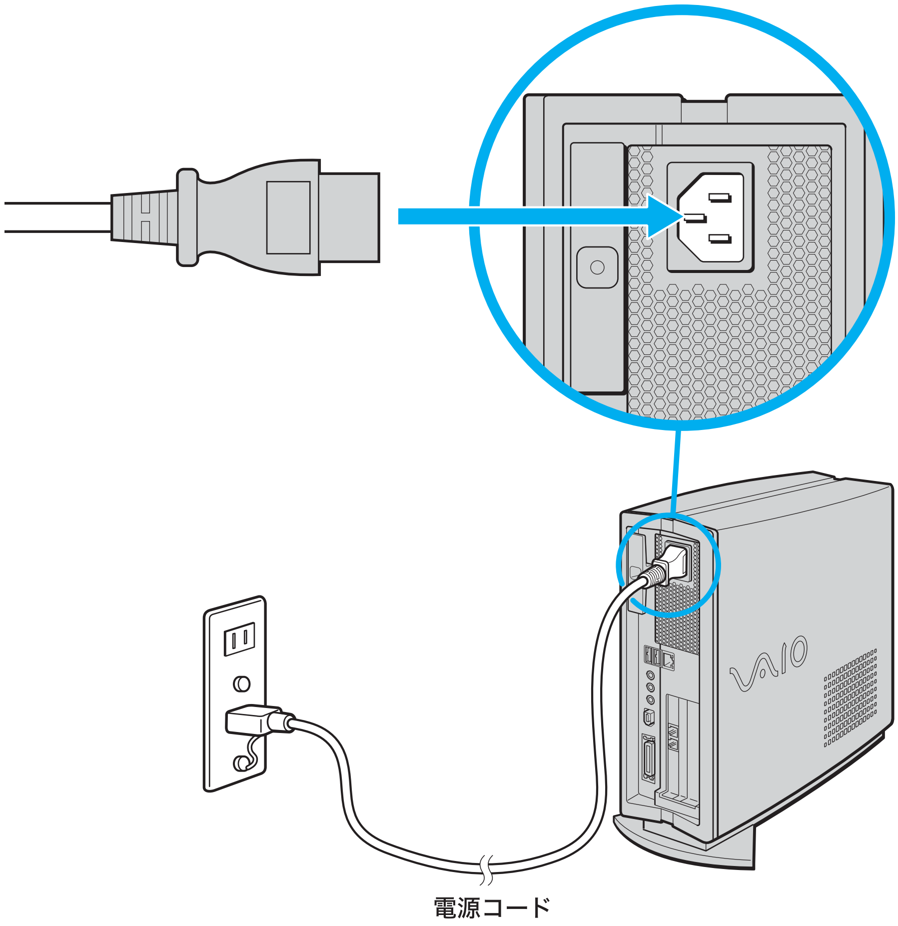
本機を電源コンセントに接続します。

ご注意

- 同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。
- 本機は日本国内専用です。交流100Vでお使いください。

❶ **付属の電源コードのプラグ（3ピン）を差し込む。**

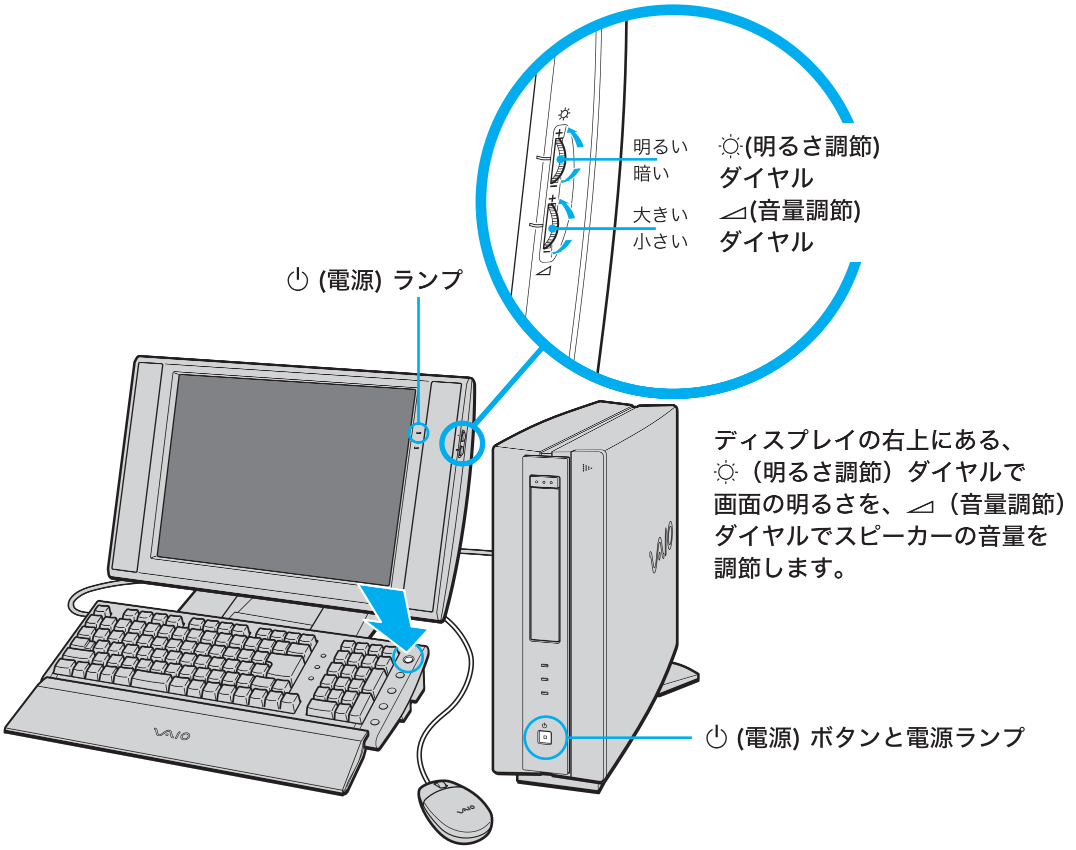
❷ **アースを接続し、電源コードを壁の電源コンセントに差し込む。**



電源を入れる

キーボードの☾(電源/スタンバイ)キーを押して本機とディスプレイの電源を入れる。

電源が入ると、本機とディスプレイの⏻(電源)ランプが緑色になります。



本機の ⏻(電源)ボタンでも電源を入れることができます

⏻(電源)ボタンの位置については、「各部のなまえ」の「本機前面」(35ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

ディスプレイのスピーカーが適切な音量になっているか確認してください。スピーカーの音量はディスプレイの右上にある◿(音量調節)ダイヤルで調節します。

本機の電源を初めて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。次の「Windowsを準備する」(64ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

2 回目以降に電源を入れるときは

ユーザーを2名以上設定している場合は、ユーザー名を選ぶ画面が表示されます。ユーザー名をクリックすると、Windowsが起動します。

Windowsを準備する

本機をお使いいただくために、最初のステップとしてWindowsの準備が必要です。Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。
以下の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

1

「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある➔（次へ）をクリックする。

ちょっと一言

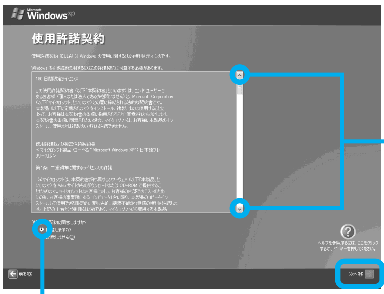
マウスの使いかたについて詳しくは、「マウスの操作」（82ページ）をご覧ください。

ここをクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

2

画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは[同意します]の◯をクリックして◉にし、➔（次へ）をクリックする。



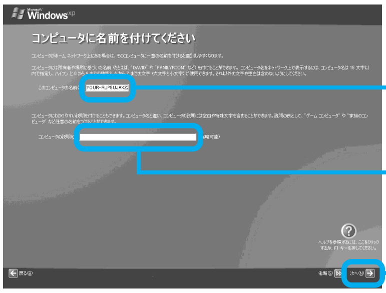
ここをクリックすると、
文章が上下に移動する。

❷ ここをクリックする。

❶ ［同意します］をクリックする。
◯が◉になる。［同意しません］の◯をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に入っているソフトウェアはお使いになれません。

「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。

3 必要な場合はコンピュータ名を変更し、➡（次へ）をクリックする。



❶ 自動的に表示されますが、必要な場合は認識しやすい名前に変更してください。

❷ コンピュータにわかりやすい説明をつけることもできます。

❸ ここをクリックする。

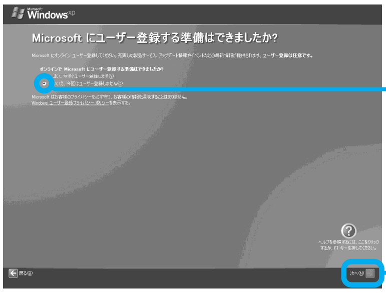
「インターネット接続が選択されませんでした」画面が表示されます。

4 ➡（次へ）をクリックする。

ここをクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。

5 [いいえ、今回はユーザー登録しません]の○をクリックして◉にし、➡（次へ）をクリックする。

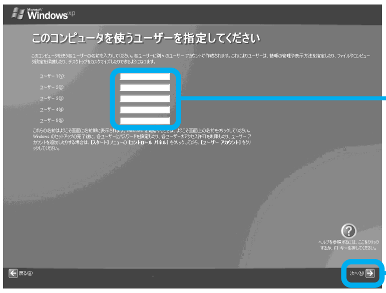


❶ ここをクリックする。
○が◉になる。

❷ ここをクリックする。

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。

6 ユーザーの名前を入力し、➡(次へ)をクリックする。



「設定が完了しました」画面が表示されます。

ちょっと一言

Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[できるWindows]をクリックして表示される情報をご覧ください。

7 ➡(完了)をクリックする。

これでWindowsが使えるようになりました。

ご注意

- ホームページを見たり、電子メールをやりとりするためには、さらにインターネットに接続する準備が必要です。詳しくは、「インターネットを始める」(102ページ)をご覧ください。
- デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定期間使用しないとデスクトップ画面上から削除されるものがあります。
  Windowsの初回起動時から1週間後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。
  その後60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。
- 本機に付属のリカバリディスクに入っているOS(Operating System)以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
  本機のOSはMicrosoft® Windows® XP Home Edition*です。

  * 本書では、WindowsまたはWindows XPと略します。
- 本機は、お買い上げ時に、プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)は完了されているため、お客様が認証作業を行う必要はありません。
  また、付属のリカバリディスクで再セットアップを行った場合も、プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)は自動的に完了するため、お客様が認証作業を行う必要はありません。

OS(Operating System)とは

コンピュータを動かすために必要な基本ソフトウェアのことです。画面表示や操作方法などもOSによって決められています。OSがないと他のソフトウェアも使えません。

「テレビを見る準備をする(PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ)」(70ページ)からは、お好みに合わせて操作してください。

- ❑ テレビを見たい(PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ)(70ページ)
- ❑ 電源を切りたい(76ページ)
- ❑ コンピュータの基本操作について知りたい(79ページ)
- ❑ カスタマー登録したい(92ページ)
- ❑ インターネットに接続したい(102ページ)
- ❑ 周辺機器の接続や拡張をしたい(217ページ)

困ったときの解決方法を知りたいときは

「困ったときは」(173ページ)をご覧いただくか、「サイバーサポート」をご覧ください。「サイバーサポート」の使いかたについて詳しくは「「サイバーサポート」の使いかた」(162ページ)をご覧ください。

複数ユーザーで使用する

本機を2名以上の複数のユーザーでお使いになるには

本機では、設定したユーザーごとに専用のデスクトップ画面やマイドキュメントが用意され、それぞれのユーザーが自分専用のコンピュータのように使用することができます。

ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアのお問い合わせ先（277ページ）にお問い合わせください。

2名以上の複数ユーザーを設定するには、はじめて本機をお使いになる際のWindowsのセットアップ画面で設定することができます。

Windowsのセットアップについて詳しくは、「Windowsを準備する」（64ページ）をご覧ください。

Windowsのセットアップ完了後にユーザーを追加したり、変更したりするには、デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]の順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面で行います。詳しくは「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。

ユーザーアカウントの種類について

本機では、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権限とアクセス許可が必要となり、ユーザーを設定する際にユーザーアカウントの種類を選びます。

ユーザーアカウントには、「コンピュータの管理者」と「制限付きアカウント」の2種類があります。

	コンピュータの管理者	制限付きアカウント
プログラムとハードウェアをインストールする	√	
システム全体の変更を行なう	√	
個人ファイル以外のすべてのファイルにアクセスして読み取る	√	
ユーザー アカウントを作成または削除する	√	
ほかのユーザーのアカウントを変更する	√	
自分のアカウントの名前または種類を変更する	√	
自分の画像を変更する	√	√
自分のパスワードを作成、変更、または削除する	√	√

「コンピュータの管理者」を選ぶと

ユーザーアカウントの追加や変更、システムの変更など、Windowsのすべての設定が可能になります。

「制限付きアカウント」を選ぶと

自分の画像の変更や、パスワードの変更など一部の設定のみ変更することができます。また、ソフトウェアがインストールできない、起動できない、または機能の一部が使用できない、などのように動作が制限されることがあります。この場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログオンするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権限を与える設定にして作業をやり直してください。

ユーザーアカウントについて詳しくは、デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]の順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。

複数のユーザーを設定している際の「ユーザー切り替え」について

複数のユーザーを設定して本機をお使いの場合、ユーザーを切り替えるときは、起動しているソフトウェアをいったん終了させてからユーザーを切り替えてください。

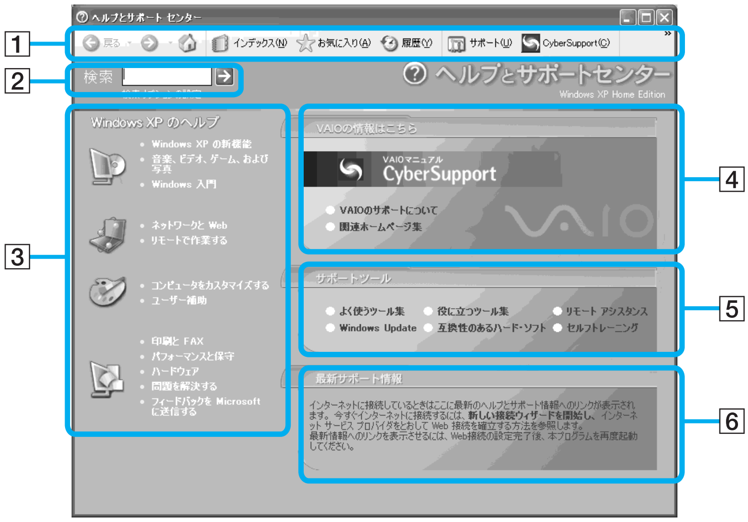
「ヘルプとサポートセンター」について

「ヘルプとサポートセンター」は、WindowsやVAIOの使いかた、FAQ（よくある質問とその回答）の検索、最新情報の入手など、サポートに関する情報の入り口です。困ったときは、まず「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

「ヘルプとサポートセンター」を見るには

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、表示されるメニューから[ヘルプとサポート]をクリックする。

「ヘルプとサポートセンター」画面が表示されます。



1 ナビゲーションバー

よく使用するページを登録したり、開いたページの履歴を参照することができます。

ここからVAIOマニュアル「CyberSupport」を起動することもできます。

2 検索

WindowsやVAIOで調べたいことをキーワード検索できます。

3 Windows XPのヘルプ

WindowsやVAIOの使いかたやFAQ（よくある質問とその回答）をご覧になれます。

4 VAIOの情報はこちら

VAIOマニュアル「CyberSupport」や、VAIOカスタマーリンクのホームページなどを見ることができます。「CyberSupport」の使いかたについて詳しくは「「サイバーサポート」の使いかた」（162ページ）をご覧ください。

5 サポートツール

困ったとき、設定を変更したいとき、Windowsの操作を学習するときなどに役に立つソフトウェアを起動したり、関連する情報を見ることができます。

6 最新サポート情報

WindowsやVAIOの最新サポート情報を見ることができます。

ちょっと一言

「ヘルプとサポートセンター」の情報の中には、インターネットに接続することによって、最新の情報に更新されるものがあります。インターネットの接続について詳しくは、「インターネットを始める」（102ページ）をご覧ください。

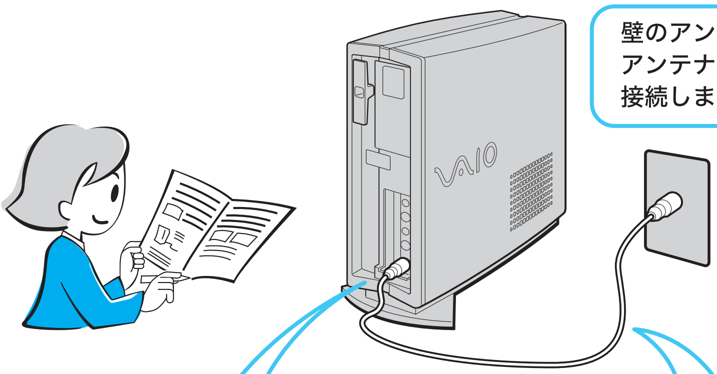
テレビを見る準備をする(PCV-LX95G シリーズ, LX55G シリーズのみ)

本機では、付属の「Giga Pocket」ソフトウェアを使ってテレビを見ることができます。

イラストは、お使いの機種とは異なる場合があります。

テレビを見るまでの流れ

1 アンテナを接続する。



壁のアンテナコネクタにアンテナ接続ケーブルを接続しましたか？

本機後面のVHF／UHFコネクタにアンテナ接続ケーブルを接続しましたか？

分配器を使用しているときは、電波が弱くなります。
別売りのアンテナブースターが必要となります。

2 地域設定をする。

地域設定をしないと、テレビは映らないのね。

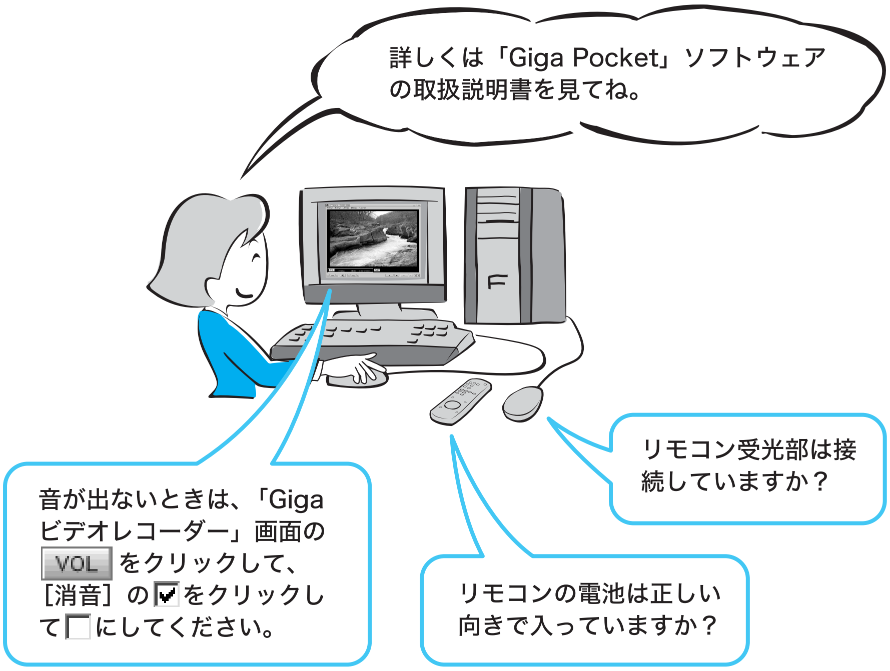
「Windowsの準備」は終わっていますか？

「Giga Pocket」ソフトウェアを起動しても「地域設定」画面が表示されないときは、デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[すべてのプログラム] → [Giga Pocket] → [Giga Pocket 地域設定] をクリックしてください。

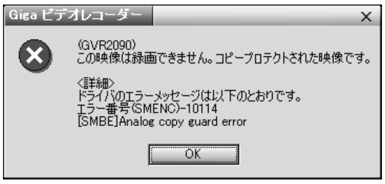
「地域設定」を行ってもテレビが映らないときは、再度「地域設定」をし直す必要があります。

県境などでお使いのときは、お使いになる都道府県や地域を設定してもテレビが映らないことがあります。
設定のしかたなど詳しくは、「チャンネル設定を変更する」をご覧ください。

3 テレビを見る。



こんなメッセージが表示されたときは



DVDビデオ、レンタルビデオやセルビデオなど、コピーガードがかかっている映像を録画しようとしているときに表示されます。

「DVgate」など他の動画を扱うソフトウェアなどを同時に起動しているときに表示されます。他のソフトウェアを終了させて「Giga Pocket」ソフトウェアを起動し直してください。

地域設定をする

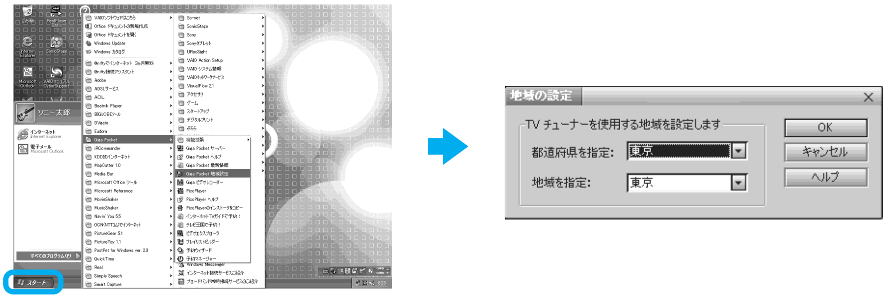
初めて「Giga Pocket」ソフトウェアを使ってテレビを見るときには、以下の手順に従ってチャンネルの地域設定を行います。

1

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Giga Pocket]、[Giga Pocket地域設定]の順にクリックする。

「地域の設定」画面が表示されます。

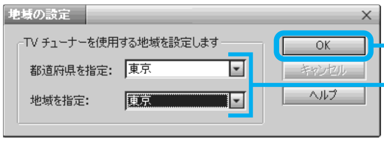
「警告」画面が表示されたときは、 OK をクリックしてください。



2

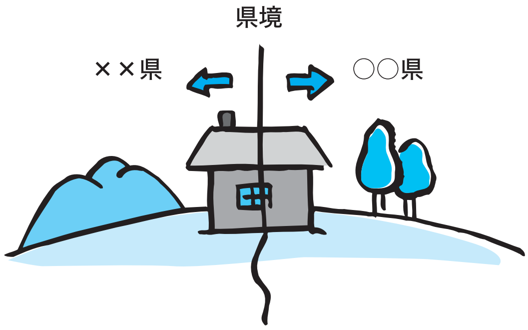
本機を使用する都道府県および最も近い地域を選んで OK をクリックする。

選んだ地域の標準チャンネルが設定されます。



ご注意

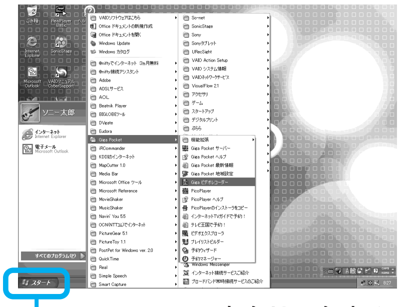
県境でお使いの場合などは、お使いになっている都道府県や地域を設定してもテレビが映らないことがあります。その場合は、隣接する都道府県や地域を設定してください。



3

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Giga Pocket]、[Gigaビデオレコーダー]の順にクリックする。

「Gigaビデオレコーダー」ソフトウェアが起動します。



ここをクリックする。

4

TV をクリックする。

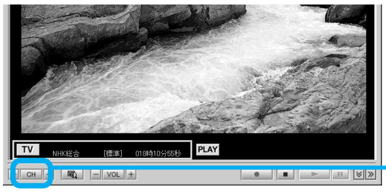
「Gigaビデオレコーダー」ソフトウェアのモニターに、TV／録画デッキの映像が表示されます。

ここをクリックする。

5

CH をクリックして、一覧の中から見たいチャンネルを選ぶ。

「Gigaビデオレコーダー」ソフトウェアのモニターに選択したチャンネルの番組が表示されます。



ここをクリックする。

ちょっと一言

「Giga Pocket」ソフトウェアについて詳しくは、別冊の「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書およびヘルプをご覧ください。

チャンネル設定を変更する

「Giga Pocket」ソフトウェアのチャンネル設定を変更するには、以下の手順に従って変更してください。

また、「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書またはヘルプも合わせてご覧ください。

ここでは、「VAIOテレビ」が「3チャンネル」に設定されているが、ご使用になっている地域では「20チャンネル」で放送されており、「VAIOテレビ」のチャンネル設定を「3チャンネル」から「20チャンネル」に変更する例で、以下の手順を説明します。

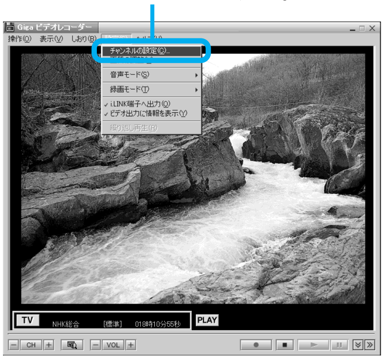
1 **デスクトップ画面左下の** **をクリックして、[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、「Giga Pocket」、[Gigaビデオレコーダー]の順にクリックする。**

「Gigaビデオレコーダー」ソフトウェアが起動します。

2 **[設定]をクリックして、表示されるメニューから[チャンネルの設定]をクリックする。**

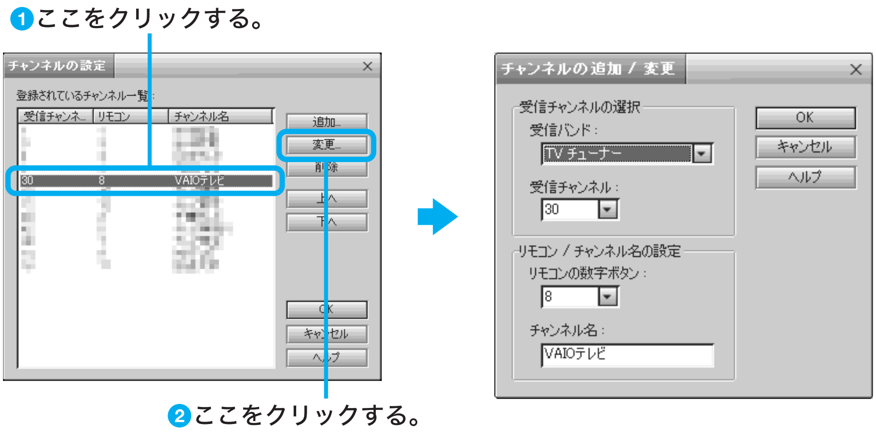
「チャンネルの設定」画面が表示されます。

ここをクリックする。



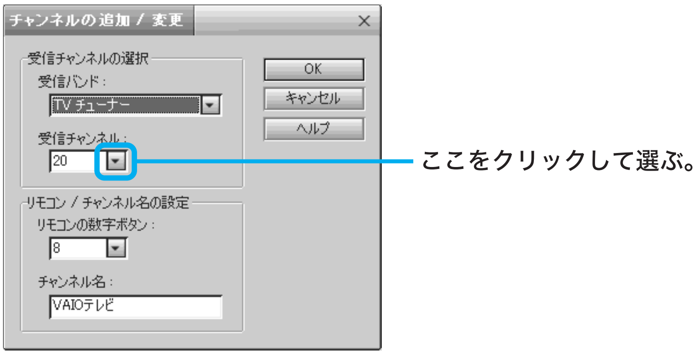
3 変更するチャンネル名（ここでは「VAIOテレビ」）を選択して、[変更]をクリックする。

「チャンネルの追加／変更」画面が表示されます。



4 「受信チャンネル」から設定したいチャンネル（ここでは「20チャンネル」なので「20」）を選ぶ。

チャンネル番号がわからない場合は、「受信チャンネル」の▼をクリックして、チャンネルを変更していき、設定したいチャンネルが表示されるチャンネル番号を選択してください。



5 [OK]をクリックする。

以上の手順を繰り返して、映らないチャンネルすべての設定をしてください。

画面の解像度などの設定を変更するときのご注意

画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートをお買い上げ時の設定から変更した状態で「Giga Pocket」ソフトウェアを起動すると、「動画表示ハードウェアが他のアプリケーションで使用中です。動画を表示している他のアプリケーションを終了させてから、再度やり直してください。動画を表示している他のアプリケーションがない場合は、リフレッシュレートが高いなど画面の設定が不適切な可能性があります。」というメッセージが表示され、「Giga Pocket」ソフトウェアが起動しないことがあります。この場合は、画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートをお買い上げ時の設定に戻してから「Giga Pocket」ソフトウェアを起動してください。

PicoPlayerを他のVAIOでお使いになるときのご注意

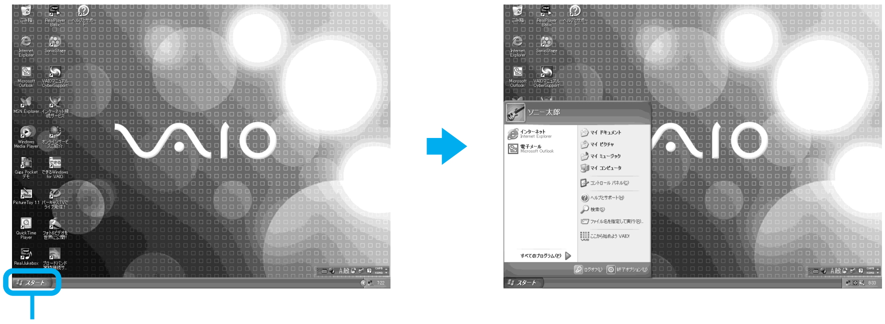
DVD-ROMドライブを搭載したVAIOの場合でも、一部の機種では高画質または標準のビデオカプセルが再生できません。長時間モードのビデオカプセルに変換して再生してください。

電源を切る

本機を使う準備が終わったところで、いったん電源を切ってみます。

1 ディスプレイ画面左下の をクリックする。

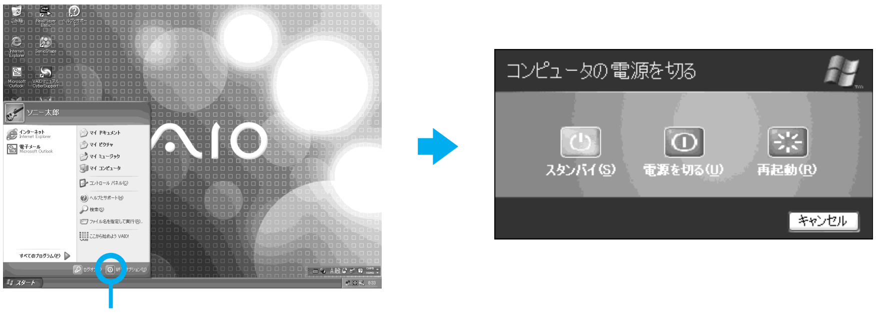
「スタート」メニューが表示されます。



ここをクリックする。

2 [終了オプション]をクリックする。

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。



ここをクリックする。

3 [電源を切る]をクリックする。

しばらくすると自動的に本機とディスプレイの電源が切れます。

ここをクリックする。

ご注意

「Windowsを準備する」の手順6で、2人以上のユーザーの名前を入力した場合、次回から本機の電源を入れると、「ようこそ」画面が表示されます。ユーザー名を選んでWindowsを起動してください。

「休止状態」の利用をおすすめします

本機を終了するには、「スタート」メニューから「終了オプション」を選択し、「電源を切る」を選択する方法のほかに、本機の⏻(電源)ボタンを軽く押して本機を「休止状態」にする方法があります。

「休止状態」で本機を終了すると以下のメリットがあります。

- 次回起動するときに、起動にかかる時間が短くなります。
- 次回起動したときに、本機を終了する前の作業状態が保存されています。
- 本機を複数ユーザーでお使いの場合、休止状態から通常の動作モードに戻すと、休止状態に入ったときのユーザーの作業状態に戻ります。
- 「休止状態」のときの消費電力は、前述の「電源を切る」の操作で電源を切ったときと変わりません。

本機を休止状態にするには

本機の⏻(電源)ボタンを軽く押します。

本機が休止状態となり、電源が切れます。
「休止状態」について詳しくは、「省電力機能について」(23ページ)をご覧ください。

ご注意

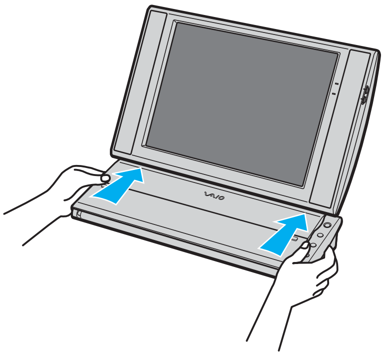
⏻(電源)ボタンを4秒以上押さないでください。本機が強制終了し、作成中の作業内容が失われることがあります。トラブルが生じたとき以外は、⏻(電源)ボタンを4秒以上押さないでください。

これで本機を使う上で必要な準備と操作はひと通り終わりました。

さらにいろいろな操作をするためには、引き続きこのあとのページおよび「サイバーサポート」をご覧ください。

キーボードをディスプレイの下に収納できます

キーボードの足を立てた状態で、キーボードをディスプレイの下へ収納します。
本機を使わないときに場所をとりません。



ちょっと一言

「通常モード」「スタンバイモード」「休止状態」については、「本機をお使いになる前のご注意」（18ページ）の「省電力機能について」（23ページ）をご覧ください。

コンピュータの基本操作

この章では、本機を使うための基本的な操作を
説明します。

デスクトップ画面の各部のなまえとはたらき

本機の電源を入れた後、ディスプレイ画面全体に表示されるのが「デスクトップ画面」です。
「デスクトップ画面」は、本機のさまざまな機能を使いこなしていただくときの出発点となります。

デスクトップ画面のイラストは実際のものと異なる場合があります。

■デスクトップアイコン

1 ごみ箱
いらなくなった文書や画像などを捨てる場所です。ごみ箱に捨てた文書や画像などは、ごみ箱の中に残っています。ごみ箱について詳しくは、「ファイルやフォルダを削除する」をご覧ください。

2 Internet Explorer
インターネットのホームページなどを見るときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

3 VAIOマニュアル CyberSupport
VAIOの使いかたや楽しみかた、困ったときの解決方法をディスプレイ画面上で説明する電子マニュアルです。使いかたについて詳しくは「「サイバーサポート」の使いかた」をご覧ください。

4 インターネット接続サービス
インターネット接続サービスを提供する会社（プロバイダ）と契約（オンラインサインアップ）します。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

5 できるWindows for VAIO
Windowsの使いかたを説明しています。

6 ヘルプとサポート
Windowsの操作や、Windowsのサポートについての情報を検索できます。「サイバーサポート」もここから起動できます。

7 各ソフトウェアのショートカット類
左隅に が付いたアイコンが各種あります。これらは簡単にソフトウェアを起動するためにデスクトップ画面上に置かれたものです。

8タスクバー

本機に付属のソフトウェアやコンピュータの設定をすばやく確認し、操作できるための機能をまとめた場所です。大きく3領域があり、それぞれ［スタート］ボタン、使用中のソフトウェアや文書などを表示しておく機能をもつ領域、Windowsに関連する機能を表示しておく通知領域（タスクトレイ）に分かれます。

[スタート] ボタン
ここをマウスでクリックすると、本機に付属のソフトウェアを起動したり、本機のさまざまな機能を使うためのメニューが表示されます。まずはここをクリックして始めてください。

ウィンドウのボタン表示
使用中のソフトウェアや文書などがここにボタンとして表示されます。
デスクトップ画面上にソフトウェアや文書などが表示されていなくても、このボタンをクリックすると画面にそのソフトウェアや文書などが表示されます。

通知領域(タスクトレイ)
本機を起動したときに自動的に使えるようになったWindowsの機能がここに表示されます。
アイコンが表示されていないときは をクリックすると表示されます。

■「スタートメニュー」

スタート をクリックすると「スタート」メニューが表示されます。
「スタート」メニューの左側には、最近使用したフォルダやソフトウェアのアイコンが表示されます。

⑨ ユーザー名

現在コンピュータを使用しているユーザーの名前が表示されます。

⑩ インターネット

インターネットのホームページなどを見るときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

⑪ 電子メール

電子メールをやりとりするときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

⑫ マイドキュメント

本機に付属のさまざまなソフトウェアで作成した文書や画像などを保存しておく場所です。マイドキュメントは、マイコンピュータの中にあるC:ドライブの中のものと同じです。

⑬ マイピクチャ

デジタル写真、イメージ、グラフィックなどを保管しておくフォルダが開きます。

⑭ マイミュージック

ミュージックファイルやオーディオファイルを保管しておくフォルダが開きます。

⑮ マイコンピュータ

ここからソフトウェアを起動したり、作成した文書や画像をコピーしたりできます。

⑯ コントロールパネル

本機に接続されている各種の記憶装置やシステムの設定のための機能が入っている場所です。

⑰ ヘルプとサポート

Windowsの操作や、Windowsのサポートについての情報を検索できます。「サイバーサポート」もここから起動できます。

⑱ 検索

作成した文書や画像を探したり、インターネットなどで情報を検索するときに使います。

⑲ ファイル名を指定して実行...

作成した文書や画像を指定することでソフトウェアを起動することができます。また、参照(B)... をクリックすると作成した文書や画像を探し出せます。

⑳ ここから始めよう VAIO！

ソニー製ソフトウェアを起動するときに使います。

㉑ すべてのプログラム

本機に付属しているさまざまなソフトウェアを起動するときに使います。

㉒ ログオフ

本機を使用するユーザーを切り換えるときに使います。

㉓ 終了オプション

スタンバイ状態にするとき、電源を切るとき、再起動するときに使います。

ご注意

デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定期間使用しないとデスクトップ画面上から削除されるものがあります。

Winsowsの初回起動時から1週間後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。その後60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。

デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。

アイコンとは

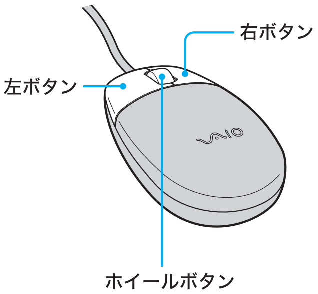
画面上に表示されるソフトウェア、文書、画像などを表す絵記号のことです。それぞれの固有のデザインにより、ソフトウェア、文書、画像などの種類がわかりやすくなっています。

ウィンドウとは

「スタート」メニューから「マイコンピュータ」や「マイドキュメント」を選んでクリックしたとき、デスクトップ画面に表示される枠で囲まれた領域を「ウィンドウ」と言います。文書や画像を作成するときもウィンドウで作業します。

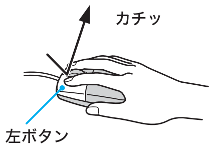
マウスの操作

マウスの各部のなまえとはたらき



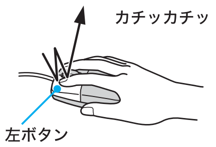
クリックする

左ボタンをカチッと1回押してすぐ離します。
ウィンドウを閉じたり、タスクバーでソフトウェアを選ぶときなどに行います。



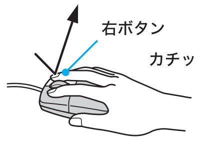
ダブルクリックする

左ボタンをカチカチッと2回すばやく押してすぐ離します。
画面上のアイコンからソフトウェアを起動したり、ファイルを開くときなどに行います。



右クリックする

右ボタンを1回押してすぐ離します。
ショートカットメニューが表示されます。

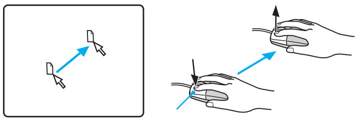


ドラッグする

マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かしてからボタンを離します。

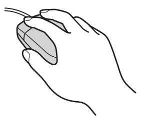
ドラッグアンドドロップする

文書や画像などをドラッグして、フォルダやソフトウェアのアイコンやウィンドウなどの上でマウスのボタンを離します。
ファイルをごみ箱アイコンに重ねて削除したりするときに行います。



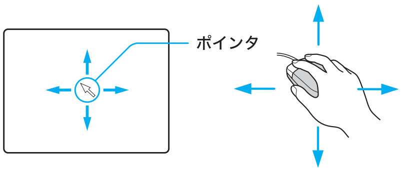
マウスの持ちかた

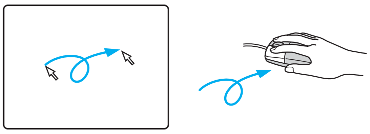
マウスは強く握ったり、押しつけたりせず、手のひらを軽く乗せるようにします。また、ボタンをクリックしやすいように、指先をボタンに乗せてください。



マウスを動かすときは

マウスを動かすと、その動きに合わせてデスクトップ画面上の （ポインタ）も同じ方向に移動します。机の上など平らな場所に置き、滑らせるように動かします。マウスを動かすときは、腕全体を使うようにします。





ポインタとは

マウスを動かすと、画面上に表示されている が動きます。この矢印を「ポインタ」と言い、ポインタを希望の位置に合わせることを「ポイントする」と言います。

ポインタが見つからないときは

マウスを1度持ち上げて、机の上で動かしてください。

練習1：マウスの操作

❶ **デスクトップ画面上の（VAIOマニュアル CyberSupport）をダブルクリックしてみましょう。**

❷ **画面上部にある［できるWindows］をクリックし、左側の目次をクリックして、見たい情報を表示させてみましょう。**

（VAIO マニュアル CyberSupport）が見つからないときは

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［ヘルプとサポート］をクリックし、表示された「ヘルプとサポート センター」画面から［VAIOマニュアル CyberSupport］をクリックします。
画面上部の［できるWindows］をクリックしてください。

（VAIO マニュアル CyberSupport）とは？

VAIOマニュアル「サイバーサポート（CyberSupport for VAIO）」（以降「サイバーサポート」と略します）はVAIOについての情報の入り口です。VAIOの使いかたを知りたいときや、VAIOを使っていて困ったことがあったときは「サイバーサポート」を開いてください。

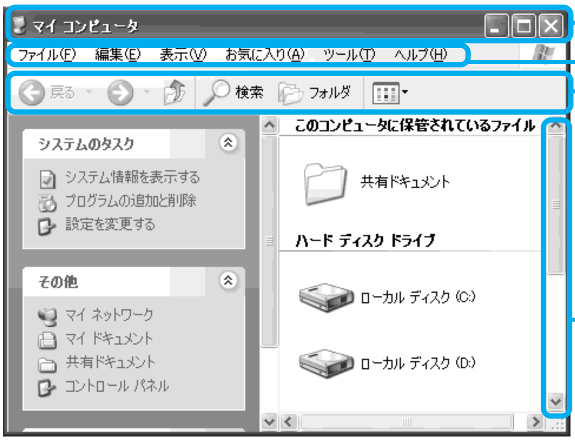
ウィンドウやファイルの操作

ウィンドウやファイルについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の［できるWindows］をクリックして表示される情報をご覧ください。

ウィンドウの使いかた

「ウィンドウ」とは、Windowsでさまざまな操作をするときの画面のことです。

ウィンドウの各部のなまえとはたらき



タイトルバー
ウィンドウのなまえを表示します。

メニューバー
ウィンドウの中にある各装置を利用したり、内容を変更したりするときに使う機能が一列になって配置されます。

ツールバー
メニューバーと同様のはたらきをしますが、特によく使う機能がアイコン表示されます。

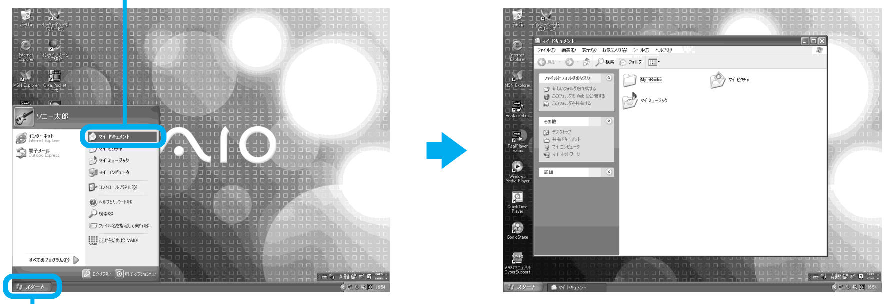
スクロールバー
ウィンドウの中にたくさんのフォルダなどがあって1度に表示できない場合に表示されます。このバーにポインタを合わせて上下に動かすか、上下の をクリックすると、隠れているフォルダなどを表示できます。

ウィンドウを開く

ここでは、［マイドキュメント］画面の開きかたを説明します。

デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、マウスを動かして、ポインタを［マイドキュメント］の上に合わせ、クリックします。

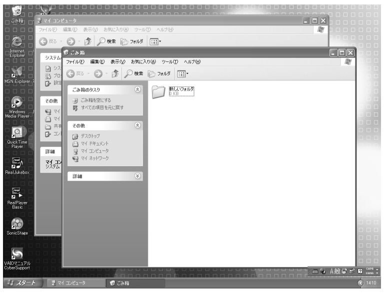
❷ ここをクリックする。



❶ ここをクリックする。

複数のウィンドウを開く

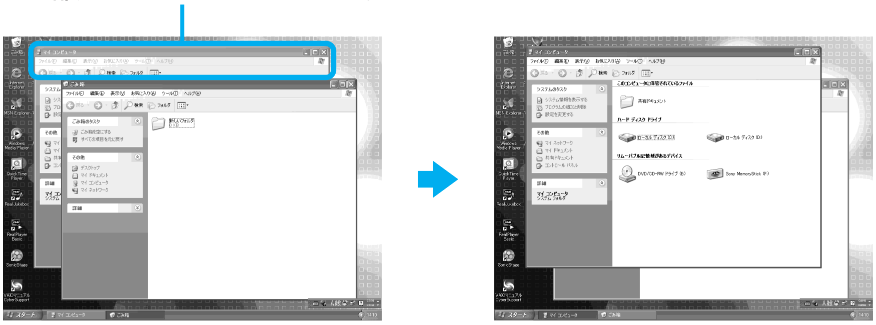
ウィンドウは2つ以上同時に開くこともできます。



複数のウィンドウを切り替える

使いたいウィンドウを最前面に表示させます。マウスを動かし、タイトルバーなど、切り替えたいウィンドウのいずれかの部分をクリックします。

この部分のどこかをクリックする。



ちょっと一言

最前面に表示されているウィンドウは、タイトルバーが濃い色になります。この最前面に表示されているウィンドウのことを「アクティブなウィンドウ」と言います。

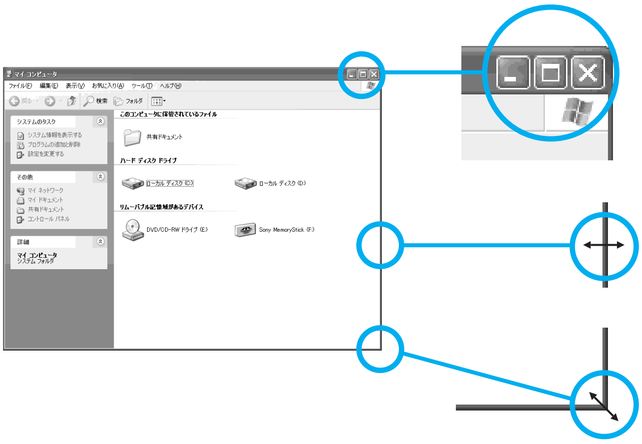
タスクバーを使って複数のウィンドウを切り替えるには

マウスを動かし、タスクバーに表示されているウィンドウのボタンの中から、切り替えたいウィンドウのボタンにポインタを合わせ、クリックします。

ウィンドウのサイズを変える

ウィンドウ右上のボタンをクリックして、サイズを変えることができます。

ウィンドウのサイズを自由に変えるには、ウィンドウの角や辺にポインタを合わせます。マウスの左ボタンを押したまま、大きくしたいときは外側に、小さくしたいときは内側にマウスを動かします。



右上のボタン

- 最小化
  ウィンドウをデスクトップ画面下のタスクバーに収納します。
- 最大化
  ウィンドウをデスクトップ画面いっぱいに広げて表示します。
  最大化すると、が（元に戻す）と表示されます。
- 閉じる
  ウィンドウを閉じます。

最大化したウィンドウを元に戻すには

（元に戻す）ボタンをクリックすると、最大化する前のサイズに戻ります。

最小化したウィンドウを元に戻すには

タスクバーの中に収納されたボタンクリックすると、最小化する前のサイズに戻ります。

「閉じる」と「最小化」の違い

ウィンドウを閉じると、そのウィンドウはデスクトップ画面から消えます。ウィンドウを最小化すると、そのウィンドウはデスクトップ画面からは見えなくなりますが、タスクバーにボタンとして残ります。ウィンドウを一時的に見えなくするときは、「最小化」のほうが便利です。

練習2：ウィンドウの操作

❶ **「練習1：マウスの操作」で開いた「サイバーサポート」画面で、ウィンドウのサイズを変えたりして練習してみましょう。**

❷ **「ウィンドウを開く」の手順で、[マイドキュメント]画面を開いてみましょう。**

❸ **2つのウィンドウを切り替えたり、ウィンドウのサイズを変えたりして練習してみましょう。**

ファイルやフォルダの操作

ファイルを作る

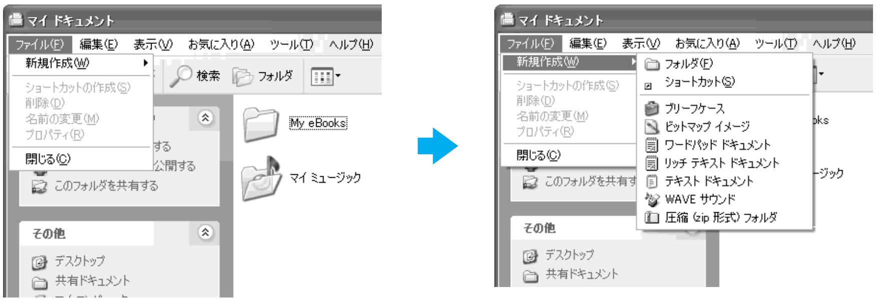
「ファイル」とは、保存された文書や画像のことです。

「ワードパッド」ソフトウェアなどで作成したファイルは、特に指定しない限り、（マイドキュメント）に保存されます。それぞれのファイルはのようにアイコンとして表示されます。ファイルを開くときは、アイコンをダブルクリックします。

フォルダを作る

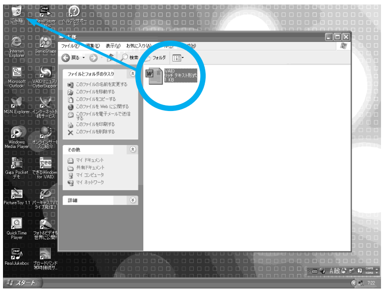
「手紙」フォルダや「画像」フォルダのように、「フォルダ」を作成して、種類や用途別に名前を付けてファイルを保存しておくと便利です。フォルダは、として表示されます。

「マイドキュメント」ウィンドウの中に新しいフォルダを作る場合は、「マイドキュメント」画面のメニューバーの[ファイル]をクリックし、表示されるメニューから[新規作成]、[フォルダ]の順にクリックします。



ファイルやフォルダを削除する

削除したいファイルやフォルダをクリックし、（ごみ箱）までマウスを移動して（ごみ箱）に重ねます（ドラッグアンドドロップ）。



ちょっと一言

削除したいファイルやフォルダを右クリックして、表示されるメニューから「削除」を選び、次に表示される確認画面で「はい」を選んでも、削除することができます。

（ごみ箱）を空にするには

（ごみ箱）に移動したファイルなどは、（ごみ箱）から取り出すことができます。完全に削除するには、（ごみ箱）をダブルクリックして、「ごみ箱」画面で「ごみ箱を空にする」を選び、次に表示される確認画面で「はい」を選びます。

ごみ箱のアイコンが（紙くずあり）から（紙くずなし）に変わります。

練習3：ファイルやフォルダの操作

❶「ウィンドウを開く」の手順で、[マイドキュメント]画面を開いてみましょう。

❷ フォルダを作ったり、「ワードパッド」などのソフトウェアからファイルを作ったりしてみましょう。

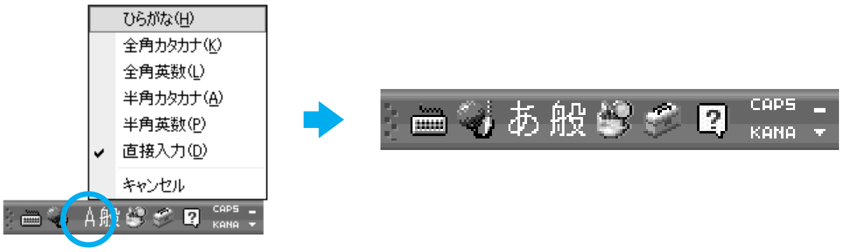
❸ ファイルやフォルダを「ごみ箱」に移動して削除してみましょう。

文字の入力の前に

文字を入力するには、キーボードを使います。
ここでは、入力する文字の選びかたや、入力方法の切り替えかたなどを簡単に説明しています。
文字の入力について詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[できるWindows]をクリックして表示される情報をご覧ください。

入力する文字を選ぶ

入力したい文字に応じて、デスクトップ画面右下に表示されている「MS-IMEツールバー」を使って、入力文字を切り替えます。
MS-IMEツールバーの[A]にポインタを合わせてクリックし、表示される文字入力選択メニューから、入力文字を選びます。



MS-IME ツールバーが表示されていないときは

デスクトップ画面右下のタスクトレイにある JP をクリックします。表示されたMS-IMEメニューの中の[言語バーの表示]をクリックします。
MS-IMEツールバーについて詳しくは、MS-IMEのヘルプをご覧ください。

ひらがなを入力するには

MS-IMEのツールバーの[A]をクリックして、[ひらがな]をクリックします。
ツールバーの表示が[あ]になり、ひらがなが入力できる状態になります。

カタカナを入力するには

MS-IMEのツールバーの[あ]をクリックして、[全角カタカナ]をクリックします。
ツールバーの表示が[カ]になり、カタカナが入力できる状態になります。

アルファベットを入力するには

MS-IMEのツールバーの[カ]をクリックして、[直接入力]をクリックします。
ツールバーの表示が[A]になり、アルファベットが入力できる状態になります。

入力のしかたを選ぶ

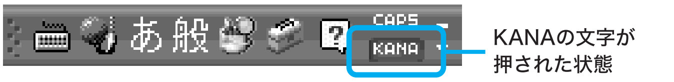
日本語を入力する方法として、ローマ字入力方式とかな入力方式があります。
お好みに合わせて、入力方法を選んでください。
なお、お買い上げ時は、ローマ字入力に設定されています。

❑ ローマ字入力

キーボード上のアルファベットを組み合わせて、ローマ字で日本語を入力する方法です。1 文字を入力するために 2 つまたは 3 つのキーを組み合わせるので、操作が多少めんどうですが、英文タイプライターに慣れている方はこちらが便利です。

❑ かな入力

キーボード上の各キーに印刷されているひらがなを使って、日本語を入力する方法です。1 文字につき 1 つのキーを押せばよいので操作は楽ですが、50 音それぞれのキーの配置を覚える必要があります。



かな入力とローマ字入力を切り替えるには

MS-IMEツールバーの[KANA]をクリックするか Ctrl (コントロール)キーを押しながら Caps Lock 英数 (キャプス・ロック／英数)キーを押すと、ローマ字入力とかな入力とが切り替わります。

練習 4:文字の入力

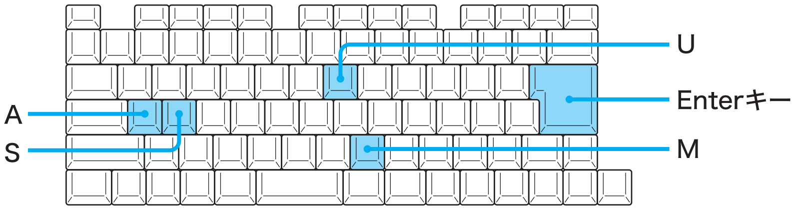
「練習 1:マウスの操作」で開いた「サイバーサポート」画面上部の[検索]欄に文字を入力してみましょう。
ここでは「マウス」と入力してみます。

❶ [検索]欄にポインタを合わせて、クリックします。

❷ MS-IMEのツールバーから[全角カタカナ]を選びます。

❸ ローマ字入力の方法で、「マウス(MAUSU)」とキーボード上のアルファベットを入力します。

❹ Enter (エンター)キーを押します。



これで「マウス」と入力できました。

をクリックすると、「マウス」に関する情報が表示されます。

カスタマー登録する／インターネットに接続する

この章では、オンラインでカスタマー登録する手順とインターネット接続サービスへのオンライン入会手順を説明します。

カスタマー登録する

ここでは、オンラインでカスタマー登録する手順を説明します。

VAIOカスタマーご登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社（以下、「ソニー」）は「バイオ」をご所有のお客様へ必要な情報をお知らせし、充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマーご登録」を行っていただくことをおすすめしています。ご登録のメリットについては、VAIOホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

また、出荷時点で付属する保証書が提供する製品の保証期間はお買い上げ日から3か月です。ご登録を行っていただくことで、VAIOカスタマー専用デスクからお買い上げ日より1年間有効な保証書と「VAIOカスタマーID」を記したご登録証「VAIO Customer's Card」をお送りします。（すでに「VAIO Customer's Card」をお持ちの方へはカードの送付は行われません。）なお、保証について詳しくは「保証書とアフターサービス」（274ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマーご登録に関するお問い合わせ先

ソニーマーケティング株式会社　VAIOカスタマー専用デスク　電話番号：03-5977-7255

営業時間：月～金　10：00から18：00まで（土日祝日、年末年始を除く）

VAIOカスタマーご登録の方法

電話回線を通じて手軽にご登録が行えます。

ちょっと一言

- 付属の「VAIOカスタマー登録・保証書お申込書」にご記入のうえ、郵送いただくことでもご登録を行えます。
- 下記の場合を除き、ソニーがお客様の同意なく登録内容を外部へ開示することはありません。ただし、お客様個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。
  1. お客様が、別途ご案内する「Upgrade Area」および「バイオネットワークサービス」を利用する場合には、これらのサービスの運営会社のソニースタイルドットコム・ジャパン株式会社もお客様の情報を利用いたします。
  2. VAIOカスタマー登録制度の運営に必要な場合、ソニーは業務を委託する協力会社に開示することがあります。（ソニーは、協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します。）
  3. 法的義務を伴う要請を受けた場合、司法機関または行政機関に開示することがあります。
- VAIOカスタマーご登録は、本機の再セットアップをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などのご登録内容の変更を行うときは、VAIOホームページ内（http://www.vaio.sony.co.jp/）のページ上で、変更手続きが行えます。

  また、デスクトップ画面左下の

をクリックして[ここから始めようVAIO！]をクリックして表示される画面で、[VAIOカスタマー登録のおすすめ]をクリックして変更手続きを行うこともできます。
- 12才までのお子さまは、ほごしゃのかたといっしょにとうろくしてください。

下記の手順を行うには、本機が電話回線につながっている必要があります。「VAIOオンラインカスタマー登録」にご使用いただく電話回線は一般電話回線だけでなく、ISDN回線にも対応しています。ISDN回線をお使いになる場合は、ターミナルアダプタのUSBコネクタと本機のUSBコネクタをつないでください。つなぎかたについては「接続する／準備する」（47ページ）をご覧ください。

ISDN回線やターミナルアダプタについて詳しくは、NTT（局番なしの116番）またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

ご注意

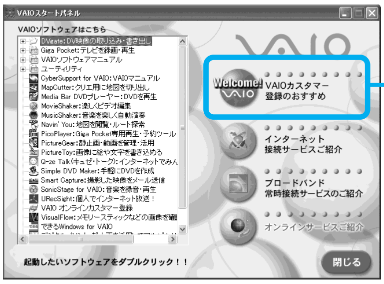
VAIOオンラインカスタマー登録は､｢コンピュータの管理者｣アカウントを持つユーザーのみ行うことができます。

1 デスクトップ画面左下の [スタート] をクリックして[ここから始めよう VAIO！]をクリックする。

ここをクリックする。

｢VAIOスタートパネル｣画面が表示されます。

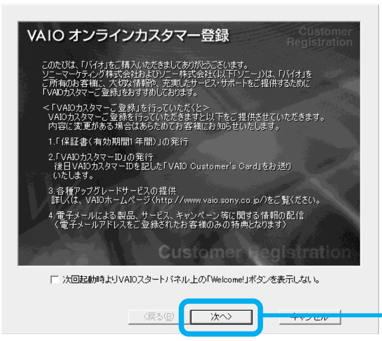
2 ｢VAIOカスタマー登録のおすすめ｣をクリックする。



ここをクリックする。

｢VAIOオンラインカスタマー登録｣の画面が表示されます。

3 [次へ>] をクリックする。



ここをクリックする。

｢VAIOカスタマーID VAIOカスタマーパスワード｣画面が表示されます。

1 つ前の画面が見たいときは

[< 戻る(B)] をクリックします。

カスタマー登録をしない､または後でするときは

[キャンセル] をクリックして表示される画面で [終了(E)] をクリックすると､｢インターネット接続サービスのご紹介｣画面が表示されます。その後の手順について詳しくは109ページをご覧ください。

4

［次へ>］をクリックする。

「VAIOカスタマーご登録を行っていただくときのご注意」の画面が表示されます。

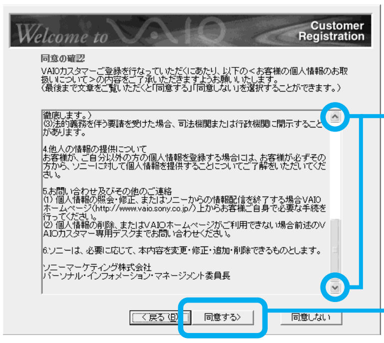
5

［次へ>］をクリックする。

「同意の確認」画面が表示されます。

6

［∨］または［∧］をクリックして、画面に表示された内容をすべて読み、内容に同意するときは［同意する>］をクリックする。



❶ ここをクリックすると文章が上下に移動する。

❷ ［同意する］をクリックする。
［同意しない］をクリックすると、「ここでこのアプリケーションを終了すると登録が完了しません。」というメッセージが表示され、［終了］をクリックすると、「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示される。

「登録種別の選択」画面が表示されます。

7

「新規」の○をクリックして◉にし、［次へ>］をクリックする。

❶ ここをクリックする。

❷ ここをクリックする。

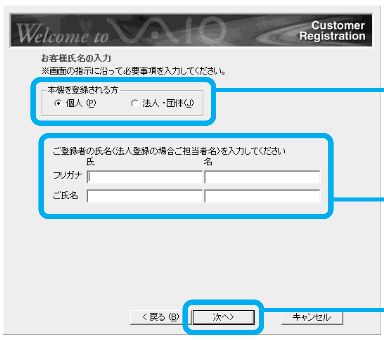
「お客様氏名の入力」画面が表示されます。

ちょっと一言

- 本機を含めてバイオをすでに2台以上お持ちの方など、すでにVAIOカスタマーIDをお持ちの方は、「機種追加」を選び、画面の指示に従って操作してください。
- すでにVAIOカスタマーご登録がお済みの方で、住所など、ご登録内容を変更したいときは、「更新」を選び、画面の指示に従って操作してください。

8

お客様のお名前を漢字で、ふりがなをカタカナで入力し、[次へ>]をクリックする。



「法人・団体」を選んだときは、法人、団体用の情報を入力する画面が表示される。画面の指示に従って情報を入力してから手順11に進む。

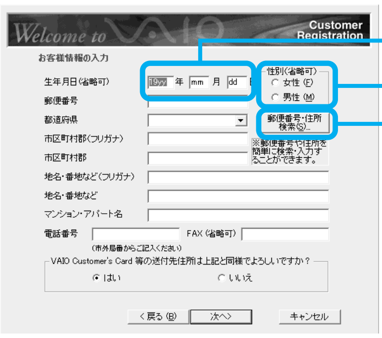
1 お名前とふりがなを入力する。

2 ここをクリックする。

「お客様情報の入力」画面が表示されます。

9

生年月日（任意）を入力し、性別（任意）を選び、[郵便番号・住所検索(S)...]をクリックする。



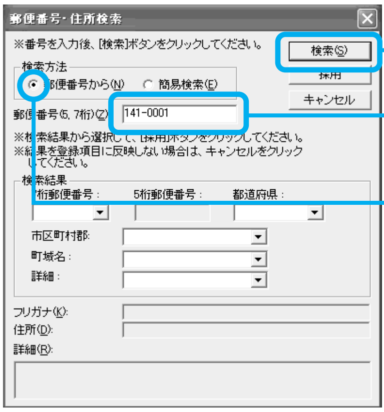
1 生年月日を入力する。

2 性別を選ぶ。

3 ここをクリックする。

「郵便番号・住所検索」画面が表示されます。

10 [検索方法]で「郵便番号から」の◯をクリックして◉にし、ご自分の郵便番号を入力してから 検索(S) をクリックする。

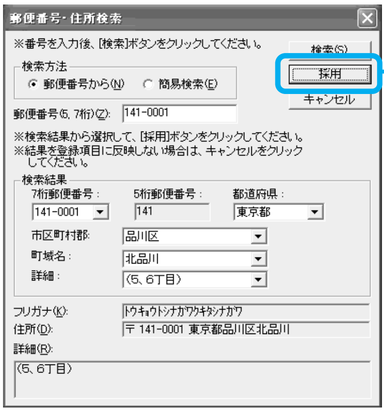


❸ ここをクリックする。

❷ 郵便番号を入力する。
-（ハイフン）は入力しない。

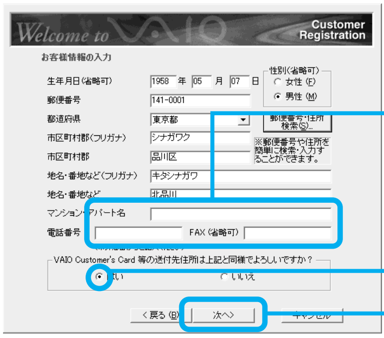
❶ ［郵便番号から］をクリックする。

自動的に入力された住所を確認し、正しければ 採用 をクリックしてください。
「郵便番号・住所検索」画面が閉じ、郵便番号や住所が自動的に入力されます。



ここをクリックする。

11 残りの空欄を入力し、「VAIO Customer's Card」など送付先が入力した住所でよければ「はい」の◯をクリックして◉にし、 次へ> をクリックする。



❶ 地名、番地やマンション、アパート名が必要な場合は入力する。電話番号を入力するときは、-（ハイフン）は入力しない。

❷ ここをクリックする。

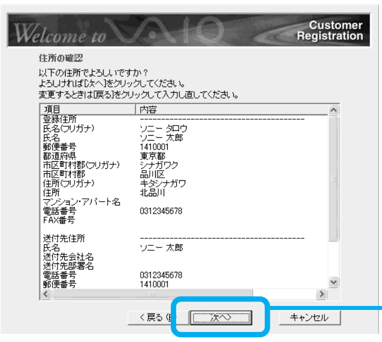
❸ ここをクリックする。

「住所の確認」画面が表示されます。

入力した住所とは別の住所に「VAIO Customer's Card」と保証書などを送付してほしいときは

「いいえ」の◯をクリックして◉にしてください。「VAIO Customer's Card／保証書の送付先」画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

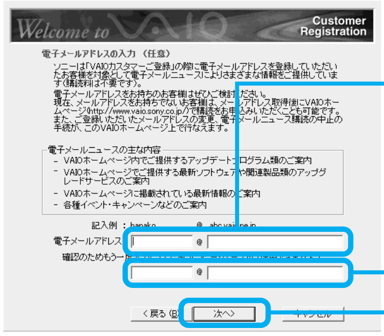
12 住所をご確認の上で、［次へ>］をクリックする。



ここをクリックする。

「電子メールアドレスの入力（任意）」画面が表示されます。

13 すでに電子メールアドレスをお持ちの方は、電子メールアドレスを入力し、［次へ>］をクリックする。



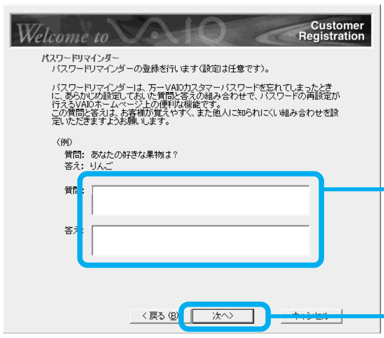
1. 電子メールアドレスを入力する。電子メールアドレスをお持ちでない方や電子メールアドレスを教えたくない方は、何も入力せずに［次へ］をクリックする。
2. 確認のため、もう1度入力する。
3. ここをクリックする。

「パスワードリマインダー（任意）」画面が表示されます。

電子メールアドレスとは

インターネットなどのネットワークを使ってコンピュータ同士でメッセージをやりとりするシステムを電子メール（Eメール）といいます。電子メールアドレスとは、アルファベットや数字で表された電子メールの宛先のことで住所と同じ役割をします。

14 質問と答えを入力し、［次へ>］をクリックする。



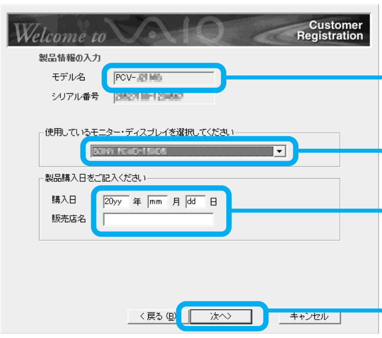
1. 質問と答えを入力する。質問と答えは必ずしも入力する必要はありません。必要がない場合は、何も入力せずに［次へ］をクリックする。
2. ここをクリックする。

「製品情報の入力」画面が表示されます。

パスワードリマインダーとは

パスワードリマインダーとは、VAIOカスタマーパスワードを忘れてしまったときに備え、あらかじめ設定しておいた質問と答えを使って、パスワードの初期化と再設定が行える便利な機能です。

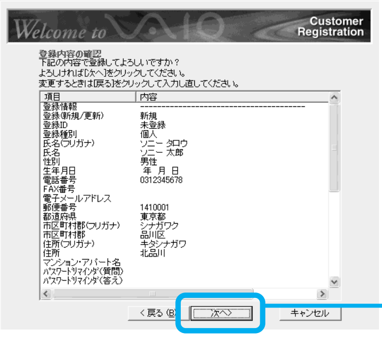
15 本機のモデル名を確認し、使用しているディスプレイを[▼]をクリックして選び、本機の購入日や販売店名を入力し、[次へ>]をクリックする。



1. ここがお使いの機種かを確認する。
2. ここをクリックして選ぶ。
3. ここに入力する。
4. ここをクリックする。

「登録内容の確認」画面が表示されます。

16 ご登録いただく内容をご確認の上で、[次へ>]をクリックする。



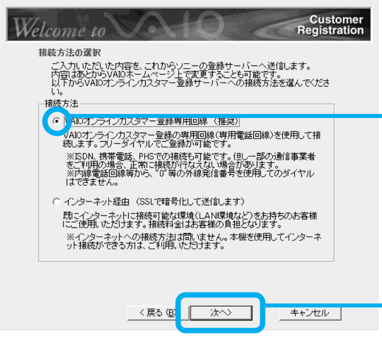
ここをクリックする。

「接続方法の選択」画面が表示されます。

ちょっと一言

登録内容を変更するときは[< 戻る(B)]をクリックし、変更したい画面まで戻り、入力し直します。

17 「VAIOオンラインカスタマー登録専用回線」の○をクリックして◉にし、[次へ>]をクリックする。



1. ここをクリックする。
2. ここをクリックする。

「発信方式の設定」画面が表示されます。

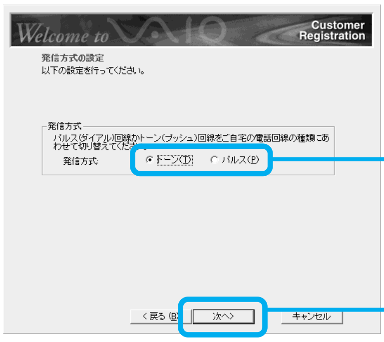
ご注意

- 外線発信（0発信）はできません。
- 「インターネット経由」を選んでご登録いただく場合、接続料金はお客様の負担となります。
- ターミナルアダプタなど、お使いになる通信機器によっては正しく接続できないことがあります。この場合は、本機後面のLINEジャックと一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。

ちょっと一言

- 次へ> をクリックすると、「接続デバイスの選択」画面が表示されることがあります。この場合は、通信に使う機器を選び、次へ> をクリックしてください。
- 「インターネット経由」を選んで 次へ> をクリックしたときは、「インターネット経由の接続設定」画面が表示されますので、画面の指示に従って操作して手順19に進んでください。また、LANの環境などによっては、「インターネット経由の接続設定」画面でプロキシの設定をする必要があります。プロキシの設定について詳しくは、各法人・団体様のシステム管理者にお尋ねください。

18 お使いの電話回線のダイヤル方法を選び、次へ> をクリックする。



❶ 本機を一般電話回線につないでいるときのみトーン式／パルス式ダイヤルを選ぶ。

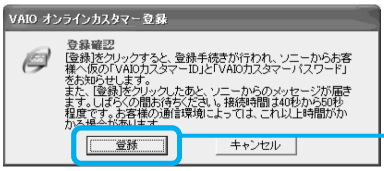
❷ ここをクリックする。

「登録確認」画面が表示されます。

ちょっと一言

トーン式ダイヤルとは：電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。
パルス式ダイヤルとは：ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方法です。
お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）などの電話会社にお問い合わせください。

19 電話回線がつながっていることを確認し、登録をクリックする。



ここをクリックする。

登録内容が電話回線を通じて送られ、送信が終わると「ご登録の完了」画面が表示されます。

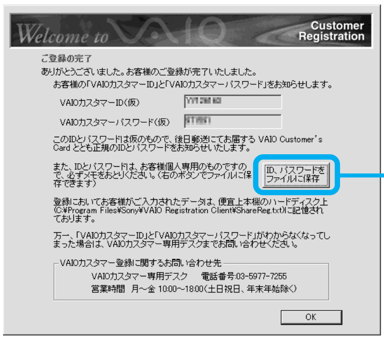
ご注意

ターミナルアダプタなど、お使いになる通信機器によっては正しく接続できないことがあります。この場合は、本機後面のLINEジャックと一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。

ちょっと一言

オンラインご登録時にお知らせする「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」は、正規の「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」が届くまでの間ご使用いただく仮のIDとパスワードです。正規のIDとパスワードは後日、ソニーより「VAIO Customer's Card」や「1年間保証書」などとともに郵送でお知らせいたします。また、次の手順20〜21の操作を行い、仮の「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」をデータとして保存しておくことをおすすめします。

20 ID、パスワードをファイルに保存をクリックする。



ここをクリックする。

「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。

21 ファイルに任意の名前を付け、保存(S)をクリックする。

ここをクリックする。

ご注意

保存されたデータを他人に見られたり、紛失しないようにご注意ください。

ちょっと一言

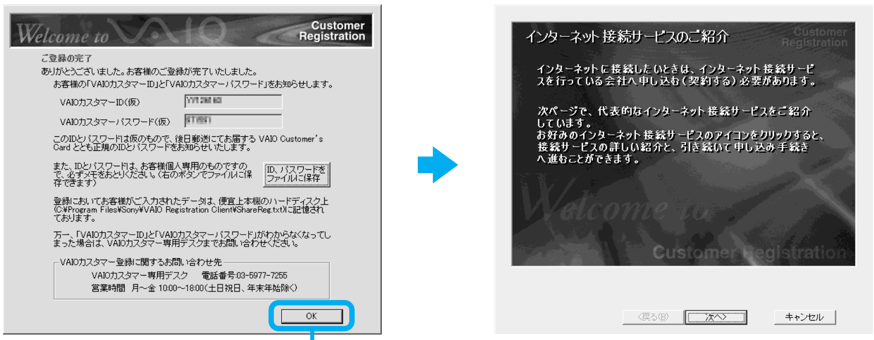
保存されたファイルは、デスクトップ画面左下の[スタート]をクリックし、[マイドキュメント]をクリックすると表示されます。

お客様のカスタマーIDとパスワードの情報がファイルとして「マイドキュメント」フォルダの中に保存され、「ご登録の完了」画面が表示されます。

---

22 [OK]をクリックする。

「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。



ここをクリックする。

ちょっと一言

- [OK]をクリックすると、サービス内容などをお知らせする画面が表示されることがあります。この場合は、[次へ>]をクリックしてください。「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。
- VAIOカスタマーご登録が終わると、デスクトップ画面上にアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックすると、バイオに関するサービス・サポート情報やVAIOのホームページのご案内などのお知らせを見ることができます。

---

23 [次へ>]をクリックする。

インターネット接続サービスの紹介画面が表示されます。

インターネットに接続するときは109ページへお進みください。

インターネットを利用しない、または後で入会手続きを行う場合は[キャンセル]をクリックします。

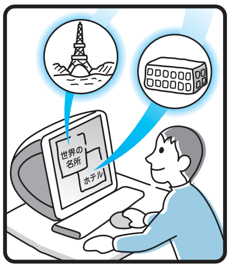
インターネット接続サービスとは

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。インターネット接続サービスはインターネットとコンピュータとの間を仲介する役割を持っています。インターネット接続サービスを提供する会社と契約すると、インターネットを使っていろいろな情報を記述したホームページを簡単に見たり、電子メールを送受信したりできるようになります。

インターネットを始める

インターネットとは

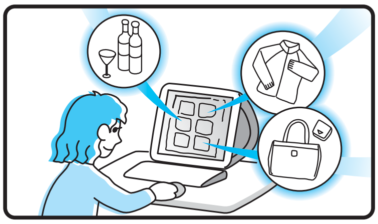
インターネットとは、世界中のコンピュータがつながった、地球規模のネットワークのことです。ここではインターネットを利用するために必要な準備やホームページの見かた、電子メールのやりとりのしかたを説明します。



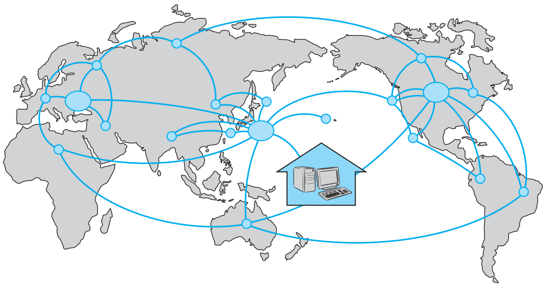
ホームページを見る

世界の景色を見る。
ホテルや乗物の予約をする。
調べたい情報を検索する。
趣味の仲間をさがす。
すべてが地球規模です。

オンラインショッピングをする

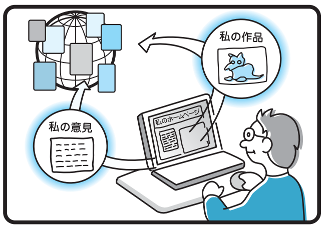


食べ物や衣類など、
家に居ながら遠く離れた外国でも行きつけのお店の感覚で買い物ができます。



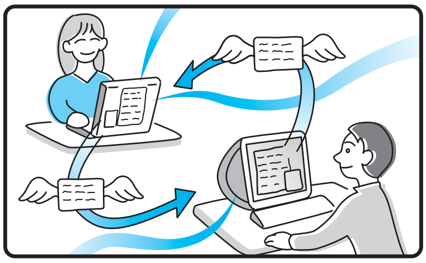
情報を発信する

自分の意見を発言する。
趣味の仲間をつのる。
絵や文芸作品を発表する。
仕事の広告を出す。
世界中が読者です。



電子メールをやりとりする

世界各国に時間を気にすることなく好きなときに、電子メールを送れます。



インターネット接続に必要なものは

世界中の情報に接することのできるインターネットですが、インターネット自体は電話回線のように、ケーブルがつながったものでしかありません。情報を受け取ったり、発信したりするためには専用のソフトウェアが必要になります。

また、電話回線を通してインターネットにつなぐためにインターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。

インターネットに接続するために必要なものは以下の通りです。

電話回線

電話回線には一般電話回線とISDN（アイエスディエヌ）回線の2種類があります。電話を使っている回線が一般電話回線です。

ISDN とは

NTTのデジタル通信網を使った回線で、通信速度も速く、1回線で従来の2回線が使えます。
ISDN回線をお使いになる場合はNTT（局番なしの116番）にご相談ください。

ご注意

ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、ご契約するADSL接続業者にお問い合わせください。

ADSL について

ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットへ高速に常時接続できるサービスのことです。このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者と契約し、申し込むことが必要です。
ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。
本機からADSL接続サービスの申し込みを行うことができます。

デスクトップ画面左下の

をクリックし、[ここから始めようVAIO！]、[ブロードバンド常時接続サービスのご紹介]の順にクリックして表示される画面から申し込みを行ってください。

ターミナルアダプタについて

コンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をISDN回線につなぐための機器です。ISDN回線を使って本機を使用するためには、本機の他にこの機器が必要になります。ターミナルアダプタについて詳しくは、NTT（局番なしの116番）またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

モデム

電子メールをやりとりしたり、インターネット上のホームページを見るために電話をかける装置です。一般電話回線に接続する場合、本機にはモデムが内蔵されていますので、準備する必要はありません。

ソフトウェア

インターネットに接続してホームページを見るには専用のソフトウェア(「ウェブブラウザ」と言います)が必要です。また、電子メールをやりとりするにも専用のソフトウェアが必要です。本機には両方の専用ソフトウェアが付属しています。

本機には以下のウェブブラウザおよび電子メール関連のソフトウェアが付属しています。

ウェブブラウザ

Microsoft Internet Explorer

電子メールソフトウェア

Outlook Express　PostPet

情報管理ソフトウェア(電子メール機能付き)

Microsoft Outlook(型名の末尾が"BP"の機種のみ)

本書では、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアと「Outlook Express」ソフトウェアの設定と使いかたを中心に説明していきます。

これらのソフトウェアの特長について詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの楽しみかた]をクリックして、[付属ソフトウェアの一覧]→[コミュニケーション]の順にクリックして表示される各ソフトウェアの情報をご覧ください。

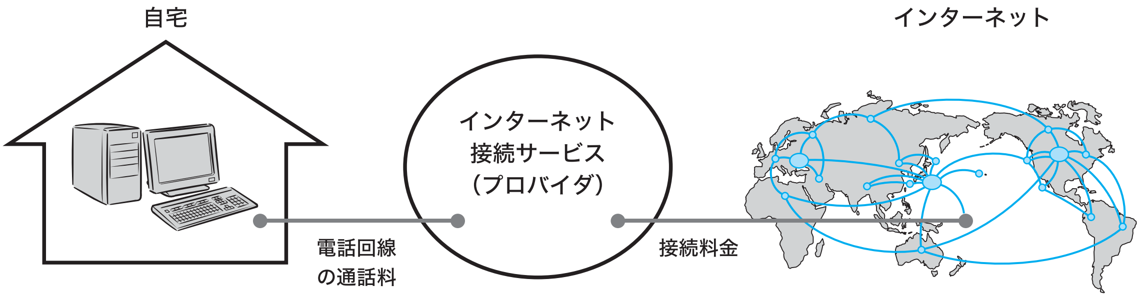
インターネット接続サービス(インターネットサービスプロバイダ:ISP)

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。この会社のことを「インターネットサービスプロバイダ(ISP)」または単に「プロバイダ」と言います(以下、「プロバイダ」と記します)。

プロバイダはインターネットと本機との間を仲介する役割を持っています。

プロバイダと契約すると、インターネットを使って、いろいろな情報が載ったホームページを簡単に見ることができます。また、「電子メールアドレス」という、あなたの住所のようなものが契約時に用意されます。電子メールアドレスは、電子メールを送受信するときの宛先になります。これらのサービスの他に、契約するプロバイダによっていろいろなサービスがあります。

プロバイダと契約すると、サービスに応じた接続料金がかかります。また、プロバイダとの契約条件によっては、接続料金とは別に電話回線の通話料がかかることがあります。



ご注意

- 本機および付属ソフトウェアの設定によっては、本機の電源を切っている間でも、自動的にインターネットに接続することがあります。自動接続すると、接続を自動的に終了しないことがあります。この場合、通話料と接続料金が多額になる可能性がありますので、ご注意ください。
- インターネットに接続している間は、電話をかけたり、受けたりできないことがあります。

インターネット上でのトラブルについて

現在一般に普及し、さまざまなサービスを提供しているインターネットですが、普及に伴いトラブルも発生しています。

インターネットは非常に便利なものですが、使いかたを誤ったり、安易な気持ちで使用すると思わぬトラブルにあう可能性があります。

インターネット上の情報について

インターネット上の情報はすべてが正しいとは限りません。

ひぼう・中傷・暴力・わいせつなど情報を受ける側もモラルを持って情報を利用する必要があります。

また、情報を発信する場合もマナーを守って行わないと、気がつかないところで自分が加害者になる恐れもあります。ユーザー名やパスワードなどは他人に知られないように管理してください。

コンピュータウイルスやチェーンメールなどの被害について

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意を持った人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルス（コンピュータの動作に悪影響を与えるプログラム）が潜んでいたり、チェーンメールなどにより不快な内容の電子メールが送られてくることもあります。不審な電子メールが送られてきた場合には安易に開いたり、添付されているプログラムを実行せずに削除してください。

また、できるだけインターネットサービスプロバイダなどに報告して、自分が加害者にならないようにしましょう。

情報の機密性について

ソフトウェアやOSなどの不具合により、インターネットに接続しているコンピュータの情報などが漏れてしまう可能性があります。

悪意を持った人たちの標的になりやすいため対応することが必要です。

ウェブブラウザやOSの各ソフトウェアの情報が開発元のホームページなどに掲載されていますので、不具合情報をこまめに確認することをおすすめします。

電子メールは完全な機密性があるわけではありません。送信する内容にはご注意ください。

OS とは

「オペレーティングシステム」の略称で、「オーエス」と読みます。
リソースなど、コンピュータ全体を管理し、コンピュータを操作するのに必要な基本ソフトウェアです。本機で使用しているOSはWindows XPです。

インターネットショッピングでのトラブル

インターネットショッピングをするときに、むやみにクレジットカードの番号を入力しないようにご注意ください。プライバシー情報がもれる可能性があります。

注文した品物と違う、代金を送金したのに品物が届かないなどのトラブルも発生しています。できるだけ信頼できるところを利用するなどの注意が必要です。

その他

インターネット上で無料で公開されているソフトウェアによっては国際電話やダイヤルQ2などに接続してしまうものもあります。知らない間に接続してしまい、課金されている場合がありますのでご注意ください。

- インターネット上での個人の情報の公開には細心の注意を払いましょう。
- 社会的に犯罪とされているものはインターネット上でも犯罪です。

インターネットに接続するまでの流れ

インターネットを利用してホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、本機をインターネットに接続する必要があります。

以下のステップに入る前に次の点を確認してください。

- 本機が正しく電話回線につながっているか（51ページ）
- お使いの電話回線がトーン式ダイヤル、パルス式ダイヤルのどちらか

ISDN回線をご利用の場合はNTT（局番なしの116番）にご相談ください。

以下の流れに従ってインターネットに接続します。詳しくは、各手順の参照ページをご覧ください。

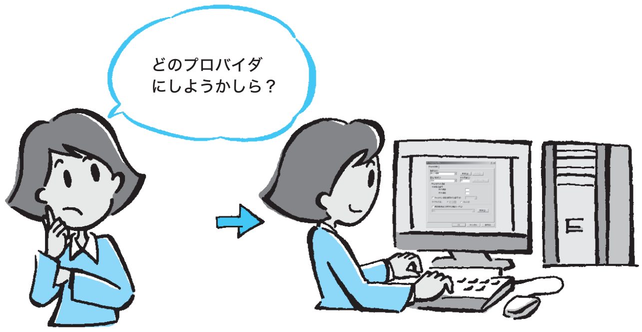
ご注意

「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみインターネットに接続するための設定を行うことができます。

1 プロバイダと契約しましょう（109ページ）

プロバイダと契約します。

契約すると、インターネット接続に必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。



2 チェックシートを作成しましょう（120ページ）

プロバイダから郵送されてきた資料をもとに、チェックシートを作成します。資料の内容など、インターネット接続の設定の際の不明点については、契約したプロバイダにお問い合わせください（119ページ）。

ご注意

郵送されてくるまでしばらく時間がかかります。

3 接続のための設定をしましょう（125ページ）

チェックシートをもとに、本機を使ってインターネットに接続するための設定をします。

4 電子メールソフトウェアの設定をしましょう（136ページ）

電子メールを使うときは電子メールを使うための設定をします。

5 インターネットに接続してみましょう（141ページ）

契約したプロバイダに接続します。

インターネットに接続したあとは

ホームページを見てみましょう（145ページ）

ホームページを見る練習をします。

電子メールをやりとりしてみましょう（153ページ）

電子メールをやりとりする練習をします。

1 プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。

数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分に合ったプロバイダと契約することをおすすめします。料金やサービスの内容について詳しくは、110ページからの手順に従って操作し、「@nifty」の紹介画面や各プロバイダの紹介画面の説明をご覧ください。

ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

プロバイダと契約するには、オンラインサインアップを使うと便利です。

オンラインサインアップとは

電話回線を通じてプロバイダと契約することです。
111ページからの手順に従って、オンラインサインアップを始めましょう。

ご注意

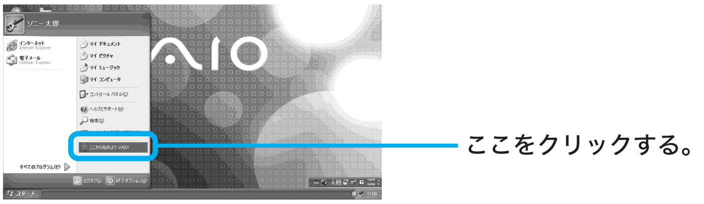
オンラインサインアップソフトウェアによっては、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーしか使えない場合があります。どのプロバイダのオンラインサインアップソフトウェアでも使えるように「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンしてください。

プロバイダとWindows XPのユーザー制限

プロバイダ	ユーザー制限
AOL	制限ユーザー以上
BIGLOBE	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
DION	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
@nifty	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
OCN	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
ODN	制限ユーザー以上
So-net	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
バイオネットワークサービス	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
ぷらら	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ

各プロバイダについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の［VAIOの楽しみかた］をクリックして、［付属ソフトウェアの一覧］→［コミュニケーション］の順にクリックして表示される情報をご覧いただくか、「付属ソフトウェアについて」（277ページ）をご覧になり、各お問い合わせ先へお問い合わせください。
また、上記以外のプロバイダと契約するときは、契約するプロバイダにWindowsのユーザー制限についてお問い合わせください。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、［ここから始めようVAIO！］をクリックする。



「VAIOスタートパネル」の画面が表示されます。

2 ［インターネット接続サービスご紹介］をクリックする。

インターネット接続サービス「@nifty」の説明が表示されます。

ここからは、入会したいプロバイダに応じて操作してください。

@nifty**に入会したいときは:**

このページの「@niftyにオンラインサインアップするには」をご覧ください。

その他のプロバイダに入会したいときは:

[その他のインターネット接続サービス]をクリックして表示される画面で 次へ ▷▷▷ をクリックしてください。

「インターネット接続サービスご紹介」画面が表示されます。

ここをクリックする。

この後の手順については、「@nifty以外のプロバイダにオンラインサインアップするには」(119ページ)をご覧ください。

@niftyにオンラインサインアップするには

ここでは、実際に@niftyにオンラインサインアップします。

以下の手順に従って操作してください。

ちょっと一言

VAIOオンラインカスタマー登録をすませておくと、住所や氏名などが流用されて自動登録されるため、入力の手間を省くことができます。

1

「国内最多500万人会員」や「アクセスポイントは日本全国に201ヶ所」などをクリックして「@nifty」のサービス内容を確認する。

ここをクリックして表示される画面でサービスの内容を確認する。

ちょっと一言

あとで希望のプランを選択しますので、ご自分に合ったプランを決めておいてください。

カスタマー登録する/インターネットに接続する

2

[今すぐ入会!] をクリックする。

ここをクリックする。

「@niftyでインターネット」画面が表示されます。

3

[入会申込スタート！(S)] をクリックする。

ここをクリックする。

「通信設定」画面が表示されます。

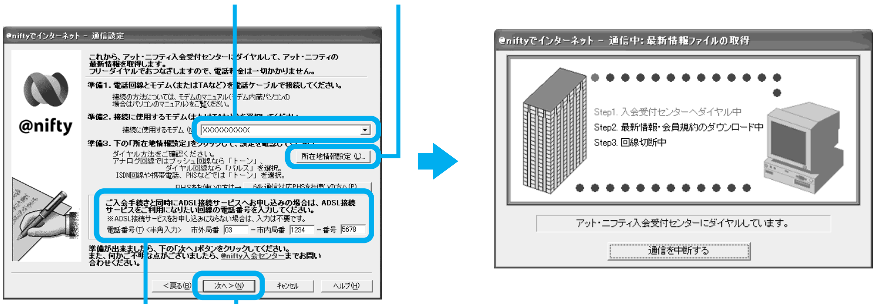
4

各項目を確認し、[次へ>(N)] をクリックする。

「通信中：最新情報ファイルの取得」画面が表示され、通信が開始されます。

❶ お使いのモデムになっているか確認する。

❷ 正しく設定されているか確認する。



❹ ここをクリックする。

❸ ADSL接続サービスへお申し込みの場合は、ADSL接続サービスをご利用になりたい回線の電話番号を入力する。

所在地情報設定を確認するには

[所在地情報設定(L)...] をクリックして表示される「電話とモデムのオプション」画面で「所在地」を選択し、[編集(E)...] をクリックします。「所在地の編集」画面でダイヤル情報やダイヤル方法の設定が正しいか確認します。

ADSL 接続サービスをご利用になりたい回線の電話番号を入力した場合は

ADSL接続サービスの検索結果画面が表示されます。［OK］をクリックしてください。
アット・ニフティ入会受付センターに接続されると、「会員規約の表示」画面が表示されます。

5 会員規約を読み、最新情報や料金コースの内容を確認の上、［会員規約に同意する(A)］をクリックする。

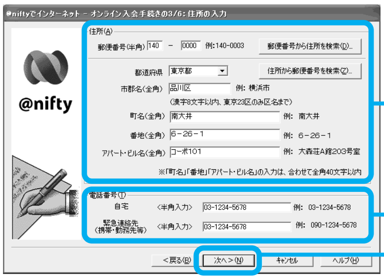
「個人情報の入力」画面が表示されます。

6 氏名、性別、生年月日を入力し、［次へ>(N)］をクリックする。

1. ご自分の名前を漢字とローマ字で入力する。
2. ここで性別を選ぶ。
3. ここを入力する。
4. ここをクリックする。

「住所の入力」画面が表示されます。

7 住所、電話番号を入力し、［次へ>(N)］をクリックする。



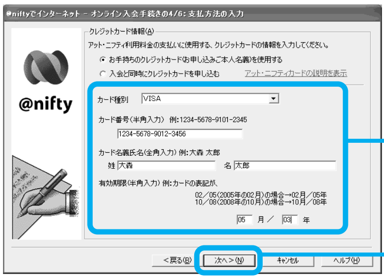
1. ここを入力する。
2. ここを入力する。
3. ここをクリックする。

「支払方法の入力」画面が表示されます。

ちょっと一言

［郵便番号から住所を検索(D)...］または［住所から郵便番号を検索(Z)...］をクリックすると、簡単に郵便番号と住所を入力することができます。

8 クレジットカード情報を入力し、[次へ＞(N)]をクリックする。



❶「カード種別」、「カード番号」、「カード名義氏名」、「有効期限」を入力する。

❷ ここをクリックする。

「オプション設定」画面が表示されます。

クレジットカードをお持ちでないときは

入会と同時にアット・ニフティカードの申し込みを行うことができます。[入会と同時にクレジットカードを申し込む]の◯をクリックして◉にし、表示される画面の説明に従って入会手続きを行ってください。
ただし、アット・ニフティカードをお申し込みの場合は、入会と同時にADSL接続サービスを申し込むことはできません。

9 料金コース、メールアドレス、オプション設定を入力し、[次へ＞(N)]をクリックする。

❶ ▼をクリックして、表示されるリストから希望のコースを選ぶ。

❷ 希望するメールアドレスを第3希望まで入力する。

❸ デスクトップに各サービスへのショートカットを作成するオプションを選ぶ。

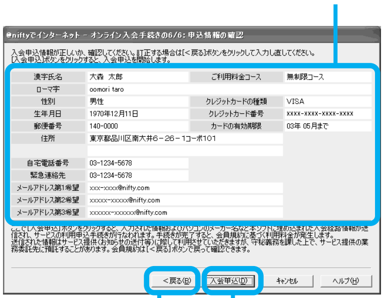
❹ ここをクリックする。

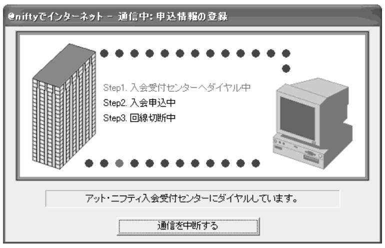
「個人情報の確認」画面が表示されます。

10 登録する内容を確認し、[入会申込(D)]をクリックする。

「通信中：申込情報の登録」画面が表示され、通信が開始されます。

❶ 内容をよく確認する。





❷ ここをクリックする。

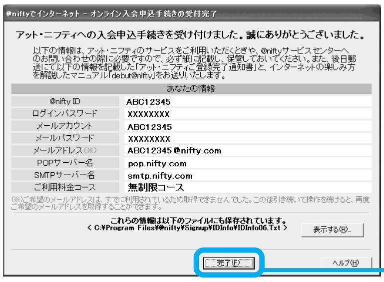
内容が間違っている場合はここをクリックして、前の画面に戻って修正する。

「オンライン入会申込手続きの受付完了」画面が表示されメールアドレスが取得できます。メールアドレスが取得できないと、この画面に「ご希望のメールアドレスは、すでに利用されているため取得できませんでした。この後引き続いて操作を続けると、再度ご希望のメールアドレスを取得することができます。」というメッセージが表示されます。

ちょっと一言

メールアドレスが取得できなかった場合は、このあと、手順18で再び希望のメールアドレスを取得する画面が表示されます。

11 完了(F) をクリックする。



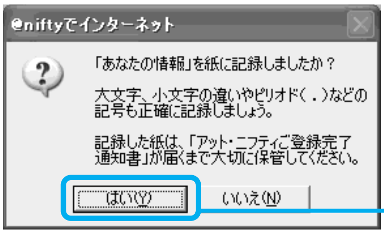
ここをクリックする。

情報を紙に記録したか確認する画面が表示されます。必ず、@nifty IDなどの情報を紙に記録してください。

ご注意

記録した登録情報は、@niftyを利用する際に必要となります。また、パスワードが含まれているので他人に見られたりしないように大切に保管してください。

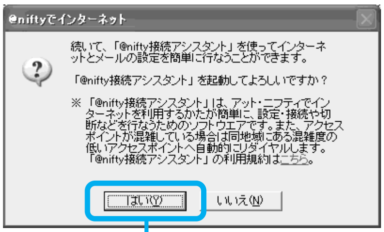
12 はい(Y) をクリックする。



ここをクリックする。

「「@nifty接続アシスタント」を起動してよろしいですか？」画面が表示されます。

13 [はい(Y)]をクリックする。



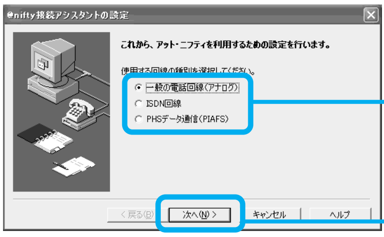
ここをクリックする。

「@nifty接続アシスタントの設定」画面が表示されます。

ご注意

オンラインサインアップ時にテレコミ料金コースを選択された方は、手順17に進んでください。

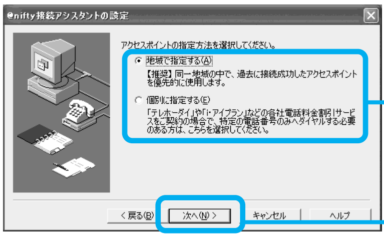
14 使用する回線の種別を選択し、[次へ>(N)]をクリックする。



1. 一般の電話回線か、ISDN回線か、PHSデータ通信かを選ぶ。
2. ここをクリックする。

次の画面が表示されます。

15 アクセスポイントの指定方法を選択し、[次へ>(N)]をクリックする。



1. 地域で指定するか、個別に指定するかを選ぶ。
2. ここをクリックする。

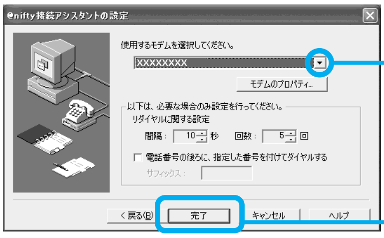
次の画面が表示されます。

16 地図上で接続先の地域を選択し、一覧から都市を選択し、[次へ>(N)]をクリックする。

1. 地域を選択してクリックする。
2. 都市を選択してクリックする。
3. ここをクリックする。

次の画面が表示されます。

17 使用するモデムを選択し、完了をクリックする。

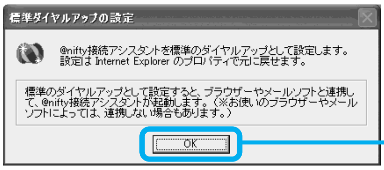


1 ここをクリックして選ぶ。

2 ここをクリックする。

「標準ダイヤルアップの設定」画面が表示されます。

18 OKをクリックする。



ここをクリックする。

手順10でメールアドレスが取得できている場合

「@nifty接続アシスタント」画面が表示されます。

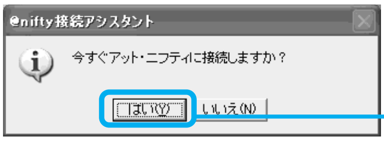
手順19へ進んでください。

手順10でメールアドレスが取得できなかった場合

「希望のメールアドレス（別名）の取得」画面が表示されます。

表示される指示に従って、メールアドレスを取得して、手順20へ進んでください。

19 はい(Y)をクリックする。

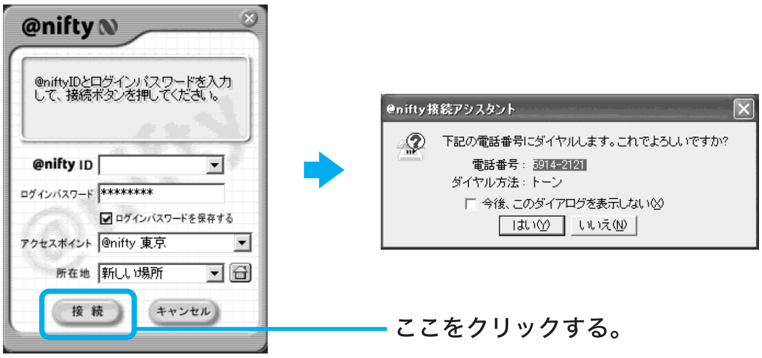


ここをクリックする。

「@nifty」画面が表示されます。

20 接 続 をクリックする。

接続番号確認の画面が表示されます。



21 はい(Y) をクリックする。

この後は、お申し込みの内容によって、表示される画面が異なります。
画面の指示に従って操作してください。

@nifty以外のプロバイダにオンラインサインアップするには

お好みのプロバイダのアイコンをクリックして、入会する手続きを開始します。

画面の指示に従って操作してください。

お好みのプロバイダのアイコンをクリックする。

プロバイダとの契約後にインターネット接続を手動で設定する、または LAN（ネットワーク）を使って接続するときは

「インターネット接続サービスご紹介」画面右下の［こちらへ］をクリックします。
「インターネット接続ウィザード」画面が表示されるので、郵送されてきた資料の設定情報をご覧になり、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

入会手続きをしない、または後でするときは

「インターネット接続サービスご紹介」画面右上の×をクリックします。
入会手続きが終わると、インターネットが使えるようになります。

プロバイダと契約したあとは

契約後はプロバイダから契約内容とインターネットに接続するために必要な情報が記載された資料がお手元に郵送されてくるまでお待ちください。

すぐにインターネットに接続したいときは、契約するプロバイダにご相談ください。

各プロバイダについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の［VAIOの楽しみかた］をクリックして、［付属ソフトウェアの一覧］→［コミュニケーション］をクリックして表示される情報をご覧いただくか、「付属ソフトウェアについて」（277ページ）をご覧ください。

2 チェックシートを作成する

プロバイダと契約を結ぶと、通常、インターネットに接続するために必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。

その資料をもとにインターネットに接続するための設定をします。

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になりながら、このページのチェックシートをあらかじめ作成しておくと、「接続のための設定をする」（125ページ）および「電子メールソフトウェアの設定をする」（136ページ）の手順でインターネットに接続するための設定が簡単になります。

121ページからの説明に従ってチェックシートの各項目をご記入ください。

ご注意

- このチェックシートに書き込む内容は、あなたの個人情報です。取り扱いには十分ご注意ください。
- このチェックシートは、将来、再度設定し直さなければならないときなどにも活用できますので、この説明書は大切に保管しておいてください。
- 他人にご自分のパスワードなどの情報がもれないようにご注意ください。パスワードは、他人に自分の名前を使われたり、電子メールを読まれたりしないようにするためのものです。できるだけ紙に書き留めず、記憶しておくことをおすすめします。
- 「❹パスワード（PPP）」はプロバイダに電話回線を通じて接続できるようにするためのパスワードです。「⓮パスワード（POPアカウントパスワード）」は電子メールを受信できるようにするためのパスワードです。これらのパスワードは両方とも同じでも、別々でもかまいません。（プロバイダによって、自由に設定できる場合と、プロバイダが規定する場合があります。）

ちょっと一言

- 他人に見られることがないように、このページを複写したうえで各項目を記入し、厳重に保管することをおすすめします。
- 複写した紙に記入しておくと、125ページからの設定を行うときに便利です。

設定項目	あなたの設定値	例（So-netの場合）
❶ダイヤルアップ接続名		So-net東京第16
❷電話番号（アクセスポイント）		03-5792-9060
❸ユーザー名（PPP）		ichiro@aa2
❹パスワード（PPP）		
❺市外局番		03
❻トーン／パルス（電話回線の種類）		
❼DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）	.　.　.	202.238.95.24
❽別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）	.　.　.	202.238.95.26
❾表示名（差出人フィールドでの表示）		Ichiro Suzuki
❿電子メールアドレス	@	ichiro@aa2.so-net.ne.jp
⓫受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー		pop.aa2.so-net.ne.jp
⓬送信メール（SMTP）サーバー		mail.aa2.so-net.ne.jp
⓭POPアカウント名		ichiro
⓮パスワード（POPアカウントパスワード）		
⓯インターネットメールアカウント名		ichiro@aa2.so-net.ne.jp

記入内容がわからないときは契約したプロバイダにお問い合わせください。

ちょっと一言

「❼DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）」、「❽別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）」、「⓫受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー」、「⓬送信メール（SMTP）サーバー」は、プロバイダによっては設定しなくてよいことがあります。

設定項目について

❶ ダイヤルアップ接続名

デスクトップ画面左下の

をクリックして、[コントロールパネル]、[ネットワークとインターネット接続]、[ネットワーク接続]の順にクリックして表示される接続名です。

お好みの名前をご記入ください。

例：So-net東京第16

❷ 電話番号（アクセスポイント）

プロバイダから送られてきた資料をご覧になり、プロバイダのアクセスポイントの電話番号（接続先の電話番号）をご記入ください。アクセスポイントは「V.90」に対応しているものをお選びになると、より高速な通信ができます。

例：03-5792-9060

アクセスポイントとは

一般加入電話からインターネットに接続するために、プロバイダが設けている接続地点のことです。インターネットの利用者は接続地点までの電話料金を負担する必要があるので、利用地点からより近いアクセスポイントで接続する方が通話料は少なくてすみます。

ご注意

ここで記入する電話番号はご自分の電話番号ではありませんのでご注意ください。

- 電話番号は必ず市外局番からご記入ください。
- ISDN回線をお使いの場合やPHSを使ってインターネットに接続するときは、電話番号が異なる場合があります。詳しくは契約したプロバイダにお問い合わせください。

❸ ユーザー名（PPP）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するときに使用するユーザー名をご記入ください。

例：ichiro@aa2

ちょっと一言

ユーザー名は「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネットワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」などともいいます。

PPPとは

「Point to Point Protocol」の略で、ネットワークに接続する方法の1つです。
電話による接続が一般的なことからダイヤルアップ接続とも呼ばれています。

❹ パスワード（PPP）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するときに使用する、ユーザー名に対するパスワードを記入します。

ちょっと一言

- このパスワードは「PPPパスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」などともいいます。
- パスワードの入力は、一般的に半角の英数字や記号などを使います。

ダイヤルアップ接続とは

電話回線を通じてインターネットに接続することです。

❺ 市外局番

ご自分の電話番号の市外局番をご記入ください。

例：03

❻ トーン／パルス（電話回線の種類）

お使いの電話回線のダイヤル方法がトーン式かパルス式か確認してご記入ください。

トーン式：

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」と音がしない電話機のダイヤル方法です。

パルス式：

ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」と音がする電話機のダイヤル方法です。パルス式ダイヤルの場合、ダイヤルボタンを押すと受話器から電子音が聞こえるものもあります。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。

請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。

電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）などの電話会社にお問い合わせください。

❼ DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、ご記入ください。

例：202.238.95.24

ちょっと一言

- DNSサーバーは「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」ともいいます。
- この項目が必要ないプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

❽ 別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）

「❼DNSサーバーアドレス」以外のアドレスがプロバイダから郵送されてきた資料に書かれている場合はご記入ください。

DNSサーバーアドレスは1つだけのプロバイダもあります。この場合は、「❽別のDNSサーバーアドレス」は空欄のままでかまいません。

例：202.238.95.26

❾ 表示名（差出人フィールドでの表示）

あなたが送る電子メールの差出人欄に表示する名前をお好みでご記入ください。通常はご自分の名前のフルネームにします。

例：Ichiro Suzuki

ちょっと一言

この表示名は全角の漢字でも良いですが、日本語圏以外の相手に電子メールを送ることが多い方は半角のアルファベットにすることをおすすめします。こうすることによって電子メールを送った相手には「Ichiro Suzuki<ichiro@aa2.sonet.ne.jp>」などと表記されます。

❿ 電子メールアドレス

電子メールをやりとりするときのあなたの宛先をご記入ください。

プロバイダから郵送されてきた資料には「xxxxx@xxxx.xx.xx」と記載されています。電子メールアドレスは、あなたの住所と同じ役割をします。

例：ichiro@aa2.so-net.ne.jp

ちょっと一言

電子メールアドレスは、「E-Mailアドレス」、「Mailアドレス」、「メールアドレス」などともいいます。

⓫ 受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを受け取るサーバーのアドレスをご記入ください。受信メールサーバーは、郵便局のような役割をします。受信メールサーバーからあなたの電子メールアドレスに電子メールが送られます。

例：pop.aa2.so-net.ne.jp

ちょっと一言

- 受信メールサーバーは、「メールサーバー」、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」、「POP3」などともいいます。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

⓬ 送信メール（SMTP）サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを送信するサーバーのアドレスをご記入ください。送信メールサーバーも郵便局のような役割をします。あなたが送った電子メールを受け取り、送り先の電子メールアドレスに送ります。

例：mail.aa2.so-net.ne.jp

ちょっと一言

- 送信メールサーバーは「メールサーバー」、「SMTPサーバー」、「メール送信サーバー」、「SMTP」などともいいます。「⓫受信メールサーバー」と同じ場合もあります。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

⓭ POPアカウント名

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名をご記入ください。「❿電子メールアドレス」の「@」(アットマーク)より前の部分を記入します。電子メールを見るためには、このアカウント名と「⓮パスワード」の両方が必要になります。

例:「ichiro@aa2.so-net.ne.jp」が電子メールアドレスなら、POPアカウント名は「ichiro」になります。

ちょっと一言

POPアカウント名は「メールアカウント名」、「メールサーバーログイン名」、「メールログイン名」、「POPサーバーアカウント」、「POPサーバーログイン名」ともいいます。「❸ユーザー名」と同じ場合もあります。

⓮ パスワード(POPアカウントパスワード)

受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名に対するパスワードを半角の英数字でご記入ください。

電子メールを見るためには、「⓭POPアカウント名」とこのパスワードの両方が必要になります。

ちょっと一言

このパスワードは、「メールパスワード」、「メールサーバーパスワード」などともいいます。

⓯ インターネットメールアカウント名

お好みの名前をご記入ください。わかりやすいように電子メールアドレスを入れることをおすすめします。

例:ichiro@aa2.so-net.ne.jp

3 接続のための設定をする

❑ **一般電話回線で接続される方は、このままお進みください。**

❑ **ADSLを使ってインターネットに接続する場合は、「ADSLでインターネットに接続するには」（133ページ）をご覧ください。**

「チェックシートを作成する」（120ページ）で作成したチェックシートをご覧になりながら、各項目に記入した内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力していきます。以下の手順に従って操作してください。

1 本機の電源を入れる。

電源の入れかたについては、「電源を入れる」（63ページ）をご覧ください。

2 デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[インターネット]をクリックする。

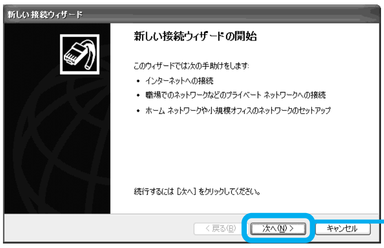
ここをクリックする。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されないときは

接続のための設定が終わったあとは スタート 、[インターネット]の順にクリックすると、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動するようになります。もう1度「新しい接続ウィザード」を表示させたいときは、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[アクセサリ]、[通信]、[新しい接続ウィザード]の順にクリックします。

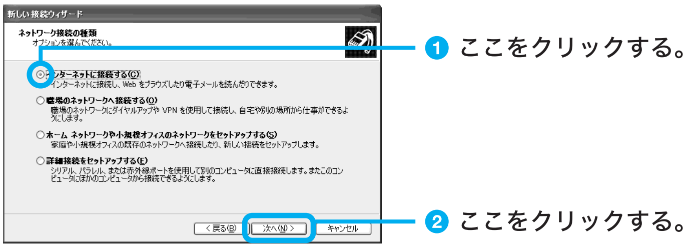
3 次へ(N) > をクリックする。



ここをクリックする。

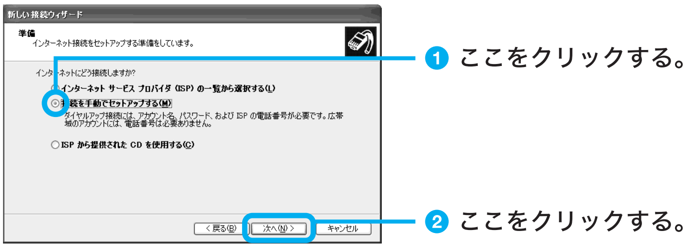
「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

4 ［インターネットに接続する］の○をクリックして◉にし、[次へ(N) >]をクリックする。



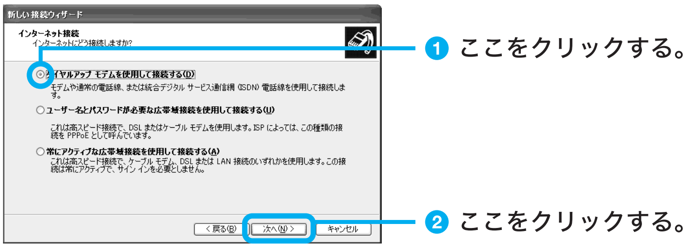
「準備」画面が表示されます。

5 ［接続を手動でセットアップする］の○をクリックして◉にし、[次へ(N) >]をクリックする。



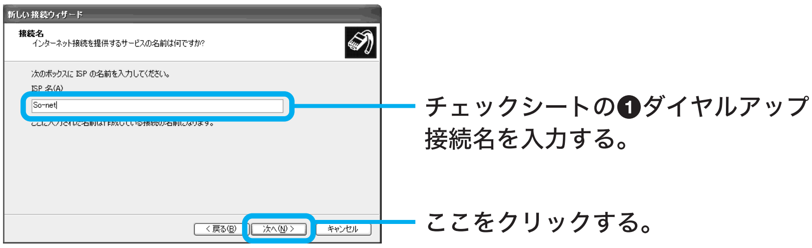
「インターネット接続」画面が表示されます。

6 ［ダイヤルアップモデムを使用して接続する］の○をクリックして◉にし、[次へ(N) >]をクリックする。



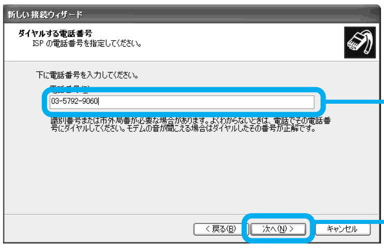
「接続名」画面が表示されます。

7 「ISP名」（ダイヤルアップ接続名）を入力し、[次へ(N) >]をクリックする。



「ダイヤルする電話番号」画面が表示されます。

8 アクセスポイントの電話番号を入力し、次へ(N) >をクリックする。

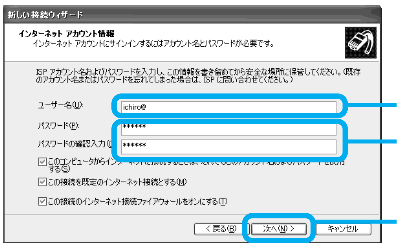


チェックシートの❷電話番号（アクセスポイント）を入力する。

ここをクリックする。

「インターネットアカウント情報」画面が表示されます。

9 ユーザー名とパスワードを入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、次へ(N) >をクリックする。



チェックシートの❸ユーザー名（PPP）を入力する。

チェックシートの❹パスワード（PPP）を入力する。

ここをクリックする。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

ちょっと一言

「パスワード」はパスワードの文字数と同じ数の「＊」で表示されます。

10 完了をクリックする。

「新しい接続ウィザード」が終了します。

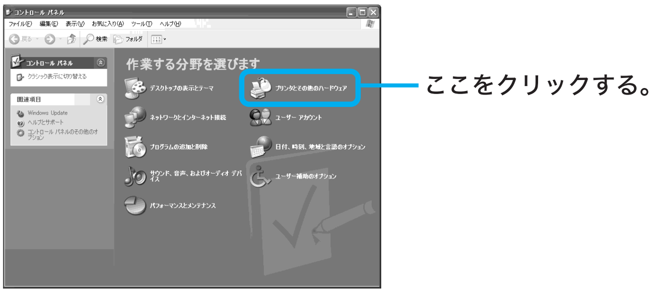
ちょっと一言

「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。

11 デスクトップ画面左下のスタートをクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

12 [プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。

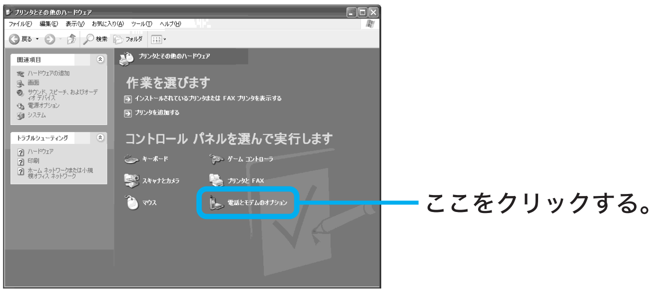


「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

ちょっと一言

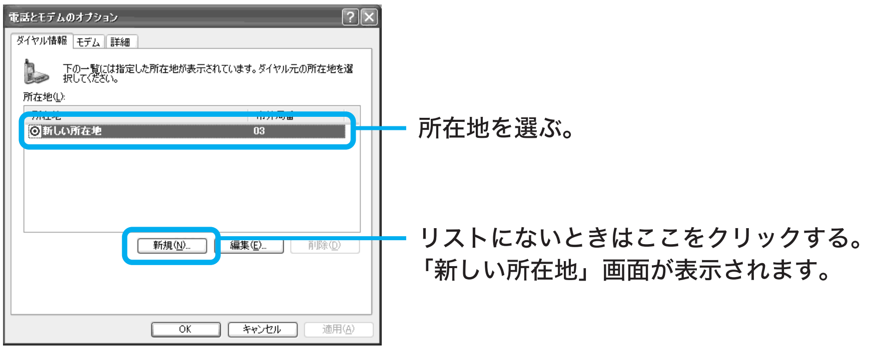
手順12および13の画面での操作はお買い上げ時の状態のものです。

13 [電話とモデムのオプション]をクリックする。



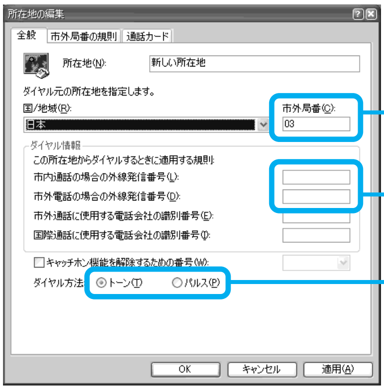
「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

14 設定されている所在地をクリックして選び、[編集(E)...]をクリックする。



「所在地の編集」画面が表示されます。

15 各項目を以下のように設定し、 OK をクリックする。



チェックシートの❺市外局番。
ダイヤル元の市外局番を半角の数字で入力する。

外線発信番号が必要な場合は「0」と入力する。

チェックシートの❻トーン／パルス（電話回線の種類）を選ぶ。

16 「電話とモデムのオプション」画面の OK をクリックする。

17 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［接続］にポインタを合わせ、［すべての接続の表示］をクリックする。

ここをクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

ちょっと一言

以下の方法でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます（お買い上げ時のウィンドウの設定の場合）。

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、［コントロールパネル］をクリックする。表示された「コントロールパネル」画面で［ネットワークとインターネット接続］アイコンをクリックする。表示された「ネットワークとインターネット接続」画面で［ネットワーク接続］アイコンをクリックする。

18 ダイヤルアップ接続(チェックシート❶)のアイコンをダブルクリックする。

So-netの例では[So-net]をダブルクリックします。

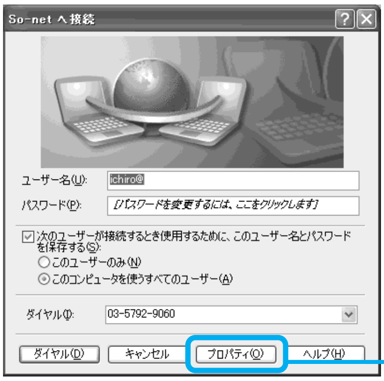
ここをダブルクリックする。

「So-netへ接続」画面が表示されます。

ちょっと一言

手順10で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。これをダブルクリックして、手順19に進むこともできます。

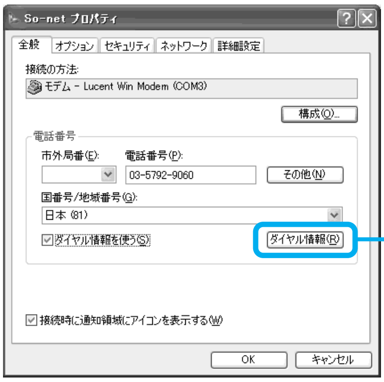
19 [プロパティ(P)]をクリックする。



ここをクリックする。

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が表示されます。

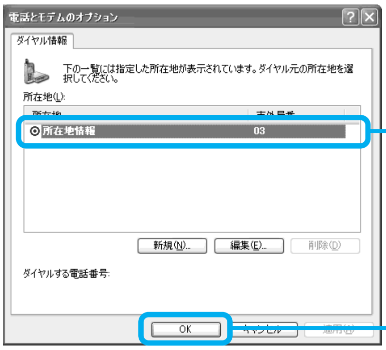
20 [ダイヤル情報を使う]の☐をクリックして☑にし、[ダイヤル情報(R)]をクリックする



ここをクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

21 複数の所在地があるときは、「所在地」から設定されている所在地をクリックして選び、[OK]をクリックする。

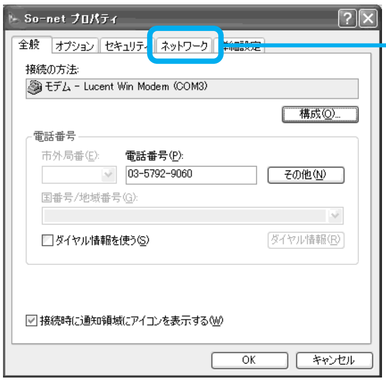


❶ クリックして選ぶ。

❷ ここをクリックする。

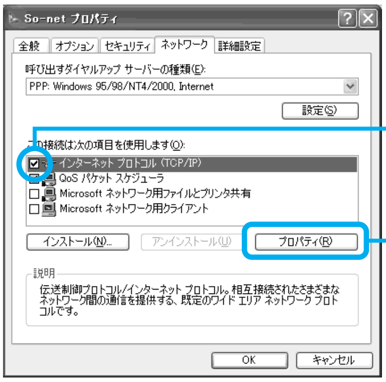
手順22～25は、チェックシートに❼DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）および❽別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）を記入した場合（プロバイダから郵送されてきた資料にDNSサーバーアドレスが記入されている場合）のみ、操作を行ってください。

22 [ネットワーク]タブをクリックする。



ここをクリックする。

23 「この接続は次の項目を使用します」で[インターネットプロトコル（TCP/IP）]の□をクリックして☑にし、[プロパティ(P)]をクリックする。



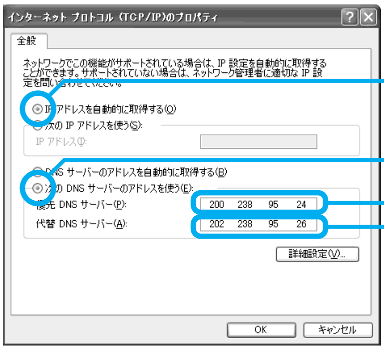
❶ ここをクリックする。

❷ ここをクリックする。

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面が表示されます。

24 各項目を以下のように設定する。

- [IPアドレスを自動的に取得する]をクリックする。
- [次のDNSサーバーのアドレスを使う]をクリックし、DNSサーバーアドレスを入力する。



ちょっと一言

「❼DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）」と「❽別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）」は同じ場合があります。このときは「代替DNSサーバー」には入力する必要はありません。

25 [OK]をクリックする。

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面が閉じます。

26 ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面で[OK]をクリックする。

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が閉じます。

27 「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面で[キャンセル]をクリックする。

「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面が閉じます。
これでインターネット接続のための設定は終わりです。

ADSLでインターネットに接続するには

ADSL、またはケーブルモデム（ケーブルテレビ回線）で PPPoE を使用してインターネットに接続するには、下記の手順に従って操作してください。

ご注意

ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、ご契約するADSL接続業者にお問い合わせください。

1

デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

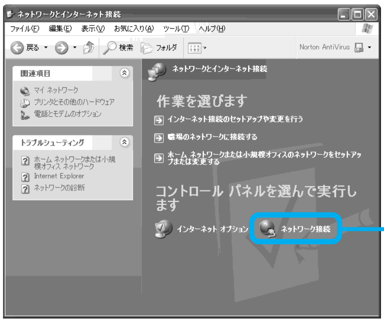
2

「コントロールパネル」画面で［ネットワークとインターネット接続］をクリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

3

「ネットワークとインターネット接続」画面で［ネットワーク接続］をクリックする。



ここをクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

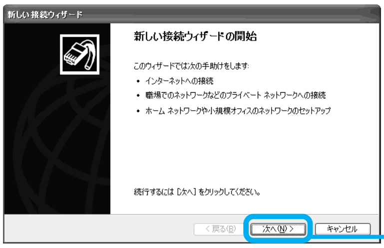
4

「ネットワーク接続」画面の「ネットワークタスク」から［新しい接続を作成する］をクリックする。

ここをクリックする。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

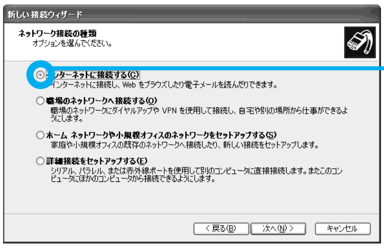
5 「新しい接続ウィザードの開始」画面で 次へ(N) > をクリックする。



ここをクリックする。

「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

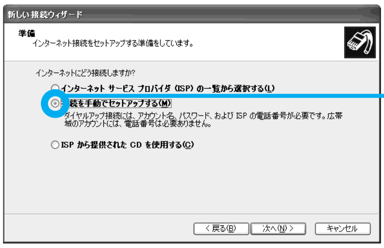
6 「ネットワーク接続の種類」画面で[インターネットに接続する]の○をクリックして◉にし、 次へ(N) > をクリックする。



ここをクリックする。

「準備」画面が表示されます。

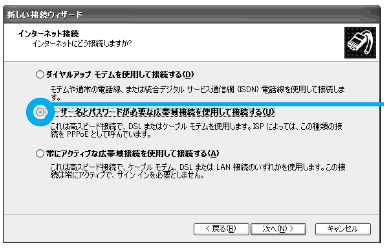
7 「準備」画面で[接続を手動でセットアップする]の○をクリックして◉にし、 次へ(N) > をクリックする。



ここをクリックする。

「インターネット接続」画面が表示されます。

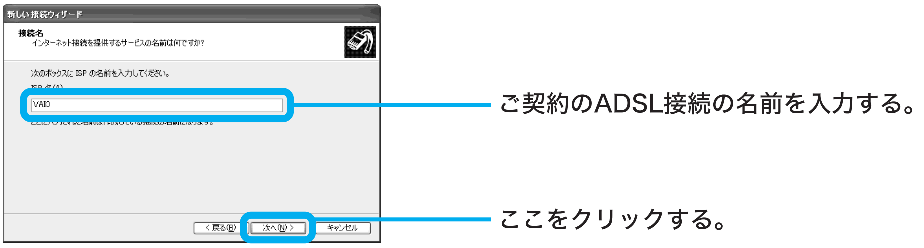
8 「インターネット接続」画面で[ユーザー名とパスワードが必要な広帯域接続を使用して接続する]の○をクリックして◉にし、 次へ(N) > をクリックする。



ここをクリックする。

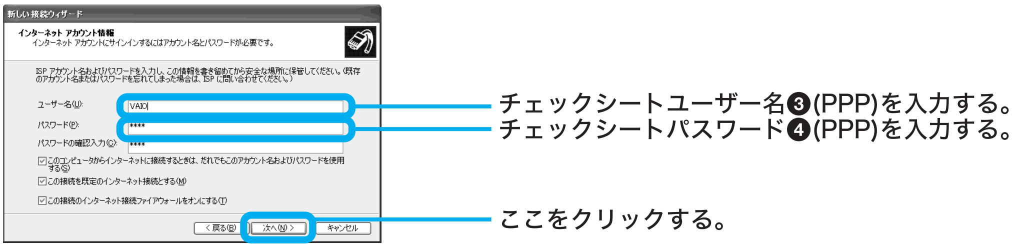
「接続名」画面が表示されます。

9 「接続名」画面で「ISP 名」にご契約のADSL接続業者の名前を入力し、 次へ(N) > をクリックする。



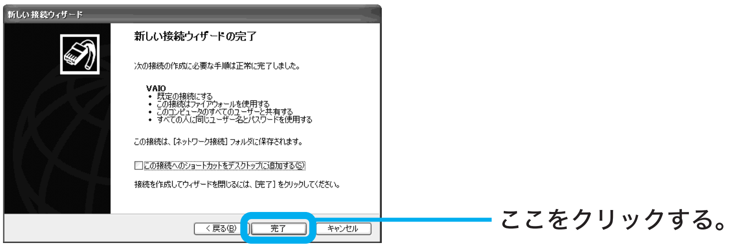
「インターネットアカウント情報」画面が表示されます。

10 「インターネットアカウント情報」画面で、ユーザー名、パスワードをご契約のADSL接続業者から指定されている情報で入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、 次へ(N) > をクリックする。



「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

11 完了 をクリックする。



「新しい接続ウィザードの完了」画面が閉じます。

これでADSL、またはケーブルモデム（ケーブルテレビ回線）でPPPoEを使用してインターネットに接続するための設定は終わりです。

4 電子メールソフトウェアの設定をする

電子メールのやりとりを正しく行えるようにするための設定を行います。

ここでは、本機に付属の電子メールソフトウェア「Outlook Express」*を例に電子メールをやりとりするための設定をしていきます。

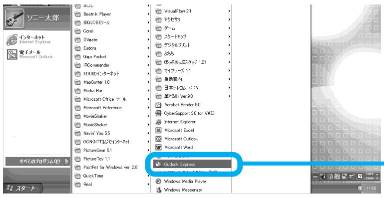
* 本書で使われている「Outlook Express」ソフトウェアの画面のイラストは、本機にインストールされているバージョンです。

ちょっと一言

「Outlook Express」ソフトウェアの設定は1度行えば、2回目以降の起動時には不要です。

1

デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Outlook Express]をクリックする。

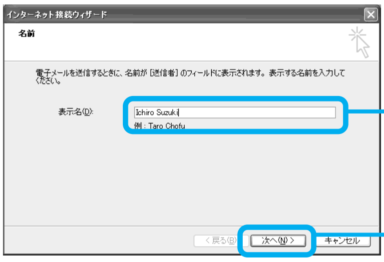


ここをクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動し、インターネット接続ウィザードの「名前」画面が表示されます。

2

表示したい名前を入力し、 次へ(N) > をクリックする。

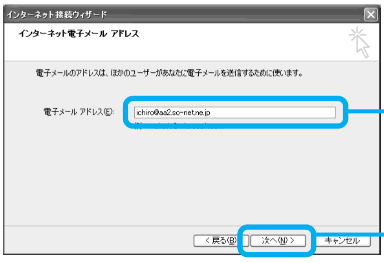


チェックシートの❾表示名（差出人フィールドでの表示）を入力する。

ここをクリックする。

「インターネット電子メールアドレス」画面が表示されます。

3 電子メールアドレスを入力して、[次へ(N) >]をクリックする。

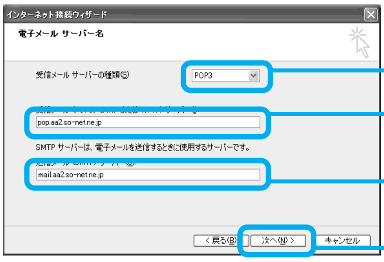


チェックシートの⑩電子メールアドレスを入力する。

ここをクリックする。

「電子メールサーバー名」画面が表示されます。

4 受信メールサーバーと送信メールサーバーの名前を入力し、[次へ(N) >]をクリックする。



通常「POP3」を選ぶ。

チェックシートの⑪受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバーを入力する。

チェックシートの⑫送信メール（SMTP）サーバーを入力する。

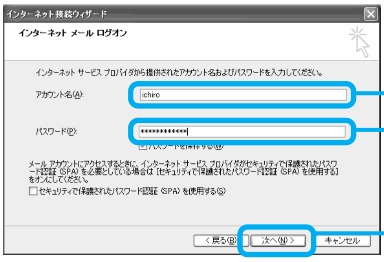
ここをクリックする。

「インターネットメールログオン」画面が表示されます。

ちょっと一言

「⑪受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー」の名前と「⑫送信メール（SMTP）サーバー」の名前は同じ場合があります。

5 POPアカウント名とパスワードを入力し、[次へ(N) >]をクリックする。



チェックシートの⑬POPアカウント名を入力する。

チェックシートの⑭パスワード（POPアカウントパスワード）を入力する。

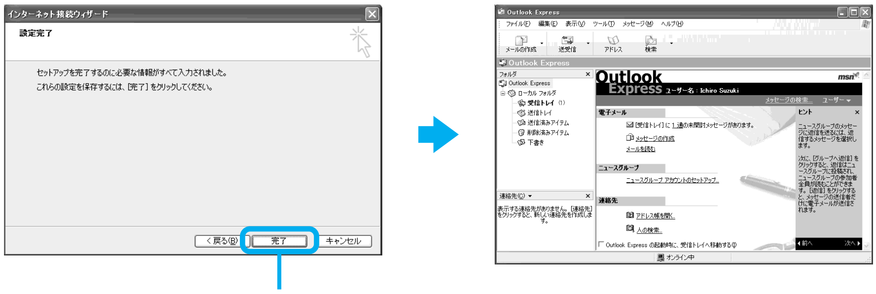
ここをクリックする。

「設定完了」画面が表示されます。

ちょっと一言

- 「パスワード」は「＊」で表示されます。
- 「パスワードを保存する」の☐をクリックして☑にすると、実際にインターネットに接続するときの「接続」画面（142ページ）でパスワードを入力する手間が省けます。

6 完了 をクリックする。



ここをクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアの設定が完了します。

ご注意

完了 をクリックしたあと、その他の画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作してください。

ちょっと一言

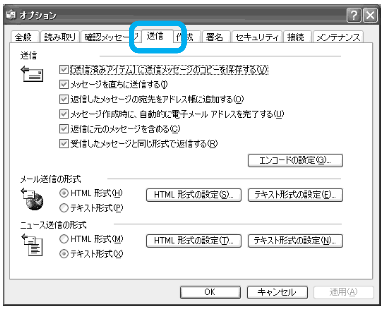
「Outlook Express」ソフトウェアで作成したメッセージは初期設定でHTML形式になります。

HTML形式に対応していない電子メールソフトウェアを使っている相手にHTML形式のメッセージを送ると、相手側が正しく受け取れないことがあります。メッセージはテキスト形式で送ることをおすすめします。

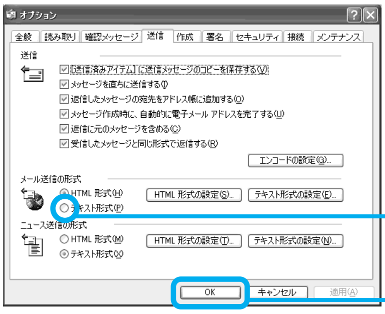
メッセージをテキスト形式で送るように設定するには、以下の手順に従ってください。

1 **「Outlook Express」画面上部の[ツール]をクリックし、表示されるメニューから[オプション]をクリックする。**
「オプション」画面が表示されます。

2 **[送信]タブをクリックする。**
「送信」画面が表示されます。



3 **「メール送信の形式」で[テキスト形式]をクリックし、[OK]をクリックする。**
送信するメッセージがテキスト形式になります。



❶ ここをクリックする。

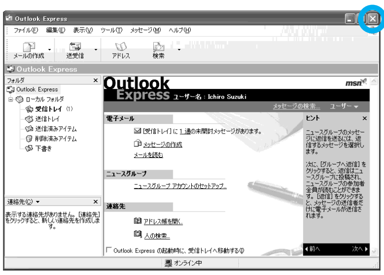
❷ ここをクリックする。

電子メールをテキストのみで送りたいときも同様の設定でお使いください。

HTML とは

ホームページを作成するためのページ記述言語のことです。

7 画面右上の☒(「閉じる」ボタン)をクリックする。



ここをクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

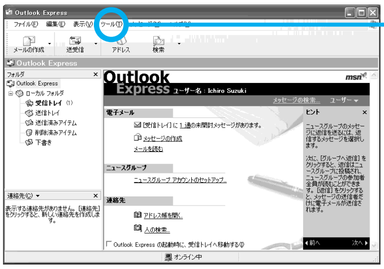
ちょっと一言

電子メールのアカウントを追加するなど、もう1度「インターネット接続ウィザード」を表示させたいときは、「Outlook Express」画面で[ツール]をクリックし、[アカウント]をクリックします。表示される「インターネットアカウント」画面で[追加]をクリックし、[メール]タブをクリックします。

電子メールの設定を変更するには

チェックシートの「⓯インターネットメールアカウント名」は、下記の方法で変更できます。

1 「Outlook Express」画面で、[ツール]をクリックする。



ここをクリックする。

「ツール」メニューが表示されます。

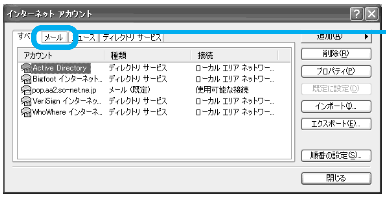
2 [アカウント]をクリックする。

ここをクリックする。

「インターネットアカウント」画面が表示されます。

3

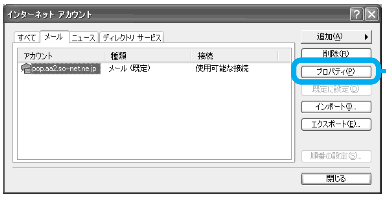
[メール]タブをクリックする。



「メール」画面が表示されます。

4

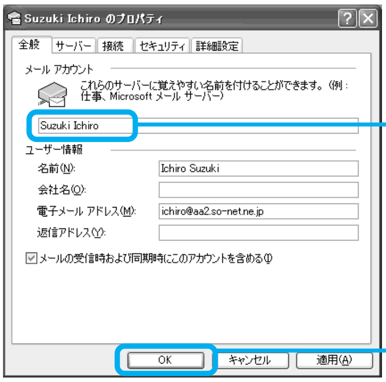
[プロパティ(P)]をクリックする。



プロパティ画面が表示されます。

5

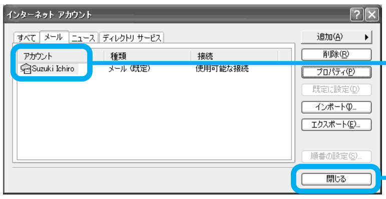
「pop.aa2.so-net.ne.jp」と反転表示されている部分を変更し[OK]をクリックする。



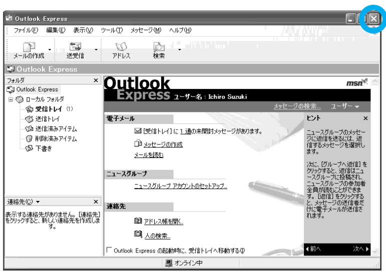
ここでは「Suzuki Ichiro」と入力してみます。

6

名前を変更した場合は、変更されているか確認して、[閉じる]をクリックする。



7 「Outlook Express」画面で右上の×（「閉じる」ボタン）をクリックする。



ここをクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

5 インターネットに接続する

契約したプロバイダのインターネットサーバーに一般電話回線を使用して接続するには、以下の手順に従って操作してください。

インターネットサーバーとは

常時インターネットに接続され、アクセス可能なコンピュータのことです。
ホームページ・サーバー、メールサーバーなどがあります。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、［接続］、［ダイヤルアップ接続名（チェックシートの❶）］の順にクリックする。

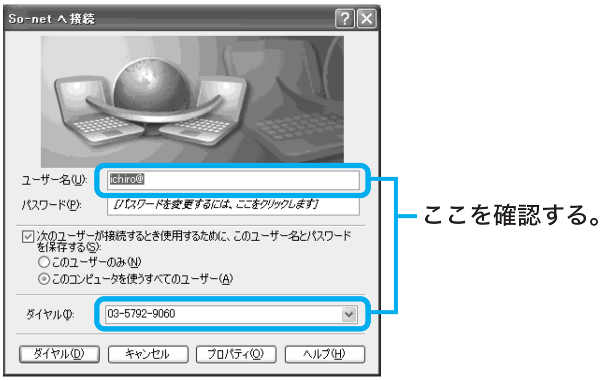
下の例では［So-net］をクリックします。

ここをクリックする。

「接続」画面が表示されます。

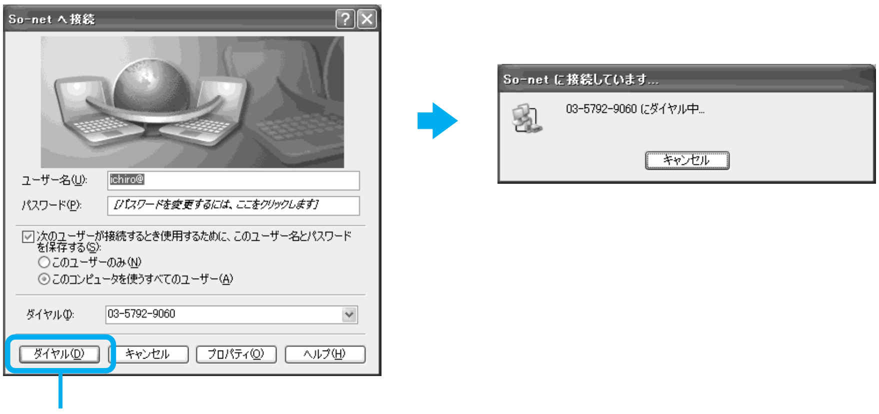
2 「接続」画面の各項目を入力または確認する。

① ユーザー名(チェックシートの❸)と電話番号(チェックシートの❷)が正しいか確認する。



② [ダイヤル(D)]をクリックする。

プロバイダのインターネットサーバーに接続します。



「現在(ダイヤルアップ接続名)に接続しています。」画面が表示されたときは、[OK]をクリックします。

[OK]をクリックする前に[今後、このメッセージを表示しない]の□をクリックして☑にしておけば、次回からこの画面は表示されません。

デスクトップ画面右下には[アイコン]が表示されます。

これで、接続は完了です。

インターネットに接続しているときは、常にデスクトップ画面右下に[アイコン]が表示されます。

ホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、144ページ以降をご覧ください。

接続を切断するときは:(144ページ)の「接続を切断するには」をご覧ください。

接続できなかった場合は:「困ったときは」の「モデム/インターネット」(196ページ)をご覧ください。

パスワード（チェックシートの❹）を変更するには

手順2の「接続」画面で［パスワード］に新しいパスワードを入力します。

ここに新しいパスワードを入力する。

ご注意

「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」の□をクリックして☑にし、ユーザーの種類を選ぶと、パスワードを保存することができ、次回からパスワードを入力する手間が省けます。しかし、他人に勝手にインターネットに接続される恐れがありますのでご注意ください。

ちょっと一言

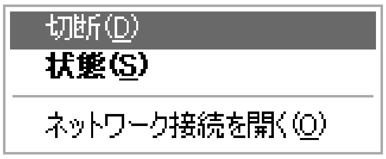
- 「パスワード」（チェックシートの❹パスワード（PPP））は「＊」で表示されます。
- 「パスワード」の入力欄は、「電子メールソフトウェアの設定をする」（136ページ）の手順5で「パスワードを保存する」の□をクリックして☑にしておくと入力された状態で表示されます。

接続を切断するには

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また「Microsoft Internet Explorer」や「Outlook Express」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。操作を行わないときや操作が終わった後などは、インターネットの接続を切断します。

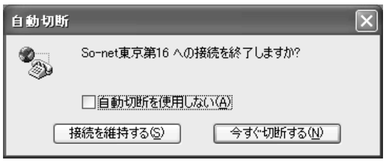
接続を切断するには、以下の3つの方法があります。

- **デスクトップ画面右下のを右クリックして表示されるメニューから[切断]をクリックする。**



- **デスクトップ画面右下のをダブルクリックして表示される「(ダイヤルアップ接続名)に接続」画面で 切断(D) をクリックする。**

- **「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了すると表示される「自動切断」画面で 今すぐ切断する(N) をクリックする。**



ちょっと一言

- 電子メールを書いているときや電子メールを受け取った後に読むときは、インターネットの接続を切断しておけば接続料金はかかりません。
- 「自動切断」画面は「自動切断を使用しない」のをクリックしてにすると、次回インターネットに接続したときからは表示されません。

ホームページを見る

インターネット上のホームページを見てみます。ホームページを見るには、「ウェブブラウザ」という専用ソフトウェアが必要です。ここでは、付属の「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使ってホームページを見てみます。

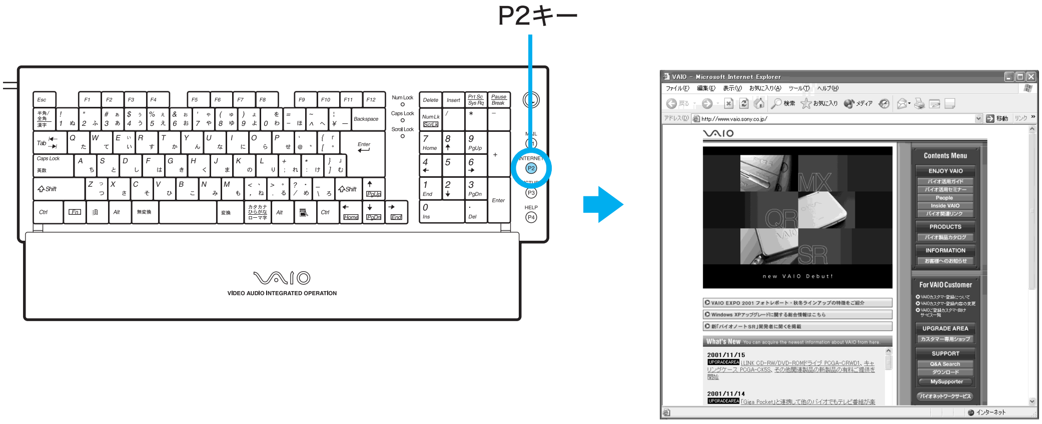
以下の操作をする前に、デスクトップ画面右下にが表示されていることを確認してください。表示されていれば、インターネットに接続しています。インターネットに接続していない場合は、下記の操作を行うと、「インターネット接続ウィザード」が起動します。「インターネットに接続する」(141ページ)の手順に従い、インターネットに接続し、を表示させてください。

1「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する

まず「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動します。

キーボードのⓅ2キーを押す。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動し、ホームページが表示されます。



ちょっと一言

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動するには、デスクトップ画面左下のスタートをクリックし、[インターネット]をクリックする方法もあります。

ご注意

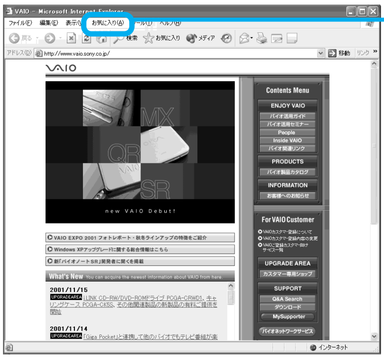
「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動したときに表示されるホームページは各自の設定により異なります。上の図は、最初に表示されるホームページをVAIOホームページに設定したときの例です。設定のしかたについては、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ホームページが表示されなかった場合は、「困ったときは」の「モデム／インターネット」(196ページ)をご覧ください。

2「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見る

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見ることができます。ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページを見てみましょう。

1　メニューバーの[お気に入り]をクリックする。

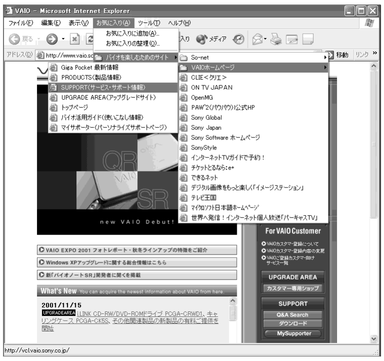


ここをクリックする。

メニューが表示されます。

2　[バイオを楽しむためのサイト]にポインタを合わせ、[VAIOホームページ]、[SUPPORT(サービス・サポート情報)]の順にクリックする。

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。



3 ホームページの URL（ユーアールエル） を入力してホームページを見る

見たいホームページのURLをすでにご存知の場合は、アドレスバーにそのURLを入力します。

ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページ（URL：http://vcl.vaio.sony.co.jp/）を見てみます。

URL とは

インターネット上で使われるホームページにはそれぞれ特定の住所があります。この住所のことを「URL」と言います。URLを書き込むことでホームページが見られます。

1

アドレスバーに「http://vcl.vaio.sony.co.jp/」と入力する。

ここにURLを入力する。

「~」（チルダ）を入力するには

インターネットのホームページのアドレスなどによく使われる半角の「~」（チルダ）を入力するには、「直接入力」または「半角英数」を選び、Shift（シフト）キーを押しながら ~ キーを押します。

2

キーボードの Enter（エンター）キーを押す。

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

4 リンクをたどる

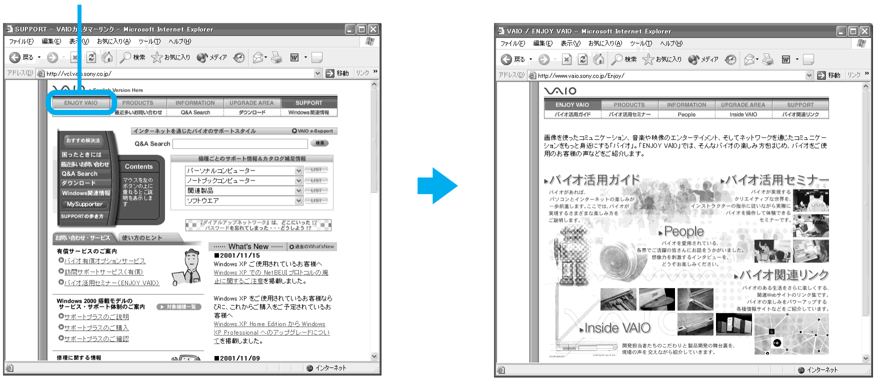
ホームページから他のホームページにジャンプしたり、データをインターネット上から本機にコピーすることができます。このように、ホームページから、他のページにジャンプしたり、データにジャンプすることを「リンクする」と言います。

ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページから、ENJOY VAIOのホームページにジャンプしてみましょう。

マウスを使って（ポインタ）を［ENJOY VAIO］に移動して、に変わったらクリックする。

ENJOY VAIOのホームページが表示されます。

ここをクリックする。



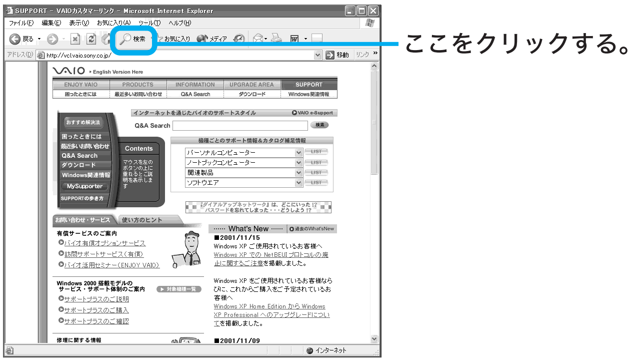
ちょっと一言

ホームページの中で、（ポインタ）がに変わる文字や画像は、リンクが張られているところです。

5 目的のホームページを検索して見る

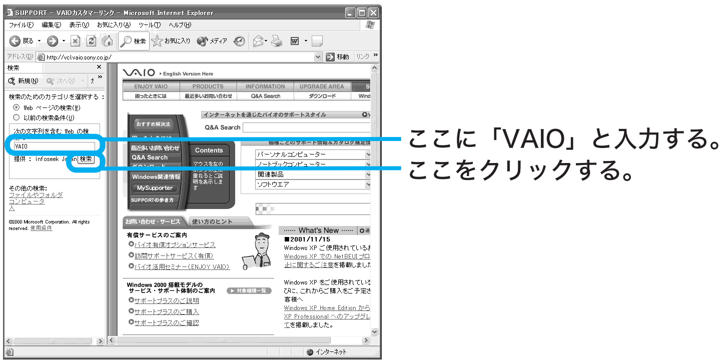
目的のホームページを「検索」メニューで検索することができます。
ここでは「VAIO」を検索してみましょう。

1 ツールバーの 検索 をクリックする。



検索画面が表示されます。

2 検索画面の中央上にある ［　　　　　　　　］ の中に「VAIO」と入力し、［検索］ をクリックする。



該当するホームページの検索結果が一覧表示されます。

3 検索結果から、見たいホームページをクリックする。

クリックしたホームページが表示されます。

6 よく見るホームページを登録する

よく見るホームページを「お気に入り」メニューの中に登録することができます。
ここではSony online Japanのホームページを登録してみましょう。

ちょっと一言

Sony online Japanはインターネット上のソニーエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

1 アドレスバーに「http://www.sony.co.jp/」と入力する。

2 キーボードの Enter（エンター）キーを押す。

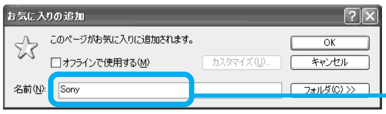
Sony online Japanのホームページが表示されます。

3 メニューバーの[お気に入り]をクリックし、次に[お気に入りに追加]をクリックする。

「お気に入りの追加」画面が表示されます。

4 「名前」に、登録するホームページを示すお好みの名前を入力し、 OK をクリックする。

ここでは「Sony」と入力します。



ここに「Sony」と入力する。

Sonyホームページが登録され、入力した名前が「お気に入り」メニューの中に表示されるようになります。

7「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了する

最後に「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了します。

1 メニューバーの［ファイル］にポインタを合わせ、クリックする。

ファイルメニューが表示されます。

2 ［閉じる］にポインタを合わせ、クリックする。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが終了します。

3 デスクトップ画面右下の[icon]を右クリックして表示されるメニューから［切断］をクリックする。

インターネットへの接続が切断されます。

ご注意

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも、通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。ホームページを見ている間など、操作を行わないときや、操作が終わった後などは、インターネットへの接続を切断してください。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。「Microsoft Internet Explorer」のヘルプを見るときは、「Microsoft Internet Explorer」画面上部の［ヘルプ］をクリックしてください。

電子メールをやりとりする

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、電子メールソフトウェアが必要です。
ここでは、付属の「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

ご注意

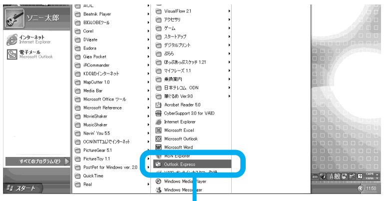
電子メールをやりとりする手順は、インターネットへの接続やソフトウェアの設定によって変わることがあります。

1 「Outlook Express」ソフトウェアを起動する

まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[すべてのプログラム]にポインタを合わせ[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。



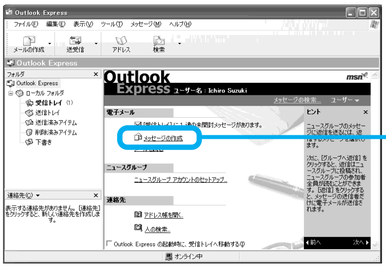
ここをクリックする。

「接続」画面が表示されたときは、キャンセル をクリックして画面を閉じてください。

2 電子メールを送信する

ためしに自分のメールアドレス宛に電子メールを送信してみましょう。

1 ［メッセージの作成］をクリックする。



「メッセージの作成」画面が表示されます。

ちょっと一言

電子メールを書くときや電子メールを受け取った後に読むときはインターネットに接続していない状態（オフライン作業）の方が接続料金と通話料がかからなくてすみます。

オフライン作業とは

「オフライン作業」とはインターネットに接続していない状態で「Outlook Express」ソフトウェアを使って電子メールを書いたり、読んだりといった作業をすることです。

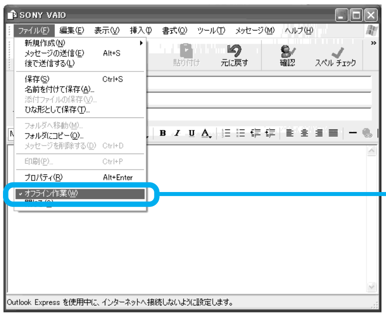
2 メッセージを作成する。

ここでは、メッセージに「世界に広がったソニーVAIO」と入れてみます。

タイトルは「SONY VAIO」にしましょう。

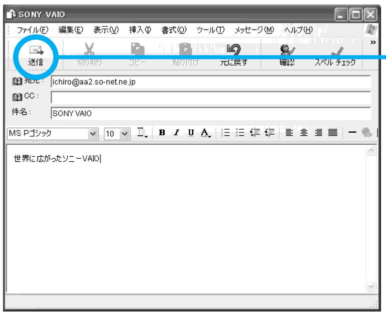
文字の入力のしかたについて詳しくは、「文字の入力の前に」（89ページ）をご覧ください。

3 ［ファイル］をクリックし、［オフライン作業］をクリックする。



「オフライン作業」の前のチェックマークが消えます。

4 ツールバーの［送信］をクリックする。



「（ダイヤルアップ接続名）に接続中」画面が表示されたら、［接続］をクリックすると、作成した電子メールが送り先に送られます。

ご注意

オフライン（インターネットに接続していない状態）で［送信］をクリックした場合は、電子メールは送信トレイに保管されます。「Outlook Express」のツールバーの［送受信］をクリックすると、電子メールが送り先へ送られます。

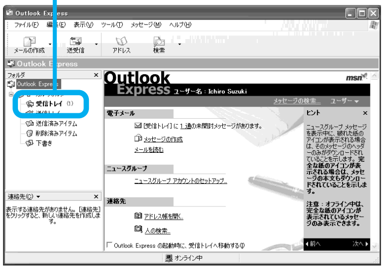
3 電子メールを受信する

手順 2 で送った自分のメールアドレス宛の電子メールを受信してみましょう。

インターネットに接続した状態で、ツールバーの［送受信］をクリックする。

手順 2 で送った電子メールが届きます。

ここをクリックする。　　　　メールが届く。



ご注意

オフライン（インターネットに接続していない状態）のときは、「オフラインで作業しています。オンラインに切り替えますか？」というメッセージが表示されます。この場合は、

はい(Y) をクリックしてください。

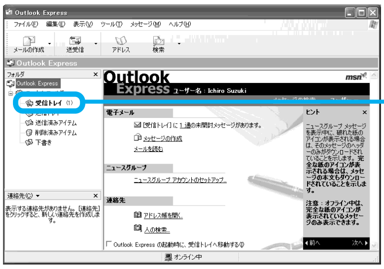
ちょっと一言

- 作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあとに電子メールが送受信されます。
- 電子メールの送受信のあと、ホームページを見たりしないときは、インターネットの接続を切断しましょう（144ページ）。

4 受け取った電子メールを見る

手順 3 で届いた電子メールを見てみます。

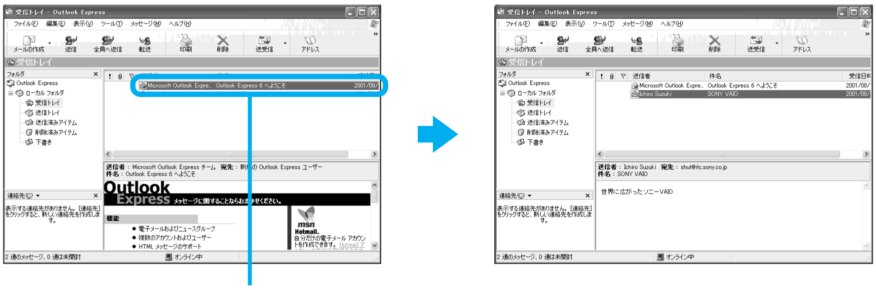
1 ［受信トレイ］をクリックする。



ここをクリックする。

受信トレイの中身が表示されます。

2 [SONY VAIO]をクリックする。



ここをクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。

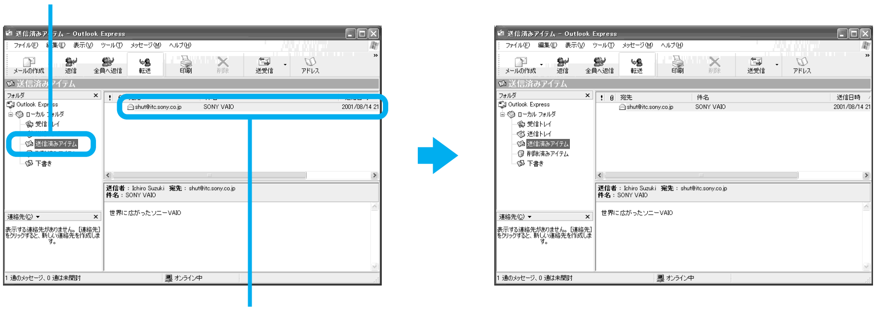
5 送った電子メールを見る

手順 2 で送った電子メールを見てみます。

[送信済みアイテム]をクリックし、[SONY VAIO]をクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。



ここをクリックする。

電子メールをやりとりできなかった場合は、「困ったときは」の「モデム／インターネット」（196ページ）をご覧ください。

6「Outlook Express」ソフトウェアを終了する

最後に「Outlook Express」ソフトウェアを終了します。

1 [ファイル]にポインタを合わせ、クリックする。

ファイルメニューが表示されます。

2 [終了]にポインタを合わせ、クリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

3 デスクトップ画面右下のを右クリックして表示されるメニューから[切断]をクリックする。

インターネットへの接続が切断されます。

本機の使いかたがわからないときに

この章では、本機の使いかたがわからなくなったときに読むマニュアルやヘルプの使いかたについて説明します。

どのマニュアルを読む？

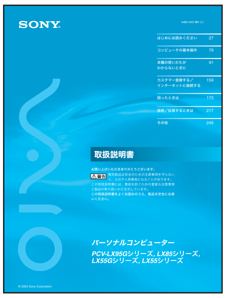
本機に付属しているマニュアルの内容を簡単に紹介します。それぞれの目的に合わせてお読みください。

画面で見る電子マニュアル「サイバーサポート」の使いかたについて詳しくは、「「サイバーサポート」の使いかた」（162ページ）をご覧ください。

本機に付属しているマニュアル

❑ 取扱説明書（本書）

本機をお買い上げいただいたあとに最初に行う準備をはじめ、本機の基本的な使いかた、本機と周辺機器の接続方法、本機の機能を拡張する方法、使用上のご注意などについて説明しています。



❑ 「Microsoft® Office XP Personal」の説明書*（型名の末尾が"BP"の機種のみ）

「Microsoft® Office XP Personal」のセットアップのしかたや使いかたについて説明しています。

また、付属の「Microsoft® Office XP Personal Step By Step Interactive」* という CD-ROM を使うと、「Microsoft Word」など、各ソフトウェアの使いかたを画面上で見ることができます。この CD-ROM のインストールについて詳しくは、付属のセットアップガイド * をご覧ください。

* 付属の Microsoft® Office XP Personal プレインストールパッケージの中に入っています。

❑ VAIOサービス・サポートのご案内

本機を使っていてトラブルが発生したときの対処方法や、本機が故障したときなどのお問い合わせ先、サービス／サポートの内容について説明しています。

このほかに、ソニー製以外のソフトウェアの使いかたを説明したパンフレット類が付属しています。

画面で見るマニュアル

❑ サイバーサポート

コンピュータの基礎的な知識をはじめ、本機の使いかたや楽しみかたについて詳しく説明しています。また、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお問い合わせ先なども説明しています。本書を読み終わった方は、「Windows を準備する」(64 ページ)の手順が終わったあと、本機の電源が入っている状態で、デスクトップ画面上の をダブルクリックして必ずこちらもご覧ください。

使いかたについて詳しくは、「「サイバーサポート」の使いかた」(162 ページ)をご覧ください。

❑ ヘルプとサポートセンター

Windows の操作のしかたやサポートについての情報を検索できます。また、「サイバーサポート」をここから起動することもできます。「ヘルプとサポートセンター」について詳しくは、「「ヘルプとサポートセンター」について」(69 ページ)をご覧ください。

❑ ソニー製のソフトウェアのヘルプ

本機に付属しているソニー製のソフトウェアの使いかたを説明しています。

ソフトウェアの中には、電子マニュアルが付属しているものがあります。電子マニュアルを見るには、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ[VAIO ソフトウェアはこちら]、[VAIO ソフトウェアマニュアル]の順にクリックして、見たいソフトウェアの電子マニュアルを選んでください。

❑ その他のソフトウェアのヘルプ

ソニー製以外のソフトウェアにもヘルプが付属されているものがあります。

また、「サイバーサポート」画面上部の[VAIO の楽しみかた]をクリックして、[付属ソフトウェアの一覧]をクリックして表示される各ソフトウェアの情報の中には、「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

電子マニュアルとは

本機やソフトウェアの操作説明などをデスクトップ画面上で読めるようにしたマニュアルのことです。

ヘルプとは

ソフトウェアやWindowsなどの操作がわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

「サイバーサポート」の使いかた

「サイバーサポート」ってなに？

「サイバーサポート」はVAIOについての情報の入り口です。VAIOの使いかたを知りたいときや、VAIOを使っていて困ったことがあったときは「サイバーサポート」を開いてください。

デスクトップ画面にある
このアイコンを
ダブルクリックする。

「サイバーサポート」は、VAIOの使いかたや楽しみかたをデスクトップ画面上で説明する電子マニュアルです。本書に載っていない情報も、「サイバーサポート」で調べることができます。

こんなときに「サイバーサポート」

目的に合わせて、「サイバーサポート」の情報をご覧ください。

コンピュータを初歩から学びたいときは

Windowsの操作方法や文字入力の練習など、コンピュータの基本的な使いかたに関する情報が載っています。

インターネットを楽しみたいときは

はじめてインターネットを使用するときの設定のしかたや、ホームページの見かた、電子メールのやりとりに関する情報が載っています。

VAIOの基本的な使いかたを知りたいときは

本機の基本的な使いかたの説明を見ることができます。

VAIOに付属しているソフトウェアを活用したいときは

本機に付属しているソフトウェアの説明や、楽しみかたの紹介が載っています。

なにかトラブルが起きたら

本機を操作していて困ったときの解決方法や、トラブルが発生したときの対処方法の説明を見ることができます。

サービス/サポート

VAIOについてのサービスやサポートを受けるための説明を見ることができます。

意味の分からない用語があったら

用語集

コンピュータ用語の説明を見ることができます。

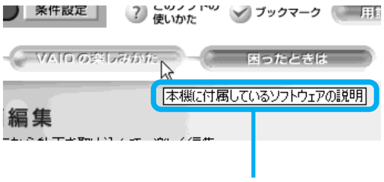
「サイバーサポート」画面の見かた

1 ナビゲーションボタン	
トップへ戻る	「サイバーサポート」を開いたときに、最初に表示される画面に戻ります。（169ページ）
戻る　進む	前に見ていた画面に戻ったり、また進んだりできます。（169ページ）
表示切替	一部のボタンを隠して、本文ページをより広く表示できるようにします。（170ページ）
2 マニュアル表示ボタン	
できるWindows	Windowsの基本的な使いかたの説明を見ることができます。
インターネット	インターネットに接続して、ホームページや電子メールを楽しむための説明を見ることができます。
VAIOの使いかた	本機の基本的な使いかたの説明を見ることができます。
VAIOの楽しみかた	本機に付属しているソフトウェアの説明を見ることができます。
困ったときは	本機を操作していて困ったときの解決方法や、トラブルが発生したときの対処方法の説明を見ることができます。
サービス/サポート	VAIOについてのサービスやサポートを受けるための説明を見ることができます。
3 キーワード検索エリア	
検 索	キーワードを入力して情報を探すことができます。（168ページ）
条件設定	検索条件を設定したり、あらかじめ用意された質問文例などからキーワードを選んで情報を探すことができます。（168ページ）

4	
このソフトの使いかた	「サイバーサポート」の使いかたを見ることができます。
ブックマーク	よく見るページを登録することができます。登録したページは簡単に呼び出すことができます。
用語集	コンピュータ用語の説明を見ることができます。
5	
本機に付属しているソフトウェアの楽しみかたの紹介です。見たいトピックをクリックしてください。	
6	
最新の情報に更新	「サイバーサポート」で検索できる情報を更新します。（171ページ）
VAIOカスタマーリンク	VAIOカスタマーリンクのホームページを見ることができます。（171ページ）
Sonyのホームページ	ソニーのホームページを見ることができます。

ちょっと一言

「サイバーサポート」画面にある各ボタンにポインタを近づけると、ボタンをクリックしたときに表示される情報の内容が表示されます。



ここに情報が表示される。

「サイバーサポート」を見るには

ご注意

「サイバーサポート」は必ず「Microsoft Internet Explorer Version 6.0」ソフトウェアを使って表示させてください。「Microsoft Internet Explorer Version 6.0」以外のソフトウェアでは正しく表示されないことがあります。

「サイバーサポート」を見るには、「Windowsを準備する」（64ページ）の手順が終わったあと、本機の電源が入っている状態で、以下のように操作します。

「サイバーサポート」を開くには

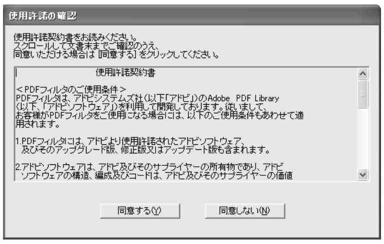
デスクトップ画面上の （VAIOマニュアルCyberSupport）をダブルクリックする。

「サイバーサポート」画面が表示されます。

デスクトップ画面にある
このアイコンを
ダブルクリックする。

ちょっと一言

- デスクトップ画面左下の をクリックして［ヘルプとサポート］をクリックし、表示された「ヘルプとサポートセンター」画面から［VAIOマニュアルCyberSupport］をクリックしても「サイバーサポート」を表示できます。
- 初めて「サイバーサポート」を開いたときは、「使用許諾の確認」画面が表示されます。画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは、［同意する］をクリックしてください。
  ［同意しない］をクリックすると、「サイバーサポート」を開くことができません。



本機の使いかたがわからないときに

「サイバーサポート」を閉じる

「サイバーサポート」画面の右上の をクリックする。

「サイバーサポート」が終了します。

ここをクリックする。

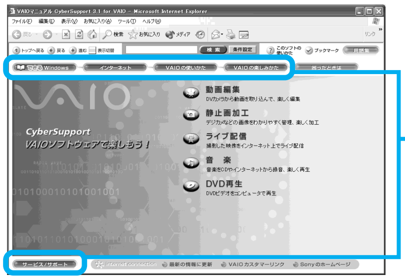
ちょっと一言

- 「サイバーサポート」画面右上の （最小化）ボタンを使って、「サイバーサポート」をデスクトップ画面から隠す（最小化する）ことができます。最小化したウィンドウはタスクバーのボタンをクリックすると元のサイズに戻ります。
- 「サイバーサポート」をデスクトップ画面上に表示させたまま他のソフトウェアなどを操作することもできます。

目次から情報を探す

「サイバーサポート」画面上部の［できるWindows］、［インターネット］、［VAIOの使いかた］、［VAIOの楽しみかた］、画面下部の［サービス／サポート］のボタンをクリックすると、左画面に目次が、右画面に情報が表示されます。左画面の目次から、探したい情報をクリックして選んでください。

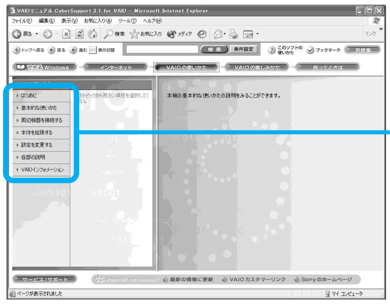
1 「サイバーサポート」画面にあるいずれかのボタンをクリックする。



いずれかのボタンをクリックする。

クリックしたボタンに含まれる情報の目次が左画面に表示されます。

2　目次から表示したい項目を選び、クリックする。



表示したい項目をクリックする。

項目の最初に ▶ がついている項目をクリックすると、▶ が ▼ になり、さらに詳しい項目が表示されます。

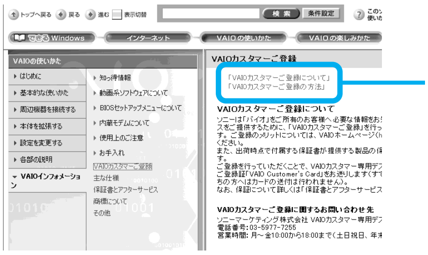
3　知りたい項目をクリックする。

右画面にその情報が表示されます。

知りたい項目をクリックする。

ページの見かた

- ページの冒頭に見出しが表示されているときは、見たい内容の見出しをクリックすると、同じページ内の目的の情報が表示されます。



見出しをクリックする。

- 本文中の【詳細】をクリックすると、その内容のさらに詳しい説明のあるページが表示されます。
- 「ここにも注目」の見出しをクリックすると、見ているページに関連する項目のあるページが表示されます。

キーワードで情報を探す

1

「サイバーサポート」画面上部の［　　　　　　検 索］にキーワードを入力する。

ここに入力する。

2

［検 索］をクリックする。

検索結果の一覧が表示されます。一覧から見たい情報を選びます。

ちょっと一言

［条件設定］をクリックすると、検索対象を絞り込んだり、あらかじめ用意された質問文例などからキーワードを選んで検索することができます。

［条件設定］をクリックすると、右画面に検索のしかたの説明が表示されます。
詳しくはそちらの説明をご覧ください。

困ったときの情報の探しかた

1

「サイバーサポート」画面上部にある［困ったときは］をクリックする。

ここをクリックする。

「困ったときは」の目次が表示されます。

2 左画面の表示したい項目を選び、クリックする。

右画面にトラブルとその解決方法が表示されます。

表示したい項目をクリックする。

ちょっと一言

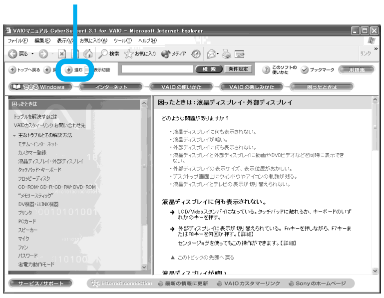
「サイバーサポート」画面上部のキーワード検索エリアにある 条件設定 をクリックしてキーワード検索をすると、VAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ(よくある質問とその回答)などから上記以外のトラブル解決方法を見ることができます。

前に見ていた画面に戻る

戻る をクリックします。

元のページに戻るには、 進む をクリックします。

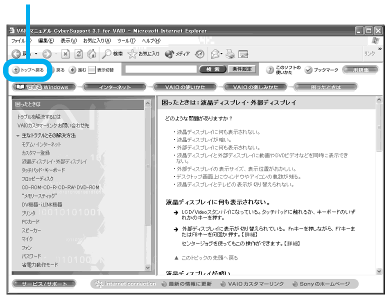
ここをクリックする。



最初の画面に戻る

トップへ戻る をクリックします。

ここをクリックする。



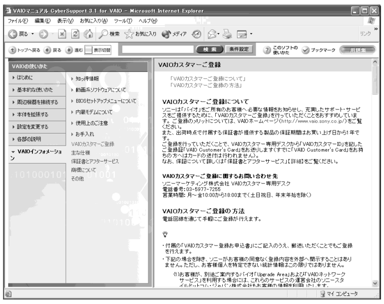
画面の大きさを切り替える

「サイバーサポート」画面上部の 表示切替 をクリックします。

サービス/サポート などの一部のボタンが隠れ、より多くの情報が1度に表示されるようになります。

隠れたボタンを元に戻すには、もう1度 表示切替 をクリックします。

ここをクリックする。

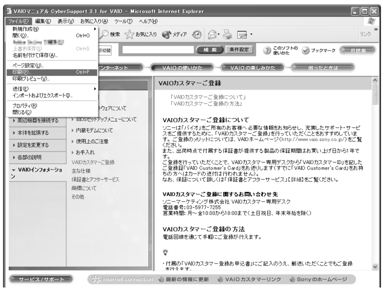


ちょっと一言

より多くの情報が表示されるように、「Microsoft Internet Explorer」のツールバーの表示を一部隠すことができます。
[表示]メニューから[ツールバー]を選び、[標準のボタン]などをクリックします。再度クリックすると元の表示に戻ります。

見ている画面を印刷する

[ファイル]メニューから[印刷]を選んでクリックし、プリンタの設定を確認して 印刷(P) をクリックします。



ちょっと一言

印刷をするにはあらかじめプリンタを接続、設定しておく必要があります。

VAIOについての最新情報を見る

VAIOカスタマーリンクのホームページではお客様の疑問や質問を解決するための各種サービスと、バイオに関するサービスやサポート体制についての最新情報を提供しておりますので定期的にご覧ください。

なお、VAIOカスタマーリンクのホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続できるよう設定しておく必要があります。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(102ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマーリンクのホームページを見るには

「サイバーサポート」画面下部の VAIOカスタマーリンク をクリックすると、VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

「サイバーサポート」で検索できる情報を更新するには

VAIOカスタマーリンクのホームページにアクセスし、「サイバーサポート」で検索できる情報を、更新することができます。

更新のしかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面下部の 最新の情報に更新 をクリックして表示される画面をご覧ください。

なお、VAIOカスタマーリンクのホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続できるよう設定しておく必要があります。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(102ページ)をご覧ください。

ご注意

初めて更新するときは、数10分時間がかかることがあります。

困ったときは

この章では、本機を操作していて困ったことやトラブルの解決方法を説明します。

わからないことやトラブルを解決する

本機を操作していて困ったときは、あわてずに下記の流れに従ってください。また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

1　電子マニュアルやヘルプで調べる。

- **本書の**176ページ**からの説明をご覧ください。**
- **デスクトップ画面上の（**VAIO**マニュアル** CyberSupport**）をダブルクリックして、「サイバーサポート」を起動させ、「困ったときは」や関連する項目「主なトラブルとその解決方法」から該当する項目をクリックして表示される情報をご覧ください。**

  また、「サイバーサポート」画面上部のキーワード入力エリアにキーワードを入力し 検 索 をクリックすることで、「サイバーサポート」やVAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ（よくある質問とその回答）などから自動的にその解決方法を検索できます。条件設定 をクリックすると、検索対象を絞り込んだり、あらかじめ用意された質問文例などからキーワードを選んで検索することもできます。
  なお、「サイバーサポート」の使いかたについて詳しくは、162ページをご覧ください。

ちょっと一言

「サイバーサポート」は、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［ヘルプとサポート］をクリックし、表示された「ヘルプとサポートセンター」画面から、［VAIOマニュアル CyberSupport］をクリックしても起動することができます。

- **ソフトウェアのヘルプや電子マニュアル**
- Windows**のヘルプ**

  デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、［ヘルプとサポート］をクリックして、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

2　VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する。

VAIOカスタマーリンクホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報やサービスを掲載していますのでご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ　http://vcl.vaio.sony.co.jp/

サイバーサポートをはじめてお使いになるときは

VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）では、製品出荷後の最新情報を提供しています。VAIOカスタマーリンクのホームページにアクセスし、「サイバーサポート」の「キーワード検索」で検索できる情報を更新してください。
更新するには、インターネットに接続した状態で、「サイバーサポート」画面下部の 最新の情報に更新 をクリックします。自動的に、情報が更新されます。最初に更新するときは、数10分時間がかかることがありますので、ご注意ください。また、この機能を使うには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」（102ページ）をご覧ください。

3 VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる。

以下のお問い合わせ先にご相談ください。

VAIOカスタマーリンク

電話番号

(0466)30-3000

- お問い合わせには、「VAIO カスタマーID」が必要です。
- 一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。

受付時間

平日　10時～ 20時

土、日、祝日　10時～ 17時

(年末年始は除く)

- お電話は音声認識を用いた自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。
- 付属のソフトウェアについては、「付属のソフトウェアについて」(277ページ)をご覧になり、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお電話ください。

お電話の前に以下の内容をご用意ください。

1. **お客様のVAIOカスタマーID**
2. **本機の型名:保証書に記載されています。**
3. **本機の製造番号(保証書などに記載されている7桁の番号です)**
4. **カスタマー登録していただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号**

   ちょっと一言

   発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

5. **本機に接続している周辺機器名(メーカー名と型名)**
6. **表示されたエラーメッセージ**
7. **本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン**
8. **トラブルが発生する前または直前に行った操作**
9. **トラブルがどのくらいの頻度で再現するか**
10. **その他お気づきの点**

修理の場合は

11. **VAIOカルテ(修理をお申込みになるとき)**
12. **筆記用具(修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です)**

主なトラブルとその解決方法

ここでは、主なトラブルとその解決方法について説明します。

ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切る」（76ページ）**の手順に従い、いったん電源を切ってください。他の方法で電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。**
接続し直すときは、必ず「電源を切る」（76ページ）**の手順に従い、いったん電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。**

電源　（179ページ）

- 電源が入らない。（179ページ）
- 電源が切れない。（179ページ）
- 本機がスタンバイモードに移行せず、すぐに戻ってしまい、Windowsの動作状態が不安定になる。（180ページ）
- 電源を入れると、「NTLDR is missing Press any key to restart」または「Remove disks or other media. Press any key to restart」というメッセージが表示される。（180ページ）
- 電源を入れると、「Operating system not found」というメッセージが表示され、Windowsが起動できない。（180ページ）

ディスプレイ／テレビ　（181ページ）

- 画面に何も表示されない。（181ページ）
- 画面が暗い。（181ページ）
- テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない。（PCV-LX95Gシリーズ,LX55Gシリーズのみ）（181ページ）
- DVDビデオの映像がテレビ画面に表示されない。（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）（182ページ）

画面　（183ページ）

- 画面が固まって動かない。ソフトウェアが反応しない。フリーズした。（183ページ）

スピーカー　（184ページ）

- 音が出ない。（184ページ）

リモコン（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）　（184ページ）

- リモコンで操作できない。（184ページ）
- 「Giga Pocket」ソフトウェアを操作できない。（185ページ）
- テレビを操作できない。（185ページ）

文字入力　（185ページ）

- 日本語が入力できない。（185ページ）
- 全角の「～」が入力できない。（185ページ）
- URLで使われる半角の「~」（チルダ）が入力できない。（185ページ）
- 入力した文字が表示されない。（185ページ）
- キーボードを使って正しく入力できない。（186ページ）
- IMEの言語バーが表示されない。（186ページ）

マウス （187ページ）

- マウスがマウスパッドの端まで来てしまい、これ以上動かせない。（187ページ）
- 画面上のポインタが動かない。（187ページ）
- スクロールしない。（187ページ）
- マウスを動かしてもカーソルが動かない。（187ページ）

ペン（PCV-LX95Gシリーズ, LX85シリーズのみ） （188ページ）

- デスクトップ画面のポインタの反応が遅い。（188ページ）
- 文字や絵がかきづらい。（188ページ）
- ポインタの位置がずれたり、ダブルクリックがうまくできない。（188ページ）
- 「マイフレーズ」ソフトウェアで入力した文字が他のソフトウェアに表示されない。（188ページ）
- 「マイフレーズ」ソフトウェアで英数字以外の認識ができない。（188ページ）

フロッピーディスク （188ページ）

- フロッピーディスクを認識しない。（188ページ）
- フロッピーディスクが取り出せない。（188ページ）
- 「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。（189ページ）
- 「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示された。（189ページ）
- フロッピーディスクを初期化しようとしたができない。（189ページ）

ハードディスク （189ページ）

- 誤ってハードディスクを初期化してしまった。（189ページ）
- ハードディスクの内容を誤って消してしまった。（189ページ）
- ハードディスクから起動できない。（190ページ）

DVD-ROM／CD-ROM （190ページ）

- DVD-ROM／CD-ROMが再生されない、または音楽CD／DVDビデオの再生時、音がとぎれる。（190ページ）
- DVD-ROMが取り出せない。（190ページ）
- エラーメッセージが出て、DVDビデオの再生ができない。（191ページ）
- 「DVDソフトウェアデコーダの設定をするアクセス権がありません」と表示された。（191ページ）
- 「Media Bar DVD プレイヤー」ソフトウェアが起動できない。（191ページ）

DVD-RW／DVD-R（PCV-LX95Gシリーズのみ） （192ページ）

- DVD-RW／DVD-Rに書き込めない。（192ページ）
- DVD-RW／DVD-R書き込み時に書き損じが起こる。（192ページ）
- DVD-RW／DVD-Rの書き込みに時間がかかる。（193ページ）

CD-RW／CD-R （193ページ）

- CD-Rに書き込めない。（193ページ）
- CD-RWを使用して作成した音楽CDがCDプレーヤーで再生できない。（193ページ）

i.LINK （193ページ）

- 本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。（193ページ）
- 「DVgate」ソフトウェアを使ってi.LINK対応機器に映像を録画できない。（193ページ）
- i.LINK接続したVAIO同士で接続できない。（194ページ）

録画／再生（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）　（194ページ）

- 「DVgate」ソフトウェアまたは「Giga Pocket」ソフトウェアを使って録画が正常にできない。（194ページ）
- テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない。（194ページ）
- 録画を実行しても何も録画されない。（194ページ）
- 番組を予約録画できない。（194ページ）
- 最初の部分が録画されていない。（195ページ）
- 画面の色がきれいに表示されない、画面の表示サイズが大きすぎる（小さすぎる）。（195ページ）
- 「Giga Pocket」ソフトウェアの「Giga ビデオレコーダー」ソフトウェアが起動できない。（195ページ）

カスタマーご登録　（195ページ）

- オンラインでカスタマー登録できない。（195ページ）

モデム／インターネット　（196ページ）

- モジュラジャックが取りはずせない。（196ページ）
- インターネットに接続できない。（196ページ）

動画／静止画編集　（213ページ）

- 「DVgate」ソフトウェアを使って動画や静止画の取り込みができない。（213ページ）
- 「MovieShaker」ソフトウェアを使って動画の取り込みができない。（213ページ）
- 「Smart Capture」ソフトウェアを使って動画／静止画を電子メールで送れない。（213ページ）

エラーメッセージ　（214ページ）

- 「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。（214ページ）
- 「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示された。（214ページ）
- 電源を入れると、「NTLDR is missing Press any key to restart」または「Remove disks or other media. Press any key to restart」というメッセージが表示される。（214ページ）
- 「CMOS battery failed」というメッセージが表示される。（214ページ）
- 「CMOS checksum Error-Defaults loaded」というメッセージが表示される。（214ページ）
- 「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して［OK］をクリックしてください。」というメッセージが表示される。（215ページ）
- 電源を入れると、「Operating system not found」というメッセージが表示され、Windowsが起動できない。（215ページ）
- 「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続アイコンをダブルクリックして、やり直してみてください」または「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直してみてください」というメッセージが表示された。（215ページ）
- 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、PDF形式のファイルを開こうとすると、「Could not find Acrobat External Window Handler.」、「An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことができない。（216ページ）

その他　（216ページ）

- ファンの音が急に大きくなった。（216ページ）

電源

電源が入らない。

→ キーボードが正しく接続されているか確認する。

→ 本機の電源コードがしっかりコンセントに差し込まれているか確認する。

→ すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認する。（47ページ）

→ スイッチ付テーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッチが入ってるかどうか、また、テーブルタップのコードが壁のコンセントにしっかり差し込まれているか確認する。

電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。以下の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

→ キーボードが正しく接続されているか確認する。（47ページ）

→ 「スタート」メニューから［終了オプション］を選んでも電源が切れないときは、「サイバーサポート」画面上部の［VAIOの使いかた］をクリックして、［基本的な使いかた］→［電源を入れる／切る］→「電源を切る」→［「コンピュータの電源を切る」画面で［電源を切る］をクリックしても電源が切れないときは］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

→ プリンタやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。Windowsは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。

→ 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認する。

→ 「電源を切る」（76ページ）の操作を行っても、「Windowsを終了しています」または「電源を切る準備ができました」と表示されたまま動かない場合は、本機の⏻電源ボタンを押してください。

→ 「スタート」メニューの［終了オプション］を選んでも「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合は、Alt（オルト）キーを押しながらF4キーを数回押して「コンピュータの電源を切る」画面を表示させ、［電源を切る］をクリックする。
Alt（オルト）キーを押しながらF4キーを数回押しても「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合は、Ctrl（コントロール）キーとAlt（オルト）キーを押しながらDelete（デリート）キーを押し、「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されたら、［シャットダウン］をクリックし、表示されるリストから［コンピュータの電源を切る］をクリックしてください。

→ 前述のいずれの操作を行っても電源が切れない場合は、本機前面の⏻(電源)ボタンを4秒以上押して⏻(電源)ランプが消灯するか確認してください。ただし、この操作をすると、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。また、本機の電源を入れ直した際、「スキャンディスク」ユーティリティが実行されたり、Safe(セーフ)モードで起動することがあります。その場合は、デスクトップ画面が表示されるまで画面の指示に従って操作し、その後「電源を切る」(76ページ)の手順に従っていったん本機の電源を正しく切ってください。

本機がスタンバイモードに移行せず、すぐに戻ってしまい、Windowsの動作状態が不安定になる。

→ 使用中のソフトウェアを終了して、本機を再起動する。再起動できない場合は、本機前面の⏻(電源)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この操作を行うと作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

電源を入れると、「NTLDR is missing Press any key to restart」または「Remove disks or other media. Press any key to restart」というメッセージが表示される。

→ 本機に取り付けたUSBフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っているときは、フロッピーディスクイジェクトボタンを押して、取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押してください。

電源を入れると、「Operating system not found」というメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

→ 本機に取り付けたUSBフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っている場合は、ディスクを取り出してからCtrl(コントロール)キーとAlt(オルト)キーを押しながらDelete(デリート)キーを2回押して本機を再起動する。

→ 再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。本機に付属のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機を再セットアップしてください。
詳しくは、「リカバリディスクで本機を再セットアップする」(252ページ)および「パーティションサイズを変更する」(263ページ)をご覧ください。

ディスプレイ／テレビ

画面に何も表示されない。

→ 本機の電源コードがしっかりコンセントに差し込まれているか確認する。

→ 本機とディスプレイを正しく接続する。

→ 本機とディスプレイの電源が入っているか確認する。

→ ディスプレイの☼(明るさ調節)ダイヤルで調整する。

画面が暗い。

→ ディスプレイの☼(明るさ調節)ダイヤルで調整する。

テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない。(PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ)

→ アンテナ接続ケーブルが本機後面のVHF／UHFコネクタと正しく接続されているか確認する。詳しくは「接続する／準備する」(47ページ)をご覧ください。

→ ご使用のアンテナの受信状況が良好か確認する。
一般のテレビに接続して受信できるか、分配器を使用している場合は、分岐前のケーブルを接続して受信できるかどうかを確認してください。
アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。この場合は別売りのアンテナブースターをご使用ください。

→ 「Giga Pocket」ソフトウェアの地域設定が正しく設定されているか確認してください。(72ページ)

→ 「Giga Pocket」ソフトウェアのチャンネル設定が正しく設定されているか確認してください。
設定が正しくない場合は、以下の手順に従って設定を変更してください。また、「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

ここでは、「VAIOテレビ」が「3チャンネル」に設定されているが、ご使用になっている地域では「20チャンネル」で放送されており、「VAIOテレビ」のチャンネル設定を「3チャンネル」から「20チャンネル」に変更する例で、以下の手順を説明します。

1 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、「Giga Pocket」、[Gigaビデオレコーダー]の順にクリックする。**
「Gigaビデオレコーダー」ソフトウェアが起動します。

2 **[設定]をクリックして、表示されるメニューから[チャンネルの設定]をクリックする。**
「チャンネルの設定」画面が表示されます。

3 **変更するチャンネル名(ここでは「VAIOテレビ」)を選択して、[変更]をクリックする。**
「チャンネルの追加/変更」画面が表示されます。

4 **「受信チャンネル」から設定したいチャンネル(ここでは「20チャンネル」なので「20」)を選ぶ。**

チャンネル番号がわからない場合は、「受信チャンネル」の▼をクリックして、チャンネルを変更していき、設定したいチャンネルが表示されるチャンネル番号を選択してください。

5 **OK をクリックする。**
以上の手順を繰り返して、映らないチャンネルすべての設定をしてください。

DVDビデオの映像がテレビ画面に表示されない。(PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ)

→ 本機をテレビに正しく接続する。詳しくは、「テレビにつなぐ」(226ページ)をご覧ください。

→ 以下の手順に従って操作し、映像と音声出力をテレビに切り換えてください。

1 **DVDビデオの再生を停止しているときに、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Media Bar]、[DVD Player]の順にクリックする。**
「DVD Player」画面が表示されます。

2 **設定 をクリックする。**
「DVD設定」画面が表示されます。

3 **[映像・音声出力]タブをクリックする。**
「映像・音声出力」画面が表示されます。

4 「ソニーMPEG2エンコーダーボード」の◯をクリックして◉にし、 OK をクリックする。

DVDビデオの映像や音声がテレビ画面に表示されるようになります。

画面

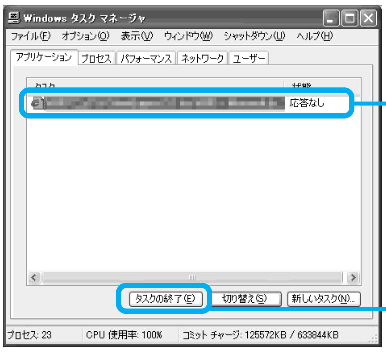
画面が固まって動かない。ソフトウェアが反応しない。フリーズした。

→ 以下の手順を上から順番に行う。

1 Ctrl（コントロール）キーと Alt（オルト）キーを押しながら Delete（デリート）キーを押す。

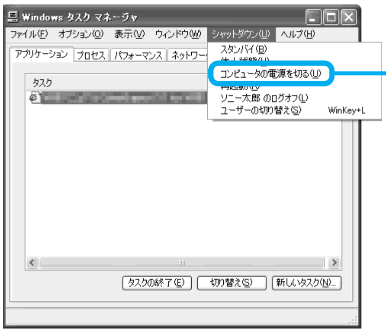
「Windowsタスクマネージャ」が表示されます。

「Windowsタスクマネージャ」に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、「タスクの終了」をクリックしてソフトウェアを終了させてください。



2 「Windowsタスクマネージャ」の［シャットダウン］メニューから、［コンピュータの電源を切る］をクリックする。

本機の電源が切れたあと、10秒後に本機の⏻（電源）ボタンを押して、再び電源を入れてください。



→ 上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻（電源）ボタンをランプが消えるまで（4秒以上）押して電源を切る。そのあと、10秒後に本機の⏻（電源）ボタンを押して再び電源を入れる。

ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

スピーカー

音が出ない。

→ 本機とディスプレイがしっかり接続されているか確認する。

→ ディスプレイの内蔵スピーカーの音量が最小になっている。⊿（音量調節）ダイヤルで音量を上げる。

→ アクティブスピーカーを接続している場合は、スピーカーのオーディオケーブルが本機にしっかり接続されているか確認する。

→ アクティブスピーカーの音量が最小になっている。音量つまみで音量を上げる。詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。

→ Windowsの音量がミュートまたは最小になっている。

1 **デスクトップ画面左下の **

をクリックし、[コントロールパネル]をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]をクリックし、[サウンドとオーディオデバイス]をクリックする。**
「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」画面が表示されます。

3 **[音量]タブをクリックする。**
音量がミュートまたは最小になっているときは、音量を上げてください。

リモコン（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）

リモコンで操作できない。

→ リモコンとリモコン用受光ユニットの間に障害物がある。障害物を取り除く。

→ リモコンと受光ユニットの距離が離れすぎている。近寄って操作する。

→ リモコンの発光部が受光ユニットの方を向いていない。リモコンを受光ユニットに向ける。

→ リモコン受光ユニットがリリースレバー下のUSBコネクタの左のコネクタにつながっていない。必ず左のコネクタにつないでください。

→ リモコンの電池が＋／－逆に入っている。正しい方向に入れ直す。

→ リモコンの乾電池が消耗している。電池を交換する。

→ 本機の近くにインバーター方式の蛍光灯がある。本機と蛍光灯を離して設置する。

「Giga Pocket」ソフトウェアを操作できない。

→ テレビ／VAIO切り換えスイッチが「VAIO」になっているか確認する。

テレビを操作できない。

→ テレビ／VAIO切り換えスイッチが「テレビ」になっているか確認する。

→ テレビのメーカー番号の設定を確認する。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[各部の説明]→[各部の説明：リモコン]→[リモコンで各社のテレビを操作するには]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

文字入力

日本語が入力できない。

→ 「文字の入力の前に」（89ページ）をご覧ください。

全角の「～」が入力できない。

→ デスクトップ画面右下のMS-IMEツールバーで「ひらがな」を選んで（89ページ）、ひらがなで「から」と入力し、「～」が選ばれるまで［　　］（スペース）キーを押すか、［Shift］（シフト）キーを押しながら［～］を押す。

URLで使われる半角の「~」（チルダ）が入力できない。

→ デスクトップ画面右下のMS-IMEツールバーで「直接入力」または「半角英数」を選んで、［Shift］（シフト）キーを押しながら［～］キーを押す。

入力した文字が表示されない。

→ 本機とキーボードが正しく接続されているか確認する。

→ 文字を入力したいソフトウェアの画面が前面に出ていない（タイトルバー（画面の上の部分）は薄い色になります）。文字を入力したいソフトウェアの画面のどこかをクリックするか、［Alt］（オルト）キーと［Tab］（タブ）キーを同時に押して目的のソフトウェアを前面に出し、使える状態にする（タイトルバーが青い色になります）。

キーボードを使って正しく入力できない。

→ 数字キーで数字が入力できない場合は、キーボード右上のNum Lock（ナム・ロック）ランプが消灯していないかを確認する。消灯しているときは、数字キーは矢印キーやコレクションキーと同じ働きをします。NumLk ScrLk（ナム・ロック）キーを押して、ランプを点灯させてから数字を入力してください。

→ キーボードの項目が「日本語PS/2キーボード（106/109キーCtrl＋英数）」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

1 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **[パフォーマンスとメンテナンス]をクリックする。**
「**パフォーマンスとメンテナンス**」画面が表示されます。

3 **（システム）をクリックする。**
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

4 **[ハードウェア]タブをクリックする。**

5 **デバイス マネージャ(D) をクリックする。**
「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

6 **キーボードの項目をクリックする。**
「日本語PS/2キーボード（106/109キーCtrl＋英数）」と表示されます。

上記と異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

IMEの言語バーが表示されない。

→ IMEの言語バーが表示されない場合は、次の手順で操作し言語バーを表示させてください。

1 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。**

2 **[日付、時刻、地域と言語のオプション]、[地域と言語のオプション]アイコンを順にクリックする。**
「地域と言語のオプション」画面が表示されます。

3 **[言語]タブをクリックし、詳細(D)... をクリックする。**
「テキスト サービスと入力言語」画面が表示されます。

4 **言語バー(B)... をクリックする。**
「言語バーの設定」画面が表示されます。

5 ［言語バーをデスクトップ上に表示する］の□をクリックして☑にし、［OK］をクリックする。

6 「テキスト サービスと入力言語」画面、「地域と言語のオプション」画面でそれぞれ［OK］をクリックして画面を閉じる。

言語バー右上の［＿］（最小化ボタン）をクリックすると言語バーはタスクバーに収納され、タスクバーに常に表示させておくことができます。

マウス

マウスがマウスパッドの端まで来てしまい、これ以上動かせない。

→ マウスを持ち上げてマウスパッドの中央に戻す。

画面上のポインタが動かない。

→ 本機とマウスが正しく接続されているか確認する。（47ページ）

→ マウスの内部が汚れている場合は、マウスを掃除する。（272ページ）

→ ［⊞］（ウィンドウズ）キーを押して「スタート」メニューを表示させ、［PgUp］（ページアップ）キーまたは［PgDn］（ページダウン）キーを押して［終了オプション］を選んで、［Enter］（エンター）キーを押す。「コンピュータの電源を切る」画面が表示されたら［PgUp］（ページアップ）キーまたは［PgDn］（ページダウン）キーで［電源を切る］を選んで［Enter］（エンター）キーを押し、電源が切れた後10秒後に本機前面の⏻（電源）ボタンを押して再び電源を入れる。

スクロールしない。

→ スクロール機能に対応していないソフトウェアを起動している。スクロールの必要のないソフトウェアはスクロールできません。また、ソフトウェアによっては、スクロール機能に対応していないものがあります。

マウスを動かしてもカーソルが動かない。

→ オートスクロール設定になっている。ホイールボタンを押して、オートスクロールの状態を解除してください。

ペン（PCV-LX95Gシリーズ, LX85シリーズのみ）

デスクトップ画面のポインタの反応が遅い。

→ ペン先がすり切れたり、汚れている。ペン先をかえてください。（39ページ）

文字や絵がかきづらい。

→ ペン先がすり切れたり、汚れている。ペン先をかえてください。（39ページ）

ポインタの位置がずれたり、ダブルクリックがうまくできない。

→ ポインタの位置調整やダブルクリックの速度設定を行う。

「マイフレーズ」ソフトウェアで入力した文字が他のソフトウェアに表示されない。

→ 送り先のソフトウェアを選択していない。送り先のソフトウェアのウィンドウや画面のタイトルバーをクリックして選択してください。

「マイフレーズ」ソフトウェアで英数字以外の認識ができない。

→ 「マイフレーズ」ソフトウェアの画面で「英数」がクリックされている。
もう1度、「英数」をクリックしてください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクを認識しない。

→ 本機とUSBフロッピーディスクドライブが正しく接続されているか確認する。

→ フロッピーディスクをUSBフロッピーディスクドライブからいったん取り出し、入れ直してみる。

フロッピーディスクが取り出せない。

→ 「サイバーサポート」画面上部の［VAIOの使いかた］をクリックして、［基本的な使いかた］→［フロッピーディスクを使う］→［フロッピーディスクを入れる／取り出す］→［フロッピーディスクを取り出すには］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

→ フロッピーディスクの容量の空きがない。容量の空きが充分にある、別のフロッピーディスクを使って、保存し直す。

「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示された。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[基本的な使いかた]→[フロッピーディスクを使う]→[フロッピーディスクのデータを使う]→[フロッピーディスクを書き込み禁止にする]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

フロッピーディスクを初期化しようとしたができない。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[基本的な使いかた]→[フロッピーディスクを使う]→[フロッピーディスクのデータを使う]→[フロッピーディスクを書き込み禁止にする]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

→ 本機に取り付けたUSBフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがきちんと入っているか確認する。

→ 「アプリケーションが使用中です」というメッセージが出たときは、フロッピーディスクの内容がウィンドウで表示されている。ウィンドウ表示されているときは初期化できないので、フロッピーディスクのウィンドウを閉じる。

ハードディスク

誤ってハードディスクを初期化してしまった。

→ リカバリディスクを使って、本機を再セットアップする必要があります。詳しくは「リカバリディスクで本機を再セットアップする」(252ページ)をご覧ください。

ハードディスクの内容を誤って消してしまった。

→ リカバリディスクを使って、本機を再セットアップする必要があります。詳しくは「リカバリディスクで本機を再セットアップする」(252ページ)をご覧ください。

ハードディスクから起動できない。

→ 本機に取り付けたUSBフロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っていないか確認する。

→ ディスクドライブにリカバリディスクが入っていないか確認する。

→ 上記の操作を行っても起動できない場合は、リカバリディスクを使って、本機を再セットアップする。詳しくは「リカバリディスクで本機を再セットアップする」(252ページ)をご覧ください。

DVD-ROM／CD-ROM

DVD-ROM／CD-ROMが再生されない、または音楽CD／DVDビデオの再生時、音がとぎれる。

→ DVD-ROMやCD-ROMをディスクドライブに入れてください。

→ CD-ROMが正しくディスクドライブに入っているか確認する。CD-ROMは文字が書いてある面を外側にして入れます。

→ DVD-ROMが正しくディスクドライブに入っているか確認する。DVD-ROMは再生したい面を内側にして入れます。

→ 地域番号(リージョンコード)が違うDVD-ROMを入れている。本機では、地域番号(リージョンコード)として「2」または「ALL」が記されていないDVD-ROMは再生できません。

→ DVD-ROM／CD-ROMの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。

→ CDレンズクリーナーでレンズの汚れをとる。

→ 結露している。しばらく待って電源を入れ直してから、もう1度再生してみる。

→ 使用できないディスクの可能性があります。「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして[VAIOインフォメーション]→[知っ得情報]→[使用できるディスク]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

→ 起動中の他のソフトウェアを終了させてください。

DVD-ROMが取り出せない。

→ DVD-ROMはOPEN／CLOSEボタンを押しても状態によっては取り出せないことがあります。

エラーメッセージが出て、DVDビデオの再生ができない。

→ ハードウェアアクセラレータが最大になっているか確認する。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 [デスクトップの表示とテーマ]をクリックする
「デスクトップの表示とテーマ」画面が表示されます。

3 [画面]をクリックする。
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

4 [設定]タブをクリックする。
「設定」画面が表示されます。

5 詳細設定(V) をクリックする。
プロパティ画面が表示されます。

6 [トラブルシューティング]タブをクリックする。
「トラブルシューティング」画面が表示されます。

7 「ハードウェアアクセラレータ」のスライダを動かし、最大に設定する。

8 OK をクリックする。
「設定」画面が表示されます。

9 「画面のプロパティ」画面で OK をクリックする。

「DVDソフトウェアデコーダの設定をするアクセス権がありません。」と表示された。

→ 1度、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンしてから、DVDビデオを再生してください。次に電源を入れたときからは、通常のユーザーで再生できます。

「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアが起動できない。

→ エクスプローラで動画ファイルのサムネールを表示していると「Media Bar DVDプレーヤー」ソフトウェアを起動できないことがあります。
この場合は、エクスプローラを終了させてから、ソフトウェアを起動してください。

DVD-RW／DVD-R（PCV-LX95Gシリーズのみ）

DVD-RW／DVD-Rに書き込めない。

→ 「RecordNow DX」ソフトウェアでデータを書き込むときは、書き込み済みのディスクには追記で書き込みはできません。
DVD-RWの場合は、書き込み済みデータの消去を行えば再度書き込みができます。

→ 「RecordNow DX」ソフトウェアでデータを書き込むときは、書き込みデータ容量の1割増程度のハードディスク空き容量が必要となります。ハードディスクに充分な空き容量があることを確認してください。例えば、4.3Gバイトのデータを書き込む場合は、ハードディスクには約4.7Gバイトの空き容量が必要になります。

→ 「RecordNow DX」ソフトウェアでデータを書き込むときは、1つのファイルサイズが、4Gバイト（4,294,967,296バイト）以上のファイルは、書き込むことはできません。

→ 「RecordNow DX」ソフトウェアをウィザードでご使用のときは、2Gバイト以上のファイルを書き込まないでください。
1ファイル2Gバイト以上のファイルを書き込む場合は、メインアプリケーションをご使用ください。

→ 「DVDit! for VAIO」ソフトウェアでデータを書き込むときは、ハードディスクの空き容量が、書き込むデータ容量の約2倍必要となります。ハードディスクに充分な空き容量（最大約10Gバイト）があるか確認してください。

→ 「DVDit! for VAIO」ソフトウェアでデータを書き込むときは、書き込むことのできるデータは、本機に付属の「Giga Pocket」ソフトウェア（PCV-LX95Gシリーズ，LX55Gシリーズのみ）や「DVgate」ソフトウェアで作成したMPEGファイルのみです。

DVD-RW／DVD-Rに書き込み時に書き損じが起こる。

→ データ書き込み中に他のソフトウェアを起動すると、書き込みは正常に行われません。

→ データ書き込み中に、スクリーンセーバーなどの常駐プログラムが自動的に起動すると、書き込みは正常に行われません。
データを書き込む前にこれらの機能の設定を解除しておいてください。

→ データの書き込み中に、i.LINK対応機器やUSB機器などを接続したり、それらの電源を入／切したり、また、インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど他のコンピュータやネットワークにアクセスすると、書き込みは正常に行われません。

DVD-RW／DVD-Rの書き込みに時間がかかる。

→ DVD-Rにディスク・アット・ワンスで書き込む場合、データは最低限1Gバイト（1倍速で約12分）で書き込む必要があります。書き込むデータの容量が1Gバイト以下の場合、本機では合計で1Gバイトまでダミーの書き込みを行います。これは、規格上、再生互換性を保つためです。
そのため、DVD-RW／DVD-Rに書き込むときに、1Gバイト未満の容量のデータを書き込んだ場合、データの書き込みは終了していても、書き込み処理完了までさらに20分～40分かかることがありますが、故障ではありません。この場合、プログレスバーは100%を示したままで変化はありませんが、そのままお待ちください。

CD-RW／CD-R

CD-Rに書き込めない。

→ CD-Rは1度書き込むと書き換えはできません。ソフトウェアによっては、ディスクに空きがあるときは追記が可能な場合があります。

CD-RWを使用して作成した音楽CDがCDプレーヤーで再生できない。

→ CD-RWを使用して作成した音楽CDはCD-RWに対応しているドライブでのみ再生できます。

i.LINK

本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。

→ i.LINK対応機器の電源を切り、いったんi.LINKケーブルを抜き差ししてから、電源を入れ直してください。

「DVgate」ソフトウェアを使ってi.LINK対応機器に映像を録画できない。

→ 他のソフトウェアが起動していないか確認する。他のソフトウェアが起動中に「DVgate」ソフトウェアを使ってi.LINK対応機器への録画を繰り返し行うと、録画ができなくなることがあります。この場合は、本機を再起動してください。

i.LINK接続したVAIO同士で接続できない。

→ お使いの機種によっては、本機とデータのやりとりができない場合があります。詳しくは、「i.LINK接続でデータをやりとりする」(222ページ)をご覧ください。

→ i.LINKケーブルをいったん抜いてもう1度挿し直してください。しばらく待って接続できないときは再起動してください。

→ ネットワークの設定によっては、省電力モードから復帰後に接続できなくなることがあります。その場合は、省電力モードに入らないようにしてご使用ください。

録画、再生(PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ)

「DVgate」ソフトウェアまたは「Giga Pocket」ソフトウェアを使って録画が正常にできない。

→ 本機につないだ機器が正しく接続されているか確認する。

→ 「DVgate」ソフトウェアのヘルプまたは「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプおよび取扱説明書をご覧ください。

テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない。

→ 181ページをご覧ください。

録画を実行しても何も録画されない。

→ 本機に接続した機器が動作していない。ビデオカメラレコーダーやビデオデッキから録画するときは、電源が入っているか、機器と本機が正しく接続されているか確認してください。

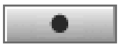
→ ゲーム機器などの映像は、表示や録画ができないことがあります。本機と接続したビデオ機器から映像を入力している場合、一時停止したときの画像、映像が入力されていないときの画面(青い画面など)、本機に接続したビデオ機器が表示するメニュー画面などは表示や録画ができないことがあります。

番組を予約録画できない。

→ 入力設定が間違っている。「Giga Pocket」ソフトウェアの入力設定(TVチューナー、VIDEO 1 INPUT(後面))を確認してください。

→ 予約マネージャーが起動していない。本機の電源が入っているか確認してください。または予約マネージャーが起動しているか確認してください。

最初の部分が録画されていない。

→ 録画が始まるまでに10数秒かかることがあります。実際に録画するときは、10数秒早く（録画）をクリックしてください。

画面の色がきれいに表示されない、画面の表示サイズが大きすぎる（小さすぎる）。

→ ディスプレイの設定を「Giga Pocket」ソフトウェア用に設定しないと、正しく表示されません。詳しくは「サイバーサポート」画面上部の［VAIOの使いかた］をクリックして、［設定を変更する］→［ディスプレイの設定を変更する］→［設定変更のしかた］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

「Giga Pocket」ソフトウェアの「Giga ビデオレコーダー」が起動できない。

→ エクスプローラで動画ファイルのサムネールを表示していると「Gigaビデオレコーダー」を起動できないことがあります。この場合は、エクスプローラを終了させてから、「Gigaビデオレコーダー」を起動してください。

カスタマーご登録

オンラインでカスタマー登録できない。

→ カスタマー登録するときは、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンしてください。

→ 本機が電話回線に正しく接続されているか確認する。（47ページ）

→ お使いの電話回線がトーン式ダイヤルかパルス式ダイヤルかを確認し、ダイヤルの種類に合わせて内蔵モデムを設定する。
お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）などの電話会社にお問い合わせください。

→ ISDN回線をお使いの場合は、ターミナルアダプタのUSBコネクタと本機のUSBコネクタをつないでください。（47ページ）

→ ターミナルアダプタなど、お使いになる通信機器によっては、正しく通信できないことがあります。この場合は、本機後面のLINE（電話回線）ジャックと一般電話回線をつなぎ（47ページ）、通信を行ってください。

モジュラジャックが取りはずせない。

→「接続する／準備する」（47ページ）の手順3の「本機からテレホンコードを取りはずすには」をご覧ください。

インターネットに接続できない。

インターネットへの接続から、ホームページの閲覧や電子メールのやりとりは、以下の手順で行われています。

1 **本機が内蔵モデムやターミナルアダプタ（ISDN回線の場合）を認識する。**

2 **本機の内蔵モデムやターミナルアダプタがプロバイダに電話をかける。**

3 **プロバイダのサーバーに接続され、プロバイダと本機の内蔵モデムやターミナルアダプタとの間で必要な信号のやりとりが行われる。**

4 **プロバイダのサーバーが、ユーザー名やパスワードなど、インターネットへの接続に必要な項目を確認する。**
ここまでで問題がなければ、本機がインターネットに接続します。

5 **ウェブブラウザ（「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアなど）でホームページを見る。**

6 **電子メールをやりとりする。**

インターネットに接続できない場合は、上記の各手順で問題があることが考えられます。次のチェック項目に従って接続や設定を確認してください。
それでも接続できないときは、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

ご注意

接続や設定は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンして確認してください。

1 本機が内蔵モデムやターミナルアダプタ(ISDN回線の場合)を認識していない。

以下の点をご確認ください。

	チェック項目	ここをご覧ください
❑	内蔵モデムは認識されていますか？また接続した電話回線は内蔵モデムで使用できるものですか？	A-1(199ページ) A-2(200ページ)
❑	ISDN回線に接続していませんか？	B-1(202ページ) B-2(202ページ) B-3(202ページ)
❑	テレホンコードは正しく接続されていますか？	C-1(202ページ) C-2(203ページ) C-3(203ページ)

2 本機の内蔵モデムやターミナルアダプタがプロバイダに電話をかけていない。

以下の点をご確認ください。

	チェック項目	ここをご覧ください
❑	ダイヤル方法は正しいですか？	D-1(203ページ) D-2(204ページ)
❑	接続先(プロバイダのアクセスポイント)の電話番号は間違っていませんか？	E-1(204ページ)
❑	トーンを待ってダイヤルする設定になっていませんか？	F-1(204ページ)
❑	内蔵モデムやターミナルアダプタが3回以上連続してダイヤルしていませんか？	G-1(205ページ)

3 プロバイダのサーバーと本機の内蔵モデムやターミナルアダプタとの間で必要な信号のやりとりが行われていない。

以下の点をご確認ください。

	チェック項目	ここをご覧ください
❑	ネゴシエーションは正しくできていますか？	H-1(205ページ)
❑	「ハイパーターミナル」ソフトウェアで時報など、他の電話番号にダイヤルしても接続できませんか？	I-1(206ページ) I-2(207ページ)

4 ユーザー名やパスワードなど、インターネットへの接続に必要な項目がプロバイダのサーバーによって認証されない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目		ここをご覧ください
❑	ユーザー名やパスワードは正しく設定されていますか？	J-1（207ページ）
❑	ユーザー名やパスワードを忘れてしまったのですか？	K-1（208ページ）
❑	ダイヤルアップネットワークの設定は正しいですか？	L-1（208ページ）
❑	ネットワークの設定は正しいですか？	M-1（209ページ）
❑	ダイヤルアップ接続アイコンを削除し、再度作り直しても接続できませんか？	N-1（210ページ）

5 ウェブブラウザ（「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアなど）でホームページを見ることができない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目		ここをご覧ください
❑	ネットワークやダイヤルアップネットワークの設定は正しいですか？	O-1（211ページ）
❑	ホームページのURLをアドレスバーに入力してホームページを見るとき、URLは正しいですか？	P-1（211ページ）

6 電子メールをやりとりできない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目		ここをご覧ください
❑	電子メールソフトウェアの設定は正しいですか？	Q-1（211ページ） Q-2（212ページ）

A-1 PBXなどの交換機や他の通信機器を経由して接続している。

NTTの一般電話回線と直接接続してください。本機の内蔵モデムは一般電話回線との接続を前提としています。集合住宅などで、PBXなどの交換機を経由する場合は、PBXなどの交換機が一般電話回線用のモデムに対応しているか確認してください。対応していない場合、接続できなかったり、本機の故障や破損の原因となることがあります。また、接続できても途中でとぎれたり、通信速度が遅いことがあります。

PBXなどの交換機を経由して0発信で接続するときは、以下の手順に従って操作し、外線発信番号を「0」(0発信)にしてください。

1 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[コントロールパネル]をクリックする。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **[プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。**

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

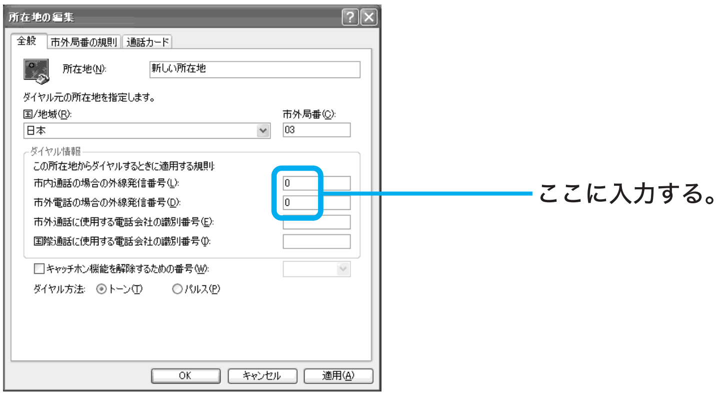
3 **[電話とモデムのオプション]をクリックする。**

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 **「ダイヤル情報」タブをクリックし、 編集(E)... をクリックする。**

「所在地の編集」画面が表示されます。

5 **「市内通話の場合の外線発信番号」と「市外電話の場合の外線発信番号」に半角で「0」(ゼロ)と入力する。**



6 **OK をクリックする。**

7 **[モデム]タブをクリックする。**

「モデム」画面が表示されます。

8 **お使いのモデムをクリックして選び プロパティ(P) をクリックする。**

内蔵モデムのプロパティ画面が表示されます。

9 **[モデム]タブをクリックする。**

「モデム」画面が表示されます。

10 「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックをはずす。

ここをクリックしてチェックをはずす。

11 OK をクリックする。

12 「電話とモデムのオプション」画面で OK をクリックする。

A-2 以下の手順に従って操作し、内蔵モデムが正しく認識されているか確認してください。

1 内蔵モデムが本機に認識されているか確認します。

1　デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　[プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

3　[電話とモデムのオプション]をクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4　[モデム]タブをクリックする。

5　お使いのモデムをクリックして選び プロパティ(P) をクリックする。

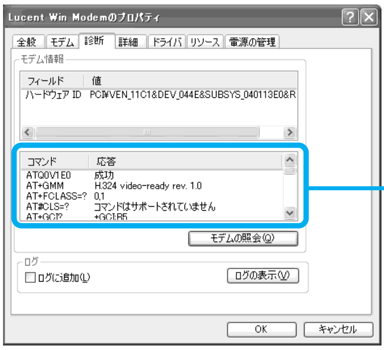
内蔵モデムのプロパティ画面が表示されます。

6　[診断]タブをクリックする。

7　モデムの照会(Q) をクリックする。

コマンドに対して応答メッセージが表示されたら、内蔵モデムは正しく認識されています。

コマンドに対して応答メッセージが表示されない場合は、本機を再起動して手順1～7をもう1度行ってください。



ここに表示される。

2 内蔵モデムが他のデバイスと競合していないか確認します。

1　デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックして［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする。

「パフォーマンスとメンテナンス」画面が表示されます。

3　［システム］をクリックする。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

4　［ハードウェア］タブをクリックする。

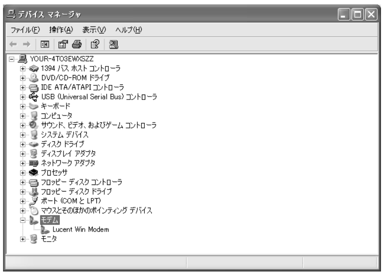
「ハードウェア」画面が表示されます。

5　［デバイス マネージャ(D)］をクリックする。

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

6　（モデム）をダブルクリックする。

お使いのモデムのアイコンに「！」がついているものは、他のデバイスと競合を起こしています。



3 内蔵モデムの設定をいったん削除し、もう1度、組み込み直します。

1　デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックして［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする。

「パフォーマンスとメンテナンス」画面が表示されます。

3　［システム］をクリックする。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

4　［ハードウェア］タブをクリックする。

「ハードウェア」画面が表示されます。

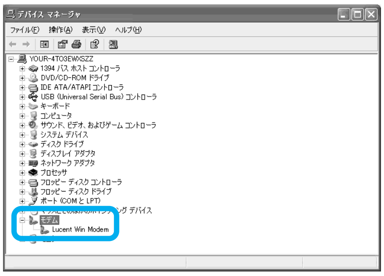
5　［デバイス マネージャ(D)］をクリックする。

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

6　［モデム］をダブルクリックする。

7　お使いのモデムをクリックして選び、メニューバーの[操作]をクリックし表示されるメニューから[削除]をクリックする。

「デバイス削除の確認」画面が表示されます。



8　OK をクリックする。

内蔵モデムの設定が削除されます。

9　「デバイスマネージャ」画面の × をクリックして画面を閉じる。

10　「システムのプロパティ」画面で OK をクリックする。

「システムのプロパティ」画面が閉じます。

11　本機を再起動する。

再起動時に内蔵モデムが検出され、対応するドライバが自動的に組み込まれます。

B-1 一般電話回線がある場合は、一般電話回線に接続し直してください。

契約するプロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアがISDN回線に対応していないことがあります。オンラインサインアップソフトウェアのISDN回線への対応状況について詳しくは、各プロバイダにお問い合わせください。

オンラインサインアップ後に、ISDN回線に接続し直してください。

B-2 ISDN回線しかない場合は、本機の内蔵モデムをターミナルアダプタのアナログポートに接続するか、または、ターミナルアダプタの設定を行い、内蔵モデムの代わりに使用してください。

ターミナルアダプタの設定について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

契約するプロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアがISDN回線に対応していないことがあります。オンラインサインアップソフトウェアのISDN回線への対応状況について詳しくは、各プロバイダにお問い合わせください。

オンラインサインアップ後に、本機のUSBコネクタとターミナルアダプタのUSBコネクタを接続し直してください。

B-3 ISDN回線に接続しているときは、ターミナルアダプタが使える状態になっているか確認してください。

詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

C-1 本機を電話回線に接続するときは、付属のテレホンコードをお使いください。

C-2 「発信音が聞こえません」または「ダイヤル先のコンピュータが応答しません」というメッセージが表示されるときは、テレホンコードが本機側および壁側、ターミナルアダプタなどへしっかりと奥まで接続されているか確認してください。

C-3 電話回線のコンセントと本機の間に付属以外の分配器などの機器をつなげないでください。

D-1 以下の手順に従って操作し、ダイヤル方法（トーン／パルス）が正しく設定されているか確認してください。

1　デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　［プリンタとその他のハードウェア］をクリックする。

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

3　［電話とモデムのオプション］をクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4　編集(E)... をクリックする。

「所在地の編集」画面が表示されます。

5　「ダイヤル方法」が120ページで作成したチェックシートの❻トーン／パルス（電話回線の種類）と同じか確認する。

6　OK をクリックする。

7　「電話とモデムのオプション」画面で OK をクリックする。

ちょっと一言

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面で、「ダイヤル情報を使う」がチェックされている必要があります。詳しくは、「接続のための設定をする」（125ページ）の手順20をご覧ください。

D-2 **お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線(基本)使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT(局番なしの116番)などの電話会社にお問い合わせください。**

E-1 **以下の手順に従って操作し、接続先の電話番号を確認してください。**

1　デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　[ネットワークとインターネット接続]をクリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

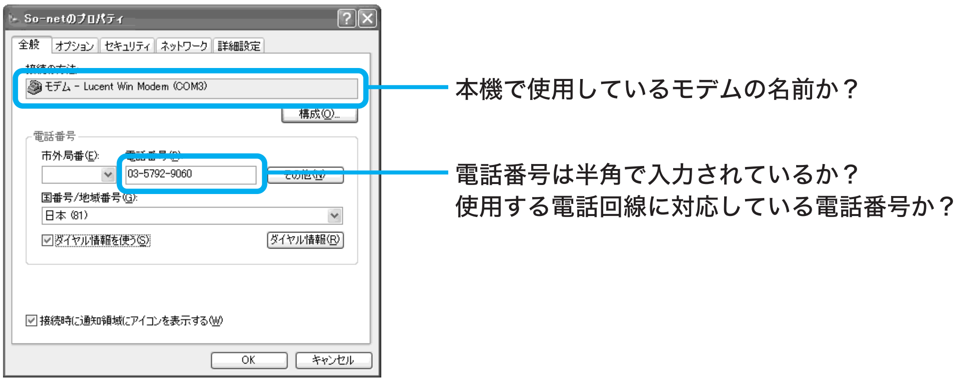
3　[ネットワーク接続]をクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4　ダイヤルアップ接続名(120ページで作成したチェックシートの❶ダイヤルアップ接続名)を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]をクリックする。

プロパティ画面が表示されます。

5　「接続の方法」の表示内容および「電話番号」の入力欄が間違っていないか確認する。



ちょっと一言

プロバイダによっては、同じアクセスポイントでも一般電話回線とISDN回線で電話番号を分けていることもあります。使用する電話回線に合った電話番号かは、契約したプロバイダにお問い合わせください。

F-1 **以下の手順に従って操作し、トーンを待ってダイヤルする設定を解除してください。**

1　デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　[プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

3　[電話とモデムのオプション]をクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4　[モデム]タブをクリックする。

「モデム」画面が表示されます。

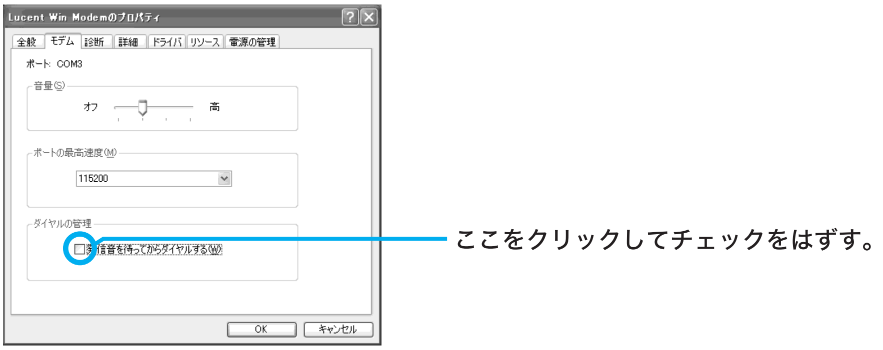
5　お使いのモデムをクリックして選び、[プロパティ(P)]をクリックする。

内蔵モデムのプロパティ画面が表示されます。

6　[モデム]タブをクリックする。

「モデム」画面が表示されます。

7　「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックをはずす。



8　[OK]をクリックする。

9　「電話とモデムのオプション」画面で[OK]をクリックする。

G-1 3分以内に3回以上同じ電話番号にかけた場合は、リダイヤル制限がかかる場合があります。3分以上、時間をおいてからかけ直してください。

H-1 内蔵モデムやターミナルアダプタが発信しているのに、ネゴシエーションが始まらない場合は、以下のような問題が考えられます。

ネゴシエーションとは？

内蔵モデムやターミナルアダプタがプロバイダのサーバーとの間で必要な信号のやりとりを行うことで、接続先につながると、「ピーヒョロロロ…」という音がします。

電話回線の問題

- 電話回線の状態が良くない。
- 電話回線が混み合っている。

この場合は、時間帯をずらして再度、接続してみてください。

接続先（プロバイダのアクセスポイント）の問題

- 接続先の回線の状態が良くない。
- 接続先の回線が混み合っている。
- 接続先のモデムが不調である。

この場合は、時間帯をずらして再度、接続してみるか、アクセスポイントを変更して接続してみてください。

アクセスポイントを変更するには、以下の手順に従って操作します。

1　デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　[ネットワークとインターネット接続]をクリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

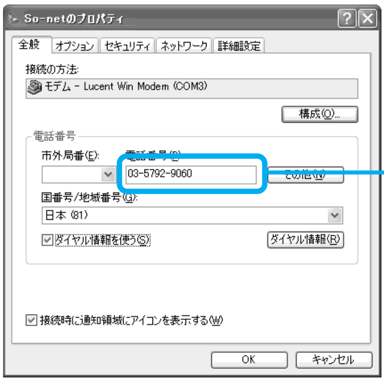
3　[ネットワーク接続]をクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4　ダイヤルアップ接続名（120ページで作成したチェックシートの❶ダイヤルアップ接続名）を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]をクリックする。

プロパティ画面が表示されます。

5　「電話番号」の入力欄に別のアクセスポイントの電話番号を半角の数字で入力する。



ここに入力する。

6　OK をクリックしてプロパティ画面を閉じる。

I-1 以下の手順に従って操作し、「ハイパーターミナル」ソフトウェアで時報の電話番号に接続できるか試してください。

1　デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[アクセサリ]、[通信]、[ハイパーターミナル]の順にクリックする。

「ハイパーターミナル」ソフトウェアが起動し、「接続の設定」画面が表示されます。

2　「名前」に任意の名前を入れ、OK をクリックする。

ここに入力する。

3　「電話番号」に時報の番号（117）を入れ、［OK］をクリックする。

「接続」画面が表示されます。

4　［ダイヤル(D)］をクリックする。

I-2 お使いになっているソフトウェアの設定を確認してください。

J-1 「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続アイコンをダブルクリックして、やり直してみてください」または「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直してみてください」というメッセージが表示されるときは、ユーザー名やパスワードを確認してください。

ご注意

上記のメッセージは、ユーザー名やパスワードが正しくないときにのみ表示されるわけではありません。

ユーザー名とパスワードを確認するには、以下の手順に従って操作します。

1　デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックして［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　［ネットワークとインターネット接続］をクリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

3　［インターネットオプション］をクリックする。

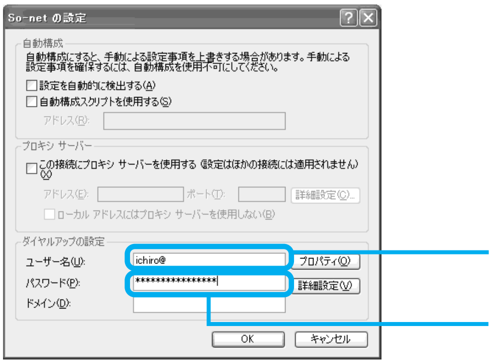
「インターネットのプロパティ」画面が表示されます。

4　［接続］タブをクリックする。

5　「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」の中のダイヤルアップ接続名（120ページで作成したチェックシートの❶ダイヤルアップ接続名）を選び、［設定(S)...］をクリックする。

設定画面が表示されます。

6　「ダイヤルアップの設定」の「ユーザー名」や「パスワード」が正しいか確認する。



ここがチェックシートの❸ユーザー名（PPP）と同じか？

チェックシートの❹パスワード（PPP）をもう1度半角で入力してみてください。

K-1 プロバイダから郵送されてきた資料を確認してください。または、契約したプロバイダにお問い合わせください。

L-1 ユーザー名やパスワードを確認して接続してもJ-1（207ページ）で説明したメッセージが表示されるときは、以下の手順に従って、ダイヤルアップネットワークの設定を確認してください。120ページで作成したチェックシートをご覧になりながら、設定内容が正しいか確認していきます。

1　デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックして、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　［ネットワークとインターネット接続］をクリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

3　［ネットワーク接続］をクリックする。

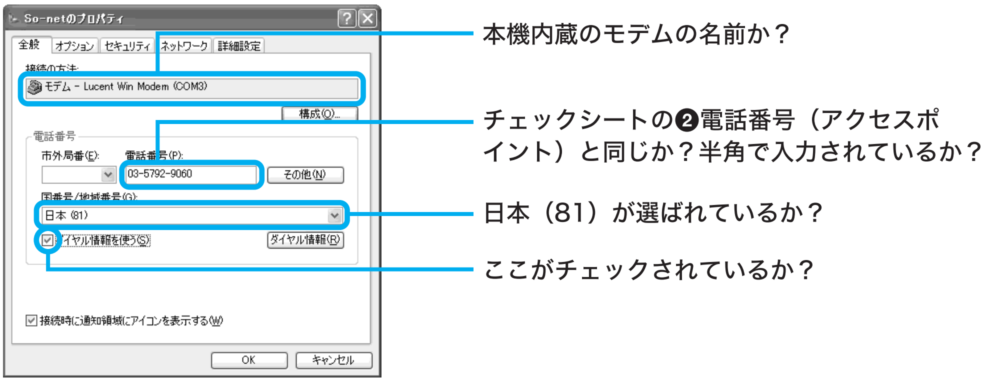
「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4　ダイヤルアップ接続名（120ページで作成したチェックシートの❶ダイヤルアップ接続名）を右クリックして表示されるメニューから［プロパティ］をクリックする。

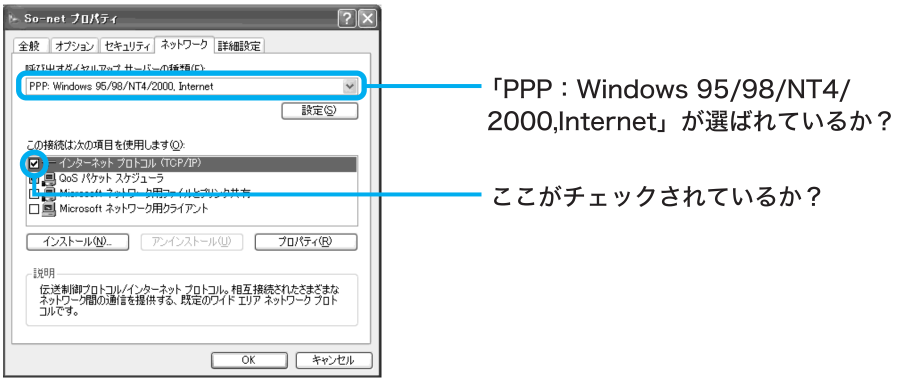
プロパティ画面が表示されます。

5　各タブをクリックし、各項目がチェックシートどおりに正しく入力されているか確認する。

「全般」タブ

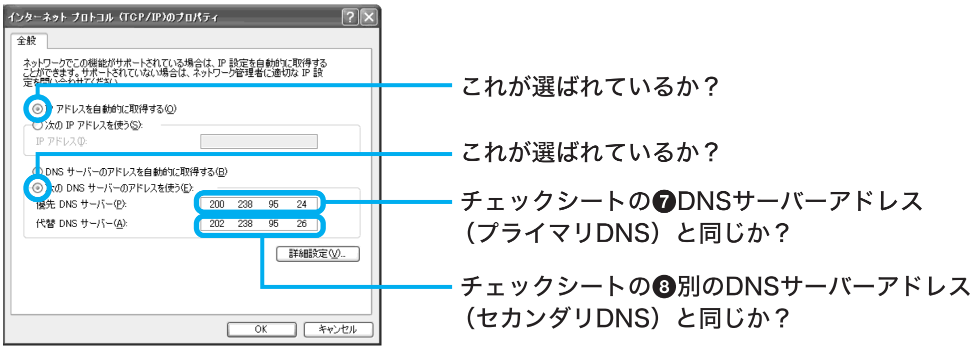


「ネットワーク」タブ



「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面

「ネットワーク」タブで[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックして選び [プロパティ(P)] をクリックすると表示されます。



ご注意

プロバイダからDNSサーバーアドレスを指定されない(自動設定)場合は、[次のDNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]をクリックしてください。

ちょっと一言

DNSサーバーアドレス(プライマリDNSとセカンダリDNS)がチェックシートと異なる場合は、[次のDNSサーバーのアドレスを使う]をクリックしてから、正しいアドレスを入力します。

M-1 以下の手順に従って操作し、ネットワークの設定を確認してください。

1　デスクトップ画面左下の [スタート] をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　[ネットワークとインターネット接続]をクリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

3　[ネットワーク接続]をクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4　ダイヤルアップ接続名(120ページで作成したチェックシートの❶ダイヤルアップ接続名)を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]をクリックする。

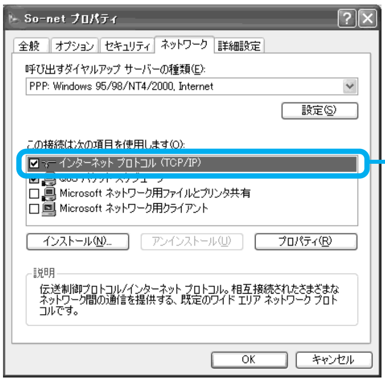
プロパティ画面が表示されます。

5　[ネットワーク]タブをクリックする。

「ネットワーク」画面が表示されます。

6 「この接続は次の項目を使用します」に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」があるか確認する。

「この接続は次の項目を使用します」に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」がない場合は、[インストール(N)...]をクリックして追加してください。



この項目があるか？

N-1 ダイヤルアップ接続アイコンを削除し、再度作り直して接続してみてください。

ダイヤルアップ接続アイコンを作り直すには、以下の手順に従って操作します。

1 デスクトップ画面左下の[スタート]をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックする。

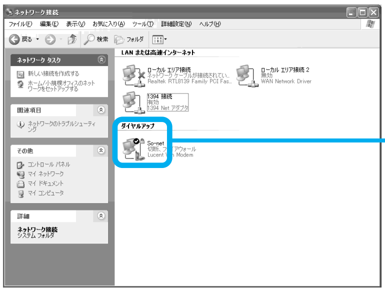
「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

3 [ネットワーク接続]をクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4 ダイヤルアップ接続名(120ページで作成したチェックシートの❶ダイヤルアップ接続名)のアイコンをごみ箱にドラッグアンドドロップする。

ダイヤルアップアイコンを削除するか確認するメッセージが表示されます。



このアイコンを削除する。

5 [はい(Y)]をクリックする。

ダイヤルアップ接続アイコンが削除されます。

6 「ネットワークタスク」の中の[新しい接続を作成する]をクリックする。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

7 [次へ(N) >]をクリックする。

「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

8　[インターネットに接続する]の◯をクリックして◉にし、[次へ(N) >]をクリックする。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

以下の手順は「接続のための設定をする」(125ページ)の手順3〜25の操作を行ってください。

インターネット接続ウィザードが終了すると、「ネットワーク接続」画面の中に新しいダイヤルアップ接続アイコンができます。

このアイコンをダブルクリックして、接続を試してください。

O-1 L-1(208ページ)やM-1(209ページ)の操作を行い、ネットワークやダイヤルアップネットワークの設定を再度確認してください。

P-1 アドレスバーに入力されている英数字を確認してください。また、URLは半角で入力してください。

URLの中には「~」(チルダ)という特殊な記号を入力するものもあります。「~」を入力するには、MS-IMEツールバーで「半角英数」または「直接入力」を選び、[Shift](シフト)キーを押しながら[^]を押します。

Q-1 「Outlook Express」ソフトウェアをお使いの場合は、以下の手順に従って操作し、電子メールソフトウェアの設定を確認してください。120ページで作成したチェックシートをご覧になりながら、設定内容が正しいか確認していきます。

1　デスクトップ画面左下の[スタート]をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

「接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックします。

2　画面上部の[ツール]をクリックし、表示されるメニューから[アカウント]をクリックする。

「インターネットアカウント」画面が表示されます。

3　[メール]タブをクリックする。

「メール」画面が表示されます。

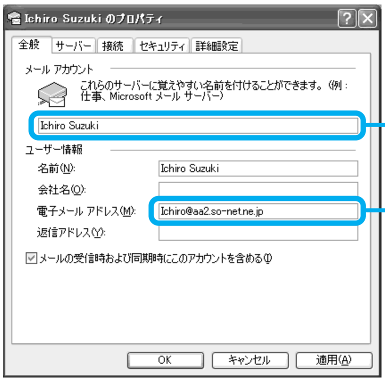
4　お使いのアカウントをクリックして選び、[プロパティ(P)]をクリックする。

お使いのアカウントのプロパティ画面が表示されます。

困ったときは

5　各タブをクリックし、各項目がチェックシートどおりに正しく入力されているか確認する。

「全般」タブ

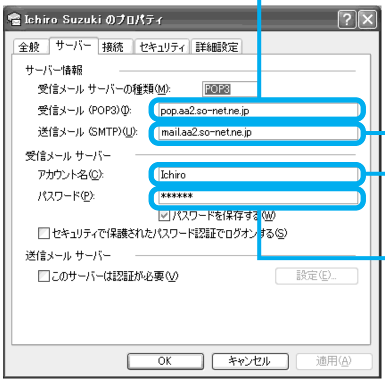


チェックシートの⑮インターネットメールアカウント名はお好みの名前を入れる。

チェックシートの⑩電子メールアドレスと同じか？

「サーバー」タブ

チェックシートの⑪受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバーと同じか？



チェックシートの⑫送信メール（SMTP）サーバーと同じか？

チェックシートの⑬POPアカウント名と同じか？

チェックシートの⑭パスワード（POPアカウントパスワード）をもう１度入力してみてください。

ご注意

文字は半角文字で入力してください。全角で入力してあると、電子メールソフトウェアが正しく設定されません。

Q-2「Outlook Express」以外の電子メールソフトウェアをお使いの場合は、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧になり、120ページで作成したチェックシートの⑩～⑭が正しく入力されているか確認してください。

「DVgate」ソフトウェアを使って動画や静止画の取り込みができない。

→ i.LINK対応機器の認識ができない。「Smart Capture」ソフトウェアが起動している。「Smart Capture」ソフトウェアと「DVgate」ソフトウェアをいったん終了し、「DVgate」ソフトウェアのみを起動してください。

→ i.LINK対応機器の準備ができていない。i.LINK対応機器の電源が入っているか確認してください。

→ 本機とi.LINK対応機器が正しく接続されていない。i.LINKケーブルで本機とi.LINK対応機器が正しくつながっているか確認してください。

「DVgate」ソフトウェアについて詳しくは、「DVgate」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

「MovieShaker」ソフトウェアを使って動画の取り込みができない。

→ i.LINK対応機器の準備ができていない。i.LINK対応機器の電源が入っているか確認してください。

→ 本機とi.LINK対応機器が正しく接続されていない。i.LINKケーブルで本機とi.LINK対応機器が正しくつながっているか確認してください。

「MovieShaker」ソフトウェアについて詳しくは、「MovieShaker」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

「Smart Capture」ソフトウェアを使って動画／静止画を電子メールで送れない。

→ 動画が電子メールで送れないときは、撮影時のモードを確認する。ネットムービーモードで撮影した動画のみ、電子メールに添付できます。

→ 電子メールソフトウェアの設定が正しいか確認する。詳しくは、「モデム／インターネット」（196ページ）をご覧ください。

「Smart Capture」ソフトウェアについて詳しくは、「Smart Capture」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

エラーメッセージ

「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

→ 189ページをご覧ください。

「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示された。

→ 189ページをご覧ください。

電源を入れると、「NTLDR is missing Press any key to restart」または「Remove disks or other media. Press any key to restart」というメッセージが表示される。

→ 180ページをご覧ください。

「CMOS battery failed」というメッセージが表示される。

→ 本機内のバッテリが消耗しているため、バッテリを交換する必要があります。
バッテリの交換については、VAIOカスタマーリンク修理窓口へお問い合わせください。

「CMOS checksum Error-Defaults loaded」というメッセージが表示される。

→ BIOSの設定内容が壊れている。以下の手順に従って操作し、BIOSをお買い上げ時の設定に戻してください。

1 **本機前面の⏻(電源)ボタンを押し、画面にSonyのロゴが表示されたら、キーボードのF2キーを押す。**
BIOSセットアップメニューが起動し、「AwardBIOS Setup Utility」画面が表示されます。

2 **F5(Setup Defaults)キーを押す。**
「Load default configuration now?」というメッセージが表示されます。

3 **Home／Endキーを押して[Yes]を選び、Enter(エンター)キーを押す。**
すべての設定項目がお買い上げ時の設定に戻ります。

4 **F10(Save and Exit)キーを押す。**
「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。

5 **Home／End キーを押して[Yes]を選び、Enter（エンター）キーを押す。**

変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windows XPが起動します。

→ BIOSをお買い上げ時の設定に戻しても再度メッセージが表示されるときは、本機内のバッテリが消耗しているため、バッテリを交換する必要があります。
バッテリの交換については、VAIOカスタマーリンク修理窓口へお問い合わせください。

「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示される。

→ 本機の設定を変更したあとに表示されることがあります。次の操作を行ってください。付属のリカバリディスクをディスクドライブに挿入しないでください。

1 **メッセージが表示されたら[OK]をクリックする。**

「ファイルのコピー」画面が表示されます。

2 **「ファイルのコピー元」に「C:¥WINDOWS¥I386」と入力して[OK]をクリックする。**

必要なファイルがコピーされます。

電源を入れると、「Operating system not found」というメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

→ 180ページをご覧ください。

「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続アイコンをダブルクリックして、やり直してみてください」または「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直してみてください」というメッセージが表示された。

→ 207ページをご覧ください。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、PDF形式のファイルを開こうとすると、「Could not find Acrobat External Window Handler.」、「An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことができない。

→ 本機を再起動後、以下の手順を行ってください。

1 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Acrobat Reader 5.0]をクリックする。**

2 **言語を選択する画面が表示されたら、「日本語」を選択し、 OK をクリックする。**
言語を選択する画面が表示されない場合は、そのまま手順3を行ってください。

3 **「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されたら、契約書の内容を読み、 同意する(A) をクリックする。**
「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されずに「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアが起動した場合は、そのまま手順4を行ってください。

4 **「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアが起動したら、画面右上の × をクリックする。**

5 **「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、先ほど開けなかったPDF形式のファイルを開き、表示されることを確認する。**

その他

ファンの音が急に大きくなった。

→ 本機内部のファンは自動制御されています。大きなCPUのパワーを使うソフトウェアをお使いになったり、周囲の温度が高い場所で本機をお使いの場合は、ファンの回転が速くなり、音が大きく聞こえるようになります。

本機は風通しの良いところに設置されることをおすすめします。

接続／拡張するときは

この章では、本機と周辺機器の接続と本機の拡張について説明します。

i.LINK対応機器をつなぐ

i.LINK対応機器の接続のしかた

デジタルビデオカメラレコーダーなどのi.LINK対応機器を本機につないで、動画や静止画を取り込んだり、本機から動画を送出してテープに録画できます。

ご注意

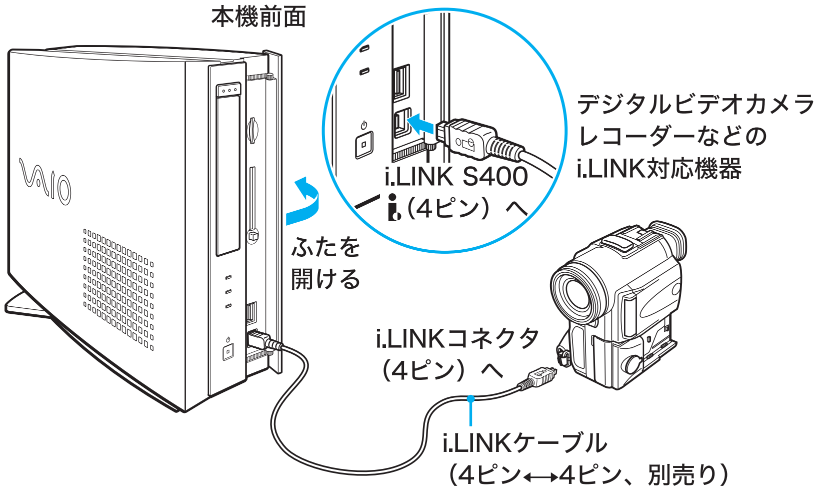
- i.LINK コネクタを持つソニーパーソナルコンピューターまたはソニーノートブックコンピューターとデータのやりとりをする場合は、222 ページの「i.LINK 接続でデータをやりとりする」をご覧ください。
- i.LINK を使った接続や操作には、機器によって異なるものがあります。接続に必要なケーブルや、操作できる機器について詳しくは、「必要な i.LINK ケーブル」（220 ページ）および「本機で操作できる i.LINK 対応機器」（221 ページ）をご覧ください。
- デジタルビデオカメラレコーダーを接続するときは 1 度電源を切ってから接続し、電源を入れ直してください。本機の電源は切る必要はありません。
- 1 度に接続できるデジタルビデオカメラレコーダーは 1 台のみです。同時に 2 台以上のデジタルビデオカメラレコーダーを接続することはできません。
- 本機の i.LINK コネクタは最大 400Mbps のデータ転送に対応していますが、実際の転送速度は接続した i.LINK 対応機器の転送速度により変わります。
- 接続のしかたや画像の取り込みかたは、接続する i.LINK 対応機器や使用するソフトウェアによって異なります。詳しくは、i.LINK 対応機器の取扱説明書や、本機に付属の「DVgate」などの各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ちょっと一言

- 本機は電源が切れている場合でもi.LINKのデータを中継（リピート）します。
- i.LINK対応機器をつないだときに自動的にお好みのソフトウェアが起動するように設定することができます。詳しくは「VAIO Action Setup」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

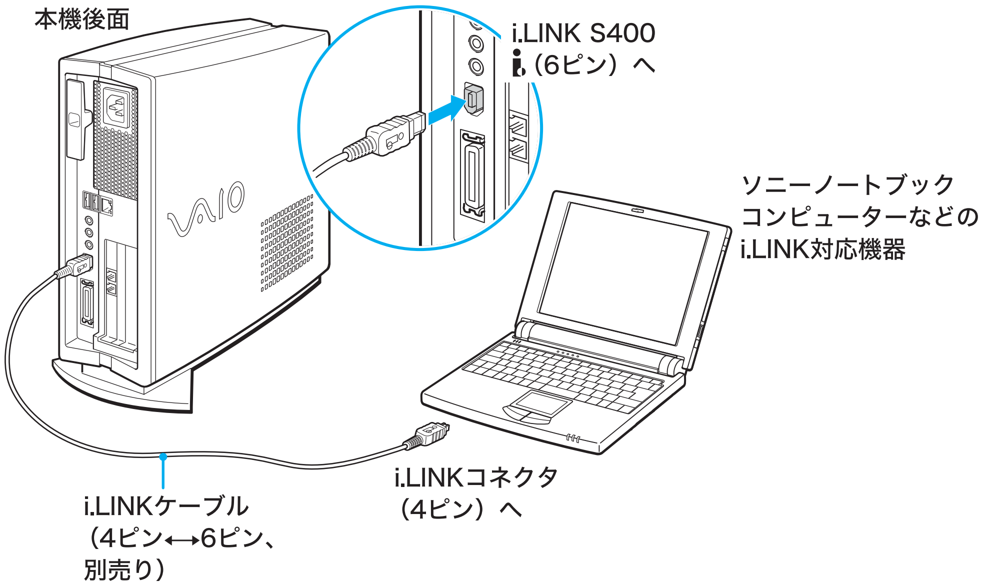
前面パネルのコネクタ(4ピン)を使うとき

i.LINKケーブル(4ピン⇔4ピン、別売り、220ページ)を使って、本機とi.LINK対応機器をつなぎます。i.LINK対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



後面パネルのコネクタ(6ピン)を使うとき

i.LINKケーブル(4ピン⇔6ピン、別売り、220ページ)を使って、本機とi.LINK対応機器をつなぎます。i.LINK対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



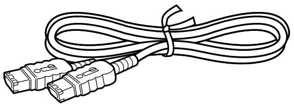
必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください

i.LINK対応機器の接続には、本機で操作できるi.LINK対応機器に付属のi.LINKケーブルまたは、下記のソニー製i.LINKケーブル（別売り）をお使いください。

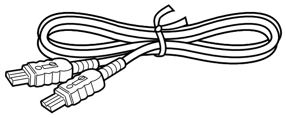
6ピン←→6ピン

- VMC-IL6615A（1.5m）
- VMC-IL6635A（3.5m）



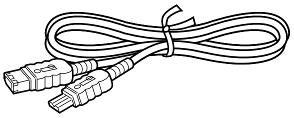
4ピン←→4ピン

- VMC-IL4408A（80cm）
- VMC-IL4415A（1.5m）
- VMC-IL4435A（3.5m）



4ピン←→6ピン

- VMC-IL4615A（1.5m）
- VMC-IL4635A（3.5m）



ご注意

DVケーブルはご使用になれません。

本機で操作できるi.LINK対応機器

本機では、下記のi.LINK対応機器と組み合わせて操作できます。(2002年1月10日現在)

- i.LINK コネクタを持つソニーパーソナルコンピューター
- i.LINK コネクタを持つソニーノートブックコンピューター*

  * 別売りのパワーアップステーションやポートリプリケーターを取り付ける必要があるモデルがあります。
  取り付けかたについて詳しくは、お使いのノートブックコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

- ソニーが 2001 年 12 月末日までに日本国内で発売した、DV 端子付きの家庭用 DV 機器(Digital8 デジタルビデオカメラレコーダーを含む。ツーリストモデルは除く)
  DV 機器を接続するために必要なソニー製ソフトウェアは、「DVgate」、「MovieShaker」、「Smart Capture」となります。
  ただし、ソフトウェアによっては一部の DV 機器が動作対象外になる場合があります。
  詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書、電子マニュアル、ヘルプ、Readme ファイルなどをご覧ください。
- ソニーが 2001 年 12 月末日までに日本国内で発売した、MPEG 端子付きの家庭用 MICROMV 機器(ツーリストモデルは除く)。(PCV-LX95G シリーズ , LX55G シリーズのみ)
  MICROMV 機器を接続するために必要なソニー製ソフトウェアは、「MovieShaker」ソフトウェアとなります。
- その他、ソニー製の VAIO ブランドの i.LINK 対応機器の最新情報は、VAIO カスタマーリンクホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

ご注意

- i.LINKコネクタを持つソニーパーソナルコンピューターまたはソニーノートブックコンピューターとデータのやりとりをする場合は、「i.LINK接続でデータをやりとりする」(222ページ)をご覧ください。
- 本機はDTLAコピー・プロテクション技術に対応していないため、デジタルCSチューナーやD-VHSビデオデッキなどのDTLAコピー・プロテクション技術に対応した機器に接続しても操作することができません。
- i.LINKは、すべての機器間での接続動作が保証されているものではありません。
  i.LINK搭載各機器の動作条件と接続の可否情報をご確認ください。動作の可否は、各機器のソフトウェア(OSを含む)、ハードウェアによって規定されます。
- i.LINKで接続を行うコンピュータ周辺機器(ハードディスクドライブやCD-RWドライブなど)は、OSによっては対応していない場合がありますので、あらかじめ動作環境をご確認ください。

i.LINK接続でデータをやりとりする

本機と「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアに対応したVAIO、またはWindows XPまたはWindows Meを搭載したVAIOを別売りのi.LINKケーブルで接続すると、お互いのファイルをコピーしたり、削除、編集などを行うことができます。
また、接続先のVAIOにつないだプリンタを使って印刷することもできます。接続について詳しくは、「i.LINK対応機器の接続のしかた」(218ページ)をご覧ください。

Windows XPまたはWindows Meを搭載したVAIOと本機をつなぐ場合

i.LINKケーブルで接続するだけでデータのやりとりができます。

「Smart Connect」ソフトウェアを搭載したVAIOと本機をつなぐ場合

接続先の「Smart Connect」ソフトウェアのバージョンをご確認ください。

- **「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェア以降の場合**
  「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアの通信モードを「STD モード」にする必要があります。設定方法は、「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアのヘルプの「通信モードを切り替える」をご覧ください。
- **「Smart Connect Ver.2.2」ソフトウェア以前の場合**
  「Smart Connect Ver.3.0」無償アップグレードサービスにより、「Smart Connect」ソフトウェアをアップグレードすることでデータのやりとりができます。詳しくは、VAIO ホームページ(http://www.vaio.sony.co.jp/Download/Smart/index.html)をご覧ください。

ご注意

- アップグレード対象外の機種もあります。
- 本機とアップグレード対象外の機種とではデータのやりとりはできません。

ご注意

- i.LINKケーブルを接続してから実際にデータをやりとりできるようになるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- i.LINKで接続したVAIOでは、次のような条件のときにデータのやりとりができなくなることがあります。
  – i.LINKケーブルを接続したまま、どちらかのコンピュータを再起動したとき
  – データをやりとりできる状態で本機にPCカードを挿入したとき
- i.LINK接続でデータのやりとりをするには、Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有(Windows XP)、またはネットワーク共有サービス(Windows 98、Me)のインストールおよび設定が必要です。詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

データのやりとりができなくならないように、再起動するときは、i.LINKケーブルを抜く、または、PCカードを挿入してから再起動を行ってください。

データのやりとりができなくなったときは、以下の手順に従って操作してください。
データのやりとりができるようになります。

1　本機およびi.LINK対応機器からi.LINKケーブルを取りはずす。

2　本機およびi.LINK対応機器の電源を切る。
本機の電源を切るときは、デスクトップ画面左下の[スタート]をクリックし、[終了オプション]をクリックして表示される「コンピュータの電源を切る」画面で「電源を切る」を選んで電源を切ってください。
本機を再起動しても、i.LINK対応機器は本機に正しく認識されません。

3　本機およびi.LINK対応機器の電源を入れる。

4　i.LINKケーブルを使って本機とi.LINK対応機器を接続する。

ご注意

i.LINKケーブルを再度接続したあとは、接続先のVAIOを認識するのに数分かかることがあります。

接続先のコンピュータを探すには

接続先のコンピュータが、ネットワークコンピュータにすぐには表示されないことがあります。

そのときは、デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、表示されるメニューから[マイコンピュータ]をクリックしたあと、[マイネットワーク]を右クリックして[コンピュータの検索]を選択し、接続先のコンピュータ名を入力して検索してください。

接続先から自分のコンピュータを利用できるようにするには

本機のフォルダや接続しているプリンタを接続先のコンピュータから利用できるようにするには、ネットワーク共有サービスのインストールおよび設定が必要です。

デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、表示されるメニューから[マイコンピュータ]をクリックしたあと、[マイネットワーク]をクリックします。「マイネットワーク」画面左上の「ネットワークのタスク」から[ホーム/小規模オフィスのネットワークをセットアップする]で設定することもできます。詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

「ヘルプとサポートセンター」を見るには、デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[ヘルプとサポート]をクリックします。

AV機器をつなぐ（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）

目的別接続例

PCV-LX95Gシリーズ, LX55GシリーズにはいろいろなAV機器をつなぐことができます。
ここでは用途別に接続例を紹介します。

こんなことがしたい	本機とAV機器をつなぎます。
• ビデオデッキの動画を本機につないだディスプレイで見たい。 • ビデオデッキの動画を本機ハードディスクに録画したい。	本機とビデオデッキをつなぎます。 接続のしかたについては下記の「ビデオ機器をつなぐ」をご覧ください。
• ビデオカメラレコーダーで撮影した動画を本機につないだディスレイで見たい。 • ビデオカメラレコーダーで撮影した動画を本機のハードディスクに録画したい。	本機とビデオカメラレコーダーをつなぎます。 接続のしかたについては下記の「ビデオ機器をつなぐ」をご覧ください。
ディスプレイで見ている動画をテレビでも見たい。本機とテレビをつなぎます。	接続のしかたについては「テレビにつなぐ」（226ページ）をご覧ください。

ビデオ機器をつなぐ

ビデオデッキやビデオカメラレコーダーを本機につないで、ディスプレイでビデオデッキの動画を見たり、本機のハードディスクドライブに動画を録画することができます。また、本機で再生した動画をビデオデッキで録画することもできます。

Sビデオ接続ケーブル（4ピン⇔4ピン、別売り）とオーディオ接続ケーブル（付属）を使って、本機とビデオデッキまたはビデオカメラレコーダーをつなぎます。

ビデオデッキまたはビデオカメラレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- 本機とビデオデッキまたはビデオカメラレコーダーの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから接続してください。
- 接続後は、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。

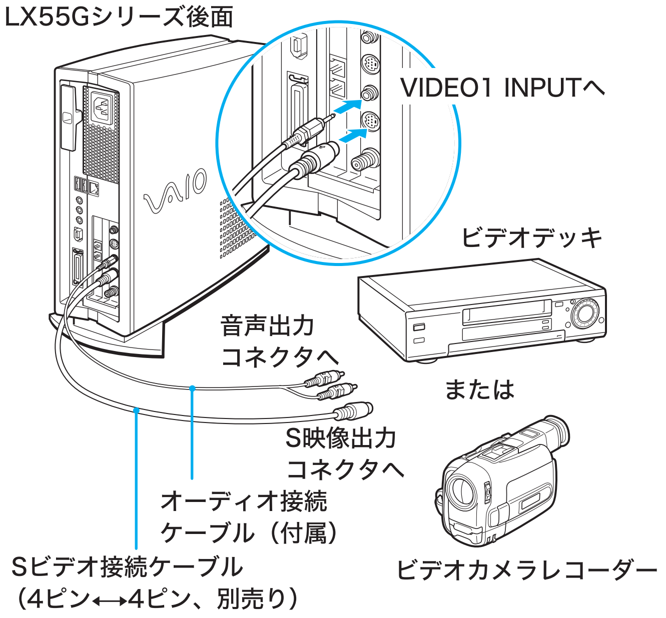
本機とビデオデッキやテレビで同時に1つのアンテナコネクタを使うときは

アンテナブースターや分配器を使って分配する必要があります。詳しくは、「接続する／準備する」（47ページ）の手順6をご覧ください。

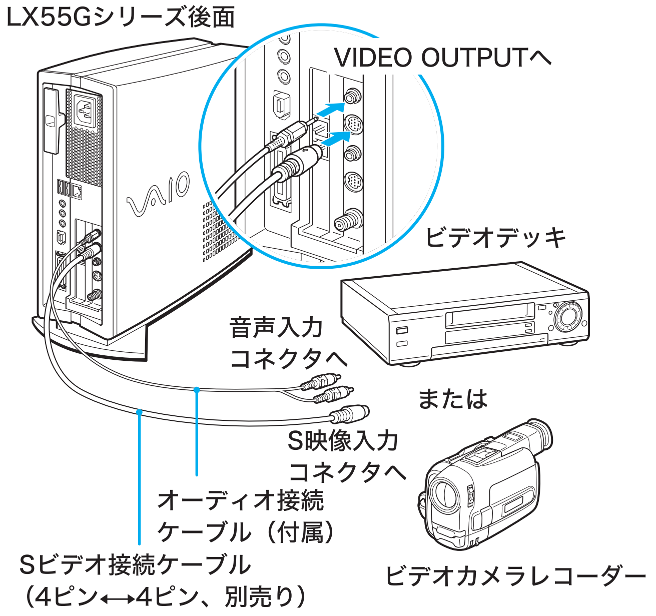
ビデオデッキの映像を見たり録画するには

付属の「Giga Pocket」ソフトウェアを使います。ビデオ機器の動画を「Giga Pocket」ソフトウェアで扱う方法については、「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。

- **ビデオデッキやビデオカメラレコーダーの動画を見たり取り込むとき**



- **本機で録画した動画をビデオデッキやビデオカメラレコーダーに録画するとき**

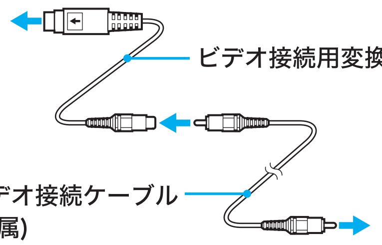


ご注意

- 本機のVIDEO 1 INPUTコネクタとVIDEO OUTPUTコネクタの両方を同一のビデオデッキまたはビデオカメラレコーダーの映像出力コネクタおよび映像入力コネクタにそれぞれつないだとき、ビデオデッキまたはビデオカメラレコーダー側で映像入力を切り換えたり、本機側で「Giga Pocket」ソフトウェアを使って映像入力を切り換えると、雑音が出たり、映像が乱れることがあります。
- 本機のS映像入力コネクタを使うときは、映像入力コネクタに接続ケーブルをつなぐ必要はありません。S映像入力コネクタに接続ケーブルをつなぐと、S映像入力が優先されます。

S映像入力／出力コネクタのないビデオデッキやビデオカメラレコーダーをつなぐときは

Sビデオ接続ケーブルのかわりにビデオ接続用変換コネクタ（付属）とビデオ接続ケーブル（付属）をつないで使うことができます。



ちょっと一言

別売りのソニー製のSビデオ接続ケーブルにはYC-15Vなどがあります。

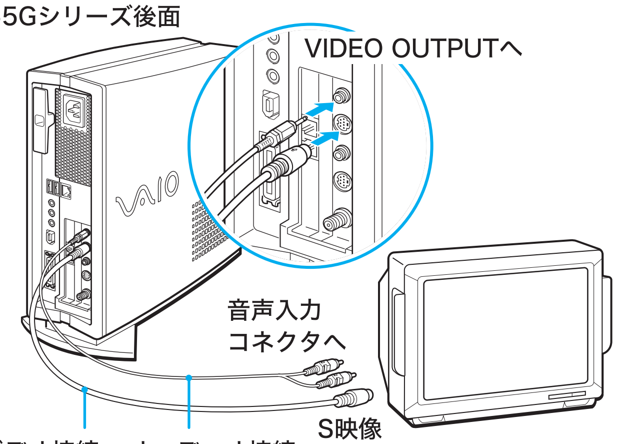
テレビにつなぐ

「Giga Pocket」ソフトウェアで再生する動画や「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアで再生するDVDビデオをテレビでも見ることができます。

Sビデオ接続ケーブル（4ピン⇔4ピン、別売り）とオーディオ接続ケーブル（付属）を使って、本機とテレビをつなぎます。接続してから、テレビの入力切り換えを「ビデオ」に合わせます。

ご注意

- すべての機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから接続してください。
- 接続後は、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 本機では、ディスプレイとテレビの両方を接続していてもDVDビデオの映像は両方同時に表示できません。



ビデオデッキをつなぐときは

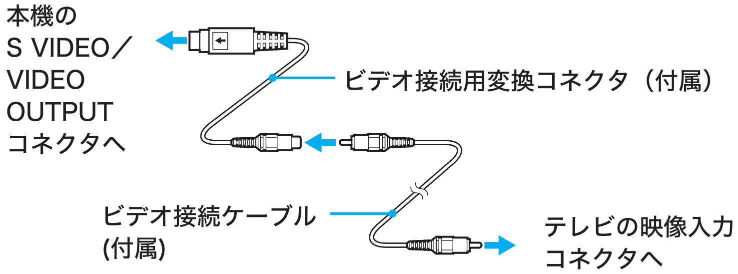
本機のVIDEO OUTPUTコネクタとビデオデッキの映像／音声入力コネクタをつなぎ、ビデオデッキの映像／音声出力コネクタとテレビの映像／音声入力コネクタをつなぎます。

本機とビデオデッキやテレビで同時に1つのアンテナコネクタを使う場合は

アンテナブースターを使って分配する必要があります。詳しくは、「接続する／準備する」（47ページ）の手順6をご覧ください。

S 映像入力コネクタのないテレビをつなぐときは

Sビデオ接続ケーブルのかわりにビデオ接続用変換コネクタ（付属）とビデオ接続ケーブル（付属）をつないで使うことができます。



ちょっと一言

別売りのソニー製のSビデオ接続ケーブルにはYC-15Vなどがあります。

プリンタをつなぐ

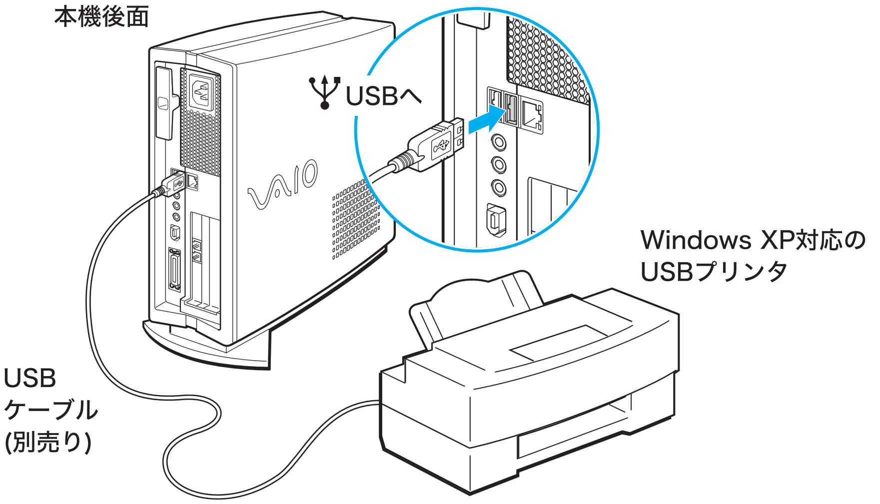
Windows XPに対応しているUSBプリンタを本機につないで、作成した書類などを印刷できます。USBプリンタに付属または別売りのUSBケーブルを使って本機または液晶ディスプレイにつなぎます。

ご注意

- Windows XPに対応していないUSBプリンタを本機につないでも、正常に動作しません。
- 本機はパラレルポートのみでしか接続できないプリンタとはつなぐことはできません。

パラレルポートとは

プリンタやモデムなどの周辺機器とコンピュータを接続するインターフェース規格のことです。複数のデータ線を通して、データを同時にいくつか送り、同時に処理できる方法のことです。



液晶ディスプレイのUSBコネクタについてのご注意

液晶ディスプレイのUSBコネクタは本機のUSBコネクタをディスプレイケーブルで延長している構造となっております。液晶ディスプレイのUSBコネクタにUSBプリンタをつなぐときは以下の点にご注意ください。

- USB ケーブルはできるだけ短いものをお使いください。2m を超える USB ケーブルを使うと、本機や USB プリンタが正しく動作しないことがあります。
- USB プリンタの電源コードで、電源を供給することをおすすめします。USB プリンタによっては本機のディスプレイから電源を供給して使うと、本機や USB プリンタが正しく動作しないことがあります。本機から電源を供給して使いたいときは、PC 本体の USB コネクタに USB プリンタをつないでください。

ちょっと一言

USBプリンタは、本機または液晶ディスプレイのどのUSBコネクタにも接続できます。

プリンタを使用するには

プリンタを使用するには、プリンタに付属のドライバを本機にインストールする必要があります。
詳しくはプリンタの取扱説明書および「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

「ヘルプとサポートセンター」を見るにはデスクトップ画面左下の

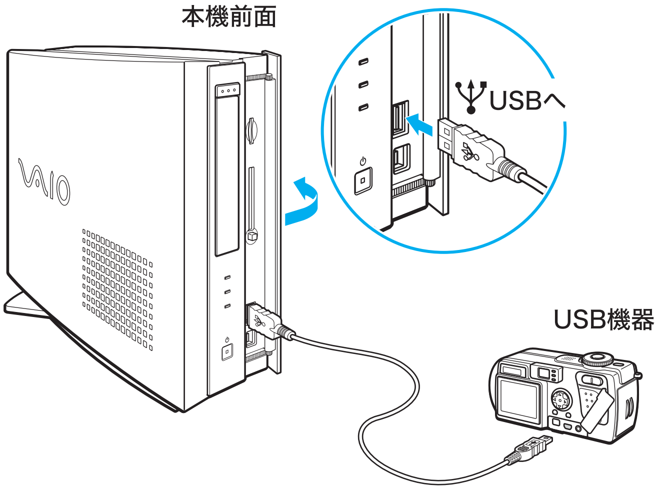
をクリックし、表示されるメニューから[ヘルプとサポート]をクリックします。

ドライバとは

どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアです。プリンタのドライバを本機にインストールすることにより、本機からプリンタの動作をコントロールできるようになります。

USB機器をつなぐ

本機のUSBコネクタを使って、Windows XPに対応しているUSB機器をつなぐことができます。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。



ちょっと一言

USB機器は、本機前面や後面または液晶ディスプレイのどのUSBコネクタにも接続できます。

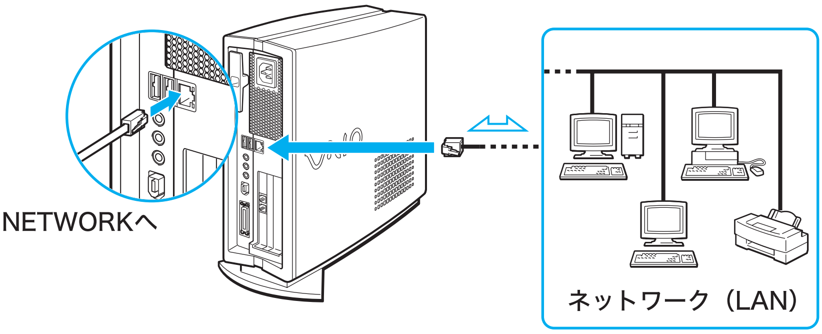
液晶ディスプレイのUSBコネクタについてのご注意

液晶ディスプレイのUSBコネクタは本機のUSBコネクタをディスプレイケーブルで延長している構造となっております。液晶ディスプレイのUSBコネクタにUSB機器をつなぐときは以下の点にご注意ください。

- USB ケーブルはできるだけ短いものをお使いください。2m を超える USB ケーブルを使うと、本機や USB 機器が正しく動作しないことがあります。
- USB 機器の電源コードで、電源を供給することをおすすめします。
  USB 機器によっては本機のディスプレイから電源を供給して使うと、本機や USB 機器が正しく動作しないことがあります。本機から電源を供給して使いたいときは、PC 本体の USB コネクタに USB 機器をつないでください。

ネットワーク（LAN）につなぐ

本機後面のNETWORK（ネットワーク）コネクタとネットワーク（LAN）を直接接続して、ネットワーク内の他の機器とデータをやりとりできます。
10BASE-Tと100BASE-TXタイプのネットワークに接続できます。



ちょっと一言

PCV-LX95Gシリーズ，LX55Gシリーズをネットワークに接続すると、ネットワークに接続されている他のコンピュータから、「Giga Pocket」ソフトウェアのサーバー機能を利用して、録画を予約したり、録画済みの動画を再生したりできます。「Giga Pocket」ソフトウェアのサーバー機能について詳しくは、別冊の「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。

ご注意

NETWORK**（ネットワーク）コネクタには指定以外のネットワークや電話回線を接続しないでください。**お買い上げ時にはNETWORK（ネットワーク）コネクタ上に誤って接続しないようにシールが貼られています。NETWORK（ネットワーク）コネクタを使うときは、シールをはがしてから接続してください。

PCカードを使う

本機にPCカードを装着すると、他のコンピュータとデータをやりとりしたり、さまざまな機能を拡張したりできます。

PCカードとは

PC Card規格に準拠した、着脱可能な機能拡張デバイスです。形はクレジットカードに似ていますが、やや大きくて厚みがあります。
主なPCカードには以下のような種類があります。

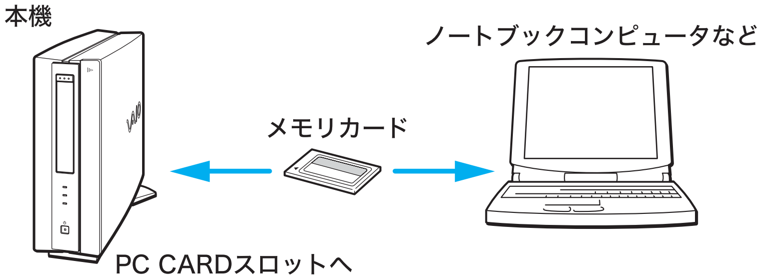
メモリカード

データをフラッシュメモリに保存します。PCカードに対応したデジタルスチルカメラで撮影した画像であれば、PCカードを本機に取り付けてそのまま取り込めます。

また、本機やPCカードに対応した機器で作成したデータをメモリカードに保存して、データをやりとりできます。

フラッシュメモリとは

電気的にデータを読み書きする、記憶メディアのひとつです。普通、書き込み可能なメモリは、電源を切ると内容が消えてしまいますが、フラッシュメモリは電源を切っても内容が消えないという特徴をもっています。



SCSIカード

MOドライブやスキャナなどのSCSIデバイスを接続できます。

MO とは

「エム・オー」と読みます。レーザー光線と磁気を利用してデータを読み書きする外部記憶メディアのことです。フロッピーディスクよりも容量が多く、種類により、最大640Mバイトまでデータを記録することができます。

SCSI とは

「スカジー」と読みます。コンピュータと、MOドライブやプリンタなどの周辺機器を接続するための規格のことです。周辺機器などをSCSIで接続すると、本機を含めて最大7台まで数珠つなぎに接続することができます。

ネットワークカード

イーサネットなどのネットワークに接続できます。

イーサネットとは

コンピュータ間のデータ通信方式のことで、職場などで複数のコンピュータをネットワーク（LAN）でつないで、データをやりとりするときに使われます。

TA（ターミナルアダプタ）カード

ISDN回線に接続できます。

ISDNとは

NTTのデジタル通信網を使った電話回線で、通信速度が速く、1回線で従来の2回線が使えます。

本機には、PC Cardタイプ I とタイプ II に準拠したPCカードを挿入できるPCカードスロットがあります。
また、本機のPC CARD（PCカード）スロットは16ビットCardおよびCard Busにも対応しています。
（ZV（Zoomed Video）Portには対応していません。）

ご注意

PCカードによっては本機で使用できないものや、機能が制限されるものがあります。

- PCカードによっては、PC CARDスロットに挿入したまま本機の電源を入れると、正しく動作しないことがあります。この場合は、PCカードの使用を中止し、いったん取り出してから、もう1度入れ直してください。PCカードの取り出しかたについて詳しくは、「PCカードを取り出すには」（235ページ）をご覧ください。
- PCカードによっては、ドライバを最新のものにすることによって不具合が改善される場合があります。PCカードの製造メーカーから最新のドライバを入手してお使いください。
- お使いのPCカードによっては、本機にプリインストールされているOSで動作を保証していなかったり、正しく動作しないことがあります。また、起動しているソフトウェアがPCカードを使用中のときは、本機のPC CARDスロットからPCカードを取り出すことはできません。この場合は、該当するソフトウェアを終了してからPCカードを取り出すか、本機の電源を切ってからPCカードを取り出してください。PCカードの接続情報について詳しくは、VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

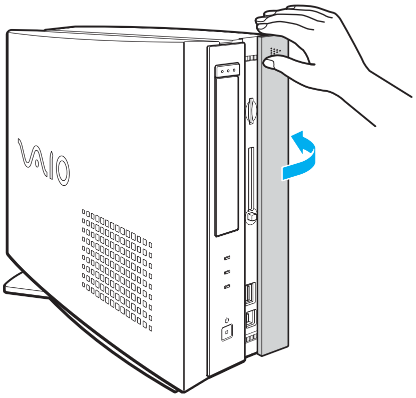
ドライバとは

どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータに知らせ、周辺機器を、正しく動かすために必要なソフトです。

PCカードを取り付ける

PCカードを取り付けるときに本機の電源を切る必要はありません。

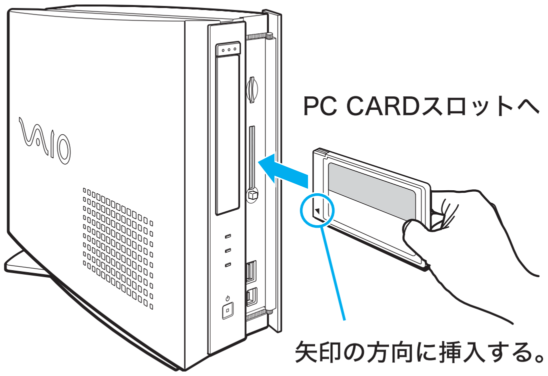
1 **本機の前面パネルのふたを開ける。**



2 カードをPC CARD（PCカード）スロットに挿入する。

スロットの奥にあるコネクタに、カードがしっかりと固定されるまで押し込みます。

カードがうまく入らない場合は、無理にカードを押し込まずに、カードの挿入方向を確認してからもう1度挿入し直してください。



取り付けたあとの使いかたについては、PCカードの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- お使いのPCカードのメーカーが提供する最新のドライバをお使いください。
- 「デバイスマネージャ」画面のPCカードに「！」がついている場合は、ドライバを削除し、再度インストールする必要があります。「デバイスマネージャ」画面を表示させるには、以下の手順に従って操作してください。

  1 **デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］をクリックする。**
  「コントロールパネル」画面が表示されます。

  2 **［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックし、［システム］をクリックする。**
  「システムのプロパティ」画面が表示されます。

  3 **［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイス マネージャ(D)］をクリックする。**
  「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

- カードをスロットに挿入するとき、イジェクトボタンがひっこんでいる状態で挿入してください。イジェクトボタンが出た状態では、前面パネルのふたが閉まりません。

PCカードを取り出すには

ご注意

カードを取り出すときは、必ず以下の手順に従ってください。誤った取り出しかたをすると、システムが正常に動作しない可能性があります。本機の電源が切れているときは、手順1～4は不要です。本機がスタンバイモードまたは休止状態のときは、本機を通常の動作モードに戻してから手順1～5を行ってください。本機を通常の動作モードに戻すにはキーボードの☾（電源／スタンバイ）キーを押します。

1

デスクトップ画面右下のタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックする。

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

2

リストから取り出したいPCカードをクリックし、［停止(S)］をクリックする。

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

3

取りはずすPCカードを確認し、［OK］をクリックする。

デスクトップ画面右下に「…は安全に取り外すことができます。」と表示されます。

4

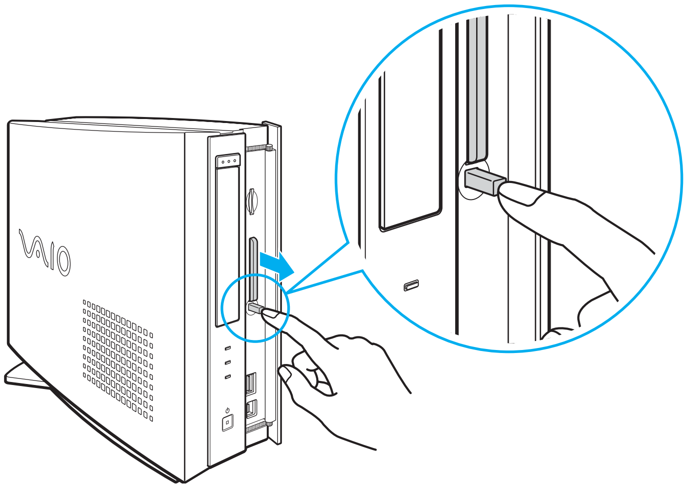
「ハードウェアの安全な取り外し」画面の［閉じる(C)］をクリックする。

5 PC CARD（PC**カード）スロットのイジェクトボタンを押す。**

1度イジェクトボタンを押してボタンを手前に引き出し、出たボタンをもう1度押すとPCカードを取り出すことができます。

ご注意

イジェクトボタンはしっかり押してください。



カードがコネクタからはずれます。カードの端を持って、スロットから引き抜いてください。

拡張ボードを増設する

本機では「拡張ボード」と呼ばれる別売り品を装着することで、さまざまな機能を拡張し、よりご自分に合った作業環境を構築することができます。

拡張ボードの種類

本機では「PCI」という規格に対応した拡張ボードを取り付けることができます。拡張ボードをお買い求めの際は、Windows XPとPCI規格に対応していることをご確認ください。

本機には空きスロット（拡張ボードを増設できる場所）が1つあり、PCI拡張ボードを1枚取り付けることができます。（PCV-LX95Gシリーズ，LX55Gシリーズには空きスロットはありません。）

拡張ボードの大きさについて

本機に取り付けられる拡張ボードの大きさは、ショートサイズのものです。フルサイズの拡張ボードは取り付けられません。

増設できる拡張ボードについて

VAIOカスタマーリンクまたは販売店にお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）では、増設できる拡張ボードの情報を掲載しています。

リソースについて

拡張ボードは一般的にそれぞれ専用の割り込み番号（IRQ）、メモリ、I/Oポートなどの「リソース」（資源）を使用します。

PCI規格の拡張ボードではこれらのリソースが自動的に設定されます。

IRQとは

「アイアールキュー」と読みます。ハードウェアからの割り込み信号のことです。キーボードやマウスなどの周辺機器から入力があると、それを受け付けるかどうか判断します。受け付けるときは、その優先度に応じて割り込みした処理を行います。

メモリとは

コンピュータの中にあって、データやプログラムを保存しておくための場所、あるいは装置のことです。メモリには主記憶装置と、補助記憶装置があります。通常は主記憶装置のRAMを示します。

I/Oポートとは

「アイオーポート」と読みます。コンピュータにデータを入れたり（インプット）、出したり（アウトプット）するための接続部、または、コネクタ部の総称です。入力のための機器としてはキーボードやマウス、出力のための機器としてはディスプレイなどがあります。なお、フロッピーディスクドライブや、ハードディスクドライブは入出力のどちらも行える機器です。

リソースとは

もともとは、「資源」という意味です。コンピュータを使って何か作業を行う場合に、そのコンピュータが稼働するために必要なメモリ、入力装置、出力装置、制御装置などを指します。

リソースを確認するには

「システムのプロパティ」画面で現在使用中のリソースを確認することができます。以下の手順に従って確認します。

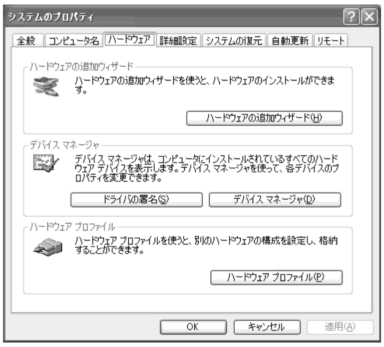
1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックする。

ショートカットメニューが表示されます。

2 [プロパティ]をクリックする。

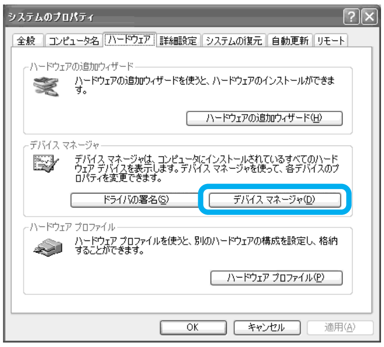
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 [ハードウェア]タブをクリックする。



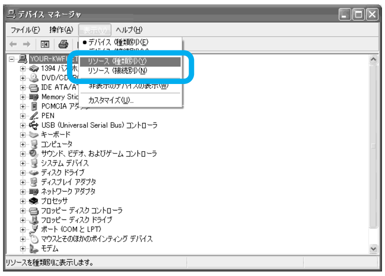
4　デバイス マネージャ(D) をクリックする。

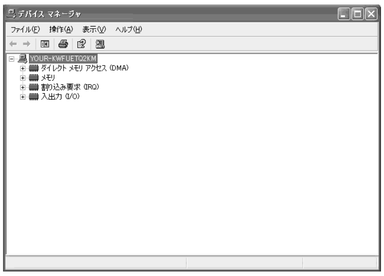
「デバイスマネージャ」画面が表示されます。



5　画面左上の[表示]をクリックして、表示されるメニューから[リソース（種類別）]または[リソース（接続別）]をクリックする。

現在使用中のリソースが種類別または接続別に表示されます。





プラグアンドプレイについて

「プラグアンドプレイ」とは、拡張ボードを装着するだけで特別な設定をしなくてもすぐに使用できる状態になる機能です。本機に取り付けられるPCI規格の拡張ボードはプラグアンドプレイに対応しています。PCI規格の拡張ボードはボードを取り付けた後、リソースの設定が自動的に行われるので、ご自分で面倒な設定をする必要がありません。

拡張ボード取り付けの流れ

以下の流れに沿って、拡張ボードを増設します。

1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く

本機前面の電源ランプが消灯していることを確認してください。電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切る」(76ページ)をご覧ください。

2 拡張ボードを取り付ける

拡張ボードの取り付けかたについて詳しくは、次ページの「拡張ボードを取り付ける」をご覧ください。

3 電源コードをコンセントに差し込み、本機の電源を入れる

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(63ページ)をご覧ください。

4 ドライバの設定、インストールを行う

拡張ボードが本機に認識されるとメッセージが表示されるので、拡張ボードの取扱説明書なども参照のうえ、指示に従って操作してください。

ドライバとは

どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアです。拡張ボードを増設したときには、ドライバのインストールが必要となる場合があります。

拡張ボードを取り付ける

以下の手順に従って拡張ボードを取り付けます。

取り付けるときのご注意

拡張ボードの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、充分時間が経過したあとに行ってください。電源コードを差したまま拡張ボードを取り付けたり取りはずしたりすると、拡張ボードや本機、周辺機器が破損することがあります。

- 拡張ボードの部品には直接手を触れないでください。人体の静電気によって部品が故障することがあります。拡張ボードを触る前には、金属製のものに触れて体内の静電気を放電してください。
- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに拡張ボードを放置しないでください。静電気の影響で拡張ボードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部に直接手を触れないようにご注意ください。
- 拡張ボード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないようにご注意ください。
- 拡張ボードを本機から取りはずすときは、必ず本機の拡張ボードの取り扱いかたに従ってください。無理に引き抜くと拡張ボードや本機の故障の原因になります。
- 拡張ボードを水でぬらさないでください。
- 拡張ボード増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙の恐れがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- **ご自分で拡張ボードの取り付けを行い、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となります。**

ちょっと一言

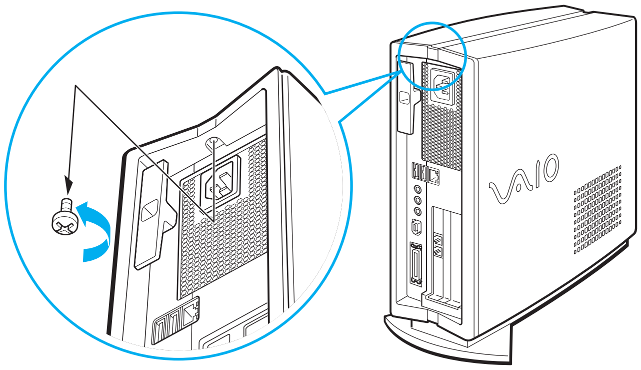
- イラストはPCV-LX85シリーズのものです。
- PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズには空きスロットはありません。

1 **本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずす。**

ご注意

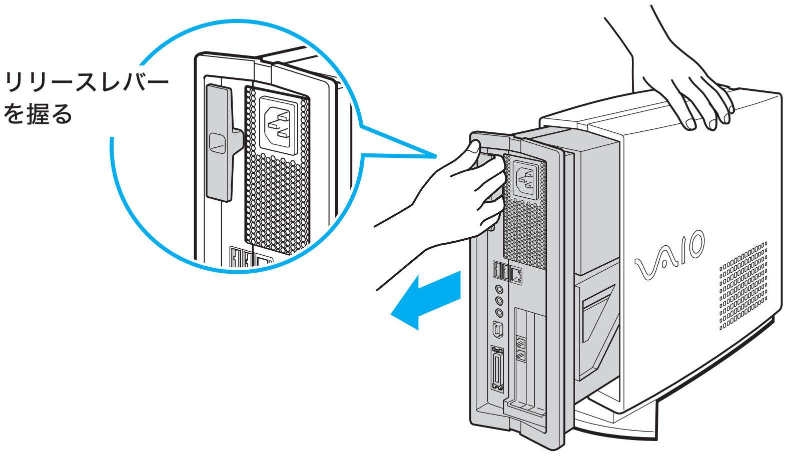
電源を切ったあとすぐは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

2　本機後面にあるネジをはずす。

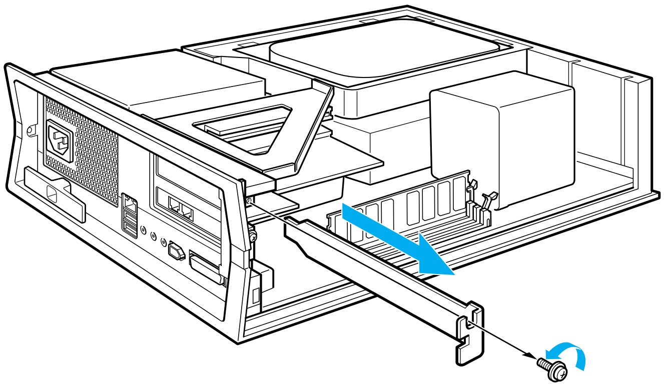


3　本機のカバーを取りはずす。

片手で本機をしっかり押さえながら、本機後面にあるリリースレバーを握って引っ張ってください。



4　拡張ボードを取り付けるスロットのカバーのネジをはずし、カバーを取りはずす。

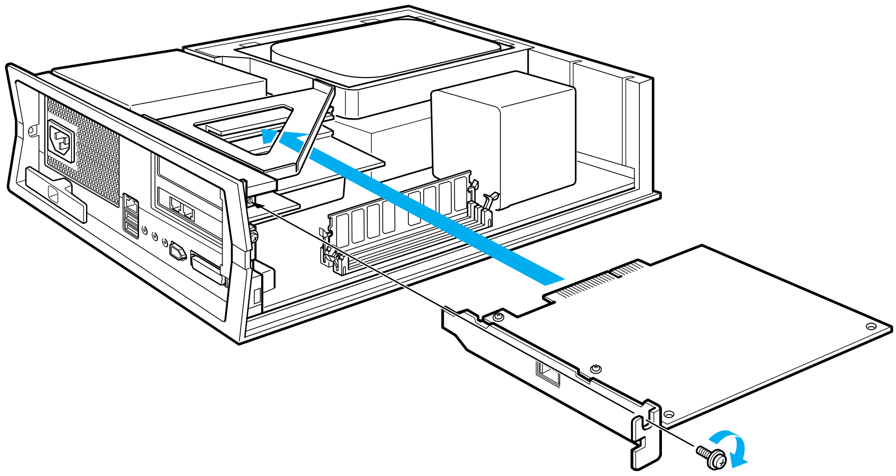


ご注意

内部の基板やケーブル類を傷つけないようにご注意ください。

5 拡張ボードを取り付ける。

拡張ボードを空きスロットに合わせて取り付け、ネジで固定します。詳しくは、拡張ボードの取扱説明書をご覧ください。



6 本機のカバーを取り付け、ネジを取り付ける。

7 手順1ではずした周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

Windowsが起動すると、「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアをインストールしています。」というメッセージが表示されるので、画面の指示とボードの取扱説明書に従って操作します。

拡張ボードを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずしてから行ってください。

メモリを増設する

メモリを増設する

本機内部の拡張メモリスロットにメモリを増設することができます。

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

ご注意

- メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。
- メモリをご購入された方、またはご購入予定の方で、ご自分で取り付けられない場合は、VAIOカスタマーリンクで有料取り付けサービスを承っております。
- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際は、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙の恐れがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- **メモリモジュールの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取り付けたり取りはずしたりすると、メモリモジュールや本機、周辺機器が壊れることがあります。**
- **電源を切ったあとすぐは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。**
- ご自分でメモリの増設を行い、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となります。

メモリモジュールを取り付ける

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが2つあり、標準で256Mバイトのメモリが1枚装着されています。

以下のソニー製のメモリーモジュールを取り付けることにより、メモリを増設できます。

容量	取り付けるメモリーモジュール	1枚増設すると
256Mバイト	PCVA-MM256S	512Mバイト（256+256Mバイト）

取り付けの際には、メモリモジュールの取扱説明書もあわせてご覧ください。

メモリモジュールを選ぶときのご注意

- メモリモジュールには、さまざまな種類のものが存在します。市販のメモリモジュールを取り付ける際には、その製品が本機での動作保証を明記していることをご確認ください。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

メモリモジュールを取り付けるときのご注意

メモリモジュールの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取り付けたり取りはずしたりすると、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。

- 静電気でメモリモジュールが破壊しないように、メモリモジュールを取り付けるときは、次のことをお守りください。
  - メモリを増設するときは、静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃がすため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

ちょっと一言

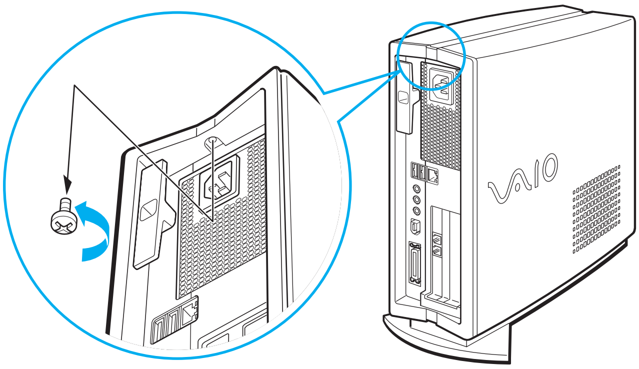
イラストはPCV-LX85シリーズのものです。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずす。

ご注意

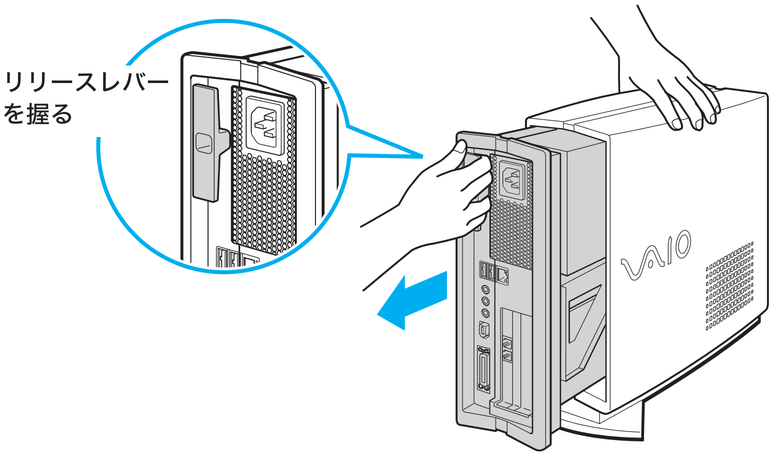
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

2 本機後面にあるネジをはずす。



3 本機のカバーを取りはずす。

片手で本機をしっかり押さえながら、本機後面にあるリリースレバーを握って引っ張ってください。



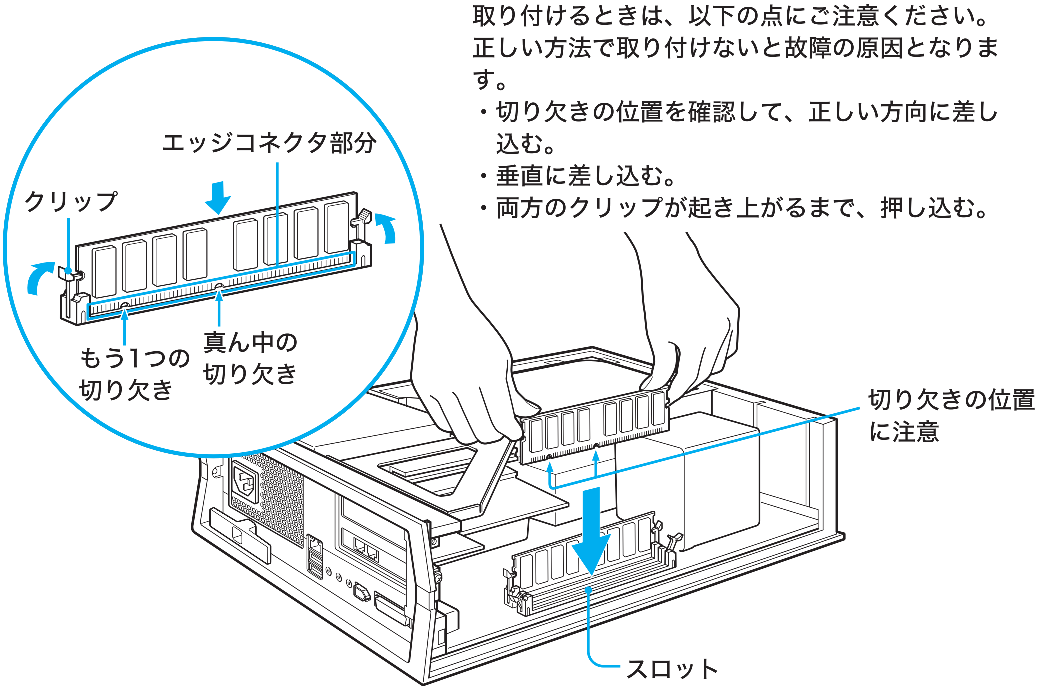
4 メモリモジュールを梱包から取り出す。

本機の金属部分に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出します。

5 メモリモジュールを取り付ける。

メモリモジュールにはエッジコネクタ部分の真ん中に切り欠きがあり、その切り欠きによって分けられたエッジの片方にだけもう1つ切り欠きがあります。

1. **メモリモジュールのエッジコネクタ部分のもう1つの切り欠きをイラストのとおりスロットに合わせる。**
2. **クリップが起き上がり、固定されるまでメモリモジュールを垂直にスロットへ押し込む。**



ご注意

メモリモジュールを取りはずしたり、取り付けるときは、必ず本機を横にして作業してください。

6 本機のカバーを取り付け、ネジを取り付ける。

7 手順1で取りはずした周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

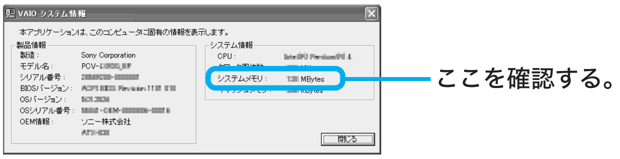
8 デスクトップ画面左下の をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[VAIOシステム情報]、[VAIOシステム情報]の順にクリックする。

「VAIOシステム情報」画面が表示されます。

9 「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

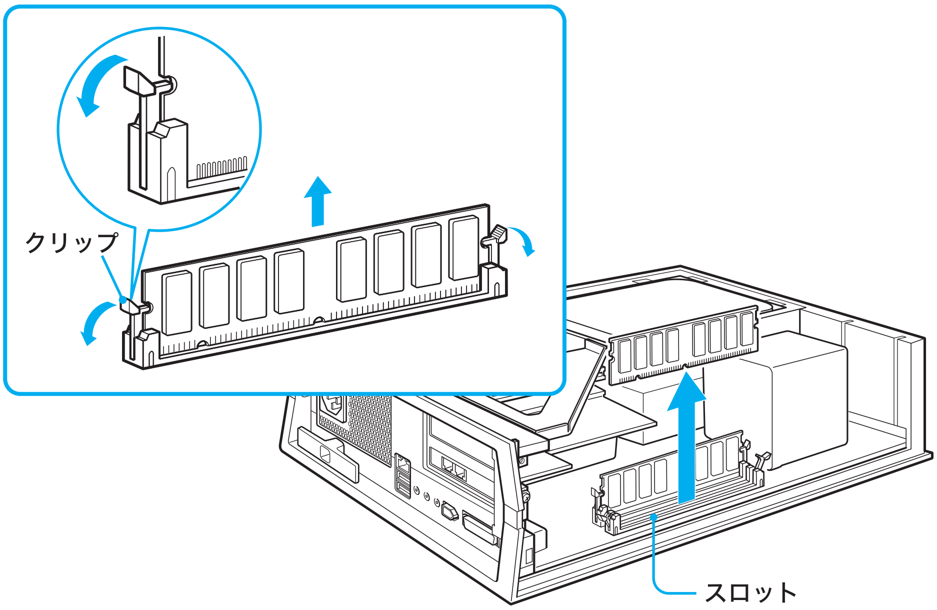
メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。

メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。



メモリモジュールを取りはずすには

本機の金属部分に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリスロットの両端のクリップを外側に押し、メモリモジュールをはずし、スロットからゆっくり抜き取ります。

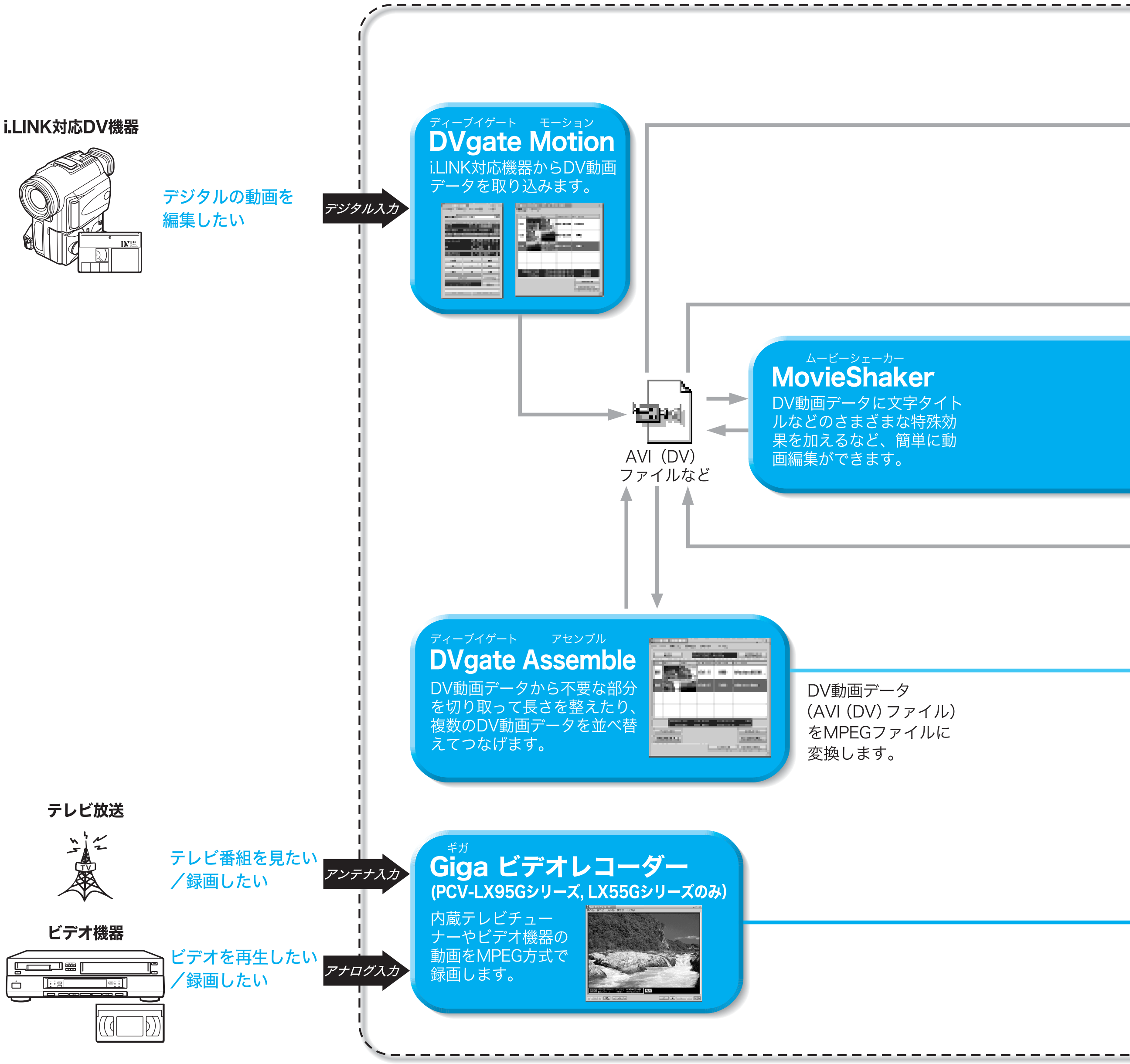


その他

本機をお使いになる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明します。

動画系ソフトウェアの操作の流れ

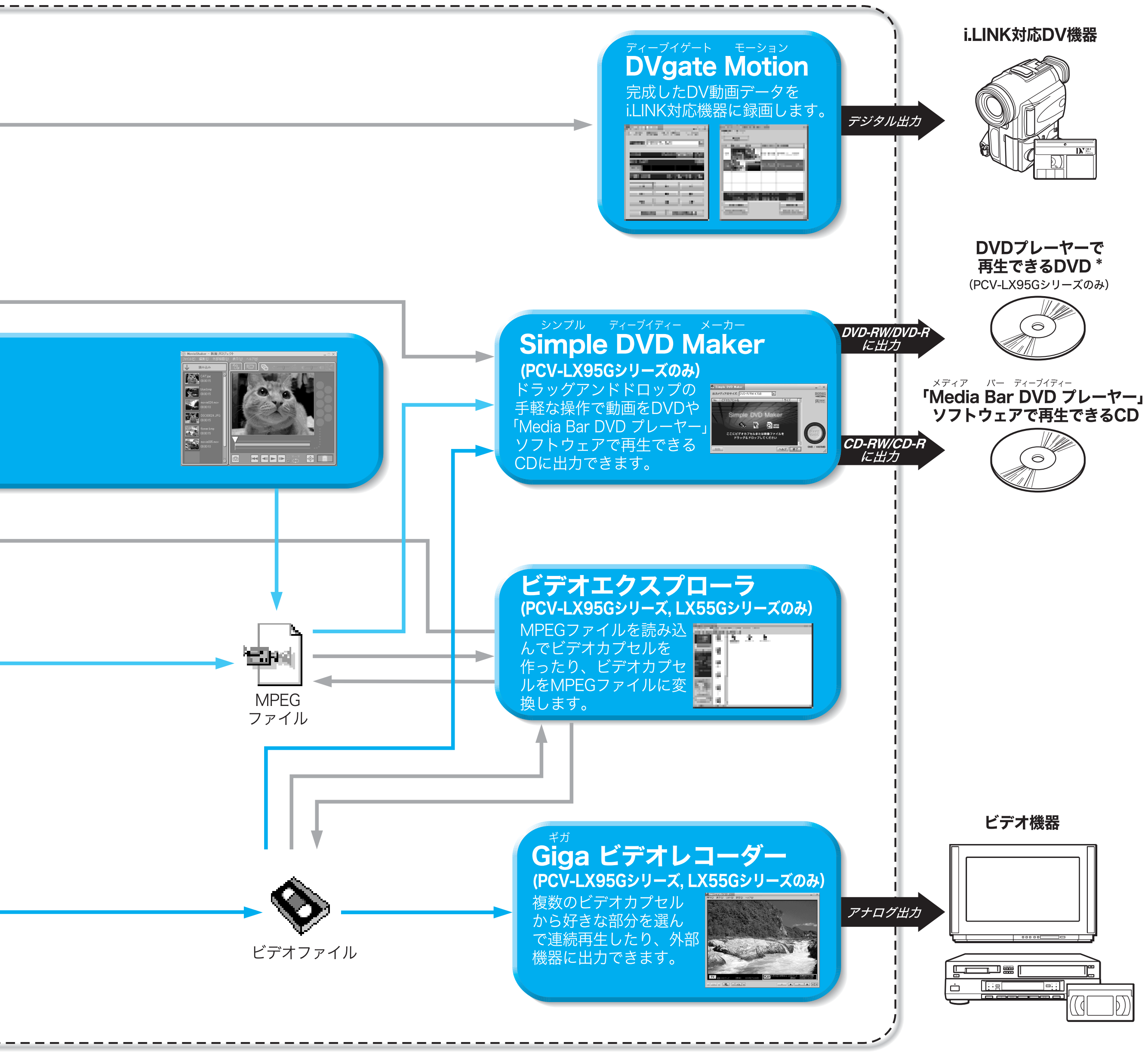
本機には動画を扱うソフトウェアが数多く付属しています。それぞれのソフトウェアの役割と操作の流れを簡単に紹介します。それぞれのソフトウェアの使いかたについて詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。本機とAV機器やi.LINK対応機器のつなぎかたについては、「接続する／準備する」（47ページ）または「AV機器をつなぐ（PCV- LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）」（224ページ）または「i.LINK対応機器をつなぐ」（218ページ）をご覧ください。



AVI（DV）：Windowsで動画や音声を再生するために米マイクロソフト社が作ったファイル形式です。「DVgate Motion」ソフトウェアではDV形式で圧縮されたAVIファイルのみを扱っています。

MPEG：動画データの圧縮方式です。

ビデオカプセル：「Giga Pocket」ソフトウェアでは、MPEGの動画ファイルと各種の付加情報を1つにまとめて「ビデオカプセル」と呼びます。



* VAIOおよびDVDプレーヤーでの再生について詳しくは、VAIOカスタマーリンクのホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

リカバリディスクで本機を再セットアップする

ここでは付属のリカバリディスクを使って、本機を再セットアップする方法を説明します。

リカバリディスクとは

付属のリカバリディスクには、お買い上げ時のハードディスク内のすべてのファイルが保存されています。誤ってハードディスクを初期化してしまったり、あらかじめインストールされているソフトウェアを消してしまった場合には、リカバリを行って本機を再セットアップすることでハードディスクの内容を出荷時の状態に戻すことができます。

なお、型名の末尾が"BP"の機種をお使いの方は、再セットアップ後に、付属のMicrosoft®Office XP Personalプレインストールパッケージで「Microsoft®Office XP Personal」のすべての機能をインストールし直してください。

リカバリディスクを使うと、次のことができます

- ハードディスクを初期化したうえで、すべてのファイルを復元する(出荷時の状態に戻る)。
- ハードディスクのパーティションのサイズを変更する。詳しくは「パーティションサイズを変更する」(263 ページ)をご覧ください。

ご注意

- 付属のリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品では動作しません。
- 付属のリカバリディスクで再セットアップできるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
- ご自分で変更された設定は、再セットアップ後はすべて出荷時の設定に戻ります。再セットアップ後に、もう1度設定し直してください。
- 本機は、出荷時に、プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)は完了されているため、お客様が認証作業を行う必要はありません。
  また、付属のリカバリディスクで再セットアップを行った場合も、プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)は自動的に完了するため、お客様が認証作業を行う必要はありません。

ご注意

BIOSの設定状態によっては、リカバリディスクが起動しないことがあります。この場合は、BIOSをお買い上げ時の設定に戻す必要があります。BIOSをお買い上げ時の状態に戻すには、以下のように操作します。

1. **本機前面の⏻(電源)ボタンを押し、画面にSonyのロゴが表示されたら、キーボードのF2キーを押す。**
   BIOSセットアップメニューが起動し、「AwardBIOS Setup Utility」画面が表示されます。
2. **F5(Setup Defaults)キーを押す。**
   「Load default configuration now?」というメッセージが表示されます。
3. **Home/Endキーを押して[Yes]を選び、Enter(エンター)キーを押す。**
   すべての設定項目がお買い上げ時の設定に戻ります。
4. **F10(Save and Exit)キーを押す。**
   「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。
5. **Home/Endキーを押して[Yes]を選び、Enter(エンター)キーを押す。**
   変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windowsが起動します。

- BIOSの設定を変えた場合は、お買い上げ時の設定に戻してから再セットアップしてください。

BIOS とは

「バイオス」と読みます。コンピュータの基本的な設定をするためのプログラムの集まりで、電源を入れると最初にBIOSの読み込みが始まります。もし、BIOSが正しく働かないと、コンピュータは起動しなくなります。

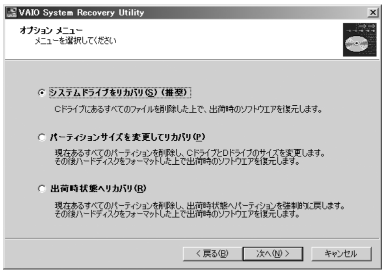
リカバリの種類

リカバリディスクを使うと、次のような方法で本機を再セットアップすることができます。
通常は、「システムドライブをリカバリ」を行うことをおすすめします。

リカバリの種類	説明
システムドライブをリカバリ	ドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、出荷時の設定を復元します。Cドライブ以外のドライブにあるファイルは削除されません。
パーティションサイズを変更してリカバリ	現在あるすべてのパーティションを削除し、CドライブとDドライブのサイズを変更します。その後ハードディスクをフォーマットした上で出荷時の設定を復元します。それ以前にハードディスクにあったデータは、Cドライブ、Dドライブとも含めてすべて失われてしまいます。
出荷時状態へリカバリ	現在あるすべてのパーティションを削除し、出荷時状態へパーティションを強制的に戻します。その後ハードディスクをフォーマットした上で出荷時の設定を復元します。それ以前にハードディスクにあったデータは、Cドライブ、Dドライブとも含めてすべて失われてしまいます。

「システムドライブをリカバリ」を選択するときは、下の画面で「システムドライブをリカバリ」を選択します。

「オプションリカバリ」を選択すると、下の画面が表示され、「パーティションサイズを変更してリカバリ」、「出荷時状態へリカバリ」を選択することができます。



再セットアップする前に

本機を再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- DVD-RW ／ DVD-R（PCV-LX95G シリーズのみ）または CD-RW ／ CD-R にコピーする。
- D: ドライブにデータを残して、再セットアップを行う。
  本機のハードディスクは、C: ドライブと D: ドライブの 2 つのパーティションに分かれています。再セットアップすると、C: ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D: ドライブにあるファイルは残ります。

ご注意

「SonicStage for VAIO」ソフトウェアで取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

再セットアップする（システムドライブをリカバリ）

再セットアップする前に、以下の点を確認してください。

- 本機に接続しているすべての周辺機器を取りはずしてください。周辺機器は、再セットアップが終わったあとに再び接続してください。
- 別売りのUSBフロッピーディスクドライブを取り付けている場合は、取りはずしてください。
- 大切なデータはバックアップをとったか確認してください。
- Windowsが完全に起動できなかった場合などに本機を再セットアップするときは、「Windowsが完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには」（261ページ）をご覧ください。
- パーティションサイズを変更するときは、「パーティションサイズを変更する」（263ページ）をご覧ください。

ご注意

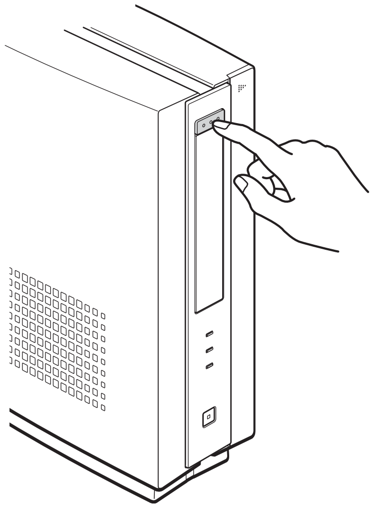
再セットアップした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。再セットアップする前に、大切なデータはDVD-RW／DVD-R（PCV-LX95Gシリーズのみ）や、CD-RW／CD-R、またはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 本機の電源を入れる。

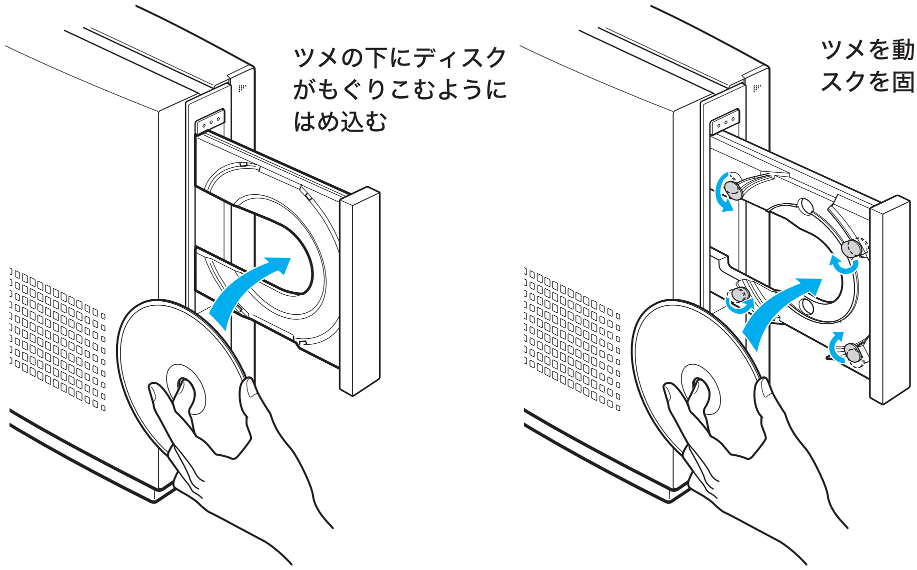
電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」（63ページ）をご覧ください。

2 OPEN／CLOSE**ボタンを押す。**

本機のディスクドライブのディスクトレイが自動的に引き出されます。



3 **付属のリカバリディスクを、レーベル面（文字が書いてある面）を外側にして、トレイにはめ込む。**



ちょっと一言

本機のディスクドライブには、いくつかの種類があり、ドライブによってディスクを入れる／取り出す方法が異なります。

ご注意

PCV-LX95Gシリーズをお使いの場合は、「ディスクドライブをご使用になる際のご注意（PCV-LX95Gシリーズのみ）」（25ページ）をご覧ください。

4 OPEN／CLOSE**ボタンを押して、トレイを閉める。**

自動的に「VAIO Application Recovery Utility」画面が表示されます。

5 ［閉じる］をクリックする。

6 本機を再起動する。

7 Sonyロゴが表示され、画面左下に数秒間「Press any key to boot from CD..」というメッセージが表示されます。

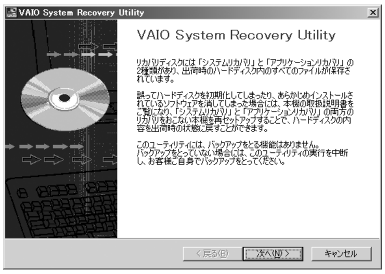
****
****
****

Press any key to boot from CD..

表示されたら、3秒以内に何かキーボード上のキーを押す。

8 画面左下に「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示されたら、3秒以内に、何かキーボード上のキーを押す。

リカバリディスクから本機が起動し、「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されます。（起動には数分かかる場合があります。）



ご注意

「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されない場合は、再び手順6からやり直してください。

9 内容をよく読み、［次へ(N) >］をクリックする。

「はじめに」画面が表示されます。

10 内容をよく読み、[次へ(N) >]をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

11 [システムドライブをリカバリ]の○をクリックして◉にし、[次へ(N) >]をクリックする。

「実行確認」画面が表示されます。

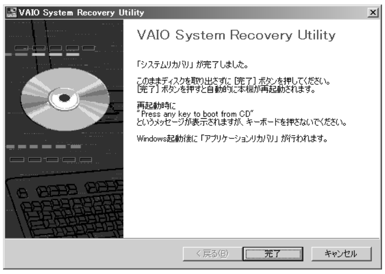
12 画面の指示に従って操作する。

再セットアップが始まります。

再セットアップを休止するときは、[キャンセル]をクリックします。

リカバリ中にキャンセルをすると、リカバリ中のドライブはフォーマットされていない状態になります。

セットアップが終わると、「システムリカバリが完了しました。」画面が表示されます。



13 [完了]をクリックする。

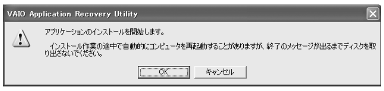
本機が再起動します。

ご注意

本機の再起動時に「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示されますが、キーボードは押さないでください。

14 「Windowsを準備する」（64ページ）の手順に従って、Windowsをセットアップする。

15 Windowsのセットアップ終了後、本機が自動的に再起動し「アプリケーションのインストールを開始します。」画面が表示される。



ご注意

「Windowsを準備する」（64ページ）の手順6で複数のユーザーの名前を入力した場合は、ユーザー名を選択する画面が表示されます。この場合は、いずれかのユーザー名をクリックして、Windowsを起動してください。

16 [OK]をクリックする。

自動的にソフトウェアのセットアップが始まります。

ソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックしてください。

17 [スタート]をクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Norton AntiVirus］から［Norton AntiVirus 2002］をクリックする。

「Norton AntiVirus情報ウィザード」画面が表示されるので、［次へ］をクリックし、画面の指示に従って操作してください。すべての作業が終了すると「Norton AntiVirus」のメイン画面が表示されます。

メイン画面が表示されたら画面右上の[×]をクリックして画面を閉じてください。

18 本機を再セットアップする前にインターネットに接続していた場合は、「インターネットを始める」（102ページ）の手順に従ってインターネットへの接続の設定を行う。

型名の末尾が“BP”の機種をお使いの場合は、引き続き次ページの手順を行ってください。

19 付属のMicrosoft®Office XP Personalプレインストールパッケージで、「Microsoft®Office XP Personal」をインストールする。

下記の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「セットアップガイド」をご覧ください。

1. **Office CDをディスクドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。**
2. **「インストールの種類を指定してください」画面が表示されたら、「カスタム」の◯をクリックして◉にし、[次へ]をクリックする。**
3. **「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」の◯をクリックして◉にし、[次へ]をクリックする。**
4. **「Microsoft Office」左横のアイコンをクリックし、表示されたポップアップメニューから[マイコンピュータからすべて実行]をクリックする。**
5. **[Microsoft Excel for Windows]をダブルクリックして「読み上げ」左横のアイコンをクリックし、表示されたポップアップメニューから[インストールしない]をクリックする。**
6. **[Office共有機能]、[入力システムの拡張]の順にダブルクリックし、「音声」左横のアイコンをクリックして表示されたポップアップメニューから[インストールしない]をクリックする。**
7. **[次へ]をクリックする。**
8. **「インストールを開始します」画面が表示されるので、[完了]をクリックする。**

   インストールが始まります。
9. **インストールが終了したら、[はい]をクリックし、画面の指示に従って本機を再起動する。**
10. **再起動後、Bookshelf BasicのCD-ROMをディスクドライブに入れ、「Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0のウィザードへようこそ」の画面が表示されたら[次へ]をクリックする。**
11. **セットアップタイプ選択画面が表示されたら、[標準]をクリックする。**
12. **「プログラムをインストールする準備ができました」画面が表示されたら、[インストール]をクリックする。**

    インストールが始まります。
13. **「ウィザードが完了しました」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。**
14. **インストール終了後、デスクトップ画面左下の

をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[スタートアップ]から[QuickShelf]を右クリックし、表示されたポップアップメニューから[削除]をクリックする。**

    「ショートカット削除の確認」画面が表示されるので[ショートカットの削除]をクリックして削除してください。

⑮ **スタートをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[スタートアップ]から[Microsoft Office]を右クリックし、表示されたポップアップメニューから[削除]をクリックする。**

「ショートカットの削除の確認」画面が表示されるので、[ショートカットの削除]をクリックして削除してください。

⑯ **デスクトップ画面左下のスタートをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Microsoft Reference]から、[Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0]をクリックする。**

「Bookshelf Basic」ソフトウェアが起動します。

⑰ **「ツール」メニューから[オプション]をクリックして、「QuickShelfの開始」の☑をクリックして☐にし、[OK]をクリックする。**

タスクトレイに「Quickshelf 3」のアイコンが存在しないことを確認してください。

⑱ **「ファイル」メニューから[終了]をクリックし、「Bookshelf Basic」ソフトウェアを終了する。**

ちょっと一言

ステップバイステップインタラクティブのインストールについて詳しくは、パッケージに付属の「セットアップガイド」をご覧ください。

20 ライセンス認証を行う。

次のいずれかの方法で「ライセンス認証ウィザード」を起動して、ライセンス認証を行ってください。

また、手続きの方法はインターネット経由と電話の2種類が用意されています。

詳しくは、パッケージに付属の「セットアップガイド」をご覧ください。

- 「Microsoft® Office XP Personal」のいずれかのソフトウェアを起動する。
- デスクトップ画面左下のスタートをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Microsoft Office ツール]から[ライセンス認証]をクリックする。

なお、ライセンス認証については、下記の専用窓口にお問い合わせください。

ライセンス認証専用窓口

電話番号：(0120)801-734　受付時間：24時間受付

ご注意

インターネット経由で手続きを行う場合は、この手順を行う前にインターネットに接続するための準備を済ませておく必要があります。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(102ページ)をご覧ください。

Windowsが完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには

1　本機の電源を入れる。

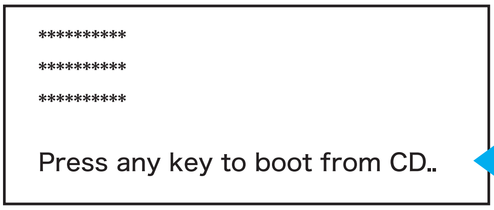
電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」（63ページ）をご覧ください。

2　「再セットアップする（システムドライブをリカバリ）」（254ページ）の手順2〜4に従って、付属のリカバリディスクをディスクドライブに入れる。

3　本機前面の ⏻（電源）ボタンを4秒以上押して本機の電源を切る。

4　30秒ほど待ってから、⏻（電源）ボタンを押して本機の電源を入れる。

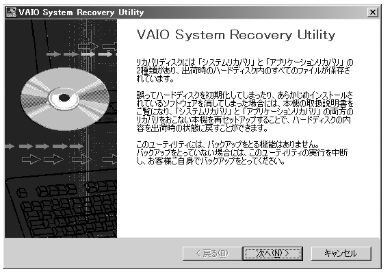
Sonyロゴが表示されたあと、画面左下に数秒間「Press any key to boot from CD..」と表示されます。



表示されたら、3秒以内に何かキーボード上のキーを押す。

5　画面左下に「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示されたら、3秒以内に何かキーボード上のキー（スペースキーなど）を押す。

リカバリディスクから本機が起動し、「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されます。（起動には数分かかる場合があります。）



ご注意

「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されない場合は、再び手順3から行ってください。

6

「再セットアップする（システムドライブをリカバリ）」（254ページ）の手順9～20の操作を行ってください。

パーティションサイズを変更する

本機のハードディスクはC: ドライブとD: ドライブの2つのパーティションに分かれており、D: ドライブは、「DVgate」ソフトウェアや「Giga Pocket」ソフトウェア（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）などで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域（データスペース）として使えるように設定されています（出荷時）。付属のリカバリディスクを使ってパーティションサイズを変更できます。

動画の取り込みや書き出しを行う場合は、大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こり、フレーム落ちの原因となります。そのため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化（デフラグ）またはフォーマットを行ってください。

パーティションを区切ると、WindowsはC: ドライブにインストールされます。C: ドライブを最適化するのに非常に時間がかかる場合がありますので、D: ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

パーティションとは

ハードディスクなどの大容量補助記憶装置の領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

デフラグ（最適化）とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ（最適化）により、データの読み出しや書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

ご注意

- 「SonicStage for VAIO」ソフトウェアで取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはDVD-RW／DVD-R（PCV-LX95Gシリーズのみ）やCD-RW／CD-Rまたはフロッピーディスクやなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

パーティションサイズを変更するには

1

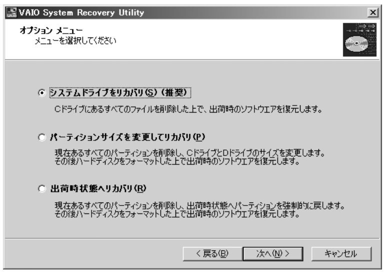
「再セットアップする（システムドライブをリカバリ）」（254ページ）の手順1～10を行う。

「メインメニュー」画面が表示されます。

2

［オプションリカバリ］の○をクリックして◉にし、次へ(N) >をクリックする。

「オプションメニュー」画面が表示されます。

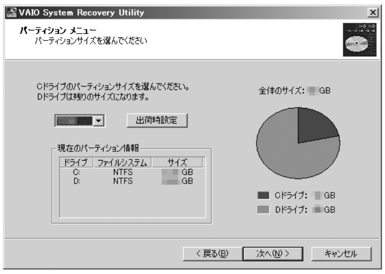


3

「オプションメニュー」画面の中から、「パーティションサイズを変更してリカバリ」の、○をクリックして◉にし、次へ(N) >をクリックする。

「パーティションメニュー」画面が表示されます。

ここで現在のパーティションサイズを確認できます。



4

▼をクリックしてパーティションサイズを選び[次へ(N)>]をクリックする。

5

画面の指示に従って操作し、「リカバリを開始して本当によろしいですか？」画面が表示されたら[はい(Y)]をクリックする。

パーティションサイズが変更され再セットアップが始まります。

再セットアップを中止するときは[いいえ]をクリックして、続いて「実行確認」で[キャンセル]をクリックします。

6

セットアップが終わると、「システムリカバリが完了しました。」画面が表示されます。

7

[完了]をクリックする。

本機が再起動します。

ご注意

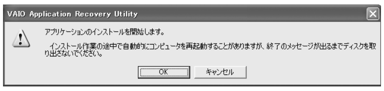
本機の再起動時に「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示されますが、キーボードは押さないでください。

8

「Windowsを準備する」（64ページ）の手順に従って、Windowsをセットアップする。

9

Windowsのセットアップ終了後、本機が自動的に再起動し「アプリケーションのインストールを開始します。」画面が表示される。



ご注意

「Windowsを準備する」（64ページ）の手順6で複数のユーザーの名前を入力した場合は、ユーザー名を選択する画面が表示されます。この場合は、いずれかのユーザー名をクリックして、Windowsを起動してください。

10 [OK]をクリックする。

自動的にソフトウェアのセットアップが始まります。

ソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックしてください。

11 [スタート]をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Norton AntiVirus]から[Norton AntiVirus 2002]をクリックする。

「Norton AntiVirus情報ウィザード」画面が表示されるので、[次へ]をクリックし、画面の指示に従って操作してください。すべての作業が終了すると「Norton AntiVirus」のメイン画面が表示されます。

メイン画面が表示されたら画面右上の[×]をクリックして画面を閉じてください。

12 本機を再セットアップする前にインターネットに接続していた場合は、「インターネットを始める」(102ページ)の手順に従ってインターネットへの接続の設定を行う。

型名の末尾が"BP"の機種をお使いの場合は、引き続き以下の手順を行ってください。

13 「再セットアップする(システムドライブをリカバリ)」(254ページ)の手順19に従って、付属のMicrosoft® Office XP Personalプレインストール パッケージで、「Microsoft® Office XP Personal」をインストールする。

14 「再セットアップする(システムドライブをリカバリ)」(254ページ)の手順20に従って、ライセンス認証を行う。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- CD-RW／CD-RまたはDVD-RW／DVD-R（PCV-LX95Gシリーズのみ）などにデータを記録中に振動や衝撃を与えないでください。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- ほこりが多い場所では使用しないでください。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイの表面をぬれたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 液晶ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- 液晶ディスプレイを戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。液晶面が室温に暖まるまでお待ちください。
- 液晶ディスプレイの画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。
- 液晶ディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術でつくられていますが、黒い点が現れたり、赤、青、緑の点が消えないことがあります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。これらの点をご了承のうえ、本機をお使いください。
- ガラスの表面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ベンジン、アセトン、アルコールなど有機溶剤はガラスを傷めることがありますので、使わないでください。また、付属のペン（PCV-LX95Gシリーズ，LX85シリーズのみ）以外でガラス表面に触れないでください。
- 液晶ディスプレイの近くにAMラジオは置かないでください。液晶ディスプレイとAMラジオの周波数がお互いに干渉して双方で障害が発生します。液晶ディスプレイとAMラジオは充分に距離をとって置いてください。

- 液晶ディスプレイを長時間使用していると、ガラス表面の温度が高くなります。身体の同じ部分がガラスの表面に触れたままの状態が続くと、低温やけどを起こす場合がありますのでご注意ください。ガラス表面の温度の上昇は、液晶ディスプレイの明るさを下げることで抑えることができます。液晶ディスプレイを長時間ご使用になるときは、あらかじめ液晶ディスプレイ右上の☼（明るさ調節）ダイヤルを使って画面の明るさを下げてからご使用になることをおすすめします。また、「コントロールパネル」画面の［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックし、［電源オプション］をクリックして表示される「電源オプションのプロパティ」画面の「電源設定」タブで「モニタの電源を切る」の時間を短めに設定することをおすすめします。

タブレットの取り扱いについて（PCV-LX95Gシリーズ，LX85シリーズのみ）

- ガラスの表面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジン、アセトン、アルコールなど有機溶剤はガラスを傷めることがありますので、使わないでください。また、付属のペン以外でガラス表面に触れないでください。
- 本機の近くにAMラジオは置かないでください。本機とAMラジオの周波数がお互いに干渉して双方で障害が発生します。本機とAMラジオは充分に距離をとって置いてください。
- タブレットを長時間使用していると、ガラスの表面の温度が高くなることがあります。低温やけどの原因になりますので、長時間使用しないでください。長時間使用するときは、液晶ディスプレイ右上の☼（明るさ調節）ダイヤルを使って画面の明るさを下げてからご使用ください。また、「コントロールパネル」画面の［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックし、［電源オプション］をクリックして表示される「電源オプションのプロパティ」画面の「電源設定」タブで「モニタの電源を切る」の時間設定は変更しないでください。

ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは、フロッピーディスクに比べて記憶密度が高く、データの書き込みや読み出しに要する時間も短いという特長があります。その一方、本来はほこりや振動に弱い装置でもあります。また、フロッピーディスク同様に磁気を帯びた物に近い場所での使用は避けなければなりません。

ハードディスクにはほこりや振動からデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 振動や衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10°C以上の変化）のある場所では使用しないでください。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんのでご注意ください。

バックアップをとる

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップをとることをおすすめします。

ソフトウェアはオリジナルがCD-ROMやフロッピーディスクにありますので、バックアップが必要なのはデータなどです。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

本機へのアナログ入力についてのご注意（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）

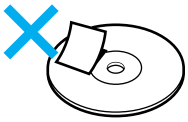
「Giga Pocket」ソフトウェアを使って、本機のアナログ入力コネクタから静止画や動画を取り込むとき、静止画や動画にノイズが出たり、一時途切れたり、取り込みに失敗することがあります。これらの現象は、以下のように映像の同期信号が乱れた場合に起こります。

- 取り込む静止画や動画が乱れたとき、または本機に何も入力されていないとき
- 本機後面のVIDEO 1 INPUTコネクタにつないだケーブルをつなぎかえたとき
- テレビ番組を入力中にテレビ局の放送信号が何らかの原因で乱れたとき
- 入力中のテレビ番組の電波が弱いとき、ノイズが入ったとき、または放送が行われてないとき
- ビデオデッキから映像入力中に、ビデオデッキのチャンネルや入力を切り換えたとき
- ビデオデッキや、ビデオカメラレコーダーから映像入力中に、ビデオテープのつなぎ撮りをした部分を再生したとき
- ビデオカメラレコーダーで録画中に振動やゆれを加えて撮ったテープを再生したとき
- 本機へ映像入力中に再生側のビデオデッキやビデオカメラレコーダーに振動やゆれが加わったとき

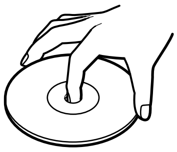
ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。ディスクは記録面が汚れるとデータの書き込みができなくなります。記録面には触れないでください。

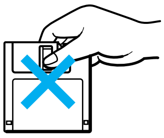


- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 直射日光が当たって高温になった自動車の中に長時間放置しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなどで文字を書くと、記録面を傷つけ、データの書き込みができなくなることがあります。

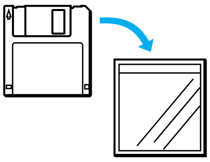
フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。フロッピーディスクの表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。



- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。



コンピュータウィルスについて

本機には、コンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして「Norton AntiVirus」ソフトウェアが用意されています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。

コンピュータウイルスとは？

コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、次の「コンピュータウイルスに侵入されると...」に見られるような被害が起きてしまいます。
コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

コンピュータウイルスに侵入されると...

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルがかってに消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスクの空き容量が急に少なくなる。

なお、「Norton AntiVirus」ソフトウェアの操作方法について詳しくは、「Norton AntiVirus」ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。

シマンテック テクニカルサポートセンター

電話番号：(03)3476-1118

ファックス：(03)3477-1118

電話受付時間：月～金 10時～12時、13時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）

なお、シマンテック テクニカルサポートセンターをご利用いただくためには以下のシマンテックホームページにて、カスタマーIDの取得が必要です。

http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html

カスタマーID取得については、下記にお問い合わせください。

シマンテック カスタマーサービスセンター

電話番号：(03)3476-1156

ファックス：(03)3476-1159

電話受付時間：月～金 10時～12時、13時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ちょっと一言

「Norton AntiVirus」ソフトウェアは、本機初回起動時より180日間無償でウイルス定義ファイル(ワクチンファイル)のアップデートができます。それ以降は、ウイルス定義ファイルのアップデートは有償になります。新種のウイルスに対応するため、ウイルス定義ファイルは常に更新することをおすすめします。

また、テクニカルサポート提供期間は、ウイルス定義ファイル無償更新期間と同じく、180日間となります。ただし、有償アップデートのお申し込みを頂くとテクニカルサポートの提供期間も延長されます。

ウイルス定義ファイルの有償アップデートについて詳しくは、以下のシマンテック ホームページをご覧になり、お申し込みください。

http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html

ウイルス定義ファイルの有償アップデートのお申し込みについては、下記にお問い合わせください。

ショップシマンテック

電話番号：(03)3476-1192

ファックス：(03)3780-9988

電話受付時間：月～金 10時～12時、13時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは原則として禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みのうえ、お使いください。

DVD-RWドライブ(PCV-LX95Gシリーズ)またはDVD-ROMドライブ(PCV-85シリーズ,LX55Gシリーズ,LX55シリーズ)の地域番号(リージョンコード)書き換えについて

お買い上げ時、本機のディスクドライブの地域番号は「2」(日本)に設定されています。

Windowsおよび一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

データのバックアップについて

ハードディスクドライブに保存している文書などのデータは、定期的にバックアップをとるようおすすめします。データの損失については、一切責任を負いかねます。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用、PC/AT互換機用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。

ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。

お手入れ

本機やディスプレイのお手入れ

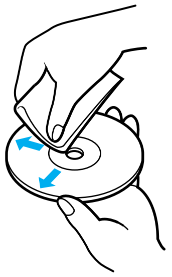
本機やディスプレイについたゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。

ご注意

- 本機やディスプレイの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- 濡れたもので本機やディスプレイを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときはその注意書に従ってください。

DVD-ROM／CD-ROMのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。



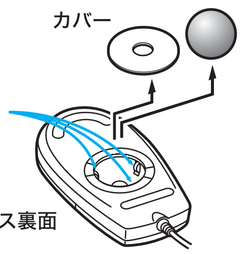
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

ディスクのお手入れ

- DVD-RW／DVD-R（PCV-LX95Gシリーズのみ）またはCD-RW／CD-Rは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- ベンジンやシンナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- DVD-RW／DVD-R（PCV-LX95Gシリーズのみ）またはCD-RW／CD-Rの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。
- DVD-RW／DVD-R（PCV-LX95Gシリーズのみ）またはCD-RW／CD-Rは直射日光を避けて保存してください。

マウスを掃除する

マウスは長く使っていると、内部にゴミやほこりなどがたまり、画面上のポインタが思うように動かなくなります。この場合は、マウスの裏面のカバーを取りはずし、ボールを取り出して内部を掃除します。



- 乾いた布で内部のゴミやほこりなどを取り除いてから綿棒でローラー部のゴミをこすり取ってください。
- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。

ご注意

- 本機の電源を切り、マウスをキーボードから取りはずしてからマウスを掃除してください。
- 濡れたものでマウスを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときはその注意書に従ってください。

キーボードを掃除する

キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーの間は、エア・スプレーなどでゴミやほこりを散らしてください。

ご注意

- 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、キーボードを本機から取りはずしてからキーボードを掃除してください。
- 濡れたものでキーボードを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときはその注意書に従ってください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より３か月です。カスタマー登録していただいたお客様は１年間となります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう１度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはVAIOカスタマーリンクへご連絡ください

VAIOカスタマーリンクについては、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。

当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出すまえに、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。弊社の修理により、ハードディスクなどのプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、ハードディスクなどの記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- お客さまのカスタマーID：
- 型名：保証書に記載されています。
- 製造番号：
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

部品の交換について

この製品は修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

プロセッサ

インテル®Pentium®4プロセッサー1.70GHz

2次キャッシュ

256 Kバイト（CPU内蔵）

メインメモリ

SDRAM PC133
標準256 Mバイト
最大512 Mバイトまで拡張可能

拡張メモリスロット

DIMMスロット×2
空き：1

グラフィックアクセラレータ

NVIDIA™ GeForce2 MX™
（AGP 4×モード動作）

ビデオメモリ

16Mバイト（専用SDRAM）

表示モード

約1619万色（1024×768、800×600、640×480）*

* ディザリング機能により実現

ハードディスクドライブ

記憶容量

約 80 Gバイト（Ultra ATA/100対応） Cドライブ約15Gバイト／Dドライブ約65Gバイト*

* Windowsのシステムから認識できる容量は約74Gバイト（Cドライブ：約14Gバイト、Dドライブ：約60Gバイト）

DVD-RWドライブ（PCV-LX95Gシリーズ）

書き込み

最大8倍速（CD-R）
最大4倍速（CD-RW）
最大2倍速（DVD-R）
等倍速（DVD-RW）

読み出し

最大24倍速（CD-ROM）
最大24倍速（CD-R／CD-RW）
最大6倍速（DVD-ROM）
最大2倍速（DVD-R／DVD-RW）

* 本機のDVD-RWドライブは、8cm CDに対応しておりません。

CD-RW／DVD-ROM一体型ドライブ（PCV-LX85シリーズ, LX55Gシリーズ, LX55シリーズ）

書き込み

最大8倍速（CD-R）
最大8倍速（CD-RW）

読み出し

最大32倍速（CD-ROM／CD-R）
最大20倍速（CD-RW）
最大8倍速（DVD-ROM）

外部コネクタ（前面）

USB
USB×1

i.LINK S400
IEEE1394準拠、4ピン×1

PCカードスロット

TypeII ×1 、Cardbus対応

"メモリースティック"スロット

"メモリースティック"スロット×1

外部コネクタ（後面）

LCD
付属液晶ディスプレイ専用ディスプレイ出力 34ピン×1

USB
USB×2

NETWORK
100BASE-TX／10BASE-T ×1

MIC
ミニジャック×1

LINE IN
ステレオミニジャック×1

HEADPHONES
ステレオミニジャック×1

LINE
モジュラージャック×1

TELEPHONE
モジュラージャック×1

i.LINK S400
IEEE1394準拠、6ピン×1

VHF／UHF
（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）
テレビアンテナ入力×1

VIDEO 1 INPUT
（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）
S VIDEO／VIDEO
MiniDIN×1
AUDIO
ステレオミニジャック(1)

VIDEO OUTPUT
（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ）
S VIDEO／VIDEO
MiniDIN×1
AUDIO
ステレオミニジャック(1)

拡張スロット

PCIスロット×2
空き：0（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズ）,
空き：1（PCV-LX85シリーズ, LX55シリーズ）

サウンド機能

AC97準拠オーディオ、3Dオーディオ（Direct Sound 3D）対応

内蔵モデム

最大56kbps（V.90／K56flex™）
ただし送信時は
最大33.6kbps（V.34）／14.4kbps（ファックス時）

液晶ディスプレイ

広視野角液晶ペンタブレットディスプレイ

（PCV-LX95G**シリーズ**, LX85**シリーズ）**

LCDパネル
Super-IPS TFTアクティブマトリックスを採用
画面サイズ：15インチ
入力信号フォーマット
TMDS
有効画素数
99.99%
解像度
水平：最大1024ドット
垂直：最大768ライン
タブレット
読取方式：電磁誘導方式（電磁授受採用方式）
読取可能範囲：304×228mm
読取分解能：最高.005mm
読取速度：最高205ポイント／秒
読取可能高さ：5mm
筆圧レベル：256レベル

広視野角液晶ディスプレイ

（PCV-LX55G**シリーズ）**

LCD**パネル**
Super-IPS TFT**アクティブマトリックスを採用**
画面サイズ：15**インチ**
入力信号フォーマット
TMDS
有効画素数
99.99**%**
解像度
水平：最大1024**ドット**
垂直：最大768**ライン**

液晶ディスプレイ

（PCV-LX55**シリーズ）**

LCDパネル
画面サイズ：15インチ
入力信号フォーマット
TMDS
有効画素数
99.99%
解像度
水平：最大1024ドット
垂直：最大768ライン

液晶ディスプレイ外部コネクタ

USB
USB×1
KEYBOARD
PS/2×1
MOUSE
PS/2×1

液晶ディスプレイ内蔵スピーカー

スピーカー出力

3.0W＋3.0W

キーボード

VAIO専用プログラマブルパワーキー付きキーボード

電源／その他

電源

AC 100 V±10%（50-60 Hz）

定格消費電流

2.6 A

消費電力

約106W（最大260 W）
（PCV-LX95Gシリーズ）
約93W（最大260 W）
（PCV-LX85シリーズ）
約94W（最大260 W）
（PCV-LX55Gシリーズ）
約79W（最大260 W）
（PCV-LX55シリーズ）
スタンバイ時
約3.3W

エネルギー消費効率

R区分 0.00073
i.LINK電源出力
10～12V 6W（合計）

動作温度

10 ℃～35 ℃（温度勾配10℃／時以下）

動作湿度

40%～80%（結露のないこと）

保存温度

-20 ℃～60 ℃（温度勾配10 ℃／時以下）

温度湿度

（結露のないこと）

外形寸法

本体：幅107×高さ280×奥行き370 mm
（本体／突起部含まず）
ディスプレイ：幅435×高さ357×奥行き163 mm
（直立ポジション）

質量

本体：
約6.5 kg
（PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズ）
約6.4 kg
（PCV-LX85シリーズ, LX55シリーズ）
キーボード：約1.0 kg
ディスプレイ：
広視野角液晶ペンタブレットディスプレイ（PCV-LX95Gシリーズ, LX85シリーズ）：
約5.5 kg
広視野角液晶ディスプレイ（PCV-LX55Gシリーズ）：
約5.2 kg
液晶ディスプレイ（PCV-LX55シリーズ）：約5.1 kg

付属品

「付属品を確かめる」（32ページ）をご覧ください。

別売り品

メモリモジュール

256Mバイト増設メモリモジュール
PCVA-MM256S

i.LINK**ケーブル**

6ピン←→6ピン
VMC-IL6615A（1.5 m）
VMC-IL6635A（3.5 m）
4ピン←→4ピン
VMC-IL4408A（80 cm）
VMC-IL4415A（1.5 m）
VMC-IL4435A（3.5 m）
4ピン←→6ピン
VMC-IL4615A（1.5 m）
VMC-IL4635A（3.5 m）

USB**フロッピーディスクドライブ**

PCVA-UFD2

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

高調波電流規制について
この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

付属ソフトウェアについて

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で本機電子マニュアル「サイバーサポート」を表示させてご覧ください。

1 デスクトップ画面のをダブルクリックする。
「サイバーサポート」が表示されます。

2 画面上部の VAIOの楽しみかた をクリックする。

3 画面左から「付属ソフトウェアの一覧」をクリックする。

ご注意

Windows XPは、Windows Meなどとは異なり、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。
ユーザー権利とアクセス許可について詳しくは、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックし、[コントロール パネル]→[ユーザーアカウント]を順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。
なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。

クリエーション

❑ Adobe GoLive 5.0 日本語版（PCV-LX95Gシリーズのみ）（ホームページ作成）

アドビ システムズ サポート契約センター
電話番号：(03)5350-8688
初回コールより90日間の無料サポート。以後は同社による有料サポートメニューが用意されています。

❑ Adobe LiveMotion 1.02 日本語版（PCV-LX95Gシリーズのみ）（Webアニメーション作成）

アドビ システムズ サポート契約センター
電話番号：(03)5350-8688
初回コールより90日間の無料サポート。以後は同社による有料サポートメニューが用意されています。

❑ Adobe Photoshop Elements（静止画加工）

アドビ システムズ サポート契約センター
電話番号：(03)5350-8688
初回コールより90日間の無料サポート。以降は同社による有料サポートメニューが用意されています。

❑ DigitalPrint Ver.1.1（アルバム／ラベル作成・プリント）

VAIOカスタマーリンク

❑ DVDit! for VAIO（PCV-LX95Gシリーズのみ）（MPEGオーサリングソフト）

三信電気株式会社
DVDit!　サポートセンター
電話番号：(03)5232-5065
受付時間：
10時～12時、13時～17時、月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）
電子メール：
DVD-IT@sanshin.co.jp
ホームページ：
http://jp.dvdit.com/dvdit/

❑ DVgate Version 2.5（デジタルビデオ動画／静止画入出力／簡易編集）

VAIOカスタマーリンク

- MovieShaker Version 3.3
(動画編集)
VAIOカスタマーリンク

- PictureGear Version 5.1
(画像管理)
VAIOカスタマーリンク

- PictureToy Version 1.1
(静止画加工)
VAIOカスタマーリンク

- procreater™Painter 7™
(PCV-LX95Gシリーズ,LX85シリーズのみ)
(静止画加工)
テクニカルサポート(技術的な質問):メディアヴィジョン・Corelサポートセンター
電話番号:(03)5319-3013
カスタマーセンター(登録確認・住所変更などのユーザー登録について):メディアヴィジョン カスタマーサポートセンター
電話番号:(03)5545-3274

- RecordNow DX
(PCV-LX95Gシリーズのみ)
(DVD-R/RW・CD-R/RW ライティングソフトウェア)
http://www.easy.co.jp/jrndx/sony/

- VAIO Edit Components
(Adobe®Premiere®プラグイン)
VAIOカスタマーリンク

- **具満タン** for VAIO**(PCV-LX95Gシリーズ, LX85シリーズのみ)**
(CD-ROMで付属)
デザインエクスチェンジ株式会社　サポート・ダイアル(DEXサービスセンター)
電話番号:(047)380-3636
10:00~12:00、13:00~17:00
月曜日~金曜日(年末年始、祝日を除く)
ファックス番号:(03)5798-0211

- **筆ぐるめ** for VAIO
(はがき作成)
富士ソフトABC株式会社
インフォメーションセンター
電話番号:(03)5600-2551
ファックス番号:(03)3634-1322
電子メール:users@fsi.co.jp

オーディオ&ビジュアル

- Beatnik Player Version 2.0
(AV再生プラグイン)
電子メール:vaiouser@beatnik.com

- Giga Pocket Version 4.5
(PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ)
(テレビ録画/管理/再生)
VAIOカスタマーリンク

- iRCommander
(PCV-LX95Gシリーズ, LX55Gシリーズのみ)
(Giga Pocketリモート予約)
ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社　テレビ王国
電子メール:tv@so-net.ne.jp
URL:http://www.so-net.ne.jp/tv/

- Media Bar DVD **プレーヤー**
(DVDビデオ再生)
VAIOカスタマーリンク

- PicoPlayer Version 5.0
(Giga Pocket専用ビューワー/コントローラー)
VAIOカスタマーリンク

- QuickTime 5
(動画再生)
VAIOカスタマーリンク

- RealJukebox 2 Basic
(音楽ファイル管理/再生)
リアルネットワークス株式会社　サポートセンター
電話番号:(03)5302-2313

- RealPlayer 8 Basic
(動画再生)
リアルネットワークス株式会社　サポートセンター
電話番号:(03)5302-2313

❑ Simple DVD Maker
(PCV-LX95Gシリーズのみ)
(Giga Pocket DVDオーサリングソフト)
VAIOカスタマーリンク

❑ SonicStage Version 1.1 for VAIO
(音楽ファイル管理/再生)
VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Media™ Player 8
(音楽・動画再生)
VAIOカスタマーリンク

エンターテインメント

❑ MusicShaker Version 1.4
(音楽再生)
VAIOカスタマーリンク

❑ **ぽっぷあっぷスケッチ**
Version 1.2**(PCV-LX95Gシリーズ, LX85シリーズのみ)**
(3Dお絵かきソフト)
ぽっぷあっぷスケッチホームページ:
http://www.so-net.ne.jp/popupsketch/

コミュニケーション

❑ Microsoft® Internet Explorer 6
(インターネットブラウザ)
VAIOカスタマーリンク

❑ Microsoft® Outlook Express 6
(電子メール)
VAIOカスタマーリンク

❑ PostPet for Windows
(電子メール)
ポストペットホームページ:
http://www.postpet.so-net.ne.jp/

❑ Q-ze Talk**(キュゼ・トーク)**
Version 1.1
(ビジュアルチャット)
VAIOカスタマーリンク

❑ Smart Capture Version 4.2
(画像取り込み/再生)
VAIOカスタマーリンク

❑ URecSight Version 2.1
(インターネット放送)
VAIOカスタマーリンク

❑ **インターネット接続サービス/ブロードバンド常時接続サービス**

■AOL 7.0 for Windows
(サービスプロバイダ)
株式会社ドコモAOL
AOLメンバーサポートセンター
受付時間:9時〜21時(年中無休)
会員サポート・入会問い合わせ:
(0120)275-265(フリーダイヤル)
電子メール:AOLJapanMS@aol.com

■DION **オンラインサインアッププログラム**
(サービスプロバイダ)
KDDIカスタマサービスセンター
サービス内容に関するお問い合わせ
電話番号:(0077)7192(無料)
接続・設定などに関するお問い合わせ
電話番号:(0077)20227(有料、全国一律1分10円)
上記番号につながらない場合は
札幌(011)232-7012/東京(03)5348-3975(有料)
ADSLコースのサービス内容、接続・設定などに関するお問い合わせ
電話番号:(0077)7084(無料)

■@nifty**でインターネット**
(サービスプロバイダ)
ニフティ株式会社　@nifty入会センター
電話番号:(0120)816-042(フリーダイヤル)
携帯・PHS・国際電話の場合:
(03)5753-2374(電話料金はお客様ご負担となります)

ご注意

お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめください。
受付時間:毎日 9時〜21時
(ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。)

■OCN**スタートパック** for Windows
(サービスプロバイダ)
OCNインフォメーションデスク
電話番号:(0120)047-815(フリーダイヤル)
受付時間:
9時〜21時(月〜金曜日)
9時〜17時(土曜日・日曜日・祝日)
電子メール:info@ocn.ad.jp

■ODN**スターターキットソフトウェア**
(サービスプロバイダ)
日本テレコム株式会社
ODNサポートセンター
電話番号:0088-86(無料 ODNダイアルアップサービス)
0088-222-375(無料 J-DSL フレッツADSLプラン)

■P'zDialer**(ぷららアクセスソフト)**
(サービスプロバイダ)
株式会社ぷららネットワークス
「ぷららダイヤル」
入会専用:(0120)488912(スバヤクイージー)
テクニカル:(03)5954-5311

■So-net**簡単スターター**
(サービスプロバイダ)
So-netインフォメーションデスク
電話番号:(0570)00-1414(全国共通)
携帯・PHSからおかけになる場合は、こちらへおかけください。
札幌(011)711-3765/仙台(022)256-2221/東京(03)3446-7555/名古屋(052)819-1300/大阪(06)6577-4000/広島(082)286-1286/福岡(092)624-3910
受付時間:10時〜21時　年中無休
ご入会方法、サービス内容のお問い合わせ、各種会員情報の変更方法や課金状況の確認などのお問い合わせは、上記の電話番号のほか、ファックスや電子メールでも承ります。また、ホームページ でもご確認いただけます。
ファックス番号:(03)3446-7557
電子メール:info@so-net.ne.jp
ホームページ:
http://www.so-net.ne.jp/access/

■**イー・アクセス** ADSL **スターターキット**
(サービスプロバイダ)
イー・アクセス株式会社
電子メール:info@eaccess.net
電話番号:(0120)2754-37
受付時間:10時〜18時(毎日)

■**インターネットするなら**BIGLOBE
(サービスプロバイダ)
BIGLOBEカスタマーサポート
インフォメーションデスク
電話番号:(0120)86-0962(フリーダイヤル)
携帯電話:(03)3947-0962
受付時間:24時間365日
電子メール:お問い合わせは以下のフォームをご利用ください。
http://support.biglobe.ne.jp/ask.html
ホームページ:http://support.biglobe.ne.jp/

■**バイオネットワークサービス**
オンラインサインアップ
(サービスプロバイダ)
ソニースタイルドットコム・ジャパン株式会社
バイオネットワークサービスセンター
電話番号:(03)5783-1133

リファレンスツール

❑ Adobe Acrobat Reader 5.0J (PDF**ビューワー**)
VAIOカスタマーリンク

❑ MapCutter Version 2.0 (CLIE**用地図切り出しツール**)
VAIOカスタマーリンク

❑ Navin' You Version 5.5 (**デジタルマップナビゲーター**)
VAIOカスタマーリンク

❑ Navin' You**専用グルメ&ドライブスポット**327 by Walkerplus.com
株式会社ウォーカープラス・ドット・コム編集制作部
ファックス番号:(03)3234-4613
電子メール:webmaster@walkerplus.com

❑ Navin' You**専用マップ**2**サンプル版**
株式会社ゼンリン　お客様ご相談窓口
電話番号:(03)5259-5077
受付時間:10時〜12時/13時〜17時
月〜金(祝日は除く)

❑ 乗換案内 時刻表対応版 (電車交通案内)
ジョルダン株式会社 お客様ご相談窓口
電話番号:(03)5389-1712
受付時間:10時〜12時/13時〜17時
月〜金曜日(祝日は除く)

ステーショナリ

❑ Microsoft® Office XP Personal（型名の末尾が"BP"の機種のみ）（ワープロ・表計算・個人情報管理）

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：東京（03）5354-4500／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Microsoft® Office XP Personalプレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフトスタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間　月～金：9時30分～12時、13時～19時、土曜日：10時～17時
（同社指定休業日、年末年始、日曜・祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ
マイクロソフト　スタンダードサポートにてサポートいたします。
期間、回数の指定はありません。
受付時間　月～金：9時30分～12時、13時～19時、土・日：10時～17時
（同社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

❑ マイフレーズ Version 1.1（PCV-LX95Gシリーズ, LX85シリーズのみ）（手書き文字認識）

VAIOカスタマーリンク

ユーティリティ

❑ Norton AntiVirus 2002（ウィルスチェッカー）

シマンテックテクニカルサポートセンター
電話番号：（03）3476-1118
受付時間：平日10時～12時、13時～17時
（土・日・祝日・年末年始を除く）
FAX：（03）3477-1118
なお、上記サポートセンターをご利用いただくためには以下のシマンテックホームページにてカスタマーIDの取得が必要です。
http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html
カスタマーID取得に関するお問い合わせ
シマンテックカスタマーサービスセンター
電話番号：（03）3476-1156
受付時間：
平日10時～12時、13時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）
FAX：（03）3476-1159

ちょっと一言

「Norton AntiVirus」ソフトウェアは、本機初回起動時より180日間無償でウイルス定義ファイル（ワクチンファイル）のアップデートができます。それ以降は、ウイルス定義ファイルのアップデートは有償になります。新種のウイルスに対応するため、ウイルス定義ファイルは常に更新することをおすすめします。
また、テクニカルサポート提供期間はウイルス定義ファイル無償更新期間と同じく180日間となります。
ウイルス定義ファイルの有償アップデートについて詳しくは、以下のシマンテックホームページをご覧になり、お申し込みください。
http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html
ウイルス定義ファイルの有償アップデートのお申し込みについては、下記にお問い合わせください。
ショップシマンテック
電話番号：（03）3476-1192
FAX：（03）3780-9988
電話受付時間：月～金 10時～12時、13時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）

❑ Sonyタブレット（PCV-LX95Gシリーズ, LX85シリーズのみ）（タブレット設定）

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Action Setup Version 1.4（アプリケーション等起動設定）

VAIOカスタマーリンク

❑ VisualFlow Version 2.1（メディアブラウザ）

VAIOカスタマーリンク

❑ システム情報

VAIOカスタマーリンク

カスタマーサポートツール

❑ CyberSupport 3.1 for VAIO（VAIOマニュアル）

VAIOカスタマーリンク

❑ できるWindows XP for VAIO（マニュアル）

インプレスカスタマーセンター
電話番号：（03）5213-9295

その他

❑ UI Design Selector（VAIOオリジナルGUIセットアップ）

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIOオンラインカスタマー登録（オンラインカスタマー登録）

ソニーマーケティング株式会社
VAIOカスタマー専用デスク

電話番号：（03）5977-7255

受付時間：

月曜～金曜日 10時～18時（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

❑ オンラインサービスご紹介

■イーベイ

イーベイジャパン（株）
電子メール：jpsupport@ebay.com

■UPGRADE AREA（アップグレードエリア）

ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：（03）5783-1254

電子メール：
vaio-upgradecenter@sony.co.jp

■ソニースタイル／イメージステーション／パーキャスTV

ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：（03）5783-1122

受付時間：10時～18時（土・日・祝日は除く）

イメージステーションのみ、以下のメールアドレスでのお問い合わせも受け付けております。
info@imagestation.jp

■gu mantan WEB

デザインエクスチェンジ株式会社
DEXインフォメーション
電子メール：info@dex.ne.jp

■イープラス

（株）エンタテインメントプラス
ホームページ：http://eee.eplus.co.jp/
電話番号：（03）5749-9911

■Norton AntiVirus ウイルス定義ファイル購入

ウイルス定義ファイルの有償アップデートについて詳しくは、以下のシマンテックホームページをご覧になり、お申し込みください。
http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html

ウイルス定義ファイルの有償アップデートのお申し込みについては、下記にお問い合わせください。

ショップシマンテック
電話番号：（03）3476-1192
FAX：（03）3780-9988
電話受付時間：月～金 10時～12時、13時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）

❑ リカバリディスク

VAIOカスタマーリンク

索引

【ア行】

アイコン 81
明るさ調節ダイヤル 38
空きスロット 237
アクセスポイント 121
アクティブなウィンドウ 85
アドレス 122
アドレスバー 147
アナログ入力 269
アンテナコネクタ 37, 57, 59
イーサネット 232
インターネット 102
　トラブル 105
インターネットサーバー 141
インターネットサービスプロバイダ 104
インターネット接続サービス 101, 104
インフォメーションランプ 38
ウイルス 105
ウィンドウ 81, 84
　切り替える 85
　最小化 86
　サイズを変える 86
　最大化 86
　閉じる 86
　開く 84
ウェブブラウザ 104, 145
映像入力／出力コネクタ 37, 60, 225, 226
液晶ディスプレイ 38, 48
　コネクタ 37
　取り扱いについて 267
エラーメッセージ 214
オフライン作業 154
オンラインサインアップ 109
音量調節ダイヤル 38

【カ行】

拡張ボード 237
　空きスロット 237
　種類 237
　スロット 242
　増設する 237
　取り付ける 241
　取りはずす 243
　PCI拡張ボード 237
各部のなまえ 35, 80, 82, 84
カスタマーご登録 92
　トラブル 195
カタカナ入力 89
かな入力 90
画面
　トラブル 183
キーボード
　お手入れ 273
　キーボードコネクタ 38
　接続 49
　トラブル 185
休止状態 77
結露 267
ごみ箱 87
コンピュータウイルス 105

【サ行】

再セットアップ 252
サイバーサポート 5, 162
受光ユニット 55
受信メールサーバー 123
スクロールバー 84
スタートボタン 80
スピーカー
　トラブル 184
スロット
　拡張ボード 242
　拡張メモリ 244
　メモリースティック 36
接続 47
　アンテナ 57
　液晶ディスプレイ 48
　キーボード 49
　デジタルビデオカメラレコーダー 218
　テレビ 226
　電源コード 62
　電話回線 51
　ビデオカメラレコーダー 224
　ビデオデッキ 60, 224
　プリンタ 228
　マウス 49
　リモコン受光ユニット 55
　ADSL 54
　ISDN 54
　i.LINK対応機器 218
　USB機器 230
設置 41
送信メールサーバー 123
その他
　トラブル 216
ソフトウェアの不正コピー禁止 271

【タ行】

ターミナルアダプタ 54, 103
ターミナルアダプタカード 233
タイトルバー 84
ダイヤルアップ接続 122
タスクトレイ 80
タスクバー 80, 85
断片化 263
チルダ 185
ツールバー 84
ディスクアクセスランプ 35
ディスプレイ 38, 43
　お手入れ 272
　接続 48
　トラブル 181
デジタルビデオカメラレコーダー 218
デスクトップ画面 80
デフラグ（最適化） 263
テレビ
　地域設定 72
　テレビにつなぐ 226
　テレビを見る準備をする 70
　トラブル 181
テレホンコードを取りはずす 53
電源
　電源ボタン 35, 63
　電源ランプ 35, 38
　電源を入れる 63
　電源を切る 76
　トラブル 179
電子マニュアル 161
電子メール 136, 153
　電子メールアドレス 97, 123
　電子メールソフトウェア 104, 136
　トラブル 105
　やりとりする 153
電話回線
　接続 51
　電話回線ジャック 37, 52
　電話機ジャック 37, 51
動画／静止画編集
　トラブル 213
トーン式ダイヤル 99, 122
ドライバ 229, 233, 240
トラブルの解決方法 176

【ナ行】

ネゴシエーション 205
ネットワーク 231
ネットワークコネクタ 37, 231

【ハ行】

パーティション 263
ハードディスク
　トラブル 189
　取り扱いについて 268
　バックアップをとる 269
ハードディスクアクセスランプ 35
パームレスト 50
パスワードリマインダー 97
パラレルポート 228
パルス式ダイヤル 99, 122

ひらがな入力 89
ファイル 84
　削除 87
　ファイルを開く 87
　フォルダを作る 87
フォルダ 87
複数ユーザー 68
付属ソフトウェア 29, 277
付属品 32
プラグアンドプレイ 239
プリンタ 228
フロッピーディスク
　トラブル 188
　取り扱いについて 270
プロバイダ 104, 109, 119
ヘッドホンコネクタ 37
ヘルプ 161, 174
ヘルプとサポートセンター 69
ペン 39
　トラブル 188
ペンタブレット 44
　取り扱いについて 268
ポインタ 82
ホームページ 145

【マ行】

マイクロホンコネクタ 37
マウス
　お手入れ 272
　クリック 82
　接続 49
　ダブルクリック 82
　ドラッグ 82
　ドラッグアンドドロップ 82
　トラブル 187
　ポイント 82
　マウスコネクタ 38
　マウスの操作 82
　右クリック 82
メニューバー 84
メモリ 237
　増設する 244
　メモリモジュール 244
メモリースティック
　アクセスランプ 35
メモリースティックスロット
..........36
メモリカード 232
文字入力 89
　トラブル 185
モデム 103
モデム／インターネット
　トラブル 196

【ラ行】

ライン入力コネクタ 37
リカバリディスク 252
リソース 237
リモコン 40, 56
　トラブル 184
ローマ字入力 90
録画、再生
　トラブル 194

【A】

AC電源入力プラグ 37, 62
ADSL 54, 103, 133
AV機器
　デジタルビデオカメラ
　レコーダー 218
　テレビ 226
　ビデオカメラレコーダー
　..........224
　ビデオデッキ 224
AVマウス 61

【B】

BIOS 252, 253

【C】

CD-ROM
　お手入れ 272
　トラブル 190
　取り扱いについて 269
CD-RW／CD-R
　お手入れ 272
　トラブル 193
　取り扱いについて 269
CD-RW／DVD-ROM一体型
　ドライブ 35
CyberSupport for VAIO 5

【D】

DVD-ROM
　お手入れ 272
　トラブル 190
　取り扱いについて 269
DVD-RWドライブ 35
DVD-RW／DVD-R
　お手入れ 272
　トラブル 192
　取り扱いについて 269

【H】

HTML 138

【I】

IRQ 237
ISDN回線 54, 103
ISP 104, 126
i.LINK
　つなぐ 218
　データをやりとりする 222
　トラブル 193
　i.LINKケーブル 220
　i.LINKコネクタ 36, 37, 218
　i.LINK対応機器 221
I/Oポート 237

【L】

LAN 231
LCDコネクタ 37, 48

【M】

Microsoft Internet Explorer
..........104, 145
MO 232
MS-IMEツールバー 89

【O】

OPEN／CLOSEボタン 35
OS 66, 105
Outlook Express 104, 136, 153

【P】

PCカード 36, 232, 233
PCカードスロット
..........36, 233, 234
PCI拡張ボード 237
PPP 121

【S】

SCSI 232

【U】

URL 147
USBコネクタ
..........36, 37, 38, 54, 55, 230
USBプリンタ 228

【V】

VAIOカスタマーご登録
..........92, 195
VAIOカスタマーリンク
..........171, 174

【W】

Windows
　準備する 64
　Windowsのヘルプ 69, 174

この説明書は再生紙を使用しています。

MEMO

MEMO

本書をお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

商標について

- VAIOはソニー株式会社の商標です。
- “ Memory Stick ”(“ メモリースティック ”)およびMEMORY STICK™は、ソニー株式会社の商標です。
- OpenMGはソニー株式会社の商標です。
- So-net、ソネットおよびSo-netロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- POBox(Predictive Operation Based On eXample)はソニー株式会社の登録商標です。
- 「CastaDrive」、およびCastaDriveはソニー株式会社の商標です。
- 「PercasTV」、およびpercasTVはソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ"i."は商標です。
- Intel、PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、Windows、OutlookおよびBookshelfは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Bookshelf Basicは、次の書籍を基に制作されました。
  『新英和中辞典』第6版©研究社 1967,1994,1998、
  『新和英中辞典』第4版©研究社 1933,1995,1998、
  『新明解国語辞典』第5版©三省堂 1972,1974,1981,1989,1997
- Adobe®、Adobe® Photoshop®、Adobe® GoLive®、Adobe® LiveMotion™、Adobe® Acrobat® ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標または登録商標です。
- Sonic、Sonic Solutions、DVDit!は米国Sonic Solutions社の米国およびその他の国における商標です。
- Beatnik PlayerはBeatnik, Inc.の登録商標です。
- PostPetはソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の登録商標です。
- テレビ王国、iCommand、アイコマンド、iRCommander、アイアールコマンダーは、ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の商標です。
- 「iモード」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- QuickTime and the QuickTime logo are trademarks used under license. QuickTime is registered in the U.S. and other countries.
- 「RealPlayer」、「RealJukebox」は、米国また諸各国において、米国RealNetworks, Inc.社の登録商標あるいは登録申請中の商標です。
- 2001 AMERICA ONLINE. INC. All Rights Reserved.
- BIGLOBEは日本電気株式会社の登録商標です。
- DIONはKDDI株式会社の登録商標です。
- eBay、イーベイ及びeBayロゴは、米国eBay, Inc.の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- @niftyはニフティ株式会社の商標です。
- OCNは、NTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
- 「ぷらら」は株式会社ぷららネットワークスの登録商標です。
- Copyright 2001 Entertainment Plus Inc. All Rights Reserved.
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。
- Copyright© 1993-2001 FUJISOFT ABC Inc. All rights reserved.
- Symantec、Symantecロゴ、Norton AntiVirusはSymantec Corporationの登録商標です。
  2001 Symantec Corporation. All Rights Reserved.
- 「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
  Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- PrimoSDK for CD
  Partial software replication technology by VERITAS Software Corporation.

- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

VAIOホームページ

VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。

- http://www.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンク ホームページ

VAIOの最新サポート情報をご案内します。

- http://vcl.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35
http://www.sony.co.jp/

Printed in Japan